令和７年度
岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事

【意匠図】

番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	NS.	A-30	階段詳細図	1/100
A-01	木造建築工事特記仕様書１	NS.	A-31	建具位置図	1/100
A-02	木造建築工事特記仕様書２	NS.	A-32	鋼製建具表(AD、AW)	1/100
A-03	木造建築工事特記仕様書３	NS.	A-33	木製建具表(WD)	1/100
A-04	木造建築工事特記仕様書４	NS.	A-34	部分詳細図１(造作納り)	1/10,1/50
A-05	木造建築工事特記仕様書５	NS.	A-35	部分詳細図２(ｱｳﾄｾｯﾄﾄﾞｱ)	1/10
A-06	木造建築工事特記仕様書６	NS.	A-36	部分詳細図３(屋根納り)	1/7
A-07	木造建築工事特記仕様書７	NS.	A-37	部分詳細図４(ｱﾙﾐ庇)	1/30､1/20
A-08	木造建築工事特記仕様書８	NS.	A-38	雑詳細図１(手洗台､下足入､ﾛｯｶｰ)	1/20
A-09	工事区分表	NS.	A-39	雑詳細図２(ｷｯﾁﾝ)	1/30､1/20
A-10	附近見取図	1/2500	A-40	雑詳細図３(足洗､手洗い)	1/20
A-11	配置図・面積リスト	1/600	A-41	雑詳細図４(ｽﾛｰﾌﾞ)	1/30
A-12	現況配置図	1/600	A-42	屋外鉄骨階段詳細図	1/30､1/10
A-13	仕上表	NS.	A-43	外構配置図	1/400、20
A-14	建物求積図･表	1/150､1/50	A-44	撤去図	1/100､50、20
A-15	1階平面図	1/60	A-45	外構図１	1/50
A-16	2階平面図	1/60	A-46	外構図２	1/50、30、20
A-17	屋根伏図	1/60	A-47	外構図３	1/100、40
A-18	立面図、断面図	1/100	A-48	外構図４	1/50、20
A-19	矩計図１	1/30	A-49	外構図５	1/100､200､400
A-20	矩計図２	1/30	A-50	仮設計画図（参考図）	1/300
A-21	展開図１	1/50			
A-22	展開図２	1/50			
A-23	展開図３	1/50			
A-24	展開図４	1/50			
A-25	展開図５	1/50			
A-26	展開図６	1/50			
A-27	展開図７	1/50			
A-28	1階天井伏図	1/60			
A-29	2階天井伏図	1/60			

【構造図】

番号	図面名称	縮尺
S-01	木構造特記仕様書	NS
S-02	木造用鉄筋コンクリート構造配筋標準図	NS
S-03	木造の継手及び仕口の構造方法-1	NS
S-04	木造の継手及び仕口の構造方法-2	NS
S-05	接合部標準詳細図（１）	NS
S-06	接合部標準詳細図（２）	NS
S-07	接合部標準詳細図（３）	NS
S-08	柱状図	NS
S-09	杭状地盤補強図	1/100
S-10	基礎伏図	1/100
S-11	基礎断面詳細図-1	1/30
S-12	基礎断面詳細図-2	1/30
S-13	1階床伏図	1/100
S-14	2階床伏図	1/100
S-15	2階小屋伏図	1/100
S-16	1階屋根伏図	1/100
S-17	2階屋根伏図	1/100
S-18	軸組図－１	1/100
S-19	軸組図－２	1/100
S-20	軸組図－３	1/100
S-21	軸組図－４	1/100
S-22	軸組図－５	1/100
S-23	軸組図－６	1/100
S-24	架構詳細図	1/30

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88495号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	表紙・図面リスト		縮尺	S=1/NS. (A3:71%)	A-00		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

R05．01

岡山市木造建築工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

工事名称	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事					
工事場所	岡山市北区庭瀬256番地					
敷地面積(㎡)	17,115.00m2					
床面積(㎡)		児童クラブ　木造	外部階段　S造	棟　造	棟　造	棟　造
	階					
	階					
	階					
	階					
	2階	224.41　m2				
	1階	240.97　m2	m2			
	小計	465.38　m2	0　m2			
	合計	465.38　m2	0　m2			
建築面積(㎡)		254.22　m2	4.89　m2			
消防法施行令別表第一区分		15				

建ぺい率（指定率）	%（　60、80　%）	容積率（指定率）	%（　200　%）
用途地域	第1種中高層住居専用地域、近隣商業地域	防火地域	・防火地域　⊙準防火地域　・指定なし
工事範囲	建築工事	別途工事	電気設備工事
	外構工事		機械設備工事

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様

（1）　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築木造工事標準仕様書（令和４年版）」（以下、「木造標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。また、木造標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。

（２）　建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）が必要な工事の場合、受注者は完了検査（中間検査含む）時には、官公署（建築主事等）が求める検査に必要な書類（報告書）等を用意するものとする。

（３）「岡山市内の公共建築物における県産材等の利用促進に関する方針」(H23.11.1)により、県産材等の積極的な利用に努めること。県産材とは、岡山県の「木材業者等登録」を受けている製材業者が製材・加工した製品とする。

2．特記仕様

（1）　項目は番号に○印のついたものを適用する。

（２）　特記事項は⊙印のついたものを適用する。
⊙印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙印と(※)印のついた場合は共に適用する。

（３）　特記事項に記載の（　　　）内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［　　　］内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す。

（４）　G印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達物品等を示す。

（５）　関係法令の改正等により（条例を含む）、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。

（６）　材料及び製造所等の記載は順不同である。

（７）「監督職員」は「監督員」と読み替える。

章		項目	特記事項

① 一般共通事項

① 適用基準等

※建築工事標準詳細図（令和４年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
（以下「標準詳細図」という）

※営繕工事写真撮影要領（令和３年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

② 電気保安技術者（1.3.3）

配置する

③ 施工条件（1.3.5）

・施工時間帯　※指定なし　・指定あり（　　　）
⊙施工ができない日等　※指定なし　⊙指定あり（別添「学校行事に伴う施工ができない日等（予定）」に基づき監督職員と協議するものとする）
・部位別の施工順序　※指定なし　・指定あり（・図示　・　　　）
⊙工事車両の駐車場所　（※図示　・　　　）
⊙資機材置場　（※図示　・　　　）
・建設発生土仮置場　（※図示　・　　　）

※週休２日促進工事について
⊙本工事は、週休２日促進工事の対象である。週休２日促進工事特記仕様書を参照すること。
・本工事は、週休２日促進工事の対象外である。

④ 工事安全計画書（1.3.7）

建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。

⑤ 発生材の処理等（1.3.11）

・引き渡しを要するもの（　　　）
・現場において再利用を図るもの（　　　）
・再生資源化を図るもの
・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材

⑥ 環境への配慮（1.4.1）

化学物質を放散させる建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の１）から４）を満たすものとする。
１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
２）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジーｎーブチル及びフタル酸ジー２ーエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
４）１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量　規制対象外に　該当する建築材料
①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第２０条の第７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

ホルムアルデヒド放散量　第三種に　該当する建築材料
①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
②建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑦ 材料の品質等（1.4.2）

１）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

２）本工事に使用する材料のうち、３）に指定する材料の製造業者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
（１）品質及び性能に関する試験データが整備されているもの
（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの
（３）安定的な供給が可能であるもの
（４）法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得しているもの
（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があるもの
（６）販売、保守等の営業体制が整えられているもの（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられているもの）

３）製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型枠用鋼製デッキプレート	クローザ類	煙突用成形ライニング材
鉄骨柱下無収縮モルタル	自動扉機構	天井点検口
無収縮グラウト材	自閉式上吊り引戸機構	床点検口
乾式保護材	重量シャッター	グレーチング
既調合モルタル	軽量シャッター	屋上緑化システム
ルーフドレン	オーバーヘッドドア	トップライト
吸水調整材	防水剤	ポリマーセメントモルタル
鋳鉄製ふた	現場発泡断熱材	既調合目地材
フリーアクセスフロア	可動間仕切	移動間仕切
トイレブース	錠前類	

8 特別な材料の工法

木造標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする

⑨ 技能士（1.5.2）

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	⊙とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	⊙鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	⊙型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	⊙コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	とび	⊙とび作業
CB・ALCパネル	ブロック建築	⊙コンクリートブロック工事作業
	ALCパネル施工	⊙ALCパネル工事作業
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
木工事	建築大工	⊙大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	⊙内外装板金作業
	かわらぶき	・かわらぶき作業
金属工事	内装仕上施工	⊙鋼製下地工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
左官工事	左官	⊙左官作業
建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	⊙ガラス工事作業
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ガラス工事作業
塗装工事	塗装	⊙建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業
	表装	⊙壁装作業
排水工事	配管	・建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	⊙造園工事作業

⑩ 化学物質の濃度測定（1.5.9）

図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するものとする。
パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。
①３０分間換気
測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する。
②５時間閉鎖
①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。
③測定
イ　②の状態のままで測定する。
ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する。
ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。
④分析
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。
⑤その他
監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。
・厚生労働省の標準的方法による

⑪ 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出するものとする。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 1箇所	・カラー印画紙キャビネ判 ・電子データ（JPEGフルカラー圧縮率1/4程度） ・カラー木製パネル半切（324×400mm）		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
上記と異なる 外部（３）箇所 内部（３）箇所	カラー印画紙　・キャビネ判　※L判 ※電子データ（JPEGフルカラー圧縮率1/4程度）			
外部（３）箇所 内部（３）箇所	カラー印画紙　・キャビネ判　※L判 ※電子データ（JPEGフルカラー）	3 3	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意

撮影部位は監督職員の指示による
電子データは、CD－R等で提出する

⑫ 完成時の提出図書（1.7.1~3）

完成図（CADデータの提出（※　要　・　不要　））　表1.7.1
保全に関する資料（提出部数　※　1部　・　部　）
提出書類の詳細については、別途、完成図書作成要領による。

⑬ 施工図及び施工計画書（1.7.2）

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

⑭ 設備工事との取り合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けるものとする。

⑮ 設計GL

※図示　・（　　　）

⑯ 耐荷重及び耐外力

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速　Vo＝３２m／s
地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ
積雪量　建築基準法施行令第８６条第３項の規定に基づく岡山県建築基準法施行細則による数値

② 仮設工事

① 足場その他（2.2.4）

足場を設ける場合は、木造標準仕様書２．２．４（２）、（３）による。

2 監督職員事務所（2.3.1）

⊙設けない　・設ける
備品等は、監督職員の指示を受けて設置するものとする。

③ 工事用水

構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※　有償　・　無償　）

④ 工事用電力

構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※　有償　・　無償　）

③ 土・地業・基礎工事

① 埋戻し及び盛土［3.2.3］

※種別　・A種　※B種　・C種　・D種　表3.2.1
・建設汚泥から再生した処理土(G)
D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。
・材料　　工法

② 建設発生土の処理［3.2.5］

※構外指示の場所に処分　・構内指示の場所に敷き均し　・構内指示の場所に堆積

3 杭の載荷試験［4.2.3］

載荷試験　・鉛直載荷試験　・水平載荷試験
試験杭の位置、本数及び載荷荷重　※図示　・
試験の方法　※図示　・
報告書の記載事項　※図示　・

4 地盤の載荷試験［4.2.4］

試験位置及び載荷荷重　※図示　・
試験の方法　※図示　・
報告書の記載事項　※図示　・

5 既製コンクリート杭地業［4.2.2］［4.3.1~7］

材料
※遠心力高強度コンクリート杭(PHC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
・プレストレス鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・

	種類種別	杭径(mm)	杭長(m)及び種別	厚さ	継手数	セット数	コンクリート強度(N／mm²)	長期設計支持力(kN／本)	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭						
本杭			上杭 中杭 下杭						

SC杭の鋼管　・SKK400　・SKK490　・
SC杭の板厚　※構造図による
PHC杭の種別　・A種　・B種　・C種
PRC杭の種別　・Ⅰ種　・Ⅱ種　・Ⅲ種　・Ⅳ種
なお、特定埋込杭工法における杭材料はJIS又は認定条件に適合するものとする。

杭先端部の形状　※開放形　・半開放形　・閉そく形
ネガティブフリクション対策
※不要　・要（構造図による）
杭の継手の工法　・アーク溶接継手
溶接材料
※標準仕様書7.2.5(1)(2)による　・構造図による
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法　※評定等を受けた工法
杭頭の処理　※処理しない
・処理する（処理方法　※構造図による）
杭頭の中詰材料　※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）　・
支持地盤　※構造図による
施工方法
・セメントミルク工法
根固め液及び杭周固定液の管理試験
※標準仕様書４．３．４（６）（コ）による
・構造図による
※特定埋込杭工法
・H１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・H１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝　、β＝　、γ＝
を採用できる工法
工法　・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液の使用　・する　・しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の１／４かつ１００mm以下　・構造図による
杭の鉛直度　・１／１００以内　・評定条件または認定条件による　・構造図による

⑥ 鋼杭地業［4.4.1~6］

種類の記号　・SKK400　・SKK490
寸法、継手、性能等

	符号	杭径(mm)	杭長(m)及び種類の記号	板厚(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN／本)	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭					
本杭			上杭 中杭 下杭					

施工方法
・特定埋込み杭工法
・H１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・H１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝　、β＝　、γ＝
を採用できる工法
工法　・中掘り拡大根固め工法
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の１／４かつ１００mm以下　・
杭の鉛直度　・１／１００以内　・評定条件または認定条件による　・
杭の継手の工法　・アーク溶接継手
形状　・JIS A 5525による　・構造図による
溶接材料　・標準仕様書7.2.5(1)(2)による　・構造図による
・機械式継手（継手部に溶接金具を用いた方式のもの）
工法　※評定を受けた工法
杭頭の処理　・切断しない
・切断する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）　・構造図による
杭頭の中詰材料　※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）

⑦ 砂利地業［4.6.2、3］

材料　※再生クラッシャラン(G)　・切込砂利及び切込砕石
厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※６０	⊙図示による　・
・	・図示による　・

⑧ 捨コンクリート地業［4.6.4］

材料
設計基準強度　※１８N／m㎡　・　N／m㎡
スランプ　※１５㎝　・１８㎝
厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※５０	・図示による　・
⊙30	⊙図示による　・

⑨ 床下防湿層［4.6.5］

施工範囲　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
防湿工法　※ポリエチレンフィルム厚さ０．１５㎜以上
防湿層の位置　※図示による

⑩ 地盤改良

工法　・浅層混合処理工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による）
⊙深層混合処理工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による）
・湿式柱状改良工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による）
・鋼管杭状改良工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による）

11 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

材料
コンクリートの種類　※普通コンクリート　・
設計基準強度　※１８N／m㎡　・　N／m㎡
スランプ　※１５㎝　・１８㎝
形状　※構造図による
支持地盤の長期設計支持力　・　kN／㎡
支持地盤　※構造図による
型枠使用の有無　※有り　・無し

12 杭残土の重金属等溶出試験

カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、フッ素、ホウ素の８種類の溶出試験を行うこと。
溶出量基準及び測定方法は、H３環境庁告示第４６号による。

13 直接基礎

支持地盤の設計支持力度　・　kN／㎡以上
支持地盤　※構造図による

⑭ 鉄筋等［5.2.1］［5.3.4、5、7］

種類

規格の名称	種類の記号	呼び径（mm）	備考
※異形鉄筋（鉄筋コンクリート用棒鋼）	※SD295A	・D16以下	
	※SD345	・D19　・D22　・	
	・	・　・　・	

継手方法等

部位	継手の方法と適用径
⊙基礎梁主筋	⊙重ね継手（D16以下）・ガス圧接（D19以上）・機械式継手（　　　）
・耐力壁	・重ね継手（D16以下）・
・その他	・重ね継手（D16以下）・

鉄筋の継手位置、定着方法、位置、長さ及び余長

部位	鉄筋の定着方法、位置、長さ及び余長
⊙基礎梁主筋	・図示　⊙標準仕様書　各部配筋参考図1.3による
・土間コンクリートの補強	・図示　・
・	・図示　・
・	・図示　・

重ね継手の長さ

部位	重ね継手の長さ
⊙基礎梁主筋	・図示　⊙40dと標準仕様書表5.3.2のうち大きい値　・
・耐力壁	・図示　・40dと標準仕様書表5.3.2のうち大きい値　・
・	・図示　・40dと標準仕様書表5.3.2のうち大きい値　・

各部配筋

部位	配筋方法
⊙直接基礎	※図示　・標準仕様書　各部配筋参考図1.1による
⊙基礎接合部の補強配筋	※図示　・標準仕様書　各部配筋参考図1.2による
⊙基礎梁のあばら筋	※図示　・標準仕様書　各部配筋参考図1.4による
⊙基礎柱の帯筋組立の形	※図示　・
⊙土間コンクリートと基礎梁との接合部	※図示　・
・	・図示　・

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
最小かぶり厚さ
・図示　・

⑮ コンクリートの種類及び強度［6.2.1、2］

※普通コンクリート　表6.2.1

設計基準強度 Fc(N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	スランプ(cm)	適用場所
⊙２１ (※)２４	２．３程度	※１５ ・１８	⊙基礎　⊙基礎梁　⊙土間スラブ ⊙土間コンクリート
・１８	２．３程度	※１５ ・１８	

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事		No. A-01	YONEYAMA 1級建築士事務所 一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12645号 1級建築士(大臣)第88498号 米山敏夫 〒703-8246 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL086-273-6969 FAX086-273-4020
図面名	木造建築工事特記仕様書１	縮尺		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課		令和０７年０２月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

4 木造工事

⑯ **レディーミクストコンクリート** [6．4．1~2]

※Ⅰ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８「レディーミクストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類

⑰ **セメントの種類** [6．3．1]

表６．３．１

セメントの種類	使　用　部　位
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種	
・高炉セメントＢ種(G)	
・フライアッシュセメントＢ種(G)	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ　Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱		
	７日目	３５２Ｊ／ｇ以下
	２８日目	４０２Ｊ／ｇ以下

⑱ **骨材の種類** [6．3．1] [6．5．4]

アルカリシリカ反応による区分
※Ａ　　・Ｂ　（※コンクリート中のアルカリ総量 Ｒｔ＝３．０ｋｇ／m^3 以下）

⑲ **混和材料** [6．3．1]

※混和剤（ＪＩＳ　Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はⅠ種とする。また、防錆材を併用する場合はＪＩＳ　Ａ６２０５による防錆材とする。）
・混和材（ＪＩＳ　Ａ６２０１に適合するフライアッシュのⅠ種、Ⅱ種、若しくはⅣ種、ＪＩＳ　Ａ６２０６による高炉スラグ微粉末、ＪＩＳ　Ａ６２０７によるシリカフューム又はＪＩＳ　Ａ６２０２による膨張材とする。）

⑳ **コンクリート強度試験** [6．9．3]

※調合管理強度の管理試験、構造体コンクリートの材齢２８日圧縮強度の推定試験及び構造体コンクリートの材齢２８日を超え９１日以内の圧縮強度の推定試験は公的機関において行う。

① **木材の寸法表記** [4．1．3]

本設計図において用いる、木材の断面を表示する寸法は、仕上り寸法とする

② **木材の含水率の表記**

本設計図において用いる、木材の含水率は、表記された数値以下の値とする

③ **ホルムアルデヒド** [4．1．4]

ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

④ **防腐・防蟻処理** [4．2．1~3]

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	薬材の加圧注入			薬剤の塗布等
・	・Ｋ２	・Ｋ３	・Ｋ４　・	・行う
・	・Ｋ２	・Ｋ３	・Ｋ４　・	・行う

インサイジング　・適用する　・適用しない

・薬剤塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	薬剤の種類	処理の方法
・	※図示　・	※4.2.1(ウ)(b)による　・
・		・

・薬材の接着剤への混入による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
・	・
・	・

・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入（K3）による防腐・防蟻処理　適用部位　※図示　・
・地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理
　適用は木造標準仕様書　・4.2.2(ア)による　・4.2.2(イ)による
　配筋　・図示　・

・地盤の土壌の防蟻処理
　使用する薬剤　有効成分の系統（　　）　剤型の種類　・液剤　・粒剤
　処理方法及び使用量　・帯状散布（帯状の幅：約20cm）　液剤：処理長さ１L/m　粒剤（　　）
　・面状散布　液剤：３L/m2　粒剤（　　）

⑤ **防腐措置** [4．2．4]

◉基礎外周部の換気孔
　◉ねこ土台　材質等（　　）
　・換気孔　材質等（※防鼠スクリーン又は防虫網　　）

◉小屋裏換気　・4.2.4(3)(a)　・4.2.4(3)(b)　◉4.2.4(3)(c)
　・4.2.4(3)(d)　・4.2.4(3)(e)
　換気孔の大きさ　※図示　・

⑥ **防火被覆処理** [4．3．1~4]

・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法
　（　　）

防火被覆の材料及び工法
・防火被覆の材料
　・図示による　・
・防火被覆の厚さ
　・図示による　・
・防火被覆の留付け材の種類
　・図示による　・
・防火被覆の留付け間隔
　・図示による　・
・防火被覆の下地材への留付け長さ
　・図示による　・
・防火被覆の下地材への端あき距離
　・図示による　・
・防火被覆の下地材への接着剤の使用
　・使用する　・使用しない
・防火被覆の目地等の処理方法
　・図示による　・
・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理
　・図示による　・
・防火被覆処理部への二次部材の取付け
　防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理
　・図示による　・
　防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理
　・図示による　・

燃えしろ層の工法
・燃えしろ層の厚さ
　・図示による　・
・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理
　・図示による　・
・接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理
　・図示による　・
・燃えしろ層への二次部材の取付け
　燃えしろ層の配管等貫通部処理
　・図示による　・
　燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理
　・図示による　・

不燃処理木材等
　・図示による　・

5 軸組構法（壁構造系）工事

1 **共通材料** [5．2．2~3]

軸組構法（壁構造系）工事に使用する木材は、使用材料表１による
軸組構法（壁構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表２による

2 **接合金物・接合具等** [5．2．4] [5．5．7] [5．5．9] [5．5．10~13]

・接合金物
・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物

種類	Z、C、χ、D、S マークの規格	短期許容耐力(kN)	その他
・火打金物			
・筋かいプレート			
・引き寄せ金物			
・梁受け金物			
・			
・			

Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物
　※図示

・釘及び木ねじ
・釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘

種類	材質	その他
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製	

・木ねじ（JIS B 1112又はJIS B 1135）、その他の木ねじ

種類	材質	その他
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135

・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金
・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物

種類	Z、C、χ、D、S マークの規格	その他
・アンカーボルト		
・六角ボルト		
・座金		

Z、C、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物
　※図示
ボルト、ナット及び座金
　材料　※木造標準仕様書表5.2.2による
　寸法　※図示
　座金の種別　・引張り応力を受ける座金　木造標準仕様書表5.2.3（　）種
　　・せん断応力を受ける座金　木造標準仕様書表5.2.4（　）種
　表面処理　※図示

アンカーボルト、ナット及び座金
　材質　※図示
　寸法　※図示
　座金の種別　・引張り応力を受ける座金　木造標準仕様書表5.2.3（　）種
　　・せん断応力を受ける座金　木造標準仕様書表5.2.4（　）種
　表面処理　※図示

・ラグスクリュー
・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物

種類	Z、C、χ、D、Sマークの規格	その他
・ラグスクリュー		
・		

・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー
　※図示

・ドリフトピン

種類	材質等	径・寸法等	表面処理
・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼	
・			

・木栓及び木だぼ

種類	樹種	形状・長さ等	その他
・木栓			
・木だぼ			

・接着剤
　・床鳴り防止用接着剤　接着剤の種類（床根太用接着剤JIS A 5550）　種類（　　）
　・接着剤による接合　接着剤の種類　・
　・接着剤を併用した接合　接着剤の種類　・

3 **仕口及び継手の工法** [5．4．2]

・仕口及び継手の工法　※図示

4 **孔あけ加工** [5．4．3]

ボルト孔の径　※木造標準仕様書表5.4.2による　・図示
ドリフトピンの孔径　※ピン径と同径　・図示

5 **木材の表面仕上げ** [5．4．4] [18．3．2]

見え掛り面の表面の仕上げの程度
・製材
　・機械加工　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
　・手加工　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種　・Ｈ－Ｃ種
・構造用集成材
　・機械加工　・Ａ種　※Ｂ種
・丸太材
　・機械加工　・Ａ種　・Ｂ種
　・手加工　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種
・木材保護塗料塗り
　施工箇所　※図示
　種別　・Ａ種　※Ｂ種

6 **アンカーボルトの設置等** [5．5．3]

埋め込み深さ　※図示　・
保持、埋込み工法　・Ａ種　・Ｂ種
埋込み位置の許容誤差　※±5mm　・図示

7 **基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ** [5．5．4]

材料　・木造標準仕様書５．５．４（イ）による　・無収縮モルタル
・モルタルの厚さ　※20mm程度　・図示

8 **建方精度** [5．5．6]

建入れ直し後の建方精度の許容値　※1/1000以下　・図示

6 軸組構法（軸構造系）工事

① **共通材料** [6．2．2~3]

軸組構法（軸構造系）工事に使用する木材は、使用材料表３による
軸組構法（軸構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表４による

② **接合金物・接合具等** [6．2．4] [6．5．10~14]

・接合金物
・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物

種類	Z、C、χ、D、S マークの規格	短期許容耐力(kN)	その他
◉火打金物	Z、C、D、S		
◉筋かいプレート	Z、C、D、S		
・引き寄せ金物			
・梁受け金物			
・			

Z、C、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物
　※図示

・釘及び木ねじ
・釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘

種類	材質	その他
◉鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
◉太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製	

・木ねじ（JIS B 1112又はJIS B 1135）、その他の木ねじ

種類	材質	その他
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135

・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金
・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物

種類	Z、C、χ、D、S マークの規格	その他
◉アンカーボルト	Z、C、D、S	
◉六角ボルト	Z、C、D、S	
◉座金	Z、C、D、S	

Z、C、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。

・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物
　※図示
ボルト、ナット及び座金
　材料　※木造標準仕様書表6.2.2による
　寸法　※図示
　座金の種別　・引張応力を受ける座金　木造標準仕様書表6.2.3（　）種
　　・せん断応力を受ける座金　木造標準仕様書表6.2.4（　）種
　表面処理　※図示

アンカーボルト、ナット及び座金
　材質　※図示
　寸法　※図示
　座金の種別　・引張応力を受ける座金　木造標準仕様書表6.2.3（　）種
　　・せん断応力を受ける座金　木造標準仕様書表6.2.4（　）種
　表面処理　※図示

・ラグスクリュー
・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物

種類	Z、C、χ、D、Sマークの規格	その他
・ラグスクリュー		
・		

・Z、C、χ、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー
　※図示

・ドリフトピン

種類	材質等	径・寸法等	表面処理
・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼	
・			

・木栓及び木だぼ

種類	樹種	形状・長さ等	その他
・木栓			
・木だぼ			

◉接着剤
　◉床鳴り防止用接着剤　接着剤の種類（床根太用接着剤JIS A 5550）　種類（　　）
　・接着剤による接合　接着剤の種類　・
　・接着剤を併用した接合　接着剤の種類　・

3 **現寸図** [6．4．2]

床書き現寸図　・作成する

4 **孔あけ加工** [6．4．5]

ボルト孔の径　※木造標準仕様書表6.4.1による　・図示
ドリフトピンの孔径　※ピン径と同径　・図示

⑤ **木材の表面仕上げ** [6．4．6]

見え掛り面の表面の仕上げの程度
・構造用集成材
　・機械加工　・Ａ種　※Ｂ種
・製材
　・機械加工　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
　・手加工　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種　・Ｈ－Ｃ種
・木材保護塗料塗り
　施工箇所　※図示　・
　種別　・Ａ種　※Ｂ種

⑥ **アンカーボルトの設置等** [6．5．3]

埋込み深さ　※図示　・
保持、埋込み工法　◉Ａ種　・Ｂ種
埋込み位置の許容誤差　※±5mm　・図示

⑦ **基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ** [6．5．4]

材料　・（６．５．４）（ア）による　◉無収縮モルタル
・モルタルの厚さ　※20mm程度
工法　・Ａ種　※Ｂ種

⑧ **建方精度** [6．5．7]

建入れ直し後の建方精度の許容値　※1/1000以下　・図示

⑨ **接合金物の工法** [6．5．9]

熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱
　・埋め木
　・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材（JIS A 9526）

10 **輪型ジベル** [6．5．15]

種類、材質、形状、寸法　・図示　・

11 **圧入型ジベル** [6．5．16]

種類、材質、形状、寸法　・図示　・

12 **火打土台** [6．6．2]

木材の火打土台　・適用する
鋼製火打土台　・適用する

⑬ **火打梁** [6．7．8] [6．8．6]

小屋組　木製の火打梁　◉適用する
　　鋼製の火打梁　・適用する
床　組　木製の火打梁　・適用する
　　鋼製の火打梁　・適用する

⑭ **床束** [6．8．2]

	床荷重条件	性能	仕様	設置方法
◉鋼製床束				
・樹脂製床束				

7 枠組壁工法工事

1 **共通材料** [7．2．2，3]

枠組壁工法工事に使用する木材等は、使用材料表５による

2 **接合具・接合金物等** [7．2．4] [7．5．8]

・釘及び木ねじ
・釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘

種類	材質	その他
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製	

・木ねじ（JIS B 1112又はJIS B 1135）、その他の木ねじ

種類	材質	その他
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112
・ドリリングタッピングねじ	ステンレス製	JIS B 1125

・接合金物
・C、Z、χ、D、Sマーク表示金物

種類	C、Z、χ、D、S マークの規格	短期許容耐力(kN)	その他
・引き寄せ金物			
・梁受け金物			

C、Z、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・C、Z、χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物
　※図示

・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金
・C、Z、χ、D、Sマーク表示金物

種類	C、Z、χ、D、S マークの規格	その他
・アンカーボルト		
・六角ボルト		
・座金		

C、Z、χ、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・C、Z、χ、D、Sマーク表示金物以外の接合金物
　※図示
ボルト、ナット及び座金
　材料　※木造標準仕様書表7.2.4による
　寸法　※図示
　座金の種別　・引張り応力を受ける座金　木造標準仕様書表7.2.4（　）種
　　・せん断応力を受ける座金　木造標準仕様書表7.2.5（　）種
　表面処理　※図示

アンカーボルト、ナット及び座金
　材質　※図示
　寸法　※図示
　座金の種別　・引張り応力を受ける座金　木造標準仕様書表7.2.4（　）種
　　・せん断応力を受ける座金　木造標準仕様書表7.2.5（　）種
　表面処理　※図示

・接着剤
　・床鳴り防止用接着剤　接着剤の種類（床根太用接着剤JIS A 5550）　種類（　　）
　・接着剤による接合　接着剤の種類　・
　・接着剤を併用した接合　接着剤の種類　・

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事		No. A-02	YONEYAMA 1級建築士事務所 一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12445号 1級建築士(大臣)第88498号 米山敏夫 〒703-8245 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL:086-273-6969 FAX:086-273-4020
図面名	木造建築工事特記仕様書２	縮尺		
岡山市　都市整備局　住宅・建築部　公共建築課		令和０７年０２月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

3 アンカーボルトの設置等
(7．5．3)
埋込み深さ　・　・図示
保持、埋込み工法　・Ａ種　・Ｂ種
埋込み位置の許容誤差　※±5mm　・図示

4 基礎天端均しモルタルの仕上げ
(7．5．4)
無収縮モルタル　・適用する
モルタルの厚さ　※20mm程度

5 釘及び木ねじの工法
(7．5．6)
枠組材相互の釘打ち

釘の打ち方	釘の種類	間隔
・木口打ち	※ＣＮＺ９０　・	
・斜め打ち	※ＣＮＺ７５　・	
・平打ち	※ＣＮＺ９０　・	
・		

床材、壁材又は屋根下地材と枠組材との釘打ち

施工箇所	釘の打ち方	釘の種類	間隔
床材		※ＣＮＺ６５　・	
屋根下地材		※ＣＮＺ６５　・	
壁材		・	

6 床束
(7．　．2)

	床荷重条件	性能	仕様	設置方法
・鋼製床束				
・樹脂製床束				

8 丸太組構法工事

1 共通材料
(8．2．2、3、4)
丸太組壁用に使用する木材は、使用材料表６による
丸太組壁以外に使用する木材は、使用材料表６による
丸太組構法工事に使用する構造用面材は、使用材料表７による

2 接合金物・接合具等
(8．2．5)
・接合金物
・Ｍ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物

種類	Ｍ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他
・支柱高さ調整金物			

Ｍ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・Ｍ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物以外の接合金物
　※図示

・だぼ
・Ｚマーク表示金物

種類	Ｚマークの規格等	その他
・ラグスクリューだぼ		

・Ｚマーク表示金物以外のだぼ
　※図示

・ジャッキボルト

種類	材質等	寸法・形状	表面処理
・	・SS400	※図示　・	
・	・	※図示　・	

・垂木用スライド金物

種類	材質等	寸法・形状	表面処理
・	・SS400	※図示　・	
・	・	※図示　・	

・釘及び木ねじ
・釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘

種類	材質	その他
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製	

・ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金
・Ｍ、Ｚマーク表示金物

種類	Ｍ、Ｚマークの規格	その他
・アンカーボルト		
・座金		

Ｍ、Ｚマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・Ｍ、Ｚマーク表示金物以外の接合金物
　※図示
ボルト、ナット及び座金
　材料　※木造標準仕様書表8.2.6による
　寸法　※図示
　座金の種別　・引張り応力を受ける座金　木造標準仕様書表8.2.7（　）種
　　・せん断応力を受ける座金　木造標準仕様書表8.2.8（　）種
　表面処理　※図示

アンカーボルト、ナット及び座金
　材質　※図示
　寸法　※図示
　座金の種別　・引張り応力を受ける座金　木造標準仕様書表8.2.7（　）種
　　・せん断応力を受ける座金　木造標準仕様書表8.2.8（　）種
　表面処理　※図示

・通しボルト、高ナット及び座金
・Ｍマーク表示金物

種類	Ｍマークの規格	その他
・通しボルト		

Ｍマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・Ｍマーク表示金物以外の接合金物
　※図示

・接着剤
　・床鳴り防止用接着剤　接着剤の種類（床根太用接着剤JIS A 5550）　種類（　　）

・機械加工
　断面形状　木造標準仕様書図8.4.1による　・(イ)　・(ロ)　・(ハ)　・(ニ)
　実形状　※製造所の仕様　・図示
　見付高さ、重なり幅、部材幅　※図示

3 断面加工
(8．4．2)

4 交差部形状加工
(8．4．3)
交差部の位置、形状　※製造所の仕様
交差部が壁面から200mm未満の場合の補強方法　※図示

5 孔あけ加工
(8．4．4)
ボルト孔の径　※木造標準仕様書表8.4.4　・図示
ドリフトピンの孔径　※ピン径と同径　・図示

6 仕口及び継手
(8．4．6、7)
・丸太組壁用木材に設ける継手の方法　※木造標準仕様書8.4.7(2)　・図示
・丸太組壁以外に用いる仕口、継手
　工法　※図示

7 木材の表面仕上げ
(8．4．5~6)
丸太組壁用木材
　・表面仕上げ
　　・機械加工　※自動機械かんな掛け仕上げ　・図示
　　・手加工　※ちょうな、曲面かんな又はディスクサンダー掛け　・図示
　・木材保護塗料塗り
　　施工箇所　※図示　・
　　種別　・Ａ種　・Ｂ種
丸太組壁以外に用いる木材の表面仕上げ
　・構造用集成材
　　・機械加工　・Ａ種　※Ｂ種
　・製材
　　・機械加工　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
　　・手加工　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種　・Ｈ－Ｃ種
　・丸太材
　　・機械加工　・Ａ種　・Ｂ種
　　・手加工　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種
　・木材保護塗料塗り
　　施工箇所　※図示　・
　　種別　・Ａ種　※Ｂ種

8 仮組立
(8．4．9)
※適用する

9 アンカーボルトの設置等
(8．5．3)
埋込み深さ　・　・図示
保持、埋込み工法　・Ａ種　・Ｂ種
埋込み位置の許容誤差　※±5mm以下　・（　　）

10 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ
(8．5．4)
無収縮モルタル　・適用する
モルタルの厚さ　※20mm程度

11 通しボルトの増締め
(8．5．7)
・木造標準仕様書8.5.7(9)(イ)の工法　・図示
・木造標準仕様書8.5.7(9)(ウ)の（a）～（c）以外の時期に増締めを行う時期
（　　）

12 ｼﾞｬｯｷﾎﾞﾙﾄの増締め
(8．5．8)
・木造標準仕様書8.5.8(2)の(ア)～(ウ)以外の時期に増締めを行う時期
（

13 火打土台
(8．6．2)
木材の火打土台　・適用する
鋼製火打土台　・適用する

14 火打梁
(8．7．9)
(8．8．6)
小屋組　木製の火打梁　・適用する
　　鋼製の火打梁　・適用する
床　組　木製の火打梁　・適用する
　　鋼製の火打梁　・適用する

15 床束
(8．8．2)

	床荷重条件	性能	仕様	設置方法
・鋼製床束				
・樹脂製床束				

16 屋外建具の取り付け
(8．9．9)
両面粘着防水テープの幅　・50mm以上　・

9 ＣＬＴパネル工法工事

1 木材
(9．2．2)
ＣＬＴパネル工法工事に使用する木材は、使用材料表8による

2 接合金物
(9．2．3)
χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物

種類	χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他
・引張金物			
・せん断金物			

χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物に付属する接合具も含む。

2 釘及び木ねじ
(9．2．3)(9．5．10)
釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘

種類	材質	その他
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄	
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製	

木ねじ（JIS B 1112又はJIS B 1135）、その他の木ねじ

種類	材質	その他
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135

3 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金
(9．2．3)(9．5．11)
χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物

種類	χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマークの規格	その他
・アンカーボルト		
・座金		

χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物に付属する接合具も含む。
・χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物以外の接合金物
　※図示
ボルト、ナット及び座金
　材料　※図示
　形状　※図示
　寸法　※図示
　表面処理　※図示
アンカーボルト、ナット及び座金
　材料　※図示
　形状　※図示
　寸法　※図示
　表面処理　※図示

4 ラグスクリュー
(9．2．3)(9．5．12)
χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物

種類	χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマークの規格	その他
・ラグスクリュー		
・		

・χ、Ｚ、Ｃ、Ｄ、Ｓマーク表示金物以外のラグスクリュー
　※図示

5 ドリフトピン
(9．2．3)(9．5．13)
ドリフトピン

種類	材質等	径・寸法等	表面処理
・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼	
・			

6 接着剤
(9．2．3)
・床鳴り防止用接着剤
　接着剤の種類（床根太用接着剤JIS A 5550）　種類（　）
・接着剤による接合　接着剤の種類（　）
・接着剤を併用した接合　接着剤の種類（　）

7 孔あけ加工
(9．4．4)
ボルト孔の径　※木造標準仕様書表9.4.1による
　　・図示
ドリフトピンの孔径　※ピン径と同径　・図示

8 表面の仕上げ
(9．4．5)
[18．13．2]
表面仕上げの程度
　・ＣＬＴパネル　※Ａ種　・Ｂ種
・木材保護塗料塗り
　施工箇所　※図示
　種別　・Ａ種　・Ｂ種

9 アンカーボルトの設置
(9．5．3)
埋込み深さ　・　・図示
保持及び埋込み工法　・Ａ種　・Ｂ種（土台を設ける場合）
埋込み位置の許容誤差　・±２mm　・±５mm（土台を設ける場合）

10 基礎天端均しモルタルの仕上げ
(9．5．4)
材料　・木造標準仕様書9.5.4(7)による　・無収縮モルタル
モルタルの厚さ　※図示

11 建方精度
(9．5．7)
建入れ直し後の建方精度の許容値
　※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ床及び壁の天端の平坦さ±３mm以下
　・図示

12 接合金物の工法
(9．5．9)
熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱
　・埋め木
　・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材
　・（　）

13 釘及び木ねじの工法
(9．5．10)
構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち
　・隠し釘打ち　・釘頭埋め木
　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
木ねじの留付け
　※木ねじ頭埋め木

10 木工事

1 表面の仕上げ
(10．1．3)
・見え掛り面の表面の仕上げの程度
製材
　・機械加工　（・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種）
　・手加工　※内部造作材、外部造作材はＨ－Ｂ種、下地材はＨ－Ｃ種
　　・Ｈ－Ａ種　・Ｈ－Ｂ種　・Ｈ－Ｃ種
造作用集成材
　・機械加工　（・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種）

2 共通材料
(10．2．2~3)
木工事に使用する木材は、使用材料表９による
木工事に使用する合板等は、使用材料表１０による

3 接合具等
(10．2．4)
・釘
　・ＪＩＳに規定されている釘以外の釘
　・材質　・
　・寸法、形状　※図示
・造作材化粧面の釘打ち
　※隠し釘打ち　・釘頭埋め木
　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
・木ねじ
　・ＪＩＳに規定されている木ねじ以外の木ねじ
　・材質　・
　・寸法、形状　※図示
・接着材料
　接着剤は、可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。
　ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

4 木材の耐候性処理
(10．3．1)
[18．13．2]
屋外に使用する仕上げ木材
　・木材保護塗料塗り
　　施工箇所　※図示　・
　　種別　・Ａ種　・Ｂ種

5 木材の防虫処理
(10．3．2)
施工箇所　※図示　・
処理方法　※図示　・

6 各種回り
(10．4．1~10．10．7)
樹種及び寸法　・図示　・
各種回りの工法は、木造標準仕様書の当該項目による

11 防水工事

1 ＦＲＰ系塗膜防水
(11．2．2、4)
・ルーフドレン
　・ＦＲＰ系塗膜防水用ルーフドレン　・鋳鉄製
・オーバーフロー管
　※つば付き　製造所の指定する製品
・下地合板の上の防火板
　種類　（※ケイ酸カルシウム板　・　　）
　厚さ　（※10mm　・　　）

防火層平場の勾配　※1/100以上　・

・水張り試験　・行う

2 シーリング
(11．3．2)
下表以外は、木造標準仕様書表 11.3.1による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法　※木造標準仕様書11.3.3(1)～(2)による　・

3 防水テープ
(11．4．2)
両面粘着防水テープの幅　※50mm以上　・

4 バルコニー手すり
(11．4．3)
バルコニー手すり
　※木造標準仕様書11.4.3(ケ)①～⑤による
　　固定方法　※図示
　　手すりのアルミニウム笠木
　　材料　・
　　仕上げ　・
　・図示

5 ケイ酸質系塗布防水
[9．6．1]
防水種別　※Ｃ－ＵＩ　・Ｃ－ＵＰ
施工箇所

12 石工事

1 石　材
[10．2．1]
種類　※天然石　・人工石
品質　※１等品（床以外）　※２等品（床）
形状、寸法、厚さ及び割付　※図示
石材の種類及び表面仕上げ　表10．2．1~2

施工箇所	種類（産地、名称）	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無

2 取付け金物
[10．2．2]
乾式工法用金物の種類　・スライド方式　・ロッキング方式　表10．2．4

3 その他の材料
[10．2．3]
取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料、浸透性給水防水材　※専門工事業者の指定する製品　・

13 タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
[11．1．3]
位置　※標準仕様書表11.1.1による　・図示

2 見本焼、試験施工
[11．1．4]
見本焼き　・行う　※行わない
試験張り　・行う　※行わない

3 セメントモルタルによるタイル張り
[11．2．2~6]
タイルの形状、寸法等　(11.2.2、3、7)

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	高圧洗浄	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
床	150×150	○				○	○		○					○	

耐滑り性：JIS A 1509-12（セラミックタイル試験方法-第12部：耐滑り性試験方法）で規定するC.S.R値は0.4~1.0とする。
標準的な曲がりの役物は一体成形とする

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理の方法　・MCR工法　・目荒し工法（高圧洗浄）
壁タイル張りの工法
　内外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
　内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・既調合モルタル　※既調合モルタルの製造所の仕様による

4 有機系接着剤によるタイル張り
[11．3．2~5]
タイルの形状、寸法等　(11.3.2、3、7)

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	高圧洗浄	耐凍害性 有	無	滑り抵抗性	備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

有機系接着剤のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆　・
目地のシーリング材
　打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材
　ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材
　伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング材
　その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理　・ＭＣＲ工法　・目荒し工法（高圧洗浄）・

14 屋根及びとい工事

1 共通材料
(14．2．2)
下葺材料
　※改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ）
　・アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策　・行う

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				Ｎｏ． A-03	YONEYAMA 1級建築士事務所 一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12545号 1級建築士(大臣)第58499号 米山敏夫 〒703-8246 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL086-273-6969 FAX086-273-4020
図面名	木造建築工事特記仕様書３			縮尺		
岡山市	都市整備局　住宅･建築部　公共建築課			令和０７年０２月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図 / 製図
					米山	米山 / 米山

② 金属板葺 (14. 3. 2)

板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質
※ JIS G 3322の屋根用コイル ・			・平葺（一文字葺） ・心木あり瓦棒葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ⊙立平葺	

心木の防腐・防蟻処理方法（　　　　　　　　）
・平葺（一文字葺）の工法
　はぜの作り方　※ 図示
・心木あり瓦棒葺の工法
　銅板以外の板による屋根一般部分の工法
　　溝板及びキャップの留付け方法　※ 木造標準仕様書14.3.5(3)(ｱ)(c)による

　　瓦棒の間隔　※ 図示
　銅板による屋根一般部分の工法
　　瓦棒の間隔　※ 図示
・心木なし瓦棒葺の工法
　屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部
　　・雨押えを付ける場合
　　　※木造標準仕様書14.3.6(ｵ)(a)による
　　・雨押えを用いない場合
　　　※木造標準仕様書14.3.6(ｵ)(b)による
工法
　1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法とし、
　施工計画書として提出する
　雪止め　・設置する（施工箇所　※図示　・　　　　）

3 折板葺 (14. 4. 2)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形			（　）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し

材料　板及びコイルの種類（　　　　　　　）
　　塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　　　　　　）
断熱材張り　・行う（断熱材の種別：　　　　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
　　　　　　・行わない
タイトフレームを留め付ける下地材

材質	形状	寸法

工法
　1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
　・適用する　　・適用しない

4 粘土瓦棒 (14. 5. 2)

種類 形状による区分	製法による区分	寸法による区分	役物 軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止瓦	大きさ	産地等
・J形瓦			・	・	・	・	・	・	※図示	
・S形瓦			・	・	・	・	・	・		
・F形瓦			・	・	・	・	・	・		

補強用心木の防腐・防蟻処理方法（　　　　　　　　）

瓦緊結用釘又はねじ

種類	材質等	径及び長さ
・瓦緊結用釘	ステンレス製	
・瓦緊結用ねじ	ステンレス製	

棟補強用金物等

種類	材質等	形状、寸法及び留付け方法
・棟補強用金物	ステンレス製又は溶融亜鉛	
	めっき処理を行った鋼製	

工法
　1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　瓦の緊結方法等工法　※図示による
　瓦桟木の留付け工法　※図示　・
　雪止め　・設置する（施工箇所　※図示　・　　）
　棟の工法　※木造標準仕様書14.5.3(5)(ア)～(エ)までによる　・

面戸、省口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
　・モルタル
　・瓦葺き用しっくい

5 スレート瓦 (14. 6. 2)

種類	寸法(mm)	役物 棟	けらば	着色（色調）	備考
・平形		・	・	・無　・有（　　　）	
・波形		・	・	・無　・有（　　　）	

工法
　1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法とし、
　施工計画書として提出する
　雪止め　・設置する（施工箇所　※図示　・　　　　）

6 ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ葺 (14. 7. 2)

品質	形状	色調	寸法(mm)	備考

工法
　1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法とし、
　施工計画書として提出する
　雪止め　・設置する（施工箇所　※図示　・　　　　）

⑦ とい (14. 8. 2)

といの材料
・金属板（銅板を除く。）
　種類　※木造標準仕様書表14.8.1（　　　　　　　）
　板厚
・谷どい
　種類　※木造標準仕様書表14.8.1（　　　　　　　）
　板厚
・銅板
　板厚　※一般部0.35mm、谷どい部0.4mm

⊙硬質塩化ビニル樹脂製
　種類（　　　　　　）
　外径（　　　　　　）
　厚さ（　　　　　　）
　長さ（　　　　　　）

とい受金物
　材種　・溶融亜鉛めっきを行った鋼板製　・銅板製
　形状　⊙市販品（とい径100以下）　・25×4.5以上
足金物
　材種　・溶融亜鉛めっきを行った鋼板製　・銅板製

多雪地域　・適用する　・適用しない
硬質塩化ビニル製集水器の形状　・図示
硬質塩化ビニル製あんこうの形状　・図示

8 たてどいの床及び天井面との取合い部 [13. 5. 2~3]

防露を行う場合，バンド（ステンレス鋼帯ＳＵＳ304　厚さ0.2mm）で被覆する
高さ（mm）　床　※150
　　　　　　天井　※30
防露を行わない場合，シーリングプレート（ステンレス製）を取付ける（床・天井）

⑮ 金属工事

① ステンレスの表面仕上げ [14. 2. 1]

種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※ ＨＬ程度	スロープ手すり
・ 鏡面仕上げ	
・ No.2B 程度	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 [14. 2. 1]

種別	色合等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

③ 鉄鋼の亜鉛めっき [14. 2. 2]

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	屋外鉄骨階段
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

亜鉛めっき面の試験　※行う（付着量試験）　・行わない

⑯ 左官工事

1 共通材料 [15. 2. 4、5]

・ラス
　素材による区分　・
　種類　・
　単位面積当たりの質量　・
・木質系セメント板
　・木毛セメント板　・ＨＷ　・ＭＷ　・ＮＷ　厚さ（　　　）mm

2 ラス下地 [15. 2. 4]

ラス系下地の種類及び材料
　・直張りラスモルタル下地（材料　・　　　　　　　　　）
　・直張りラスシートモルタル下地（材料　・　　　　　　　）
　・二層下地通気構法（材料　・波形ラス(W700)　・こぶラス(K800)　・力骨付きラス(BP700)）
　　換気口部の措置　※木造標準仕様書11.4.3(2)(ク)による　・
　・単層下地通気構法（材料　・リブラスＣ(RC800)に裏打ち材と一体化したラス　）

③ モルタル塗り [15. 3. 2、5]

モルタル　※現場調合材料　・既調合材料（材料：　　　　）
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　　　）　形状（※図示　・　　　　）
　　　　　　⊙設けない
床の目地　・設ける　目地割り　※２㎡程度、最大目地間隔３m程度　・
　　　　　　　　　種類　※押し目地　・
　　　　　⊙設けない

④ 床コンクリートの直均し仕上げ [6. 2. 5] [15. 4. 2]

下表以外は標準仕様書6.2.5及び15.4.2 による

平たんさ(mm)	施工箇所
・a種	
・b種	
・c種	

5 セルフレベリング材塗り [15. 5. 2]

標準塗厚(mm)　※10mm程度　・

6 仕上塗材仕上げ [15. 6. 2]

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(15.5.2)
　※F☆☆☆☆　・

仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材　表15. 6. 1~2

呼び名	仕上げの形状	工法
・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	吹付け

・厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材
・外装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・行う ・行わない

・複層仕上げ塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性 ・　　）		
・複層塗材ＣＥ ・複層塗材ＲＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	・溶媒系 ・弱溶媒系 ※水系	※アクリル系（耐候性３種） ・ポリウレタン系（耐候性２種） ・アクリルシリコン系(耐候性１種) ・ふっ素系（耐候性１種）	※つやあり ・つやなし

・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法
・吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする　・図示による

7 しっくい塗り [15. 10. 2、3]

材料
　・既調合しっくい（種類等　　　　　　　　　　）
　　色しっくい　・適用する　・適用しない
　・現場調合しっくい
下地
　木ずり下地（調合及び各層の塗厚　※標準仕様書表15.10.3による　・　　　　）
　こまい壁下地（調合及び各層の塗厚　※標準仕様書表15.10.4による　・　　　　）
　せっこうラスボード（調合及び各層の塗厚　・　　　　）
　せっこうボード（調合及び各層の塗厚　・　　　　）

8 こまい壁塗り [15. 11. 2、5、7、8]

のりの種類
　・土壁用ののり　・ふのり　※つのまた　・ぎんなんそう
　・砂壁用ののり　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり
　　　　　　　　　・にかわ　・合成樹脂系混和剤
色土
　・土物仕上げに用いる色土の種類　・
　・大津仕上げに用いる色土の種類　・
色砂の種類
　・天然砂と岩石の砕砂
　・人工的に着色、製造したもの
下塗りの調合　※標準仕様書表15.11.2による　・
塗厚　※標準仕様書表15.11.8による　・
こまい壁塗りの工程種別　※Ａ種　・Ｂ種
土物仕上げの工法
　種類　・土物仕上げ工法
　　　　　・水ごね土物１工法　・水ごね土物２工法
　　　　　・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
　　　　・砂壁仕上げ工法
　　　　・切返し仕上げ工法
大津仕上げの工法
　種類　・普通大津仕上げ工法
　　　　・大津みがき仕上げ工法

⑰ 建具工事

1 防火戸 [16. 1. 3]

・適用する　指定箇所（・建具表　・平面図　・　　　　）
　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
　扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

② 建具見本の製作 [16. 1. 4]

※製作しない　・製作する

3 防犯建物部品 [16. 1. 6]

・適用する　適用箇所（・建具表　・平面図　　　　）

④ アルミニウム製建具 [16. 2. 2~5]

外部に面する建具の性能等級等　表16. 2. 1

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地 ・Ａ種	⊙Ｂ種	・Ｃ種	木下地 ・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	・Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	・Ａ－３		・Ａ－４	・Ａ－３	
水密性	・Ｗ－４		・Ｗ－５	・Ｗ－３	
枠見込み(mm)	・７０　・１００ ⊙ 建具表		・100　・	・	・
表面処理	種別（　　　）種 色合等　※標準色（　　　）・特注色（　　　）				

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級(G)　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※図示　・

網戸等

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

5 樹脂製建具 [16. 3. 2~5]

外部に面する建具の性能等級等　表16. 3. 1

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地 ・Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種	木下地 ・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	・Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	・Ａ－４				
水密性	・Ｗ－４	・Ｗ－５		・Ｗ－３	
枠見込み	※建具表による　・				
表面色	※標準色（　　　）・特注色（　　　）				

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級(G)　・Ｈ－４　・Ｈ－５　・Ｈ－６　・Ｈ－７　・Ｈ－８

網戸等

種類	材質	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５mm以上	１６～１８メッシュ
・防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）	１．５mm	網目寸法　ピッチ１５mm

水切り板、ぜん板　※図示　・

6 鋼製建具 [16. 4. 2~4、6]

簡易気密型ドアセット　気密性の等級　・Ａ－３
　　　　　　　　　　　水密性の等級　・Ｗ－１
外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級(G)　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
鋼板類の厚さ　※標準仕様書表16.4.2による　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
　　　　扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

7 鋼製軽量建具 [16. 5. 2~4、6]

簡易気密型ドアセット　・適用する
外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級(G)　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
　　　　扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う
戸の鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板　(mm)
表16. 5. 1

区分	材質
召合わせ、縦小口包み板	※鋼板　・ステンレス　・アルミニウム
扉の表面材、押縁	※鋼板　・ビニル被覆鋼板
枠類	※鋼板（くつずりはステンレス）　・製作所仕様

8 ステンレス製建具 [16. 6. 2~4]

簡易気密型ドアセット　・適用する
外部に面する建具の耐風圧性　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６　・
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級(G)　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
ステンレス鋼板（屋外）　※ＳＵＳ３０４　・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ＳＵＳ４４３Ｊ１
ステンレス鋼板（屋内）　・ＳＵＳ３０４　・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ＳＵＳ４４３Ｊ１
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（・ａ角　・ｂ角　・ｃ角）

⑨ 木製建具 [16. 7. 2~4]

建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

⊙フラッシュ戸
　表面材の品質等

合板の種類	規格等	備考
・普通合板(G)	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ﾗﾜﾝ合板程度　・　　　） 不透明塗料塗り （※しな合板程度　・　　　） 板面の品質（・広葉樹1等　・　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・天然木 化粧合板	樹種名（　　　　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 （・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装） 表面性能（　　　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・ミディアムデンシティファイバーボード(G)（ＭＤＦ）	表裏面の状態による区分（　　　） 曲げ強さによる区分（　　　） 接着剤による区分（　　　） 難燃性による区分（　　　）	

　表面板の厚さ　※標準仕様書表16.7.6による　・

・かまち戸
　かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
　見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
　張りの種別（・Ｉ型　・Ⅱ型）
　上張り　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度　押入等の裏側は雲花紙程度
　縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
　見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
枠、くつずりの材料　・建具表による　・

⑩ 建具用金物 [16. 8. 2~3]

金物の種類・見え掛り部の材質等
　※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※標準仕様書表16.8.2による　・
樹脂製建具に使用する丁番　※標準仕様書表16.8.3による　・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※標準仕様書表16.8.4による　・
木製建具に使用する戸車及びレール丁番　※標準仕様書表16.8.5による　・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置　・建具表による　・

⑪ 鍵 [16. 8. 4]

マスターキー　・製作する（　　組）　⊙製作しない　・既存に組込む
鍵箱　・設ける（　　個用　　組）⊙設けない

12 自動ドア開閉装置 [16. 9. 2~3]

自動ドア	性能	防錆	引き戸用検出装置の種類	凍結防止
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※標準仕様書表16.9.1による ・	・適用する ・適用しない	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ(・無線式　・光線式) ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用便房スイッチ ・大形(開・閉)押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ ・非接触ｽｲｯﾁ	・行う （適用箇所は建具表による） ・行わない
・SWD-1 ・SWD-2	※標準仕様書表16.9.2による ・			
・図示	・			

13 自閉式上吊り引戸装置【16. 10. 3】

性能等　※標準仕様書 表16.10.1による

14 重量シャッター【16. 11. 2~5】

種類　・管理用　・外壁用防火　・屋内用防火　・防煙
防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　　　　）Pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
管理用シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない
障害物感知装置　※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板　※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　　　　　　　　　　　　　　　　　※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

15 軽量シャッター【16. 12. 2~5】

開閉形式　※手動式　・電動式（手動併用）
耐風圧強度（　　　　）Ｎ／㎡
スラットの材質　※ＪＩＳＧ３３１２（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　　　　　　　　　ＪＩＳＧ３３２２（塗装溶融５５％アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
スラットの種類　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
シャッターケース　※設ける　・設けない
ガイドレールの材質　※ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ１．５mm（※中柱共　・　　）
座板（屋外の場合）　※ステンレス製既製品　・
障害物感知装置　※設ける　・設けない

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事		No.	YONEYAMA 1級建築士事務所
図面名	木造建築工事特記仕様書４	縮尺	A-04	一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12645号 1級建築士(大臣)第88498号 米山敏夫 〒703-8246 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL086-273-6969 FAX086-273-4020
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課		令和０７年０２月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

16 オーバーヘッドドア
[16. 13. 2, 3]

セクション材料による区分　※スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　・ファイバーグラスタイプ
風圧力による強さの区分　・１２５　・１００　・７５　・５０
開閉形式による区分　　※バランス式　・チェーン式　・電動式
収納形式による区分　　・スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形　・バーチカル形
ガイドレールの材質　※溶融亜鉛めっき鋼板　　・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ２．０mm
障害物感知装置　※設ける　・設けない

17 ガラス
[16. 14. 2~4]

下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類　※建具表による　・

・合わせガラス

材料板ガラスの種類	組合せ	特性による種類
※フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－１類
	・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅱ－２類　・Ⅲ類
・網入合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－１類
	・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ－２類

・強化ガラス

材料板ガラスの種類	材料板ガラスの種類による名称	特性による種類
※フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類　・Ⅲ類
・型板ガラス	・型板強化ガラス	
・熱線反射ガラス	・熱線反射強化ガラス	

・複層ガラス

種　類	断熱性による区分	日射取得性、日射遮へい性による区分
・Low-E複層ガラス	・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6	・G　・S

・熱線反射板ガラス

材料板ガラスによる種類	色　調
※熱線反射ガラス	・ブルー　　・グレー
・高性能反射板ガラス	・ブロンズ　　・シルバー

種　類	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※熱線反射ガラス	・１種	Ａ種	
・高性能反射板ガラス	・２種	・Ａ種　・Ｂ種	
	・３種	Ｂ種	

反射皮膜面　※内面　・外面
映像調整　※行わない　・行う

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスの種類による名称	性能による種類	色　調
※熱線吸収フロート板ガラス	・１種	・グリーン
・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・２種	・

18 ガラス留め材
[16. 14. 2]

ガラス溝の寸法、形状等
[16. 14. 3]

建具の種類	材　種	ガラス溝の大きさ(mm)
鋼製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・
アルミニウム製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・
ステンレス製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・
木製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・
樹脂製	※シーリング材　・	※建具の製造所の仕様による　・

防火戸のガラスとめ材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

19 ガラスブロック積み
[16. 14. 5]

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調 クリア	色調 乳白	目地幅 (mm) 平積み	目地幅 (mm) 曲面積み	伸縮調整目地 (mm)	防火性能
・正方形	・125ｘ125	80	・	・	※8～15 ・15～25	外側 ※15以下 ・ 内側 ※６以上 ・	※6m以下毎に 10～25 ・図示による ・	※なし ・あり
	・160ｘ160	・95 ・125	・	・				
	・200ｘ200	・95 ・125	・	・				
	・320ｘ320	95	・	・				
・長方形	・250ｘ125	80	・	・				
	・320ｘ160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の１０倍以上とする
壁用金属枠及び補強材　　・設ける　（形状　※図示による　・　　）
力骨　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）径５．５mmはしご形状複筋及び単筋　・
目地部の力骨の納まり　※ガラスブロック製造所の仕様による　・
化粧目地モルタルの色　（　　）
シーリング材　　※表９．７．１による　・
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　・図示による　・
形状　・図示による　・
1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

20 ガラス用フィルム

名　称	張り面	性能値
	・内張り　・外張り	

品質　ＪＩＳ　Ａ５７５９による

21 付属電気設備

自動扉、電動シャッター、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機０．４ＫＷ以上の場合は、
機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び波相用コンデンサーを設置する。

18 塗装工事

1 材料
[18. 1. 3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

2 素地ごしらえ
[18. 2. 2~7]

表18. 2. 1~7

⊙木部　・不透明塗料塗り　（・Ａ種　・Ｂ種）
・透明塗料塗り　（・Ａ種　※Ｂ種）
⊙鉄鋼面　（・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種）
・亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）　（・Ａ種　・Ｂ種）
・ﾓﾙﾀﾙ面及びせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面　（・Ａ種　※Ｂ種）
・ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP以外）及びALCﾊﾟﾈﾙ面　（・Ａ種　※Ｂ種）
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面及びｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP）　（・Ａ種　・Ｂ種）
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が継目処理工法（※Ａ種　・Ｂ種）
・その他の場合　（・Ａ種　※Ｂ種）

3 錆止め塗料塗り
[18. 3. 2, 3]

（表18. 3. 1, 2）（表18. 3. 3, 4）

塗　装　面		塗料の種別	工　程
鉄鋼面	見え掛り部分	SOPの場合　※Ａ種	※Ａ種　・Ｂ種
	見え隠れ部分	DPの場合　※Ｂ種 EP-Gの場合　・Ａ種　※Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOPの場合　※Ａ種	※Ａ種　・Ｂ種
	鋼製建具等以外	DPの場合　※Ｂ種 EP-Gの場合　※Ｃ種	・Ａ種　※Ｂ種

4 仕上げ塗料塗り
[18. 4. 1~18. 12. 2]

塗装の種類	塗装面(塗料の種別)		種別
・合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）	・木部（外部）	※1種　・	※Ａ種・Ｂ種
	・木部（内部）	※1種　・	・Ａ種 ※Ｂ種
	・鉄鋼面	※1種　・	・Ａ種 ※Ｂ種
	・亜鉛めっき鋼面	※1種　・	表18. 4. 3
⊙クリアラッカー塗り（ＣＬ）	木部	・Ａ種 ※Ｂ種	
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）	・屋内のコンクリート面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・屋内のモルタル面	・Ａ種 ※Ｂ種	
⊙耐候性塗料塗り（ＤＰ）	・屋外の鉄鋼面　上塗り等級（　）級	表18. 7. 1	
	⊙屋外の亜鉛めっき鋼面　上塗り等級（　）級	表18. 7. 2	
	・屋外のコンクリート面　上塗り等級（　）級	・Ａ種　・Ｂ種 ・Ｃ種	
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）	・コンクリート面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・モルタル面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・せっこうプラスター面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・せっこうボード面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・屋内の木部	表18. 8. 2	
	・屋内の鉄鋼面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・屋内の亜鉛めっき鋼面	表18. 8. 4	
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）	・コンクリート面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・モルタル面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・せっこうプラスター面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	・せっこうボード面	・Ａ種 ※Ｂ種	
	⊙化粧ケイカル板面	・Ａ種 ※Ｂ種	
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）		・Ａ種 ※Ｂ種	
・ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）	木部	・Ａ種 ※Ｂ種	
・ステイン塗り		・ﾋﾟｸﾞﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り ・ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り（ＯＳ）	
・木材保護塗料塗り（ＷＰ）	木部	・Ａ種 ※Ｂ種	
・マスチック塗材塗り	・コンクリート面	・Ａ種　・Ｂ種	
	・押出成型ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ種　・Ｂ種	
	・モルタル面	・Ａ種　・Ｂ種	
	・ＡＬＣパネル面	・Ａ種　・Ｂ種	

19 内装工事

1 接着剤
[19. 2. 2]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　・
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。

ビニル樹脂系材料の原材料
再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で１５%以上使用されているもの

・ビニル床シート(G)

種類	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	工法
※発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	・プレーン ・マーブル ・特殊柄	※２．０ ・２．５	・突付け ※熱溶接
・発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・プレーン ・マーブル ・柄物	・	・突付け ・熱溶接

・ビニル床タイル(G)

種類	種類の記号	色柄	厚さ (mm)
※接着形	・ＦＴ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	※２．０　・
	・ＴＴ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・
	・ＫＴ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	※２．０　・
※置敷形	・ＦＯＡ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・
	・ＦＯＢ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・

・特殊機能床材（帯電防止）

種類	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
・帯電防止床シート	・ＦＳ ・	・	・２．０ ・	帯電防止性能評価値（ＪＩＳ　Ａ１４５５） １．２以上～３．２未満 又は体積電気抵抗値（ＪＩＳ　Ａ１４５４） $1 \times 10^{7} \sim 1 \times 10^{10}\Omega$程度
・帯電防止床タイル	・ＦＯＡ ・ＦＯＢ	・	・	

・特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)	材　料	色柄
・誘導用床材、注意喚起用床（表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１）	・	・３００ｘ３００ ・４００ｘ４００	※塩ビ　・合成ゴム 合成ゴム	・黄色 ・
・				

ビニル幅木の高さ (mm)　※６０　・７５
厚さ (mm)　※２．０　・
材質　※軟質　・硬質

3 カーペット敷き
[19. 3. 2, 3]

・織じゅうたん(G)

ﾊﾟｲﾙ糸の種類等	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・ｳｨﾙﾄﾝ ｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰ ｶｰﾍﾟｯﾄ	※模様のない無地 ・柄物 （標準品）	・適用する ・適用しない	

・ タフテッドカーペット(G)

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・5～7　・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ 工法	・適用する （性能：※人体帯電圧3kv以下　・　） ・適用しない	
・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・4～6　・			
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・			

・タイルカーペット(G)

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備　考
※ ループパイル	※ 第一種 ・第二種		※ 500ｘ500 ・	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	・第一種 ・第二種		※ 500ｘ500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※ 500ｘ500 ・	※ 6.5 ・	

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L3204）の第2種1号　呼び厚さ8mm　・
見切り、押え金物の材質、種類及び形状　※図示　・

4 合成樹脂塗床
[19. 4. 2, 3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ 工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

5 防じん用塗床
[19. 4. 2, 3]

材質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５Ｋｇ／㎡以上とする
仕上げの種類　・防滑仕上げ　・平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

6 フローリング張り
[19. 5. 2~6]

単層フローリング(G)

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・釘留め工法（根太張り）	・なら ・	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法（直張り）	・なら ・	・12以上 ・	板幅75 板長さ500以上		・
	・接着工法	・なら ・	・12以上 ・	板幅75 板長さ500以上		
・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	・接着工法	・なら ・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
	・モルタル埋込工法	・なら ・	※15 ・	※303×303 ・	・塗装品 ・無塗装品	・

フローリングボードの大きさ　※標準仕様書表19.5.1、3、5による　・

複合フローリング(G)

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
⊙天然木化粧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り）	⊙なら ・	⊙15　・ ・12　・ ・12　・	・A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	・接着工法	・なら ・	・12　・ ・12　・ ・12　・	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・

フローリングの大きさ　※標準仕様書表19.5.2、4、6による　・
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外
接着工法の場合の緩衝材　※合成樹脂発泡シート

7 畳敷き
[19. 6. 2~3]

・種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　※Ｄ種
Ｄ種の場合の畳床記号　・ＫＴ－Ⅰ　・ＫＴ－Ⅱ　・ＫＴ－Ⅲ
・ＫＴ－Ｋ　・ＫＴ－Ｎ
・衝撃緩和型畳　畳表　・Ｃ１　・Ｃ２

8 せっこうボードその他のボード張り
[19. 7. 2~3]

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

種　類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板(G)	HW	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板(G)	MW	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板(G)	NW	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板(G)	HF	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板(G)	NF	・30　・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ２（無石綿）　⊙６　・８
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	⊙フラットタイプ　⊙９（不燃）・12　・ ・凹凸タイプ（・12(不燃)　・15（不燃）　・　）
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	RW-B	・25　・
・グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ号32K	GW-B	・25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包)　・
⊙せっこうボード	GB-R	※ 12.5（不燃）　・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5　（※不燃　・準不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃）　・15（不燃）
⊙せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード　（木目）	GB-D	12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・柾目　・板目）専用下地材有り
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	GB-D	9.5（準不燃）
・普通合板(G)		表面の材種 生地、透明塗料塗り（※ｼﾗｳﾝ程度　・　　） 不透明塗料塗り（※しな程度　・　　） 板面の品質（　　）、　厚さ(mm)（　　） 接着の程度（・１種　・２種　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・天然木化粧合板(G)		樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・特殊加工化粧合板(G)		化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装） 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類 ） 厚さ(mm)（　　） ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による　（※ 1.2　・　　）
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂化粧板		
・ミディアムデンシティ(G) ファイバーボード(G)	MDF	・３　・７　・９　・12　・
・単板張り(G) パーティクルボード(G)		・無研磨板 ＶＮ　・研磨板 ＶＳ ・10　・12　・15　・18　・
・化粧(G) パーティクルボード(G)		・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ＤＶ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ ＤＯ ・塗装 ＤＣ ・10（難燃）・12（難燃）・
・ハードボード（素地）(G)	HB	・無研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＮ ・研磨板　（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）ＲＳ
・ハードボード（化粧）(G)		・内装用 ＤＩ・外装用 ＤＥ ・2.5　・3.5　・5　・7　・
・インシュレーションボード(G)	IB	A級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・９　・12　・15　・18　・

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の張り張りを行う場合
※図示による
合板の張付け　・A種　・B種
せっこうボードの目地工法　・仕上げ表による　・

9 壁紙張り
[19. 8. 2, 3]

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	ﾌﾞﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火種別	備考
			⊙			・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	

モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしらえ　※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえ　※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ　※B種　・A種

10 断熱材
[19. 9. 2, 3]

フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・断熱材打込み工法

種類		厚さ(mm)	施工箇所
・ ビーズ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材(G)		・	・
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材(スキン層なし)（G）	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・
・ 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材(G)	・	・	・
⊙ ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材 (G)	⊙ 仕上表による	⊙ 40	・

施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　※A種1　・A種1H
吹付け厚さ (mm)　・25　・30　・
施工箇所　・図示　・

11 メラミン樹脂化粧板

JIS K 6903規格品　厚さ　・1.0　※1.2　・1.6

20 断熱・防露、ユニット及びその他工事

1 断熱材等材料
[20. 1. 2]

・断熱材(G)

断熱材の種類 分類	断熱材の種類 材料名	規格番号	厚さ、密度
⊙フェルト状断熱材	⊙グラスウール	・JIS A 9521	50t 100t、24K
	・ロックウール		
⊙ボード状断熱材	・グラスウール		
	・ロックウール		
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム		
	・押出法ポリスチレンフォーム		
	・硬質ウレタンフォーム		
	・ポリエチレンフォーム		
	⊙フェノールフォーム		50t、38K
	・インシュレーションファイバー		
・ばら状断熱材	・グラスウール	・JIS A 9523	
	・ロックウール		
	・セルローズファイバー		
・現場発泡断熱材	・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑAA種１ 又はA種1H(難燃性を有するもの)	・JIS A 9526	

・防湿材
種類　・20.2.2(2)(a)　・20.2.2(2)(b)　・20.2.2(2)(c)
厚さ　・図示
・気密材
種類　・20.2.2(3)(a)　・20.2.2(3)(b)　・20.2.2(3)(c)
・20.2.2(3)(d)　・20.2.2(3)(e)　・20.2.2(3)(f)
・20.2.2(3)(g)
厚さ　・図示　・
・防風材
種類　・20.2.2(4)(a)　・20.2.2(4)(b)　・20.2.2(4)(c)
・20.2.2(4)(d)　・20.2.2(4)(e)
厚さ　・図示　・

2 フリーアクセスフロア
[20. 2. 2]

施工箇所	・	・
工法	・置敷式	・支柱調整式
耐震性能	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ
所定荷重	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ
パネル寸法 (mm)	・	・
高さ (mm)	・	・
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※メーカー仕様　・図示による	※メーカー仕様　・図示による

寸法精度　※標準仕様書20.2.2(2)(ｷ)による　・
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※２０～３０％　・製造所の仕様による
配線取り出し開口　※パネル１枚につき40mｍｘ80mm程度の開口１ヶ所以上　・製造所の仕様による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※なし
・有り　（※固定式　・可変式）：　施工箇所（※図示による　・　　）
耐荷重性能　※変形5.0mm以下、残留変形3.0mm以下　・
耐衝撃性能　※残留変形3.0mm以下及び損傷がない　・
ローリングロード性能　※残留変形3.0mm以下　・

耐燃焼性能
・建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの
・JIS A 1450に基づく燃焼試験において、燃焼終了後の残炎時間が０秒であること

3 可動間仕切
[20. 2. 3]

ＪＩＳ　Ａ６５１２によるほか、下記による
構造形式による種類　※スタッド（・スタッド露出・スタッド内蔵）・スタッドパネル式
構成基材の種類　※図示による
表面材質及び厚さ (mm)　※鋼板０．６　・鋼板０．８
パネル表面仕上げ　メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色　・指定色）
パネル総厚さ (mm)　・　　程度
遮音性の区分　・０　・１５程度　・３０程度　・３６以上
防火性能　・不燃
パネル内に取付ける家具　・あり（※図示　・　）　・なし

4 移動間仕切
[20. 2. 4]

パネルの操作方法による種類　・製造所の仕様による　・図示による
表面材質及び厚さ (mm)　※鋼板０．６　・
仕上げ　メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色　・指定色）
パネル総厚さ (mm)　・　　程度
パネル圧接装置の操作方法　・製造所の仕様による　・図示による
遮音性の区分　・３６未満　・３６以上　（ＪＩＳ　Ａ６５１２に準拠する）

5 トイレブース
[20. 2. 5]

表面材　※メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板
ドアエッジ材質形状　※アルミＲエッジ
幅木材質　※ステンレス幅木

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				Ｎｏ． A-05	YONEYAMA 1級建築士事務所 一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12645号 1級建築士(大臣)第88498号 米山敏夫 〒703-8246 岡山市中区藤原北町1-10-1 TEL(086)-273-6969 FAX(086)-273-4020
図面名	木造建築工事特記仕様書５			縮尺		
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課				令和０７年０２月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図 / 製図
					米山	米山 / 米山

6 階段滑止め
[20．2．7]

材種　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（・埋込工法　※接着工法）
端部フラットエンド　※有（※タイヤと同材　・ステンレス鋼）　・無
型式　※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り
幅（mm）　※約３５

7 黒板及びホワイトボード
[20．2．9]

・ホワイトボード(G)　ほうろう　形状及び寸法は図示による
・黒板(G)　種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板
色彩　※緑　・黒　・白
形状及び寸法は図示による

8 鏡
[20．2．10]

取付箇所　・図示による　・（　　）
寸法（mm）　・図示による　・
厚さ（mm）　※５　・

9 表示
[20．2．11]

・案内板　・施設案内板（※標準詳細図による　・図示による）
・各階案内板（※標準詳細図による　・図示による）
・視覚障害者用案内板（※共通詳細図による　・図示による）
・室名札　※標準詳細図による・市販品
○ピクトグラフ　標準案内図用記号　※ＪＩＳ　Ｚ８２１０による　・図示による
形状・その他　※図示による
・施設文字　※標準詳細図による　・
字数（　　）　文字の大きさ（　　x　　）
・対人衝突防止表示　・図示による
・非常用進入口　・図示による
案内図用記号はＪＩＳ　Ｚ　８２１０による

10 煙突ライニング
[20．2．13]

・煙突用成形ライニング材
適用安全使用温度　※４００℃　・６５０℃
・キャスタブル耐火材
※煙突用成形ライニング材の指定する製品とする

11 ブラインド
[20．2．14]

形　式	・横型ブラインド(G)	・縦型ブラインド(G)(防炎性能を有するもの)
スラットの材種	アルミニウム合金製	・アルミスラット・クロススラット
スラットの種類	※ギア式　・コード式	※１本操作コード式
スラットの幅（mm）	※２５　・３５	・８０以上　・１００

12 ロールスクリーン(G)
[20．2．15]

材種　・図示による　・
遮光性能　・図示による　・
寸法　・図示による　・
操作方法　・電動式　・スプリング式　・コード式（チェーン式）

13 カーテン及びカーテンレール
[20．2．16]

カーテン(G)

施工箇所	形式	開閉形式	カーテン操作方式	きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類
外部窓	・シングル ○ダブル	・片引き　・引分	※手動　・電動	※防炎性能	
ローカ	○シングル ・ダブル	・片引き　・引分	※手動　・電動	※防炎性能	

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物
	・10-60 ※10-90	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	
	・10-60 ※10-90	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	

暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

14 点検口

○天井　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　※４５０x４５０　・６００x６００
形式　一般型　外枠　・額縁タイプ　・目地タイプ
内枠　・額縁タイプ　・目地タイプ
○床　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　・４５０x４５０　※６００x６００
形式　※屋内用一般型　・密閉形

15 旗竿受金物

材　種　・ステンレス製（SUS 304）　・

16 車止め支柱

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

17 フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・鋼管フェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス　・アルミフェンス
高さ　・図示　・

18 屋内掲示板(G)

枠の材質　※ アルミニウム製
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り

19 収納家具(G)

材質、形状、寸法　※ 図示
合板類、MDF 及び パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・

20 屋外掲示板(G)

本体材質　※ステンレス製　・　掲示板面材質　・
照明器具　・有り　・無し
施錠装置　※有り　・無し
形状寸法　※図示による　・

21 くつふきマット

・塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）ワンライン型
・硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）
・ステンレス製(ＳＵＳ３０４)（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）

22 階段手すり笠木

材質	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所
・集成材	・ＣＬ　・	・６０　・４５　・４０　・	
・ステンレスパイプ	・ＨＬ	・６０　・４５　・４０　・	
・鋼製パイプ	・ＳＯＰ　・ＥＰ－Ｇ	・６０　・４５　・４０　・	
○樹脂製			

23 天井見切り縁

材種　・アルミニウム既製品　○ビニル既製品

24 ピクチャーレール

・見切り縁兼用タイプ　・
移動フック　ｋｇ／ｍ　安全荷重　※１５kg以上　・

25 誘導用床材、注意喚起用床材

材種　・レジンコンクリート製（厚さ６０mm）　・磁器質タイル製
表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１による
寸法　※３００x３００　・　色　・黄色　・

26 サイディング
(20．3．2)

サイディング材

種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防火・ 耐火性能
・	・	・	・	・	・	・

張り方　・縦張り　・横張り
換気口部の防水措置　※木造標準仕様書20．3．2(3)(ウ)(c)①～④までによる　・

21 排水工事

1 排水管
[21．2．1]

排水管用材料

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（１種）	・Ｂ形管 ・	※図示 ・	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・ VP	・	※図示　・	
	・ VU	・	※図示　・	
	・ RS-VU(G)	・	※図示　・	

2 側塊、排水枡等
[21．2．1]

・側塊
形状及び寸法　・図示　・
・鋳鉄製ふた

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式）	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－２０用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は空気調和衛生工学会 SHASE-S209による
塩ビ製	・RS-VU(G)			

・グレーチング

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛 めっき（付着量）	上面形状
・鋼製 ホールふた ・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・ ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・ ・普通目 ・細目	・（　　） ・（　　）	・凹凸形 ・ ・平形 ・

3 街きょ、縁石、側溝
[21．3．2]

種類	形状、寸法
・縁石	・ 図示　・
・U形側溝	・ 図示　・
・U形側溝ふた	・ 図示　・

22 舗装工事

1 路床
[22．2．2~5]

路床の材料　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土(G)	・図示 ・
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75¥U+03Bcmふるい通過量10%以下） ・	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン(G)　・クラッシャラン　・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（75¥U+03Bcmふるい通過量10%以下）	・図示 ・
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75¥U+03Bcmふるい通過量６%以下） ・	・図示 ・

路床安定処理
・添加材料による安定処理　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（・特号　・１号）　・消石灰（・特号　・１号）
添加量　kg（目標CBR　・5以上　・　）
試験　路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　※行わない　・行う
路床締固め度の試験　※行わない　・行う
現場ＣＢＲ試験　※行わない　・行う

2 路盤
[22．3．2~5]

路盤の厚さ　・図示　・
路盤材料　・砕石　・再生クラッシャラン　・クラッシャラン鉄鋼スラグ(G)　・図示
試験　路盤締固め度の試験　※行わない　・行う

3 アスファルト舗装
[22．4．2~6]

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料
アスファルト　・ 再生アスファルト(G)　・ ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材(G)
加熱アスファルト混合物等の種類

区分	地域	種類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13Ｆ)
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)

シールコートの施工　※行わない　・行う
試験　アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う

4 コンクリート舗装
[22．5．2~6]

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車道部 歩道部	・図示　・150　・ ・図示　・70　・

縁部立下りけ法等　・図示
材料
コンクリート　・標準仕様書22.5.2による　・
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
種類、間隔、構造　※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による　・図示
試験　コンクリート版厚さの試験　・行う　・行わない

5 カラー舗装
[22．6．2~4]

・加熱系カラー舗装
構成・厚さ　※図示　・
加熱系混合物の結合材　・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　　%）
着色骨材（　　）、自然石（　　）
・常温系カラー舗装
工法　・ニート工法　・塗布工法
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装

6 透水性アスファルト舗装
[22．7．2~6]

舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
アスファルト　※再生アスファルト(G)　・ストレートアスファルト
骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材(G)
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

7 ブロック系舗装
[22．8．2~3]

・コンクリート平板舗装

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板（N）(G) ・透水平板（P）(G) ・保水性平板（M）	※300角 ・	・ 60	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し

・インターロッキングブロック舗装

種類	部位	形状・寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	備考
※普通ブロック（N）(G)	車道部	※図示　・	※80	※５．０	色彩、表面加工
・透水性ブロック(P)(G)	歩道部	※図示　・	※60	※３．０	・ 標準品

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)
※花こう岩 ・	・図示 ・	・ 80 ・	・ うろこ張り ・	・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装	※70　・ ※50　・

8 砂利敷き
[22．9．2]

種別
・ Ａ種（施工範囲：・図示　・通路　・　　）
・ Ｂ種（施工範囲：・図示　・建築物の周囲その他　・　　）

9 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・ １種(G)	常温	液状	・ 白 ・	・ 150 ・ 100	・ 1.0 ・
・ ２種(G)	加熱				
・ ３種１号	溶融	粉体状			

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料(G)

23 植栽工事

1 植栽地の確認
[23．1．3]

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　※行わない　・行う
電気伝導度（EC）の試験　※行わない　・行う

2 植栽基盤の整備
[23．2．2~4]

植栽	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種	樹高12m以上　(※100　・120　・150) 樹高7m以上～12m未満　(※80　・100) 樹高3m以上～7m未満　(※60　・80) 樹高3m未満　(※50　・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※Ｂ種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　　）　・設けない

植込み用土
※ 現場発生土の良質土　・ 客土
土壌改良材
・ パーク堆肥(G)
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり　（　・50L　・　　）
・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）(G)
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり　（　・10L　・　　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

3 樹木
[23．3．2~3]

樹種、寸法、株立数等　※図示
支柱材　※ 丸太（間伐材）(G)　・ 真竹

4 新植、移植樹木、芝等の枯保証
[23．3．4，6]
[23．4．7]

・新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間　※引渡しの日から１年　・無し
・移植樹木の枯損処置を行う期間　※引渡しの日から１年　・無し

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事					Ｎｏ．	YONEYAMA 1級建築士事務所
図面名	木造建築工事特記仕様書６				縮尺	A-06	一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12545号 1級建築士(大臣)第35849号　米山敦夫 〒703-8246 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL086-273-6969 FAX086-273-4020
岡山市	都市整備局	住宅･建築部	公共建築課		令和０７年０２月		
課長	課長補佐	係長	課員		担当者	承認	検図	製図
						米山	米山	米山

使用材料表１［5.2.2］

⊙JAS 1083-3 製材-第3部に基づく目視等級区分構造用製材(G)

施工箇所	樹種	構造材の種類	等級	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理	間伐材等の適用
		⊙構造材Ⅰ ・構造材Ⅱ ・乙種	・１級 ・２級 ・３級		・15 ⊙20		
		・構造材Ⅰ ・構造材Ⅱ ・乙種	・１級 ・２級 ・３級		・15 ・20		
		・構造材Ⅰ ・構造材Ⅱ ・乙種	・１級 ・２級 ・３級		・15 ・20		

・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材(G)

施工箇所	樹種	曲げ性能等級	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理	間伐材等の適用
				・15 ・20		
				・15 ・20		
				・15 ・20		

(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

(参考) JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準（等級と曲げヤング係数）

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング率（×10N/mm）	3.9以上 ～5.9未満	5.9以上 ～7.8未満	7.8以上 ～9.8未満	9.8以上 ～11.8未満	11.8以上 ～13.7未満	13.7以上

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	等級	寸法(mm)	形状	含水率(%)	保存処理	間伐材等の適用
		・特等 ・１等 ・２等		・耳付材	・10 ・13		
		・特等 ・１等 ・２等		・耳付材	・10 ・13		
		・特等 ・１等 ・２等		・耳付材	・10 ・13		

加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材（対象部材：　　　　　　）

⊙無等級材(G)

施工箇所	寸法(mm)	樹種	含水率(%)	保存処理	強度試験	等級（材面の品質）	間伐材等の適用
			・		・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験（対象部材：　　） ・縦振動ヤング係数測定（対象部材：　　）	・JAS 1083-4 製材-第4部：機械等級区分構造用製材	
			・				
			・				

旧ＪＡＳ規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級（材面の品質）	含水率(%)	間伐材等の適用
				・15 ・20	
				・15 ・20	
				・15 ・20	

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材(G)

施工箇所	樹種	等級	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理	間伐材等の適用
		・１級 ・２級		・15 ※20		
		・１級 ・２級		・15 ※20		
		・１級 ・２級		・15 ※20		

・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	曲げ性能（強度等級）	材面の品質	接着性能（使用環境）	保存処理	間伐材等の適用
					・１種 ・２種 ・３種	・A ・B ・C		
					・１種 ・２種 ・３種	・A ・B ・C		
					・１種 ・２種 ・３種	・A ・B ・C		

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・１等 ・２等	
		化粧薄板： 芯材：					
		化粧薄板： 芯材：					

・JAS 0600に基づく甲種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・等級 ・１級 ・２級 ・３級	
					・等級 ・１級 ・２級 ・３級	
					・等級 ・１級 ・２級 ・３級	

・JAS 0600に基づく乙種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	

・JAS 0600に基づくＭＳＲ枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	曲げ強度性能（ＭＳＲ等級）	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたＭＳＲ枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	含水率(%)	間伐材等の適用

・JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・等級 ・１級 ・２級 ・３級	
			・等級 ・１級 ・２級 ・３級	
			・等級 ・１級 ・２級 ・３級	

・JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるＭＳＲ枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能（ＭＳＲ等級）	寸法型式(mm)	間伐材等の適用

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	含水率(%)	間伐材等の適用

・JAS 0701に基づく構造用単板積層材(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	接着性能（使用環境）	曲げ性能（曲げヤング係数区分）	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
				・A ・B ・C			・K３	
				・A ・B ・C			・K３	
				・A ・B ・C			・K３	

・丸太材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	含水率(%)	末口径(mm)	間伐材等の適用
			・20 ・		
			・20 ・		
			・20 ・		

加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。（対象部材：　　　　　　）

・木質接着成形軸材料(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質複合軸材料(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質断熱複合パネル(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質接着複合パネル(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・ＣＬＴ（直交集成板）(G)

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用

使用材料表２［5.2.3］

・構造用パーティクルボード(G)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用

・構造用ＭＤＦ(G)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板(G)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能（強度等級）	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用
	○※12 ⊙9	※１類 ⊙特類	※２級 ・１級	※C－D ・				
	⊙28	⊙1類 ・特類	・２級 ・１級	・				
	・	・１類 ・特類	・２級 ・１級					

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板(G)

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・1 類 ・特類	
			・1 類 ・特類	
			・1 類 ・特類	

・JAS 0360に基づく構造用パネル(G)

施工箇所	厚さ(mm)	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）	間伐材等の適用
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	

・パーティクルボード(G)

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用
	※15				
	・				

・ハードファイバーボード(G)

施工箇所	厚さ(mm)	油、油脂等の特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

・パルプセメント板(G)

施工箇所	厚さ(mm)	種類：かさ密度による区分	種類：化粧加工の有無による区分	備考
		・0.9板 ・1.0板	・普通板 ・化粧板	
		・0.9板 ・1.0板	・普通板 ・化粧板	
		・0.9板 ・1.0板	・普通板 ・化粧板	

⊙国土交通大臣の認定を受けた壁倍率の数値を定められた構造用面材(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
外壁	構造用合板 T=9	針葉樹構造用合板	W910×2430～3030	14%以下	

使用材料表３［6.2.2］

⊙「集成材の日本農林規格」による構造用集成材(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	曲げ性能（強度等級）	材面の品質	接着性能（使用環境）	保存処理	間伐材等の適用
野地板	構造用合板	針葉樹	T=12		・１種 ・２種 ・３種	・A ・B ・C		
外壁	構造用合板	針葉樹	T=9		・１種 ・２種 ・３種	・A ・B ・C		
床面	構造用合板	針葉樹	T=28		・１種 ・２種 ・３種	・A ・B ・C		

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・１等 ・２等	
		化粧薄板： 芯材：					
		化粧薄板： 芯材：					

・JAS 0701に基づく構造用単板積層材(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	接着性能（使用環境）	曲げ性能（曲げヤング係数区分）	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
				・A ・B ・C	・A種 ・B種		・K３	
				・A ・B ・C	・A種 ・B種		・K３	
				・A ・B ・C	・A種 ・B種		・K３	

・JAS 1083-3 製材-第3部に基づく目視等級区分構造用製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	構造材の種類	等級	含水率(%)	保存処理	間伐材等の適用
			・構造材Ⅰ(甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ(甲Ⅱ) ・乙種	・１級 ・２級 ・３級	・SD15 ・SD20		
			・構造材Ⅰ(甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ(甲Ⅱ) ・乙種	・１級 ・２級 ・３級	・SD15 ・SD20		
			・構造材Ⅰ(甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ(甲Ⅱ) ・乙種	・１級 ・２級 ・３級	・SD15 ・SD20		

・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	曲げ性能等級	含水率(%)	保存処理	間伐材等の適用
				・SD15 ・SD20		
				・SD15 ・SD20		
				・SD15 ・SD20		

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級（材面の品質）	含水率(%)	間伐材等の適用

(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

(参考) JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準（等級区分と曲げヤング係数）

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング率（×10N/mm）	3.9以上 ～5.9未満	5.9以上 ～7.8未満	7.8以上 ～9.8未満	9.8以上 ～11.8未満	11.8以上 ～13.7未満	13.7以上

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	基準強度の測定	等級	形状	含水率(%)	保存処理	間伐材等の適用
				・特等 ・１等 ・２等	・耳付材	・10 ・13		
				・特等 ・１等 ・２等	・耳付材	・10 ・13		
				・特等 ・１等 ・２等	・耳付材	・10 ・13		

加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材(対象部材：　　　　　　)

・無等級材(G)

施工箇所	寸法(mm)	樹種	含水率(%)	保存処理	強度試験	等級（材面の品質）	間伐材等の適用
					・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材、曲げ試験（対象部材：　　） ・縦振動ヤング係数測定（対象部材：　　）	・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材 ・旧ＪＡＳ規格第10条ひき角類１等	

旧ＪＡＳ規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材(G)

施工箇所	樹種	等級	寸法(mm)	含水率(%)	保存処理	間伐材等の適用
		・１種 ・２種		・SD15 ・SD20		
		・１種 ・２種		・SD15 ・SD20		
		・１種 ・２種		・SD15 ・SD20		

・JAS 0600に基づく甲種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	間伐材等の適用
			・特級 ・１級 ・２級 ・３級			
			・特級 ・１級 ・２級 ・３級			
			・特級 ・１級 ・２級 ・３級			

・JAS 0600に基づく乙種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	間伐材等の適用
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ			
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ			
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ			

・JAS 0600に基づくＭＳＲ枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	曲げ強度性能（ＭＳＲ等級）	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたＭＳＲ枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	含水率(%)	間伐材等の適用
				・	
				・	
				・	

・JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・特級 ・１級 ・２級 ・３級	
			・特級 ・１級 ・２級 ・３級	
			・特級 ・１級 ・２級 ・３級	

・JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	間伐材等の適用
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	等級	含水率(%)	間伐材等の適用
				・	
				・	
				・	

・木質接着成形軸材料(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質複合軸材料(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質断熱複合パネル(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質接着複合パネル(G)

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率(%)	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・ＣＬＴ（直交集成板）(G)

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用

使用材料表４［6.2.3］

・「合板の日本農林規格」による構造用合板(G)

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能（強度等級）	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用
	※12 ・	※１類 ・特類	※２級 ・１級	※C－D ・				
	・	・１類 ・特類	・２級 ・１級	・				
	・	・１類 ・特類	・２級 ・１級					

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板(G)

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・１類 ・特類	

・パーティクルボード(G)

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用
	※15		※13タイプ		
	・		・		

・JAS 0360に基づく構造用パネル(G)

施工箇所	厚さ(mm)	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）	間伐材等の適用
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級	

使用材料表５［7.2.2～3］

枠組壁用木材

・JAS 0600に基づく甲種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・等級 ・１級 ・２級 ・３級	
					・等級 ・１級 ・２級 ・３級	
					・等級 ・１級 ・２級 ・３級	

・JAS 0600に基づく乙種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	

・JAS 0600に基づくＭＳＲ枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能（ＭＳＲ等級）	寸法型式(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用

・JAS 0600に基づくたて枠用たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	間伐材等の適用

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事	Ｎｏ．	YONEYAMA 1級建築士事務所
図面名	木造建築工事特記仕様書７（縮尺）	A-07	一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12645号 1級建築士(大臣)第88498号 米山敏夫 〒703-8246 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL086-273-6969 FAX086-273-4020
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課	令和０７年０２月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

・JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式（mm）	等級	間伐材等の適用
			・特級　・１級　・２級　・３級	
			・特級　・１級　・２級　・３級	
			・特級　・１級　・２級　・３級	

使用材料表６［８.２.２～３］

・JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式（mm）	等級	間伐材等の適用
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づくＭＳＲたて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能（ＭＳＲ等級）	寸法型式（mm）	間伐材等の適用

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材(G)

施工箇所	樹種	等級	寸法（mm）	含水率（%）	間伐材等の適用
		・１級　・２級		・15　※20	
		・１級　・２級		・15　※20	
		・１級　・２級		・15　※20	

・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	曲げ性能（強度等級）	材面の品質	接着性能（使用環境）	保存処理	間伐材等の適用
					・１種　・２種　・３種	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ		
					・１種　・２種　・３種	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ		
					・１種　・２種　・３種	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ		

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・１等 ・２等	
		化粧薄板： 芯材：					
		化粧薄板： 芯材：					

・JAS 0701に基づく構造用単板積層材(G)

施工箇所	品名	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	曲げ性能（曲げヤング係数区分）	水平せん断区分	保存処理	間伐材等の適用
		・Ａ　・Ｂ　・Ｃ			・Ａ種　・Ｂ種		・Ｋ３	
		・Ａ　・Ｂ　・Ｃ			・Ａ種　・Ｂ種		・Ｋ３	
		・Ａ　・Ｂ　・Ｃ			・Ａ種　・Ｂ種		・Ｋ３	

・構造用鋼材

施工箇所	材料	形状	板厚(mm)	表面処理	強度

床材、壁材及び屋根下地材

・「合板の日本農林規格」による構造用合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能（強度等級）	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用
	※12 ・	※１類 ・特類	※２級 ・１級	※Ｃ－Ｄ ・				
	・	・１類 ・特類	・２級 ・１級	・				
	・	・１類 ・特類	・２級 ・１級					

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・１類　・特類	

・JAS 0360に基づく構造用パネル(G)

施工箇所	厚さ（mm）	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験　・湿潤曲げ試験）	間伐材等の適用
		・１級　・２級　・３級　・４級	
		・１級　・２級　・３級　・４級	
		・１級　・２級　・３級　・４級	

・パーティクルボード(G)

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用
	※15		※13タイプ		
	・		・		

・ハードボード(G)

施工箇所	厚さ（mm）	油、油脂などの特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

・パルプセメント板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	種類		備考
		かさ密度による区分	化粧加工の有無による区分	
		・0.9板　・1.0板	・普通板　・化粧板	
		・0.9板　・1.0板	・普通板　・化粧板	
		・0.9板　・1.0板	・普通板　・化粧板	

・ＭＤＦ(G)

施工箇所	厚さ（mm）	普通ＭＤＦ、構造用ＭＤＦの区分	表裏面の状態による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

・国土交通大臣の認定を受けた耐力壁に使用する壁材(G)

施工箇所	仕様	強度	含水率（%）	間伐材等の適用
			・15　※20	
			・15　※20	
			・15　※20	

・ＣＬＴ（直交集成板）(G)

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法（mm）	間伐材等の適用

丸太組壁用木材

・機械加工の丸太組壁用木材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	品質	含水率（%）	間伐材等の適用
			・図示　・8.2.2(1)(c)による		
			・図示　・8.2.2(1)(c)による		
			・図示　・8.2.2(1)(c)による		

・手加工の丸太組壁用木材(G)

施工箇所	樹種	径（mm）	品質	間伐材等の適用
			・図示　・8.2.2(2)(c)による	
			・図示　・8.2.2(2)(c)による	
			・図示　・8.2.2(2)(c)による	

丸太組壁以外に用いる木材

・JAS 0600に基づく目視等級区分構造用製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	構造材の種類	等級	含水率（%）	保存処理	間伐材等の適用
			・構造材Ⅰ（甲Ⅰ）・構造材Ⅱ（甲Ⅱ）・乙種	・1級　・2級　・3級	・15　・20		
			・構造材Ⅰ（甲Ⅰ）・構造材Ⅱ（甲Ⅱ）・乙種	・1級　・2級　・3級	・15　・20		
			・構造材Ⅰ（甲Ⅰ）・構造材Ⅱ（甲Ⅱ）・乙種	・1級　・2級　・3級	・15　・20		

・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	曲げ性能等級	含水率（%）	保存処理	間伐材等の適用
				・15　・20		
				・15　・20		
				・15　・20		

(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

(参考) JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数（等級区分と曲げヤング係数）

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング率（×10N/mm）	3.9以上～5.9未満	5.9以上～7.8未満	7.8以上～9.8未満	9.8以上～11.8未満	11.8以上～13.7未満	13.7以上

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率（%）	保存処理	間伐材等の適用
			・特等　・１等　・２等	・耳付材	・10　・13		
			・特等　・１等　・２等	・耳付材	・10　・13		
			・特等　・１等　・２等	・耳付材			

・その他の製材(G)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	含水率（%）	間伐材等の適用

・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	曲げ性能（強度等級）	材面の品質	接着性能（使用環境）	間伐材等の適用
					・１種　・２種　・３種	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ	
					・１種　・２種　・３種	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ	
					・１種　・２種　・３種	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ	

使用材料表８［９.２.２］

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・１等 ・２等	
		化粧薄板： 芯材：					
		化粧薄板： 芯材：					

使用材料表９［10.２.２］

・JAS 0600に基づく甲種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・等級　・１級　・２級　・３級	
					・等級　・１級　・２級　・３級	
					・等級　・１級　・２級　・３級	

・JAS 0600に基づく乙種枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
					・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	

・JAS 0600に基づくＭＳＲ枠組材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式(mm)	曲げ強度性能（ＭＳＲ等級）	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用

・JAS 0600に基づく甲種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式（mm）	等級	間伐材等の適用
			・特級　・１級　・２級　・３級	
			・特級　・１級　・２級　・３級	
			・特級　・１級　・２級　・３級	

・JAS 0600に基づく乙種たて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式（mm）	等級	間伐材等の適用
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	
			・ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝ　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾕﾃｨﾘﾃｨ	

・JAS 0600に基づくＭＳＲたて継ぎ材(G)

施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式（mm）	曲げ強度性能（ＭＳＲ等級）	間伐材等の適用

・木質接着成形軸材料(G)

施工箇所	形状	寸法（mm）	含水率（%）	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質複合軸材料(G)

施工箇所	形状	寸法（mm）	含水率（%）	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質断熱複合パネル(G)

施工箇所	形状	寸法（mm）	含水率（%）	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・木質接着複合パネル(G)

施工箇所	形状	寸法（mm）	含水率（%）	間伐材等の適用
			・	
			・	
			・	

・柱に用いる丸太材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	含水率（%）	間伐材等の適用

使用材料表７［８.２.４］

・「合板の日本農林規格」による構造用合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能（強度等級）	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用
	※12 ・	※１類 ・特類	※２級 ・１級	※Ｃ－Ｄ ・				
	・	・１類 ・特類	・２級 ・１級	・				
	・	・１類 ・特類	・２級 ・１級					

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・１類　・特類	

・パーティクルボード(G)

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用
	※15		※13タイプ		
	・		・		

・JAS 0360に基づく構造用パネル(G)

施工箇所	厚さ（mm）	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験　・湿潤曲げ試験）	間伐材等の適用
		・１級　・２級　・３級　・４級	
		・１級　・２級　・３級　・４級	
		・１級　・２級　・３級　・４級	

・ＣＬＴ（直交集成板）(G)

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法（mm）	間伐材等の適用

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用針葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	等級	形状	含水率（%）	間伐材等の適用
			※２級　・		※Ａ種　・	
			※２級　・		※Ａ種　・	
			※２級　・		※Ａ種　・	

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用針葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	等級	形状	含水率（%）	間伐材等の適用
					※Ａ種　・	
					※Ａ種　・	
					※Ａ種　・	

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	等級	形状	含水率（%）	間伐材等の適用
			※１等　・	・耳付材	・10　・13	
			※１等　・	・耳付材	・10　・13	
			※１等　・	・耳付材	・10　・13	

・JAS 1083（製材）以外の下地用針葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率（%）	間伐材等の適用
			※図示				※Ａ種　・	
			※図示				※Ａ種　・	
			※図示				※Ａ種　・	

・JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率（%）	間伐材等の適用
			※図示				※Ａ種　・	
			※図示				※Ａ種　・	
			※図示				※Ａ種　・	

・JAS 1083（製材）以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	含水率（%）	間伐材等の適用
			※図示			※Ａ種　・	
			※図示			※Ａ種　・	
			※図示			※Ａ種　・	

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数（面）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※１等　・	
					※１等　・	
					※１等　・	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成柱(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板：　芯材：				※１等　・	
		化粧薄板：　芯材：				※１等　・	
		化粧薄板：　芯材：				※１等　・	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱(G)

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面（面数）	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板：　芯材：					
		化粧薄板：　芯材：					
		化粧薄板：　芯材：					

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	材面の品質	含水率（%）	間伐材等の適用
			※図示	※15　・	
			※図示	※15　・	
			※図示	※15　・	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率（%）	間伐材等の適用
	化粧薄板：　芯材：			※図示	※15　・	
	化粧薄板：　芯材：			※図示	※15　・	
	化粧薄板：　芯材：			※図示	※15　・	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材(G)

施工箇所	樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率（%）	間伐材等の適用
	化粧薄板：　芯材：			※図示	※15　・	
	化粧薄板：　芯材：			※図示	※15　・	
	化粧薄板：　芯材：			※図示	※15　・	

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材(G)

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・無（・１等　・２等　・３等）　・有（・天然木化粧　・塗装）		
		・無（・１等　・２等　・３等）　・有（・天然木化粧　・塗装）		
		・無（・１等　・２等　・３等）　・有（・天然木化粧　・塗装）		

・JAS 0701以外の造作用単板積層材(G)

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	含水率（%）	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・無（・１等　・２等　・３等）　・有（・天然木化粧　・塗装）			
		・無（・１等　・２等　・３等）　・有（・天然木化粧　・塗装）			
		・無（・１等　・２等　・３等）　・有（・天然木化粧　・塗装）			

・ＣＬＴ（直交集成板）(G)

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法（mm）	間伐材等の適用

使用材料表10［10.２.３］

・「合板の日本農林規格」による普通合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※１類　・２類	広葉樹　※２等以上　・１等 針葉樹　※Ｃ－Ｄ以上　・		
	・		・１類　・２類	・		
	・		・１類　・２類	・		

・「合板の日本農林規格」による構造用合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級の適用	間伐材等の適用
	※12　・	※２級　・１級		※１類　・特類	※C-D　・			

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板(G)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・１類　・２類		
			・１類　・２類		
			・１類　・２類		

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板(G)

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・１類　・２類					
		・１類　・２類					
		・１類　・２類					

・パーティクルボード(G)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ（mm）	間伐材等の適用
		※13タイプ	※Ｐ又はＭ	※15	
		・		・	

・JAS 0360に基づく構造用パネル(G)

施工箇所	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験　・湿潤曲げ試験）	厚さ（mm）	間伐材等の適用
	・１級　・２級　・３級　・４級		
	・１級　・２級　・３級　・４級		
	・１級　・２級　・３級　・４級		

・ＭＤＦ(G)

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事		No.	YONEYAMA 1級建築士事務所
図面名	建築木造工事特記仕様書８	縮尺	A-08	一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12645号 1級建築士(大臣)第88498号 米山敏夫 〒703-8246 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL086-273-6969 FAX086-273-4020
岡山市　都市整備局　住宅･建築部　公共建築課		令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

区分	工事項目	建築	電気	機械			別途	備考
一般事項	工事用電力・電話・上下水道・ガス引込工事	○						
	工事用電力・電話・上下水道・ガス料金（含、引込負担金・基本料金）	○	○	○				使用工事別
	本設受電後引渡しまでの電力・電話・上下水道・ガス使用料金	○	○	○				関連工事別試運転用も含む
	工事上の各種申請届出費用	○	○	○				関連工事別
	地中障害物、地中埋設物の撤去費	○	○	○				関連工事別
	電波障害等の近接対策費						○	
	家具、機器等の移転費用						○	給排水、ガスを接続するものは建築工事
	ＶＯＣ（揮発性有機化合物）測定検査	○						
仮設工事	工事進入口部	○						設計図書記載の範囲
	仮囲い、敷鉄板	○						
機械基礎	室外機用ＲＣ基礎、キュービクル基礎	○						建築設計図に記載のもの
	同上アンカーボルト、鋼製架台、箱入れ、埋込み		○	○				該当工事による
躯体貫通	鉄骨梁貫通スリーブおよび貫通補強	○						
	鉄筋コンクリート梁貫通スリーブ	○	○	○				該当工事による
	（補強は梁せいの1/10以下かつ、150㎜未満のものを除く）							
	同上貫通補強	○						
	壁、床の貫通スリーブ、箱入れ	○	○	○				該当工事による
	同上貫通補強	○						
	梁、壁、床の貫通部孔埋めおよび補修	○	○	○				該当工事による
	配管ダクト類の防水貫通部の仕舞、防火区画貫通部の充填		○	○				該当工事による
躯体以外の貫通	工場製作間仕切りの孔あけ、取付け枠および補強	○						該当工事による
	現場製作間仕切りの孔あけ、取付け枠および補強、孔埋めおよび補修	○	○	○				
	天井付き各種器具、取付け枠、孔あけ	○	○	○				
	同上天井下地開口補強	○						
	取付け枠および補強を併なわない、天井付各種器具孔あけ	○	○	○				上記以外のもの

区分	工事項目	建築	電気	機械			別途	備考
点検口・ガラリ	ドアガラリ	○						
	点検口（天井・壁・床下・パイプおよびダクトシャフトとも）	○						
	換気扇用外壁ガラリ（ベントキャップ）			○				
機械・自動制御等	天井埋め込み扇およびダクト（スイッチ供給含む）			○				
	天井埋め込み扇電源供給および操作用配管配線工事		○					
	天井扇風機（レギュレーター共）および同据付		○					該当工事による
	天井扇風機電源供給および操作用配管配線工事		○					
	エアコン設備			○				
	エアコン設備電源供給および操作用配管工事		○					
	各種機器の接地工事		○					
防災・消火	表示灯、火災発信機、ベル		○					
	消火器	○						
	同上収納ボックス	○						
昇降機	ＥＶ詳細図による							
電話・通信	電話交換機工事一式						○	
	固定電話機および取付工事						○	
	電話用配線および入線工事		○				○	端子盤より分岐は別途工事
	電話用配管工事および接地工事		○					
	LAN(ローカルエリアネットワーク)機器						○	
	同上配管配線		○					HUBは電気設備工事
	インタホン		○					
排水設備	排水溝およびふた、側溝	○						
	ルーフドレーン							
	ルーフドレーン接続ののタテ樋							
	軒どい及び落し口、防塵網	○						
	軒どい接続のたてどい	○						
	たてどい接続床面以降の排水管および会所			○				たてどい化粧カバーは建築工事
	雑排水配管および会所			○				
	汚水排水配管および会所（インバート）			○				

（昇降機欄は斜線で抹消）

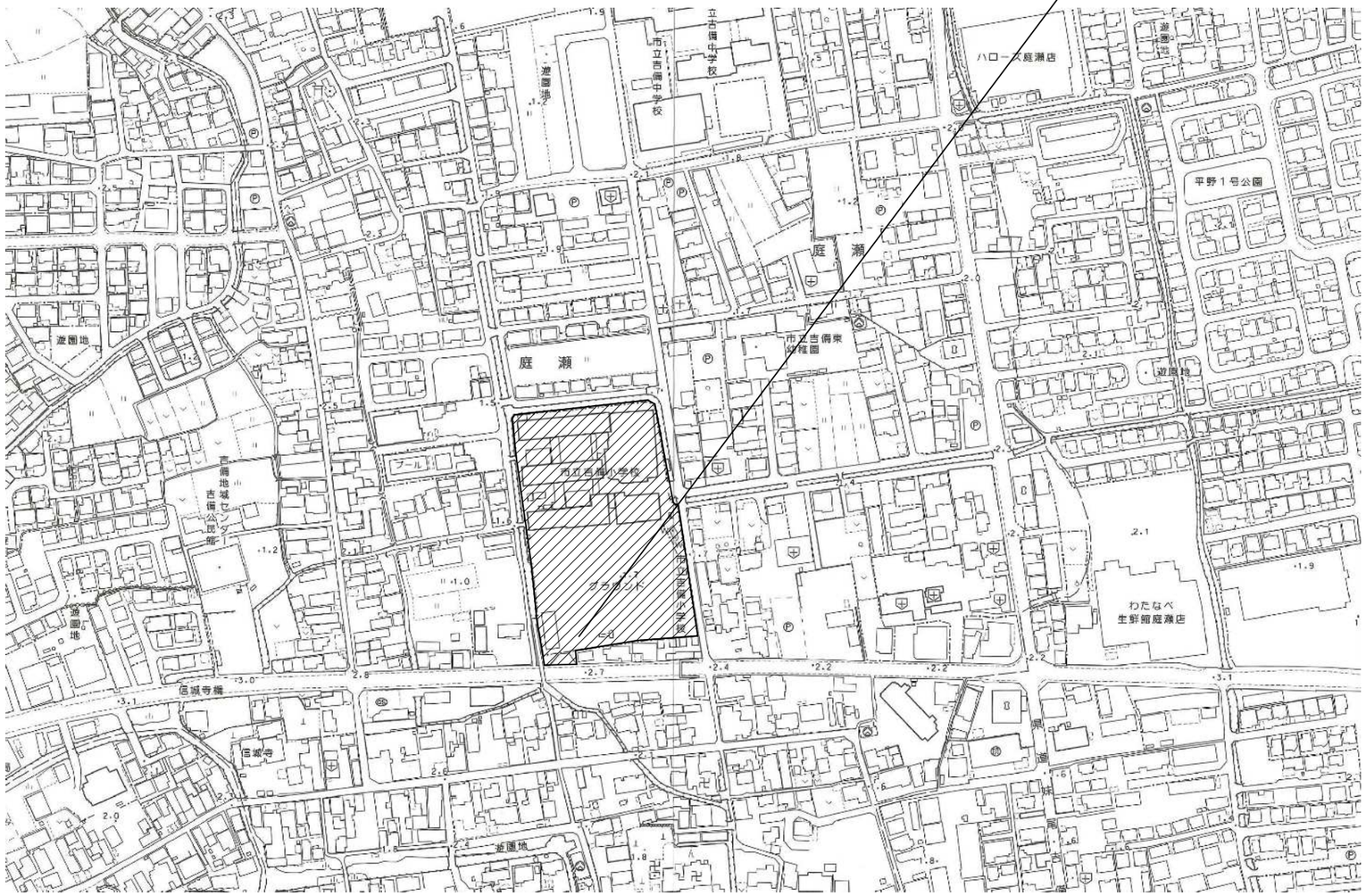
区分	工事項目	建築	電気	機械			別途	備考
カーテン・ブラインド	カーテンレール、カーテンボックス、ブラインドボックス	○						建築設計図に記載のもの
	ブラインド、ロールカーテン						○	
	カーテン、暗幕カーテン						○	
衛生器具・湯沸等	陶器製衛生器具			○				
	同上接続配管工事			○				
	大便器手摺			○				下地補強のみ建築
	化粧鏡			○				既製品は機械設備工事
	ステンレス製流し台（排水トラップ含む）	○						
	同上接続配管工事			○				
	ＩＨコンロ台（既製品）							
	台下電気温水器			○				
	排気フード	○						
	同上換気扇							
	ペーパーホルダー							
太陽光発電	太陽電池モジュールおよび鋼製架台		○					
	パワーコンディショナー、計測監視装置、ディスプレイ表示装置		○					
	同上配管配線工事		○					
屋外排水設備・外構	舗装	○						
	縁石、ピンコロ石敷き	○						
	排水側溝および排水桝、排水管	○		○				
	植栽							
	屋外散水栓							
	電力引込みハンドホール		○					
	外灯、屋外用スピーカー、屋外時計		○					
	遊具	○						
その他	家具備品、塗板、掲示板	○						建築設計図に記載のもの
	ＴＶ台							
	室名サイン、ピクトサイン	○						建築設計図に記載のもの

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事	Ｎｏ.	YONEYAMA 1級建築士事務所
図面名	工事区分表	A-09	一級建築士事務所登録(岡山県知事)第12645号 1級建築士(大臣)第88498号 米山敏夫 〒703-8246 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL086-273-6969 FAX086-273-4020
縮尺			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和０７年０２月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

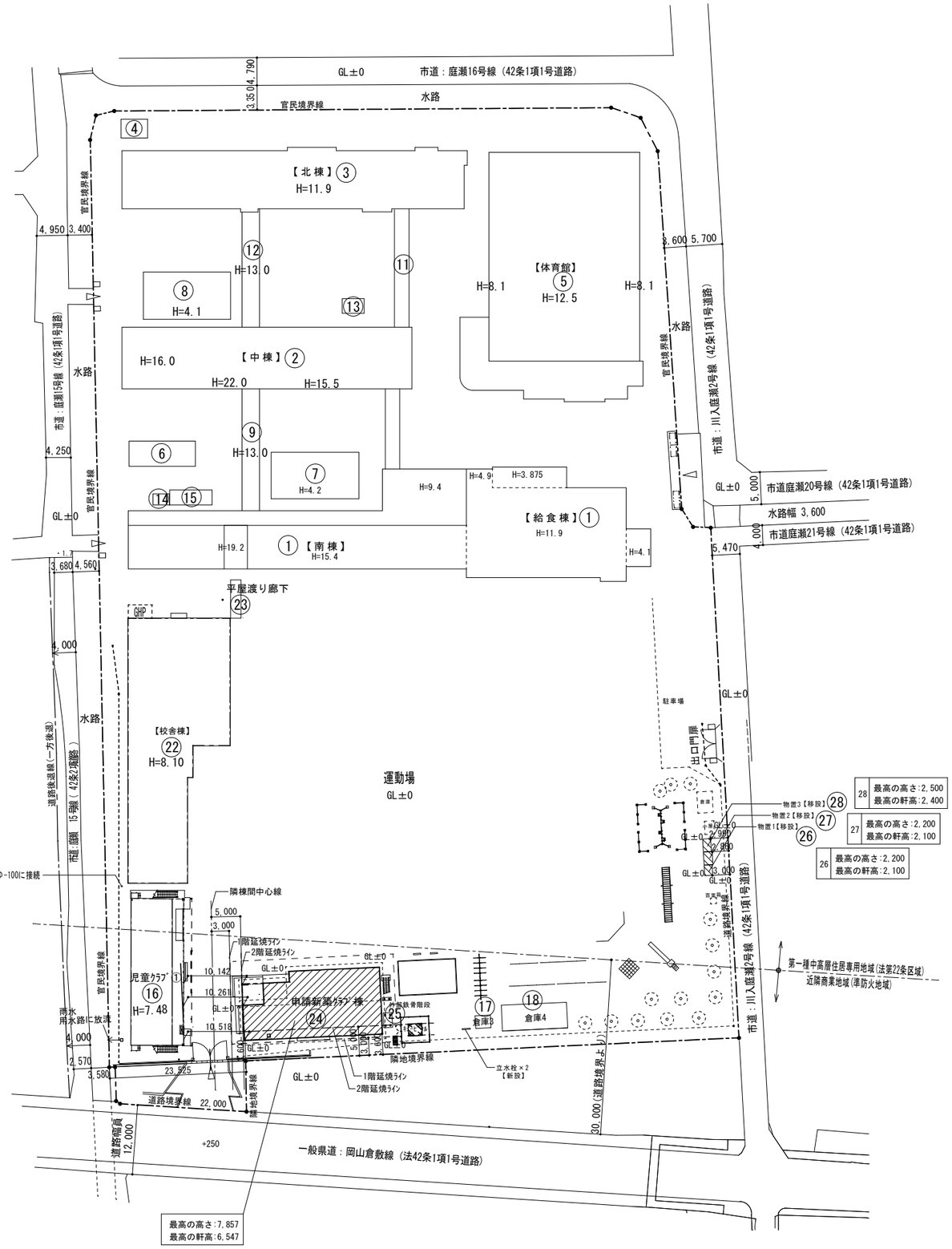
N

工事場所：岡山市北区庭瀬256番地
岡山市立吉備小学校



附近見取図　S=1/2500

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969		
図面名	附近見取図	縮尺	S=1/2,500 (A3:71%)	A-10			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



配置図　S=1/600

凡例

- ：既存建物を示す
- ：申請建物を示す
- ----：1階延焼ﾗｲﾝを示す
- ----：2階延焼ﾗｲﾝを示す

面積リスト

棟番号	棟	築年月	現況 建築面積	現況 床面積
1	南棟	S51.9	705.64	2409.73
	給食棟	H6.1・R4	565.85	1191.69
	南棟・給食棟 計		1271.49	3601.42
2	中棟	H2.12	555.52	2103.84
3	北棟	H2.12	652.04	1830.57
4	粘土釜室	H2.12	14.72	14.72
5	体育館	H9.3	1403.13	1387.16
6	受水槽ポンプ室	S51.9	10.24	10.24
7	昇降口２	H2.12	154.73	117.00
8	昇降口１	H2.12	154.73	117.00
9	渡り廊下２	H2.12	76.76	154.49
10	渡り廊下４	H2.12	30.44	0.00
11	渡り廊下３	H2.12	45.75	0.00
12	渡り廊下１	H2.12	65.09	131.14
13	倉庫１		4.50	4.50
14	倉庫２		5.80	5.80
15	自転車庫		10.08	10.08
16	児童クラブ①	H30.3	252.25	458.74
17	倉庫３		6.05	6.05
18	倉庫４	H31.3	60.26	60.26
19				
20				
21				
22	校舎棟	R4	682.80	1,268.96
23	渡り廊下	R4	29.16	0.00
既存建物計			5,485.54	11,281.97
24	児童ｸﾗﾌﾞ②棟【申請建物】		254.22	465.38
25	児童ｸﾗﾌﾞ②棟外部鉄骨階段【申請建物】		4.89	0.00
26	物置１【申請建物】	269.49㎡	2.28	2.28
27	物置２【申請建物】		3.11	3.11
28	物置３【申請建物】		2.83	2.83
合計			5,752.87	11,755.57

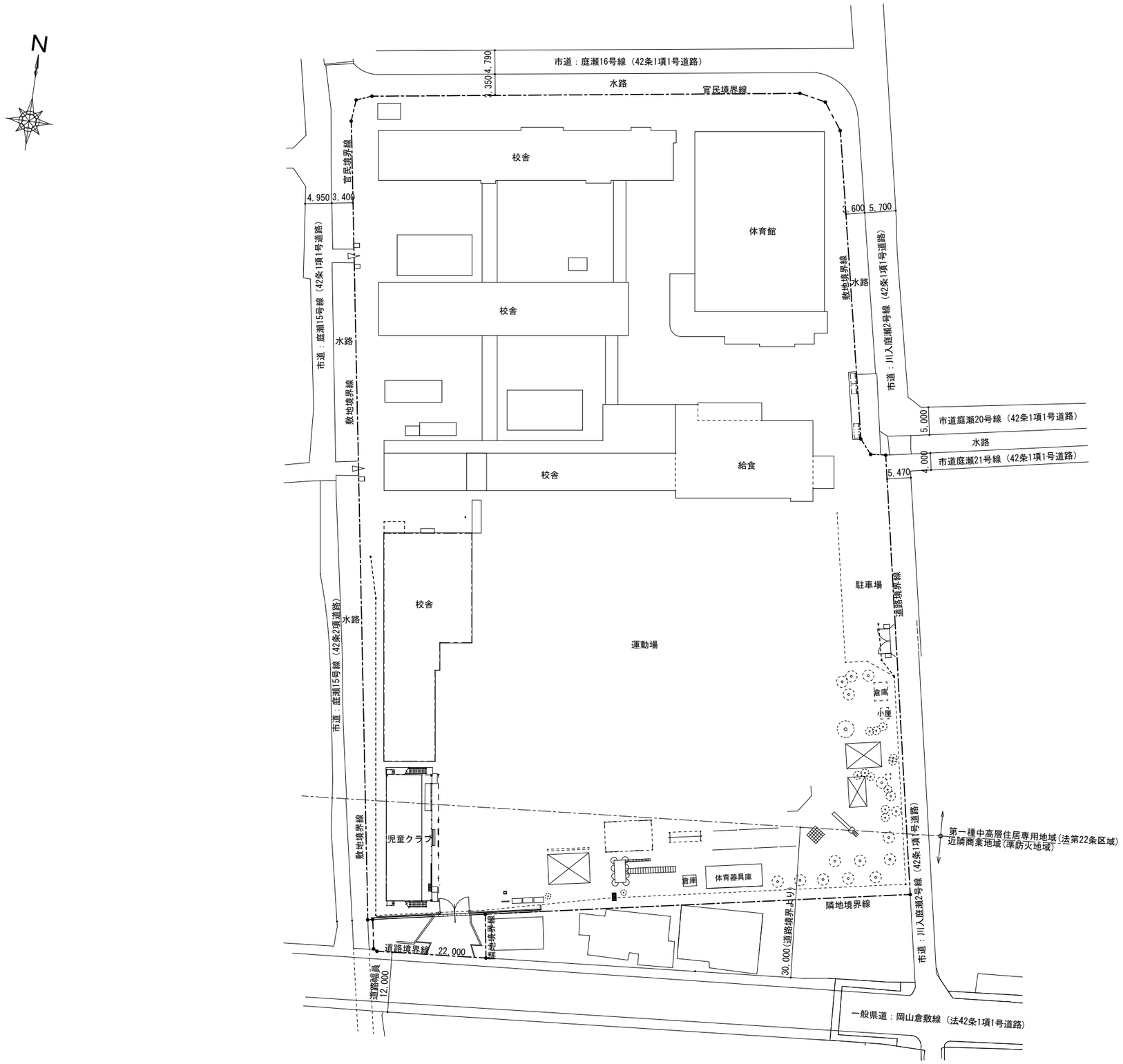
475.76㎡

建蔽率算出用既存部分

5,485.54-10.08(自転車庫) ＝5,475.46

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
図面名	配置図、面積リスト	縮尺	S=1/600 (A3:71%)	A-11	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



現況配置図　S=1/600

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	現況配置図	縮尺	S=1/600 (A3:71%)		A-12	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区原原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

■外部仕上表

屋　根	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｭｰﾑ鋼板0.4t 縦ﾊｾﾞ葺(元旦 TRX4型同等品) 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940(同等品)、特類構造用合板 T=12下地
軒　裏	ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板T=12塗装品(市販品)(ﾆﾁﾊ 軒天12(ｴﾝﾎﾞｽ調) 同等品)(30分準耐火(無孔板)QF030RS-154　軒天通気見切縁 ﾆﾁﾊ KBM2N同等品 (30分準耐火QF030RS-156
破風､鼻隠し	市販品：繊維混入ｾﾒﾝﾄｹｲｶﾙ板 塗装品 H=240 (ﾆﾁﾊ：GLｼﾘｰｽﾞ)同等品)
軒　樋	塩ビ角120 (ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ PGR 同等品)　支持金具SUS製@≒600内外以下 (ﾒｰｶｰ仕様による)
竪　樋	ｶﾗｰ塩ビ製 VP65A　竪樋足元ｶﾊﾞｰ共　支持金具SUS製@1200内外以下 (ﾒｰｶｰ仕様による)
外　壁	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ厚16(横張)金具通気工法 透湿防水ｼｰﾄ下地　・ﾆﾁﾊ ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16 ｼﾌﾞｷ程度(@5,295/㎡) 同等品
土台水切	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞ鋼板70.35加工(市販品)(通気用、防鼠型)
床下換気口	基礎ﾊﾟｯｷﾝ20ｔ(市販品)(一部気密ﾊﾟｯｷﾝ)
巾　木	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引仕上げ

ポーチ　軒裏 床 ｽﾛｰﾌﾟ	ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板T=12塗装品(市販品) (ﾆﾁﾊ 軒天12(ｴﾝﾎﾞｽ調) 同等品) (30分準耐火(無孔板)QF030RS-154　軒天通気見切縁：ﾆﾁﾊ KBM2N同等品 (30分準耐火QF030RS-156 磁器質150角タイル張り(ｺｰﾅｰ:ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ) 土間床：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ直押え箒目仕上げ(端部W150:金鏝仕上げ)、ｽﾛｰﾌﾟSUS手摺
ﾃﾗｽ踏台	ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝直押え仕上げ
サッシ	ｱﾙﾐ製住宅用半外付けｻｯｼ(ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E))<建具表参照>、一部ﾋﾞﾙ用ﾌﾛﾝﾄｻｯｼ
ｱﾙﾐ庇	※別紙参照
屋外階段(鉄骨造)	※別紙参照 鋼材：溶融亜鉛メッキ 土間床：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ直押え仕上げ

■内部仕上表

階	室名	床　防滑性長尺塩ビ床ｼｰﾄ t2.0	巾木	腰・壁	廻縁	天井	天井高	備考	
1・2階(各階共通)	玄　関	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地の上 150角磁器質タイル	150角磁器質タイル	GB-R 12.5tの上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	塩ビ製	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) T=9.5×455×910 (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張直張)	2,420	下足入、SUS床見切	玄　関
	ﾎｰﾙ、廊下 ﾄｲﾚ前廊下	構造用合板 T=(28+12)2重張の上　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(防滑)(木目調)	桧 木製巾木 H60 UC塗	GB-R 12.5tの上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼　一部(手洗い前)GB-S 12.5ｔの上　FK(化粧ｹｲｶﾙ板)6ｔ (一部 GB-R (12.5+9.5) 2重張の上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(114条区画壁)	塩ビ製	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) T=9.5×455×910 (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張直張)	2,400	手洗場(背面腰壁)、壁点検口、天井点検口 消火器(粉末ABC10型)	ﾎｰﾙ、廊下 ﾄｲﾚ前廊下
	ﾄｲﾚ個室1,2,3,4 SK	構造用合板 T=(28+12)2重張の上　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(防滑)(木目調)	桧 木製巾木 H60 UC塗	GB-S 12.5ｔの上　FK(化粧ｹｲｶﾙ板)6ｔ	塩ビ製	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) T=9.5×455×910 (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張直張)	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ腰壁、面台(ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ T20)、壁点検口 天井点検口 ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ(160口平付、ﾄｲﾚ扉取付4ヶ所)、床下点検口	ﾄｲﾚ個室1,2,3,4 SK
	洗濯機置場	構造用合板 T=(28+12)2重張の上　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(防滑)(木目調)	桧 木製巾木 H60 UC塗	GB-R 12.5tの上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止) (一部 FK(化粧ｹｲｶﾙ板) t6.0 上張り	塩ビ製	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) T=9.5×455×910 (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張直張)	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ腰壁、洗濯ﾊﾟﾝ(設)	洗濯機置場
	児童ｸﾗﾌﾞ室 1,2,3,4	構造用合板 T=28 の上　複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(塗装品) T=15	桧 木製巾木 H60 UC塗	GB-R 12.5tの上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 (一部 GB-R (12.5+9.5) 2重張の上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(114条区画壁)	塩ビ製	岩綿化粧吸音板(DR) T=12×455×910(直張り) (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様、ﾚﾝｶﾞ張直張)	2,500	ﾛｯｶｰ、天井点検口、静養ｺｰﾅｰ(吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ) ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ(1500*900)	ｸﾗﾌﾞ室1､2
	多目的室 (指導員用事務室)	構造用合板 T=28 の上　複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(塗装品) T=15	桧 木製巾木 H60 UC塗	GB-R 12.5tの上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)	塩ビ製	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) T=9.5×455×910 (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張直張)	2,400	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ(800*800)	多目的室 (指導員用事務室)
	静養室	構造用合板 T=28 の上　複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(塗装品) T=15	桧 木製巾木 H60 UC塗	GB-R 12.5tの上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)	塩ビ製	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) T=9.5×455×910 (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張直張)	2,400		静養室
	湯沸室	構造用合板 T=28 の上　複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(塗装品) T=15	桧 木製巾木 H60 UC塗	GB-R 12.5tの上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止) 一部(個室・掃除具内)　石膏ボード9.5ｔの上　化粧ケイ酸カル板6ｔ	塩ビ製	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) T=9.5×455×910 (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張直張)	2,400	流し台、ｺﾝﾛ置台、吊戸棚、水切棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ ﾗｲﾆﾝｸﾞ腰壁、面台(ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ T20)、SUS水切、壁点検口	湯沸室
	階段下物入	構造用合板 T=(28+12)2重張の上　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(防滑)(木目調)	桧 木製巾木 H60 UC塗	構造材表しのママ		階段裏　表し	2,400		階段下物入
共通	階　段	踊場：構造用合板 T=28 の上　複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(塗装品) T=15 踏面：カバ(集成材) T=40　段鼻溝加工(2本)　塗装品 蹴込：カバ(集成材) T=12　塗装品	桧 木製巾木 H60 UC塗 ｻｻﾗ桁：ｶﾊﾞ集成材 35t 塗装品	GB-R 12.5tの上 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)	塩ビ製		――	手摺：樹脂製(既製品)φ34(壁付)　H 750 笠木：桧 T=25　UC塗装	階段室

※特記　・2階床部分は防音用に硬質ﾊｰﾄﾞPB T=12.5 捨張下地とする。
・令114条防火上主要な間仕切壁下地は GB-R厚9.5+厚12.5の2重張下地とする。(両面共、小屋裏野地板迄)

・各室ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)：別紙平面図参照(吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共)
・ABC粉末10型消火器：2ヶ所(ﾎｰﾙ)

流し台	L=1200	1ヶ所
ｺﾝﾛ台 ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ共	L=600	1ヶ所
吊戸棚	L=1200	1ヶ所
水切棚	L=1200	1ヶ所
ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ	L=600	1ヶ所

ｽﾁｰﾙ製下足入	・30人用〔三島精機 BEST BS-30NW6SN 同等品〕 数量：3 ヶ所 ・36人用〔三島精機 BEST BS-36NW6SN 同等品〕 数量：2 ヶ所
ｽﾁｰﾙ製 ｵｰﾌﾟﾝﾛｯｶｰ	・10人用〔光葉ｽﾁｰﾙ FT5-2N 同等品〕 数量：16　ヶ所
ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	W1500*H900：2ヶ所 W800*H800：2ヶ所

■防湿・断熱仕様

※6地域(岡山市)　断熱等性能等級4 仕様に準ずる。

天井裏部断熱材：	高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 24K(HGW24-)(C区分、λ=0.038～・厚105mm(A種防湿ﾌｨﾙﾑ付) (ﾏｸﾞ ｲﾝﾍﾞｰﾙ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄGWHG24-35、ｱｸﾘｱﾏｯﾄGWHG24-34) 同等品	R=2.2以上要
外周部壁断熱材：	高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 24K(HGW24-)(C区分、λ=0.038～・厚100～105mm(A種防湿ﾌｨﾙﾑ付) (ﾏｸﾞ ｲﾝﾍﾞｰﾙ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄGWHG24-35、ｱｸﾘｱﾏｯﾄGWHG24-34) 同等品	R=2.2以上要
1階床裏：	A種ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温板1種2号(E区分：λ＝0.02)・厚50 (旭化成：ﾈｵﾏﾙﾌｫｰﾑ 同等品	R=2.5(2.2以上要)

■シックハウス対策使用材料

・合板・フローリング・接着剤・塗料は全てＦ☆☆☆☆を使用のこと。
・天井裏等への措置は第3種材料を使用
・空気取り入れ口は、換気框 (ｱﾙﾐｻｯｼ) による。

■防火認定

GB-R：t12.5　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
(不燃　NM-8619号)
GB-S：t12.5　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ(防水)石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
(不燃　NM-9639号)
GB-D：t9.5　化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(準不燃)(天井用)
(準不燃　QM-9824号)
(準不燃ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ同等品)
DR：　t12：　ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板
(不燃　NM-号)
FK：　t6　化粧不燃ｹｲｶﾙ貼 t6.0
(不燃　NM-8579号)
ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ(不燃下地)：2級ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ
(準不燃QM-9446号)
珪酸ｶﾙｼｭｰﾑ板 T=5(不燃NM-8578)

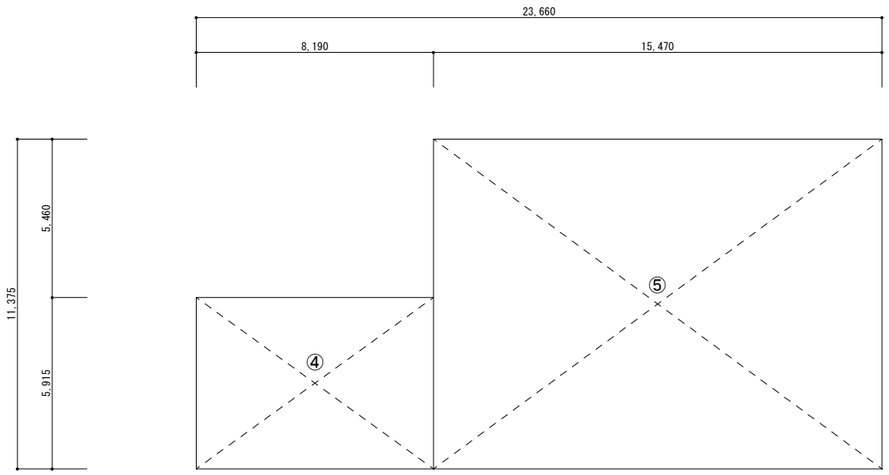
外壁防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ：PC030BE-9201

■　凡例

C　ｺﾝｸﾘｰﾄ下地
W　木下地
GB　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
UC　ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ
(設)　設備工事

特記
・化学物質の濃度測定箇所：事務室、相談室、ＤＫ、洋室1,2、和室 (6ヶ所)
・令114条の防火上主要な間仕切壁
GB-R 12.5ｔ+9.5ｔ(2重張り)(両面張り)(屋根野地板迄立上施工)
準耐火構造：告示１３５８

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	仕上表			縮尺 S=1/N.S	A-13		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

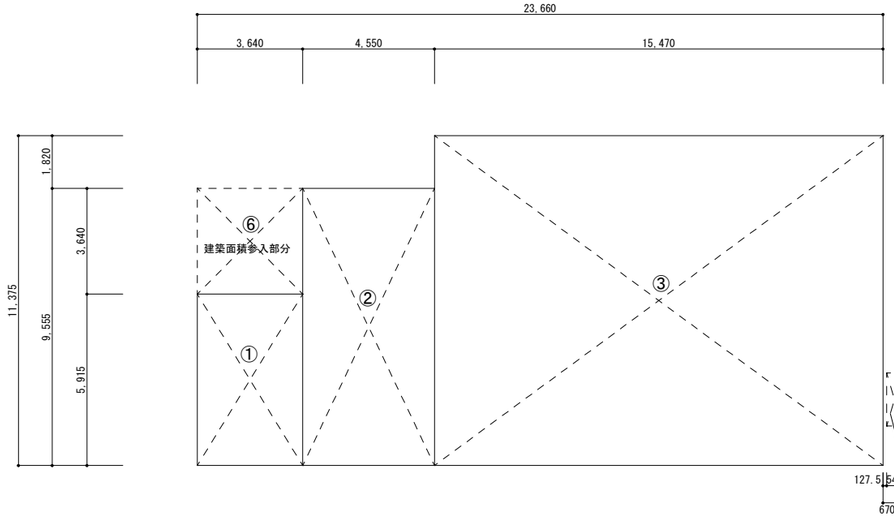


2階床面積求積図　1/150

建　物

2階床面積求積表

	区画No.	m		m		㎡
2階	④	8.190	×	5.915	=	48.4438
	⑤	15.470	×	11.375	=	175.9712
			×		=	
			×		=	
				小計		224.4150



1階床面積求積図　1/150

外部階段求積図　1/150

クラブ棟建物

1階床面積求積表

	区画No.	m		m		㎡
1階	①	3.640	×	5.915	=	21.5306
	②	4.550	×	9.555	=	43.4753
	③	15.470	×	11.375	=	175.9713
			×		=	
				小計		240.9771

建築面積求積表

	区画No.	m		m		㎡
建築面積	1階床面積				=	240.9771
	⑥	3.640	×	3.640	=	13.2496
			×		=	
			×		=	
				小計		254.2267

面積表

床面積表	㎡	坪
建築面積	254.22	76.90
1階床面積	240.97	72.89
2階床面積	224.41	67.88
延床面積	465.38	140.77

外部階段

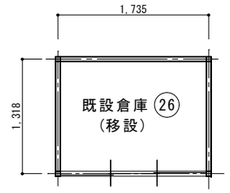
建築面積求積表

	区画No.	m		m		㎡
建築面積	⑦	0.5430	×	1.820	=	0.9883
	⑧	0.859	×	4.550	=	3.9085
			×		=	
			×		=	
				小計		4.8967

面積表

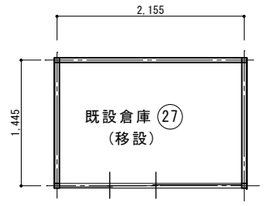
床面積表	㎡	坪
建築面積	4.89	1.47

既設倉庫㉖新(移)設　(上家：既設再利用　　基礎：新設)　S=1/50



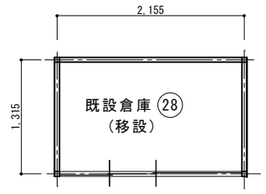
	計算式	m2
建築面積	1.735 × 1.318 =	2.286
延床面積	1.735 × 1.318 =	2.286

既設倉庫㉗新(移)設　(上家：既設再利用　　基礎：新設)　S=1/50



	計算式	m2
建築面積	2.155 × 1.445 =	3.114
延床面積	2.155 × 1.445 =	3.114

既設倉庫㉘新(移)設　(上家：既設再利用　　基礎：新設)　S=1/50



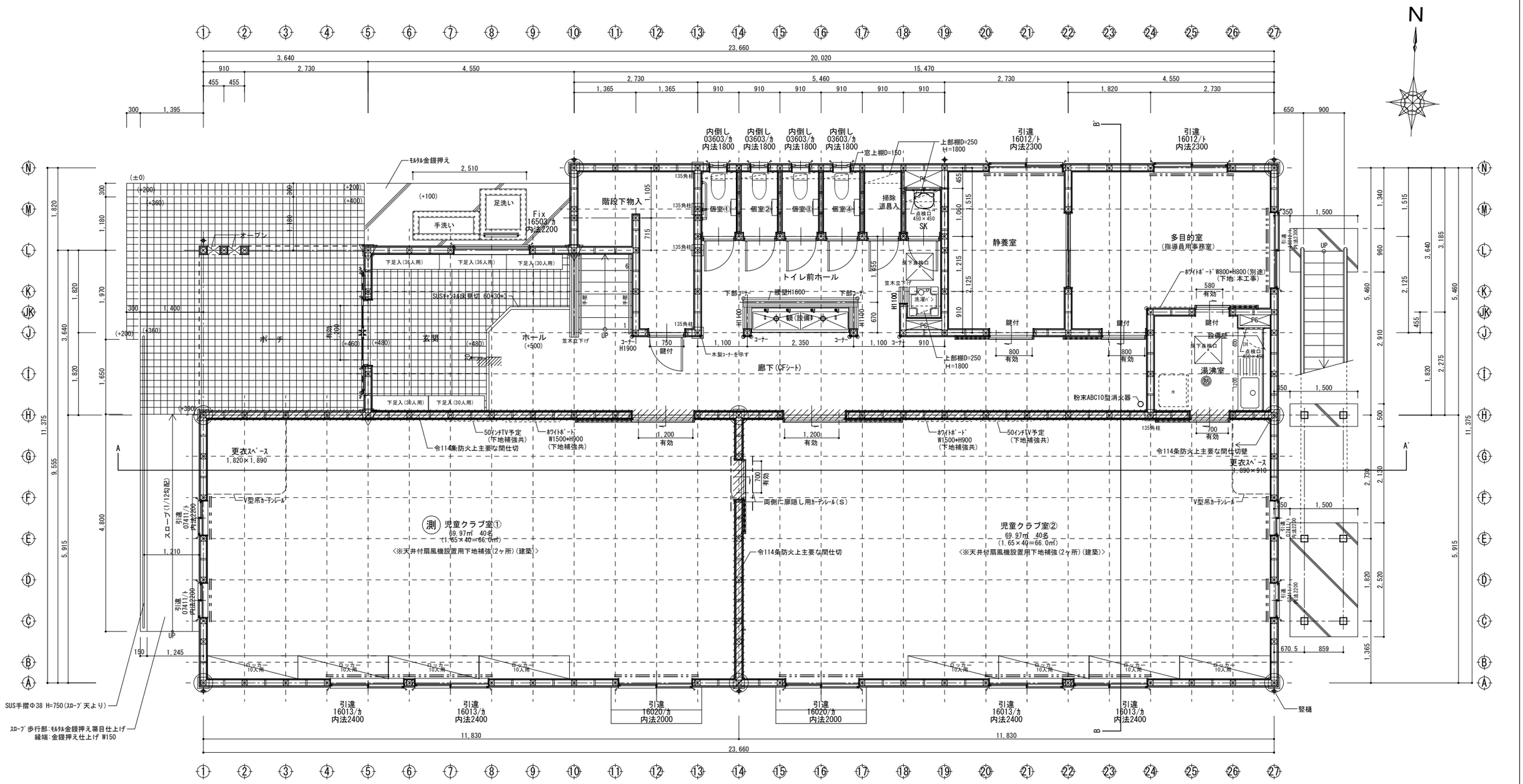
	計算式	m2
建築面積	2.155 × 1.315 =	2.834
延床面積	2.155 × 1.315 =	2.834

合計面積表

	クラブ棟	外部階段	物置1	物置2	物置3
1階床面積	240.97 ㎡	———	2.28 ㎡	3.11 ㎡	2.83 ㎡
2階床面積	224.41 ㎡	———			
延床面積	465.38 ㎡	———	2.28 ㎡	3.11 ㎡	2.83 ㎡
建築面積	254.22 ㎡	4.89 ㎡	2.28 ㎡	3.11 ㎡	2.83 ㎡

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	建物求積図表	縮尺	S=1/150・1/50 (A3:71%)	A-14	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



1・2階共通

凡 例

- 通し柱 135×135
- 隅 柱 135×135
- 管 柱 135×120
- 半 柱 45×120
- 間 柱 30×120
- 筋 違 45×90（壁倍率2.0）
- 筋違（ｶｽｶｲ）45×90（壁倍率4.0）
- ~~構造用合板 T=9（壁倍率2.7）~~
- 住宅用煙感式壁or天井付火災警報器 〈寝室、階段室〉 検定合格品
- 住宅用熱感式火災警報器 〈台所〉 検定合格品
- 24H用 24H用換気扇（Φ100）
- 24H給気用換気口 ~~24H用給気口（Φ100）~~
- 24H用 24H用給気口（Φ100）（FL+2200）
- 測 化学物質の濃度測定箇所を示す
- 消 ABC粉末消火器10型（収納箱共）

凡 例

- ═══ ：カーテンレール（W）
- ─ ─ ：カーテンレール（S）
- ─ ─ ─ ：V型吊カーテンレール
- ////：防火上主要な間仕切壁

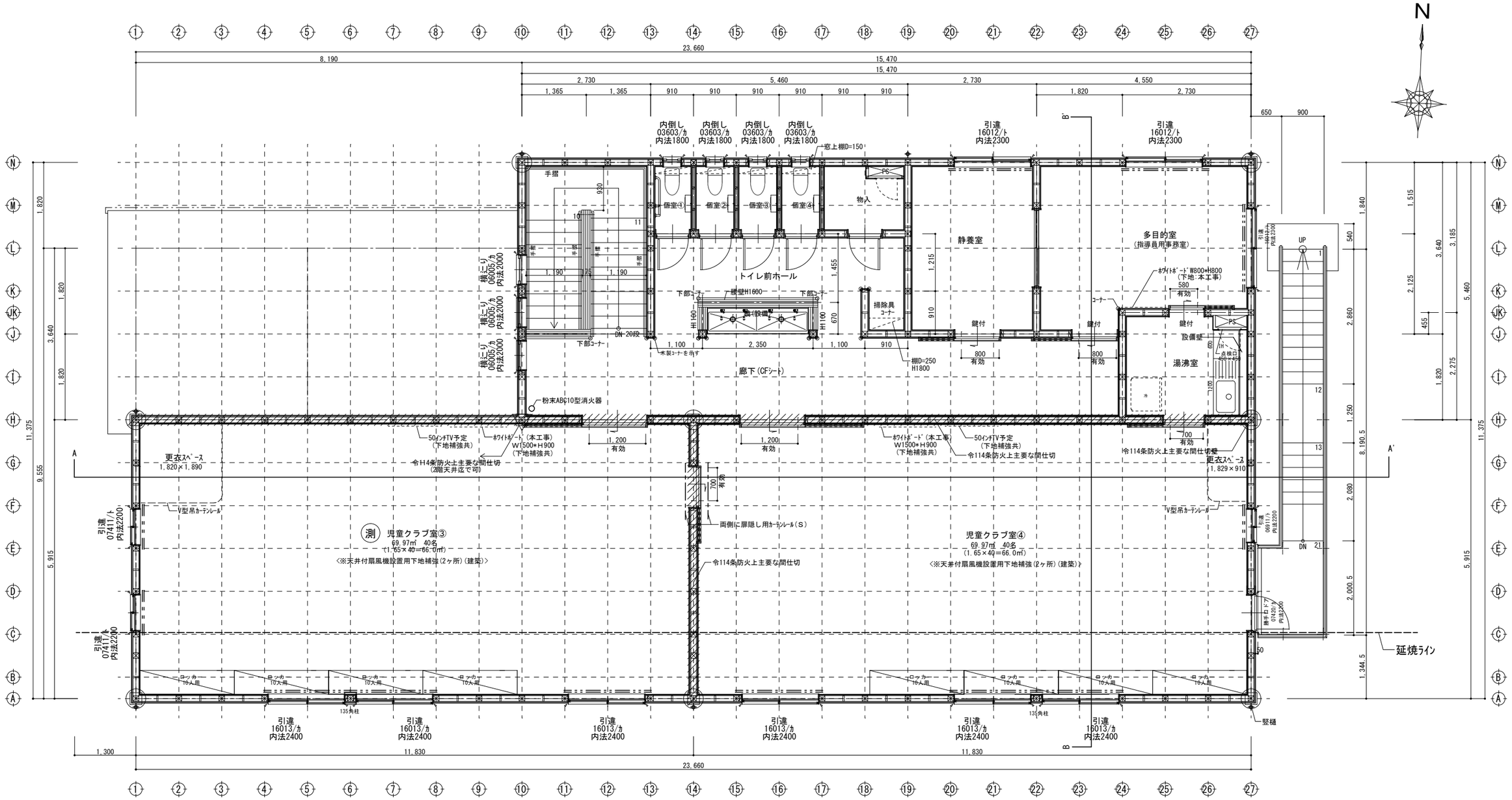
特 記

＊内装仕上げ及び天井裏等は規制対象外材料を使用とする。（F☆☆☆☆、小屋裏はF☆☆☆）
＊ｸﾛﾙﾋﾞｽﾎﾞﾙの使用は無し。
＊室内建具ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ 10mm以上（1,2階共）（24時間換気用）
＊消防法第6条、9条の火災予防条例規定に適合仕様とする。

1階平面図 S=1/60

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88495号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
図面名	1階平面図	縮尺	S=1/60 (A3:71%)	A-15	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



2階平面図　S=1/60

1・2階共通

凡　例

- 通し柱　135×135
- 隅　柱　135×135
- 管　柱　135×135
- 管　柱　120×120
- 半　柱　45×120
- 間　柱　30×120
- 下 桁　違　45×90(壁倍率2.0)
- 筋違(ﾀｽｷ)45×90(壁倍率4.0)
- ~~構造用合板 T=9 (壁倍率2.7)~~
- 住宅用煙感式壁or天井付火災警報器 〈寝室、階段室〉　検定合格品
- 住宅用熱感式火災警報器 〈台所〉　検定合格品
- 24H用換気扇(Φ100)
- 24H用給気用換気框 ~~24H用給気口(Φ100)~~
- 24H用給気口(Φ100)(FL+2200)
- 測 化学物質の濃度測定箇所を示す
- 消 :ABC粉末消火器10型(収納箱共)

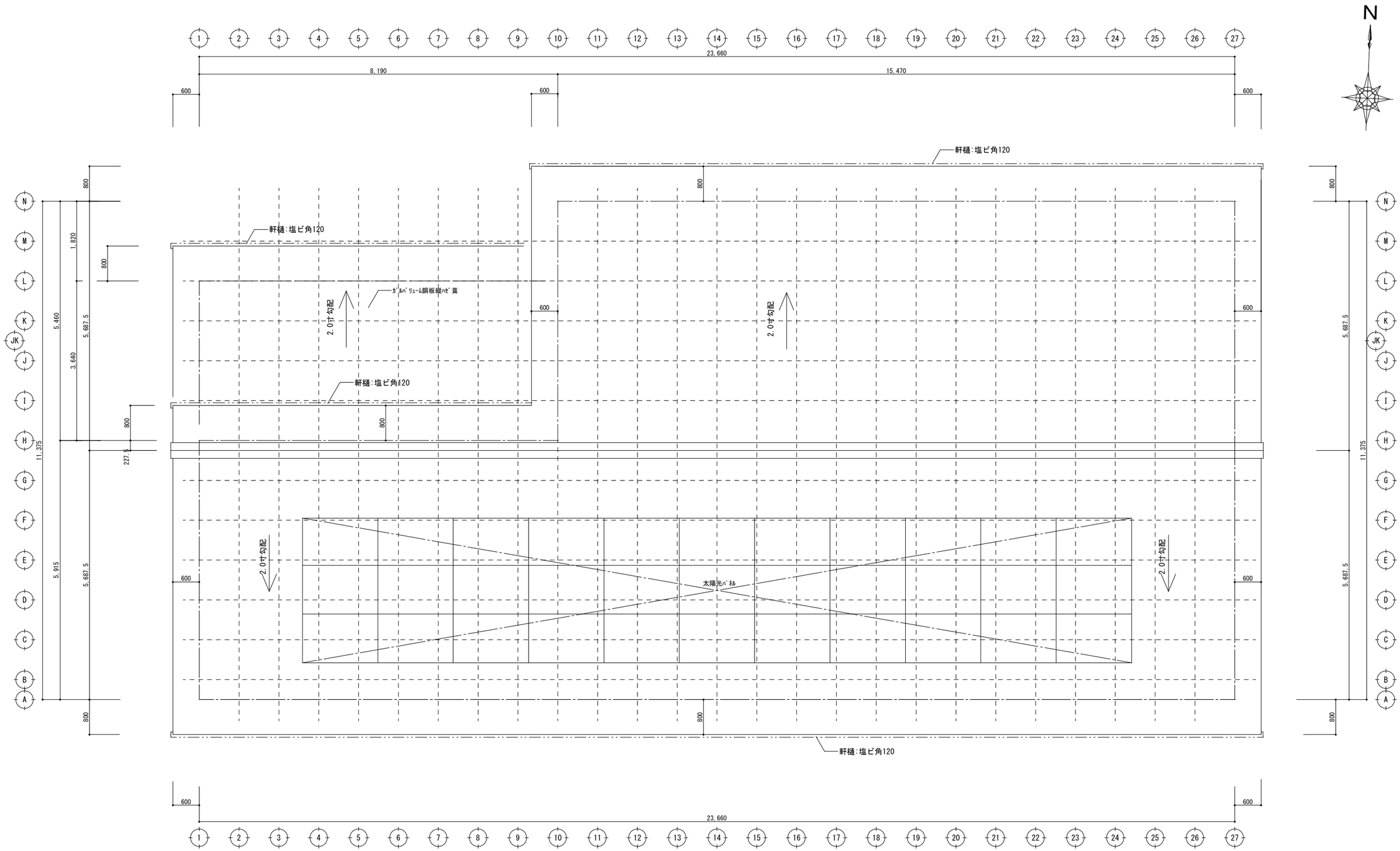
凡　例

- ═══ : カーテンレール(W)
- ─ ─ ─ : カーテンレール(S)
- ┄┄┄ : V型吊カーテンレール
- ////// : 防火上主要な間仕切壁

特　記

- ＊内装仕上げ及び天井裏等は規制対象外材料を使用とする。(F☆☆☆☆、小屋裏はF☆☆☆)
- ＊ｸﾛﾙﾋﾞｽﾎﾙﾑの使用は無し。
- ＊室内建具ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄ 10mm以上(1,2階共)(24時間換気用)
- ＊消防法第6条、9条の火災予防条例規定に適合仕様とする。

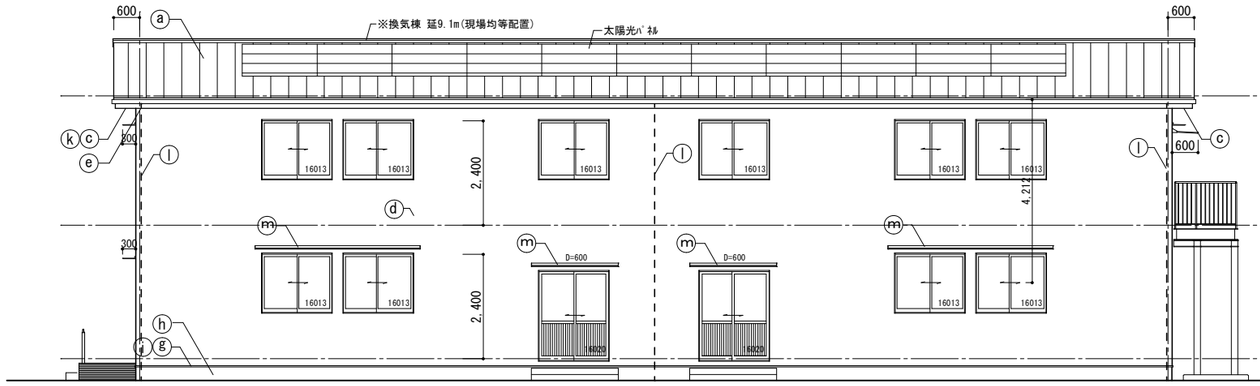
工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	2階平面図		縮尺	S=1/60 (A3:71%)	A-16	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88495号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



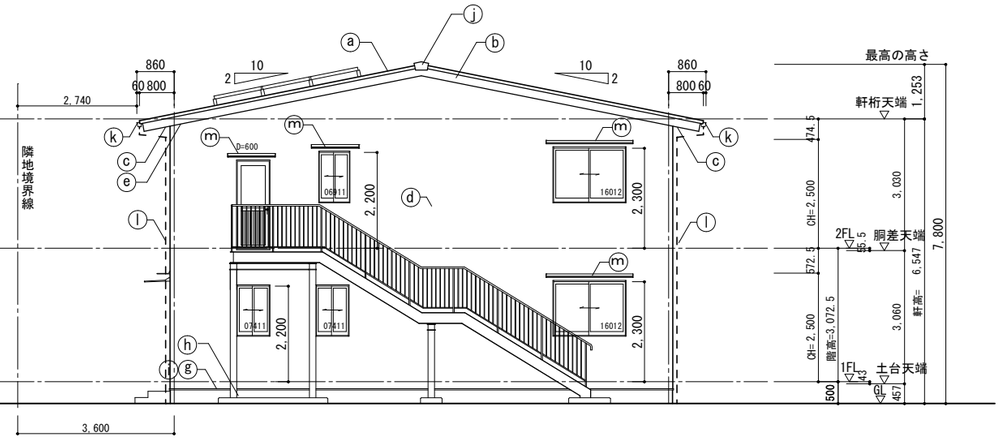
屋根伏図　S＝1/60

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	屋根伏図	縮尺	S=1/60 (A3:71%)		A-17	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月			

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



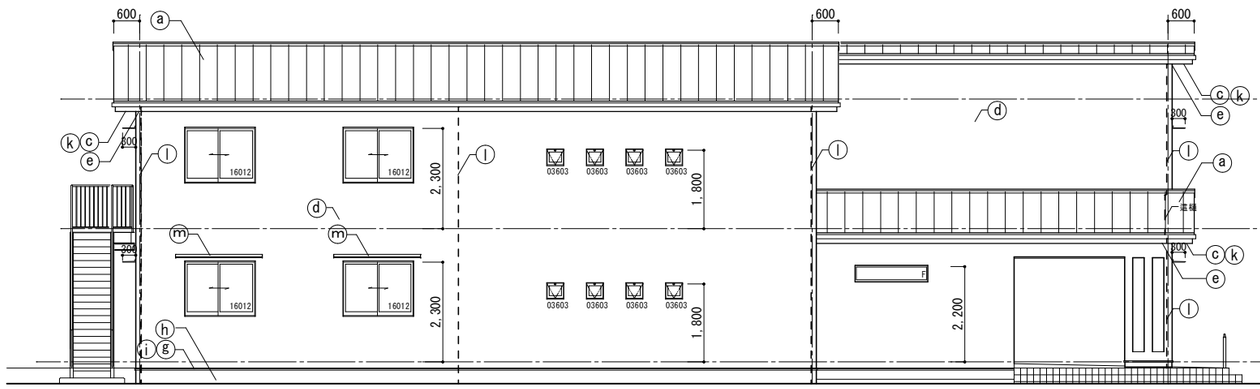
南立面図　S=1/100



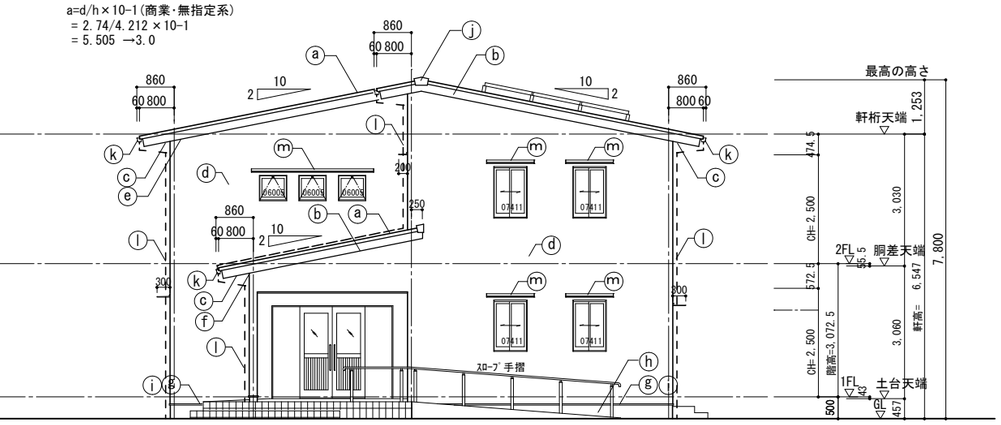
東立面図　S=1/100

2階ｸﾗﾌﾞ室の 採光係数aの算出

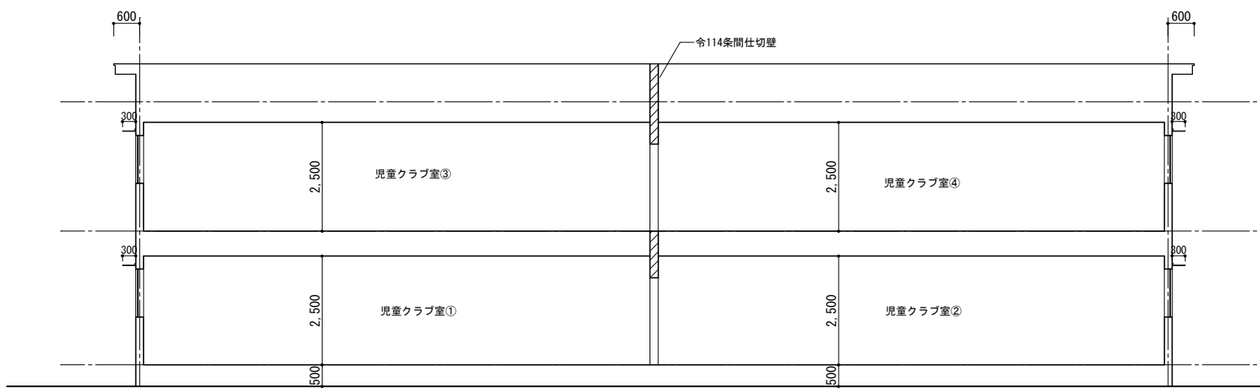
採光補正係数:a=d/h×α−β
α=10(商業、無指定(調整))
β=1(商業、無指定(調整))
a=d/h×10−1(商業・無指定系)
= 2.74/4.212 ×10−1
= 5.505 →3.0



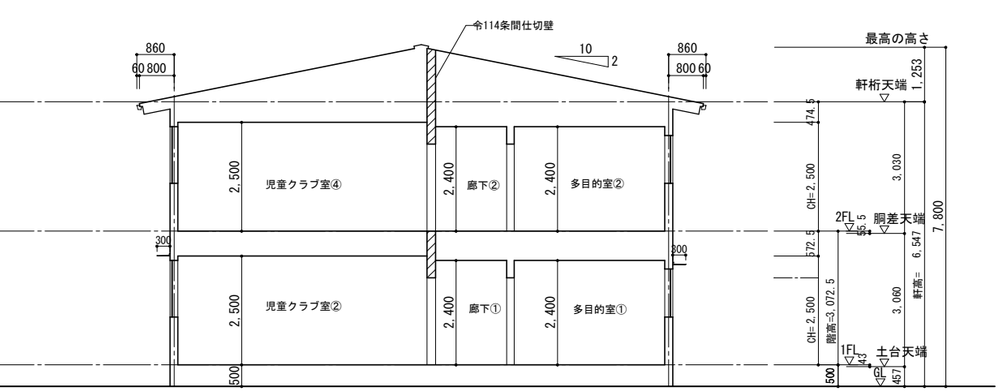
北立面図　S=1/100



西立面図　S=1/100



A-A'断面図　S=1/100



B-B'横断面図　S=1/100

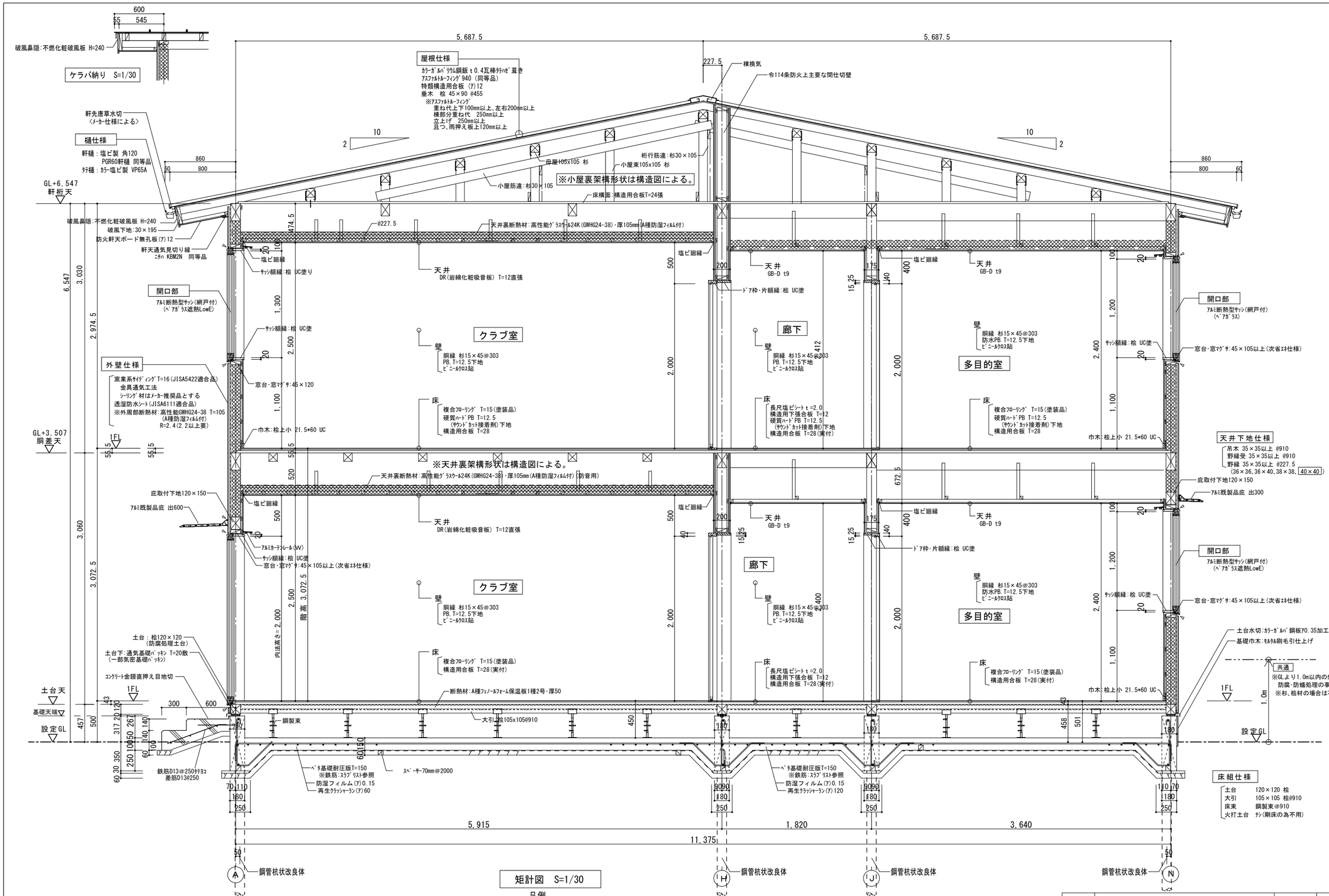
凡　例

ⓐ	屋根	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 厚0.4　縦ﾊｾﾞ葺(元旦 TRX4型 同等品) 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　特類構造用合板　厚12
ⓑ	破風・鼻隠	繊維混入ｾﾒﾝﾄ板 塗装品 H=240 (ﾆﾁﾊ：GLｼﾘｰｽﾞ)同等品)
ⓒ	軒裏	ﾊﾟﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板 T=12塗装品(市販品)
ⓓ	外壁	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ貼　〔ﾆﾁﾊ　ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16(Vｼﾘｰｽﾞ)　同等〕 通気金具留め工法　透湿防水ｼｰﾄ
ⓔ	軒天通気見切縁	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 厚0.35 (ﾆﾁﾊ KBM2N 同等品)
ⓕ	下壁通気見切縁	
ⓖ	土台水切	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 厚0.35

凡　例

ⓗ	外壁巾木	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引仕上げ
ⓘ	床下換気	基礎ﾊﾟｯｷﾝ H20(ﾛﾝｸﾞ)(市販品)
ⓙ	棟換気	
ⓚ	軒樋	塩ビ製 角120型(ﾊﾟﾅPGR60 同等品)
ⓛ	竪樋ー ー	ｶﾗｰ塩ﾋﾞ製 φ60、SUS掴み金物
ⓜ	ｱﾙﾐ庇	ﾌﾟﾗｷﾞｯｸﾞｰﾄSｼﾘｰｽﾞ同等品

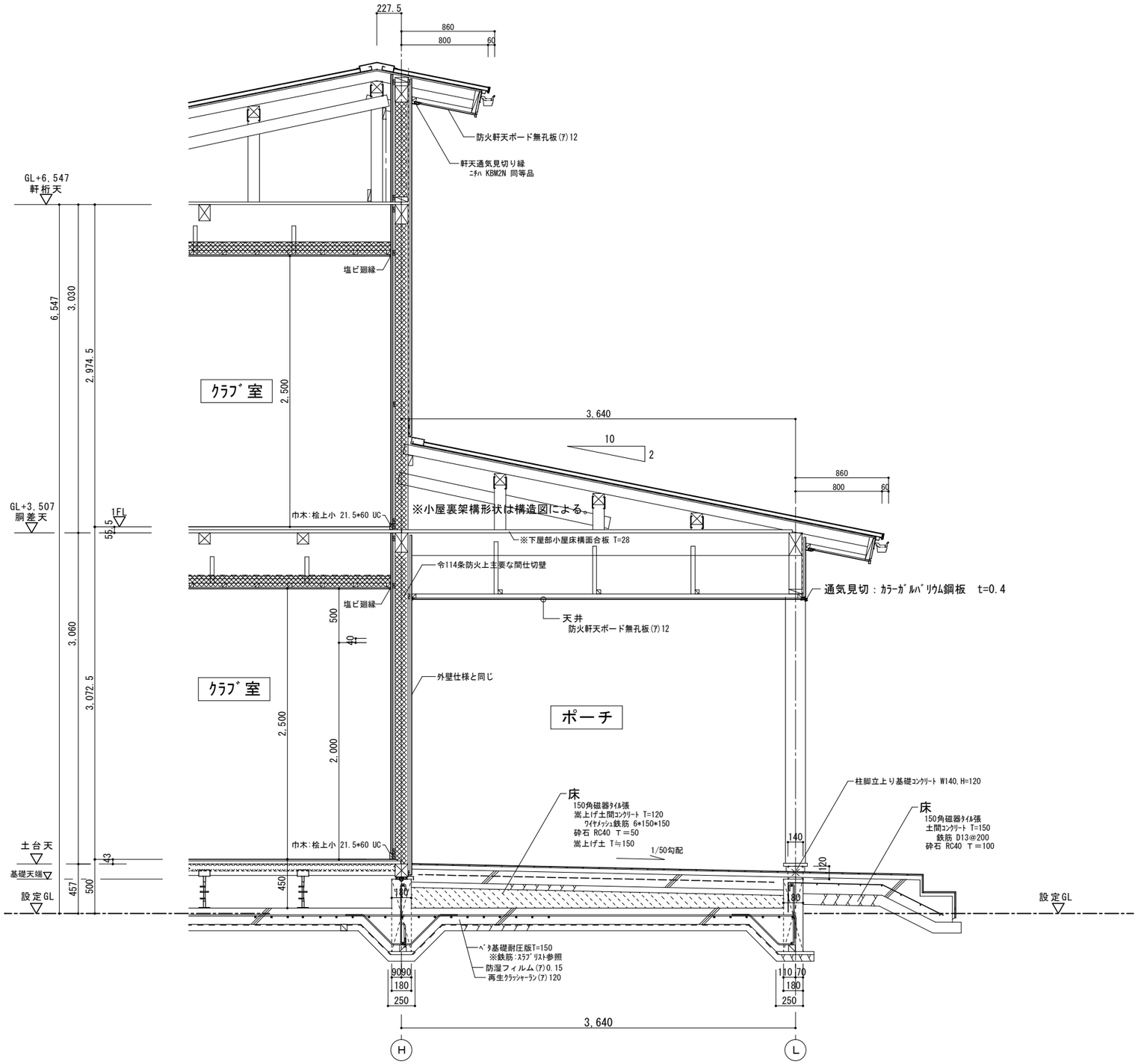
工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	立面図、断面図		縮尺	S=1/100 (A3:71%)	A-18		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



矩計図 S=1/30

凡例
△：ｼｰﾘﾝｸﾞを示す。
※配筋は構造図を優先とする。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	矩計図 1	縮尺	S=1/30 (A3:71%)		A-19		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

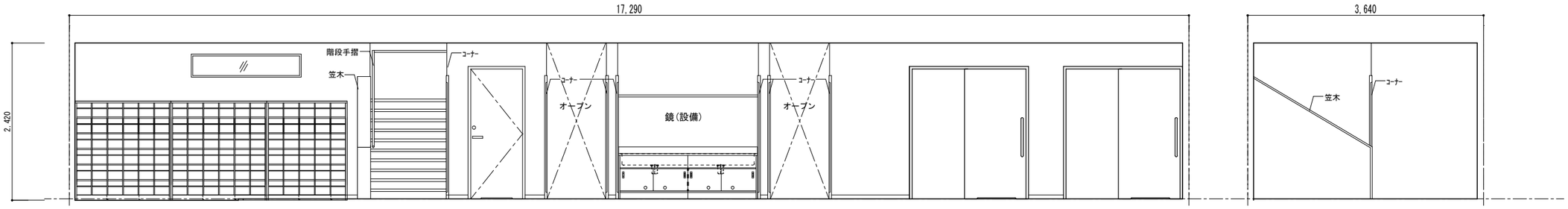


部分断面詳細図 S=1/30

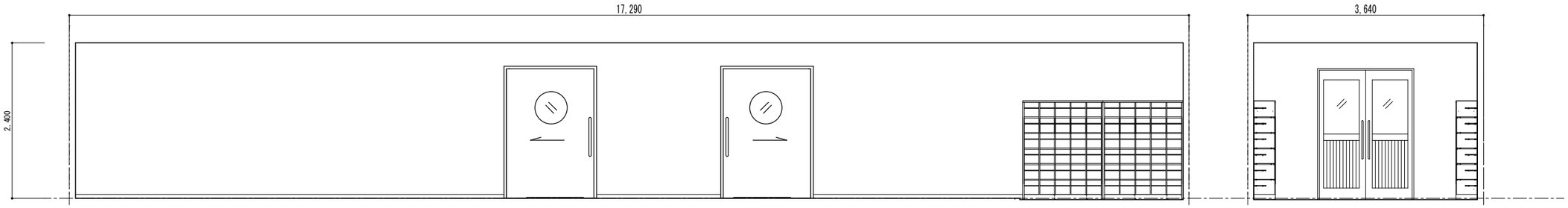
凡例
：シーリングを示す。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	矩計図２		縮尺	S=1/30 (A3:71%)	A-20	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

玄関・ホール	
床	玄関：150角磁器ﾀｲﾙ貼 ﾎｰﾙ：ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(防滑) (木目調)
巾木	玄関：150角磁器質タイルH=20 ﾎｰﾙ：桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ
廻縁	塩ビ製
備考	下足箱、SUS床見切 消火器(粉末ABC10型)

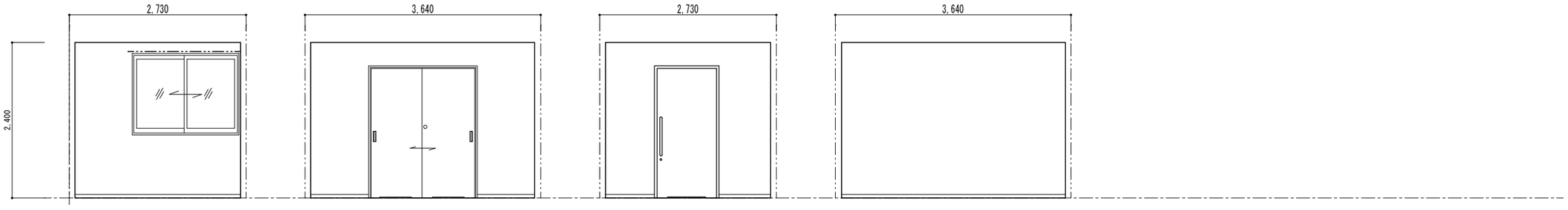


玄関・ホール　北面　東面



南面　西面

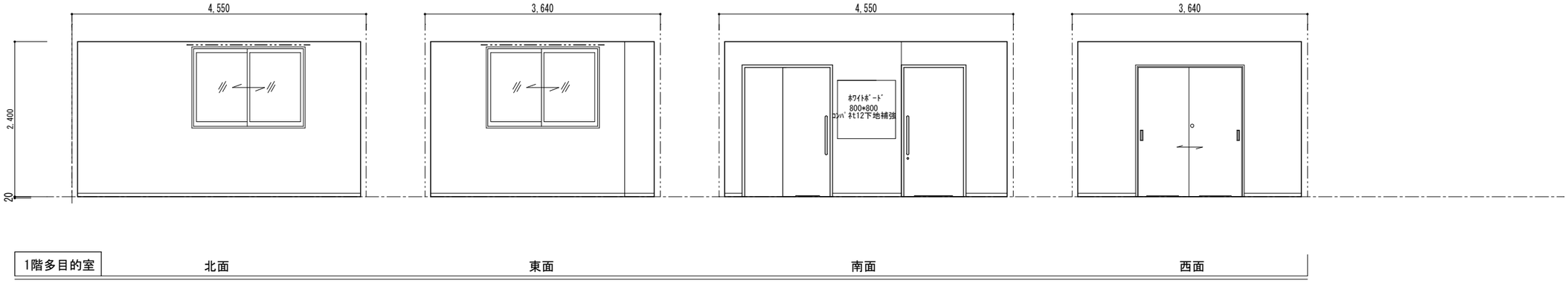
1階静養室	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(塗装品) T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ
廻縁	塩ビ製
備考	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ



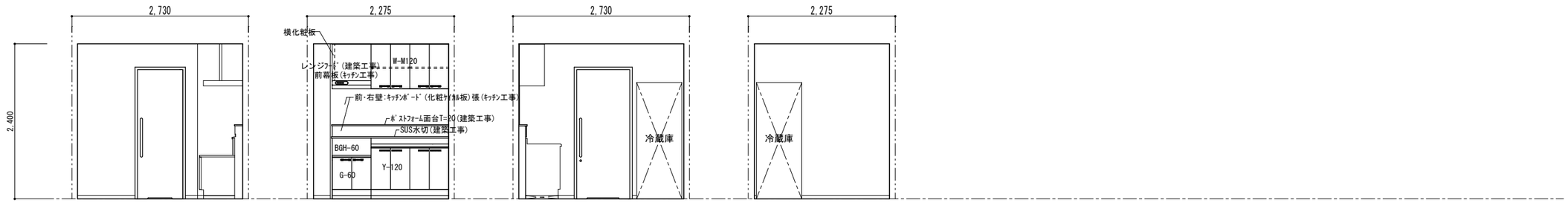
1階静養室　北面　東面　南面　西面

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	展開図 1	縮尺	S=1/50 (A3:71%)		A-21	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

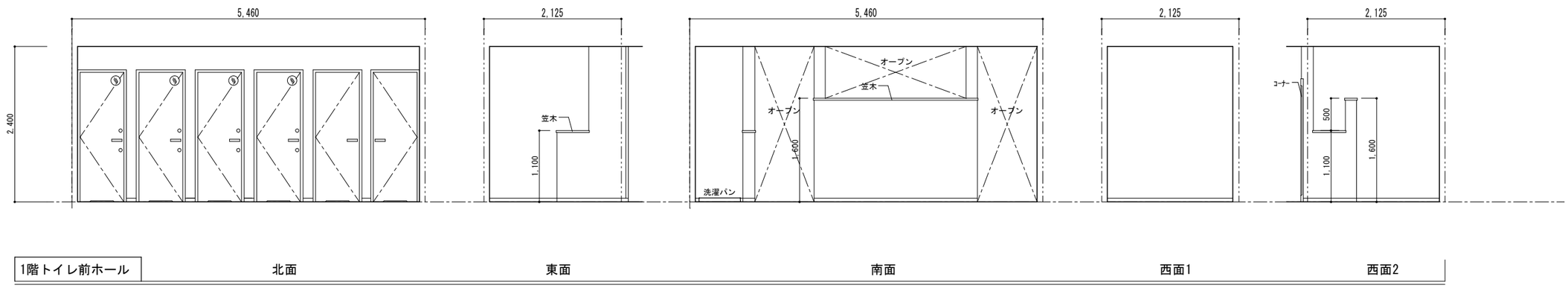
1階多目的室	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（塗装品） T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼（汚れ防止）
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ
廻縁	塩ビ製
備考	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（800*800，下地補強） ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ



1階湯沸室	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（塗装品） T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼（汚れ防止）
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ
廻縁	塩ビ製
備考	流し台、ｺﾝﾛ置台、吊戸棚、 水切棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ ﾗｲﾆﾝｸﾞ腰壁、面台（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ T20）、 SUS水切、壁点検口



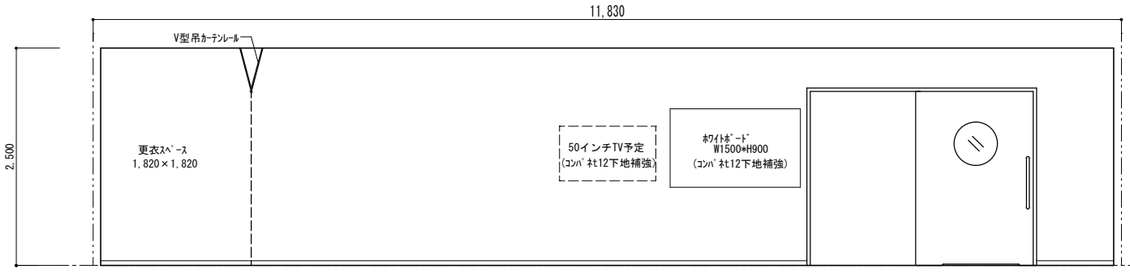
1階トイレ前ホール	
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0（防滑）
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 一部：FK（化粧ｹｲｶﾙ板）6ｔ
天井	岩綿化粧吸音板 12ｔ×455×910（直張り） （ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様、ﾚﾝｶﾞ張）
廻縁	塩ビ製
備考	手洗場（背面腰壁）、 壁点検口、

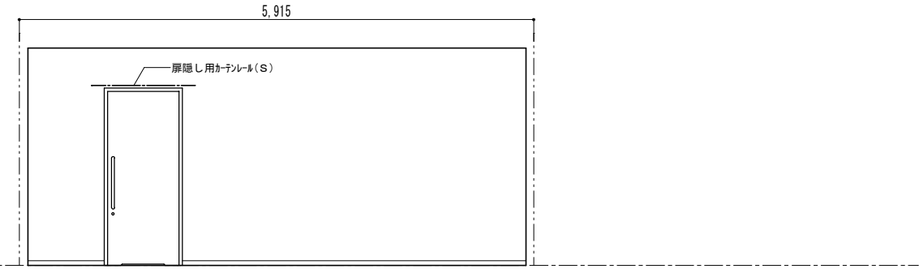


工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事		No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	展開図２	縮尺 S=1/50 (A3:71%)	A-22	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

1階児童クラブ室①	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（塗装品） T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
天井	岩綿化粧吸音板 12ｔ×455×910(直張り) (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様、ﾚﾝｶﾞ張)
廻縁	塩ビ製
備考	ﾛｯｶｰ、天井点検口 静養ｺｰﾅｰ(吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ) ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ(1500*900,下地補強) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ

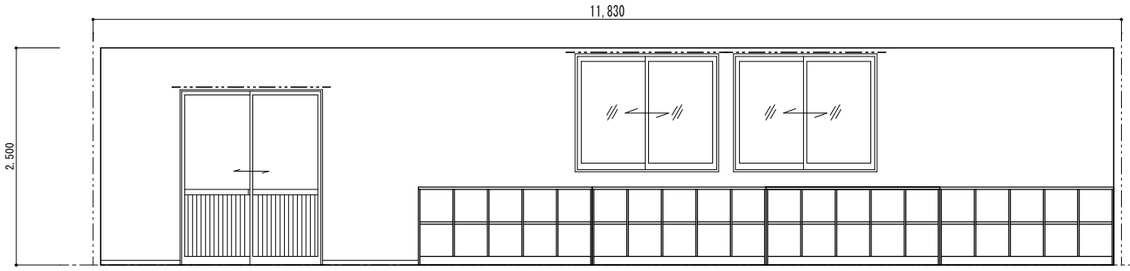


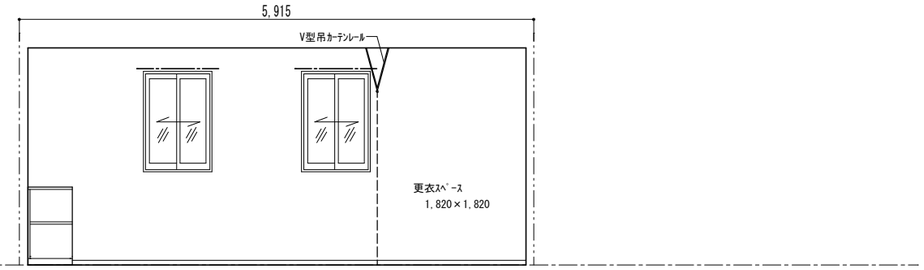


1階児童クラブ室①

北面

東面

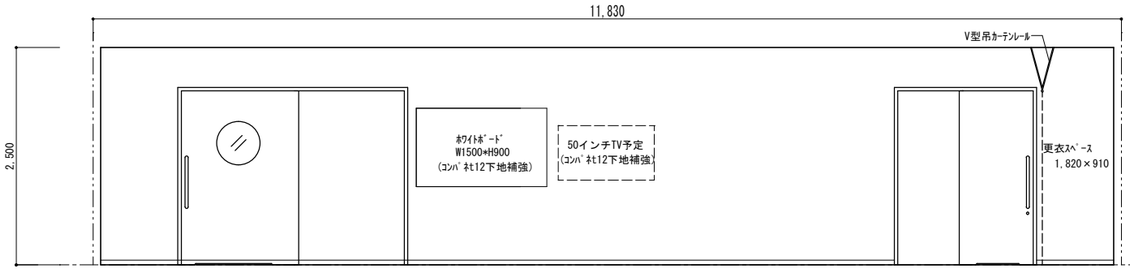




南面

西面

1階児童クラブ室②	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（塗装品） T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
天井	岩綿化粧吸音板 12ｔ×455×910(直張り) (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様、ﾚﾝｶﾞ張)
廻縁	塩ビ製
備考	ﾛｯｶｰ、天井点検口 静養ｺｰﾅｰ(吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ) ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ(1500*900、下地補強) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ

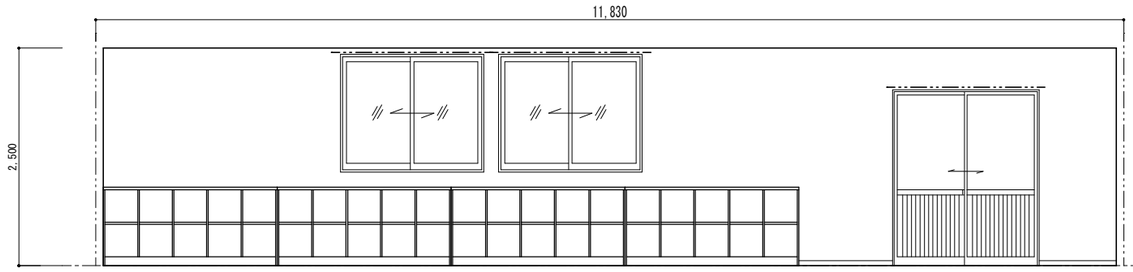


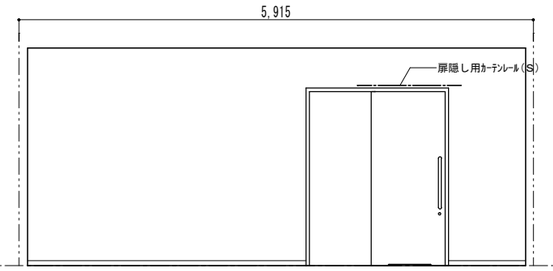
1階児童クラブ室②

北面

東面

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	展開図３	縮尺	S=1/50 (A3:71%)		A-23	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図 / 製図
					米山	米山 / 米山



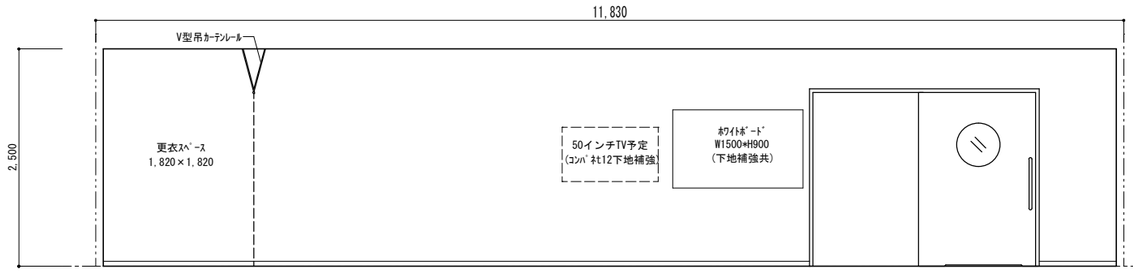


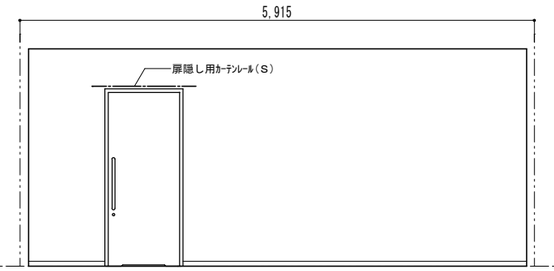
1階児童クラブ室②

南面

西面

2階児童クラブ室③	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(塗装品) T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
天井	岩綿化粧吸音板 12t ×455×910(直張り) (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様、ﾚﾝｶﾞ張)
廻縁	塩ビ製
備考	ﾛｯｶｰ、天井点検口 静養ｺｰﾅｰ(吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ) ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ(1500*900,下地補強) 消火器(粉末ABC10型) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ

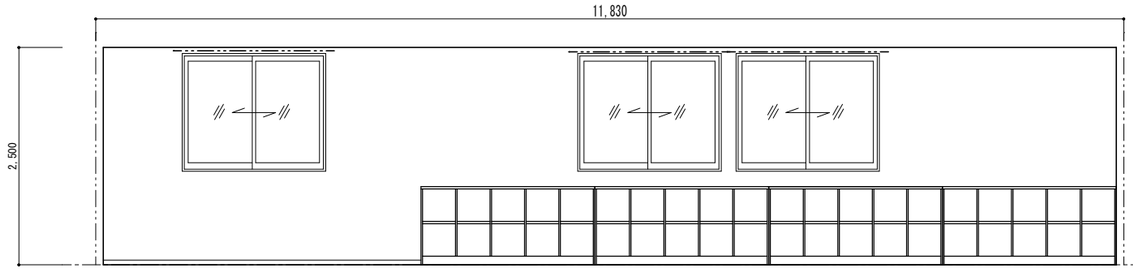


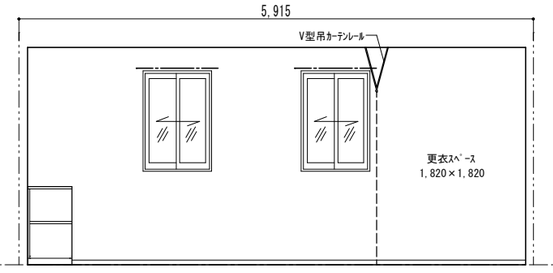


2階児童クラブ室③

北面

東面





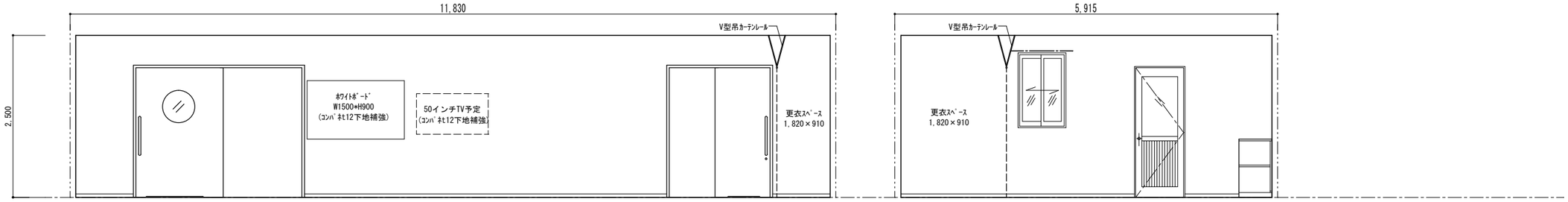
南面

西面

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	展開図４	縮尺	S=1/50 (A3:71%)	A-24	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月		

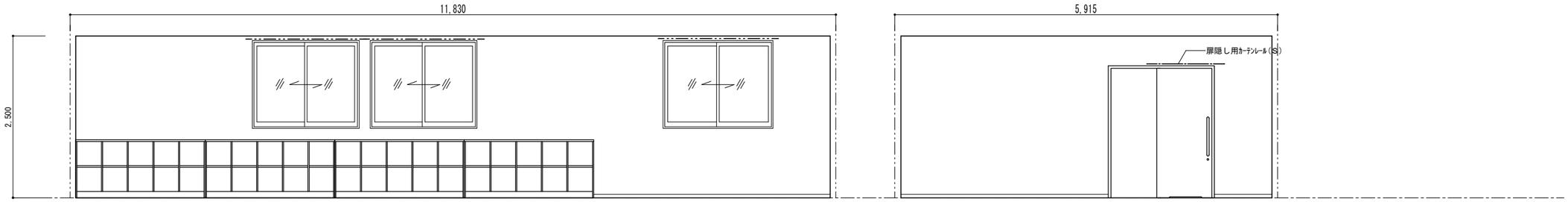
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

2階児童クラブ室④	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（塗装品） T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
天井	岩綿化粧吸音板 12ｔ×455×910(直張り) (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様、ﾚﾝｶﾞ張)
廻縁	塩ビ製
備考	ﾛｯｶｰ、天井点検口 静養ｺｰﾅｰ(吊ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ) ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ(1500*900,下地補強) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ



2階児童クラブ室④

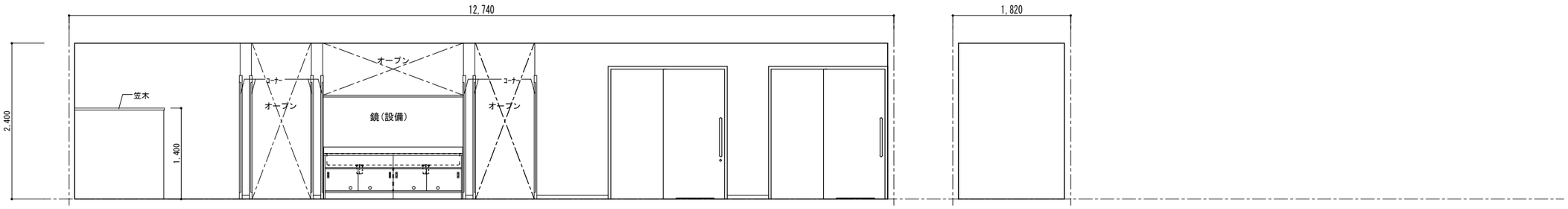
北面　　東面



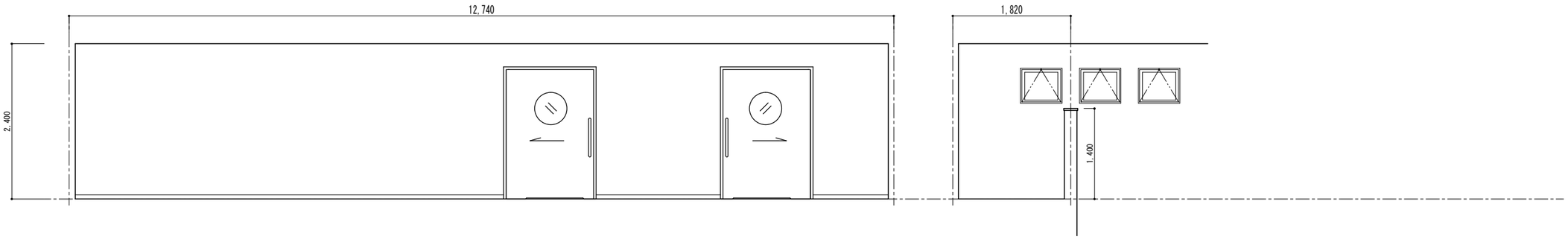
南面　　西面

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	展開図５	縮尺	S=1/50 (A3:71%)		A-25	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図 / 製図
					米山	米山 / 米山

2階廊下	
床	玄関：150角磁器ﾀｲﾙ貼 ﾎｰﾙ：ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(防滑) (木目調)
巾木	玄関：150角磁器質タイル ﾎｰﾙ：桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ
廻縁	塩ビ製
備考	手洗場(背面腰壁) ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ 消火器(粉末ABC10型)

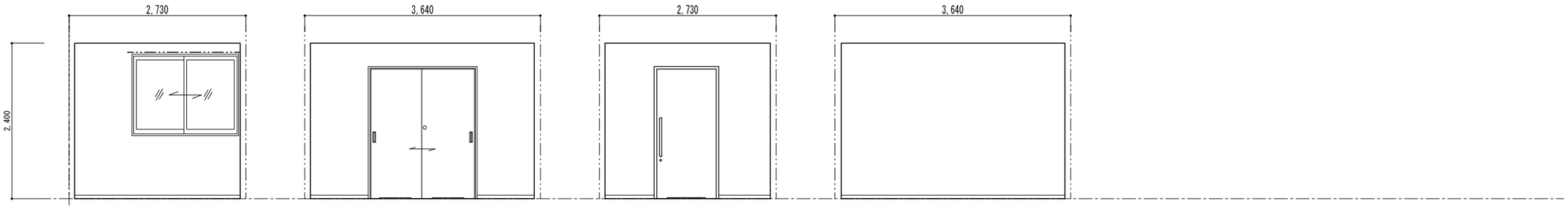


2階廊下　北面　東面



南面　西面

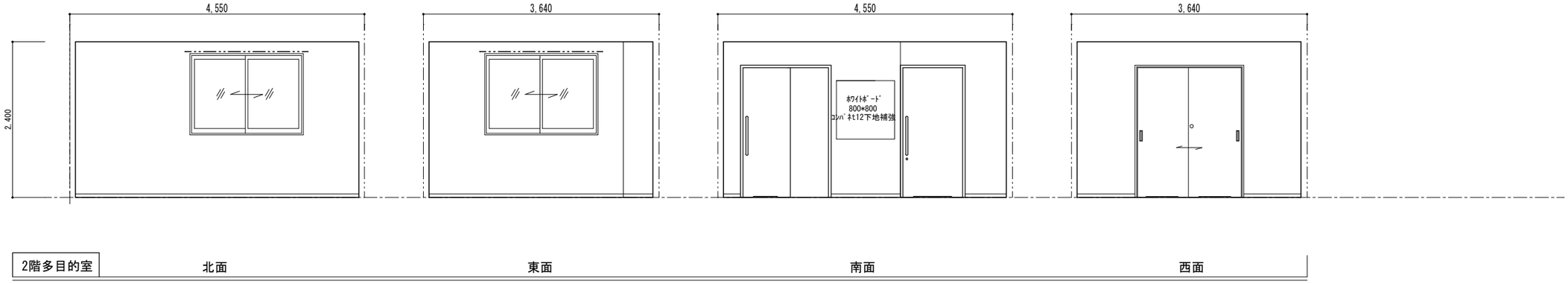
2階静養室	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(塗装品) T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(汚れ防止)
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ
廻縁	塩ビ製
備考	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ



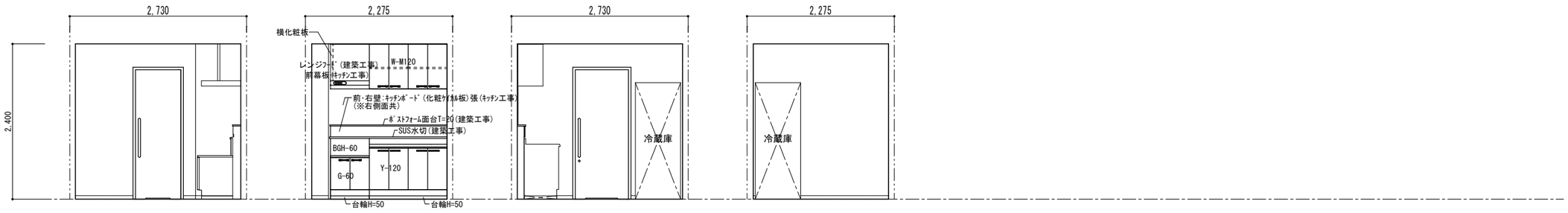
2階静養室　北面　東面　南面　西面

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	展開図６	縮尺	S=1/50 (A3:71%)	A-26		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

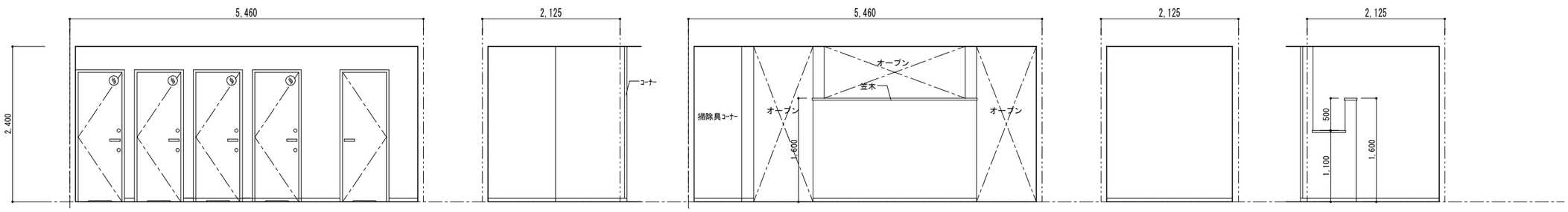
2階多目的室	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（塗装品） T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼（汚れ防止）
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ
廻縁	塩ビ製
備考	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ（800*800，下地補強） ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ



2階湯沸スペース	
床	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（塗装品） T=15
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼（汚れ防止）
天井	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5ｔ
廻縁	塩ビ製
備考	流し台、ｺﾝﾛ置台、吊戸棚、 水切棚、ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ ﾗｲﾆﾝｸﾞ腰壁、面台（ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ T20）、 SUS水切、壁点検口

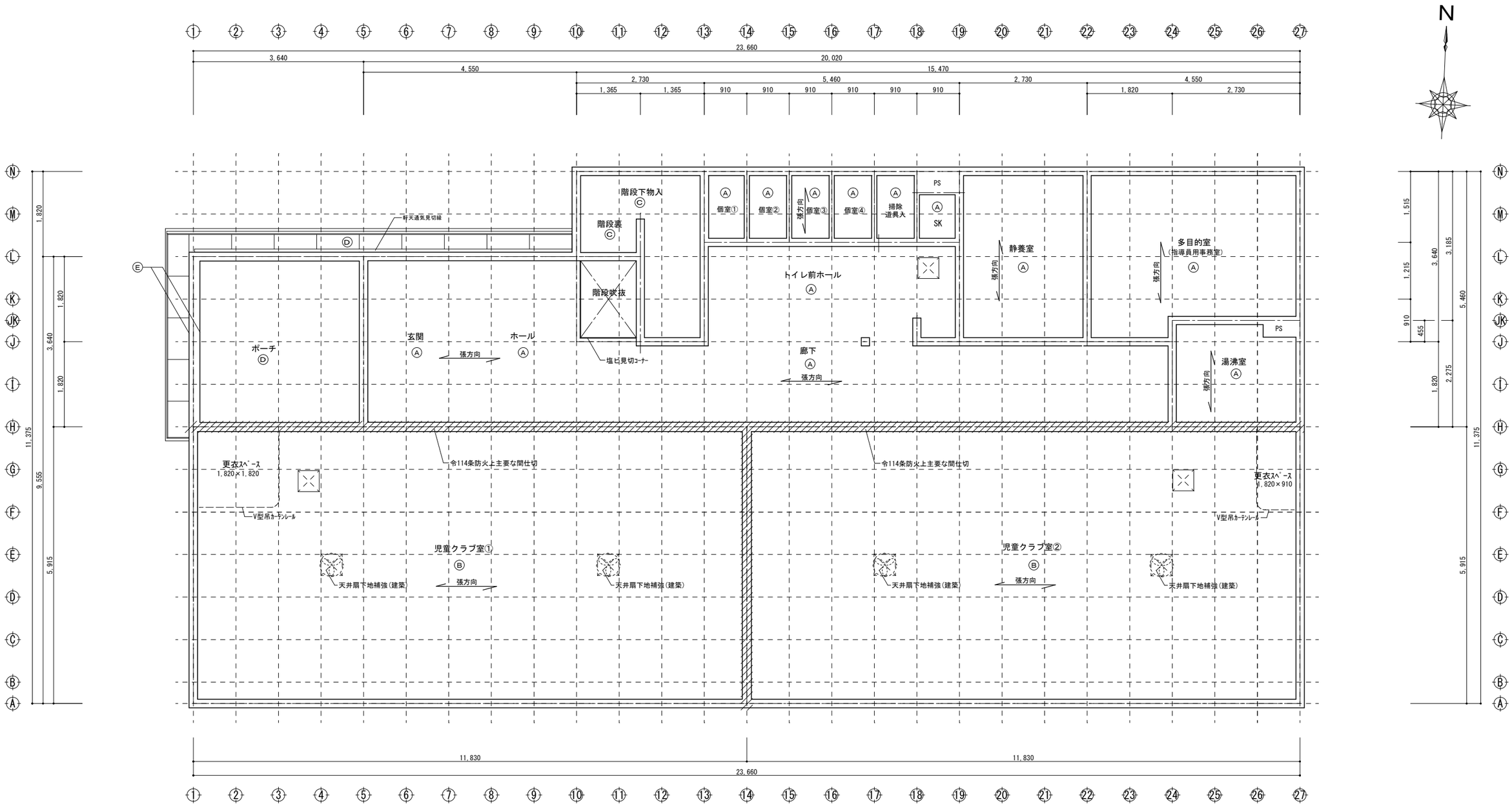


2階トイレ前ホール	
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0（防滑）
巾木	桧 木製巾木 H60 UC塗
壁	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼 一部：FK（化粧ｹｲｶﾙ板）6ｔ
天井	岩綿化粧吸音板 12ｔ×455×910（直張り） （ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様、ﾚﾝｶﾞ張）
廻縁	塩ビ製
備考	手洗場（背面腰壁）、 壁点検口、



工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事		No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	展開図７	縮尺 S=1/50 (A3:71%)	A-27	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



1階天井伏図　S=1/60

■天井凡例

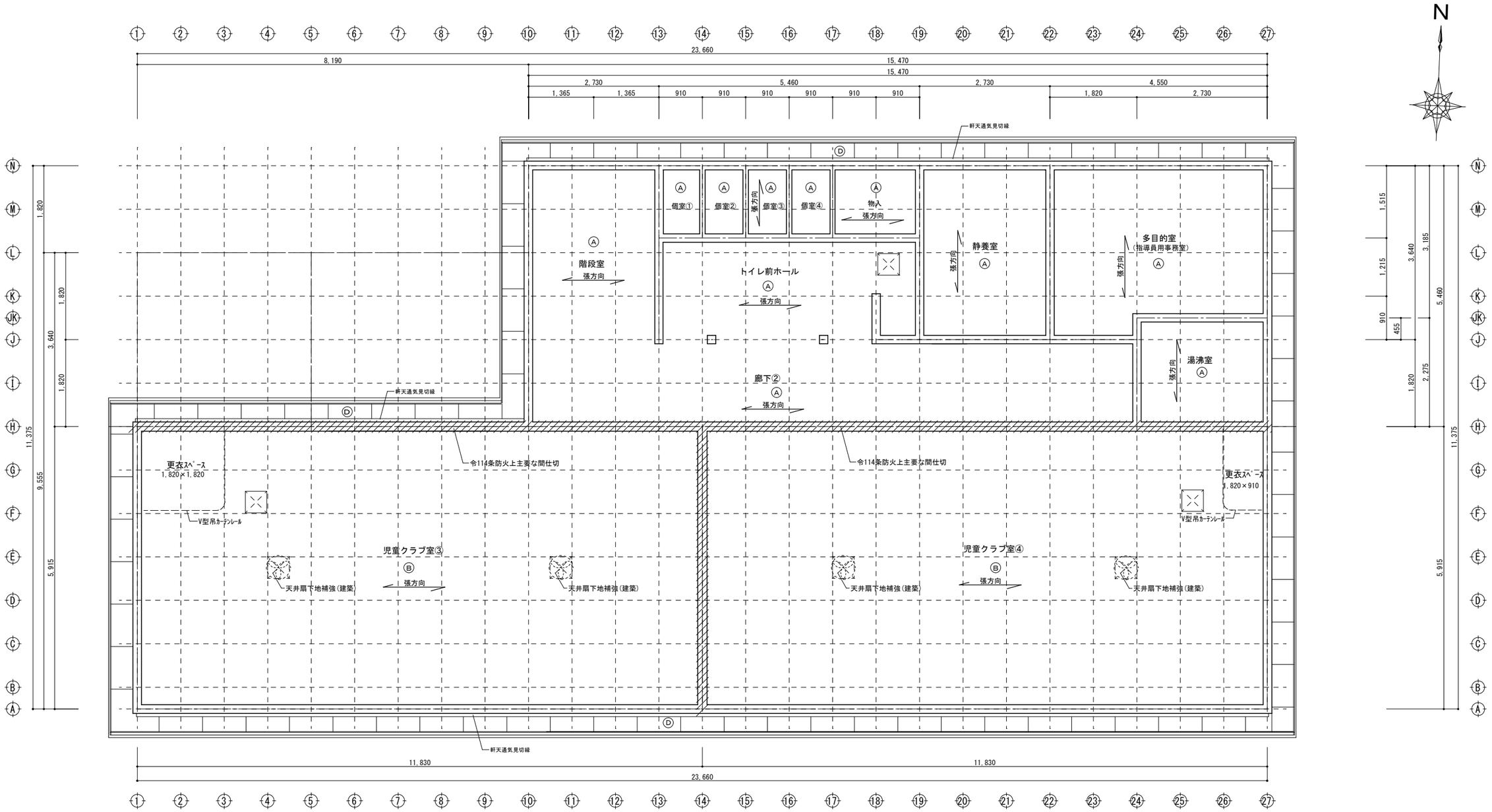
符　号	仕　上	廻縁
Ⓐ	化粧石膏ボード(GB-D)(トラバーチン柄、レンガ張) T=9.5*455*910　直張り	塩ビ
Ⓑ	岩綿化粧吸音板(DR)　(トラバーチン柄、レンガ張) T=12*455*910　直張り	塩ビ
Ⓒ	物入(階段裏):構造表しのまま	-
Ⓓ	軒天:パルプ繊維混入セメント板T=12(市販品) (30分準耐火(無孔板)QF030RS-154 (ニチハ 軒天12(エンボス調)　同等品)	軒天通気見切縁 ニチハ KBM2N (30分準耐火QF030RS-156
Ⓔ	オーバーハング水切 (カラーガルバ鋼板t=0.5加工品) メーカー仕様による	

■凡例

: 令114条防火上主要な間仕切壁
野地板部迄立上げ施工

: アルミ天井点検口 450角
joto SPC-S4545BH2(高気密型天井点検口)　同等品)
※位置は現場調整とする。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	1階天井伏図	縮尺	S=1/60 (A3:71%)		A-28	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



2階天井伏図　S=1/60

■天井凡例

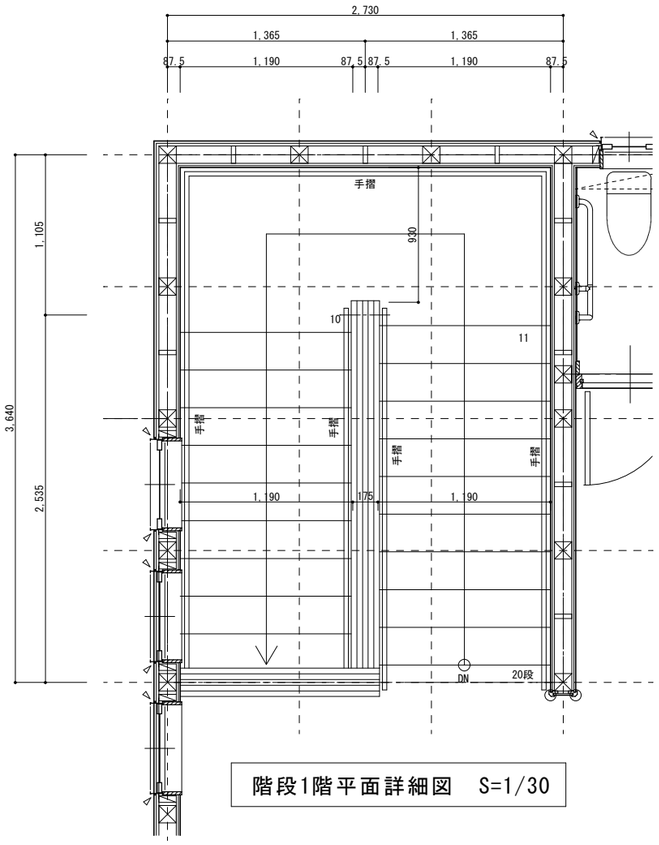
符　号	仕　上	廻縁
Ⓐ	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張) T=9.5*455*910　直張り	塩ビ
Ⓑ	岩綿化粧吸音板(DR)(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄、ﾚﾝｶﾞ張) T=12*455*910　直張り	塩ビ
Ⓒ	階段裏:GB-R　T=12張のまま	-
Ⓓ	軒天:ﾊﾞﾙﾌﾟ繊維混入ｾﾒﾝﾄ板T=12(市販品) (30分準耐火(無孔板)QF030RS-154 (ﾆﾁﾊ 軒天12(ｴﾝﾎﾟｽ調) 同等品)	軒天通気見切縁 ﾆﾁﾊ KBM2N (30分準耐火QF030RS-156

■凡例

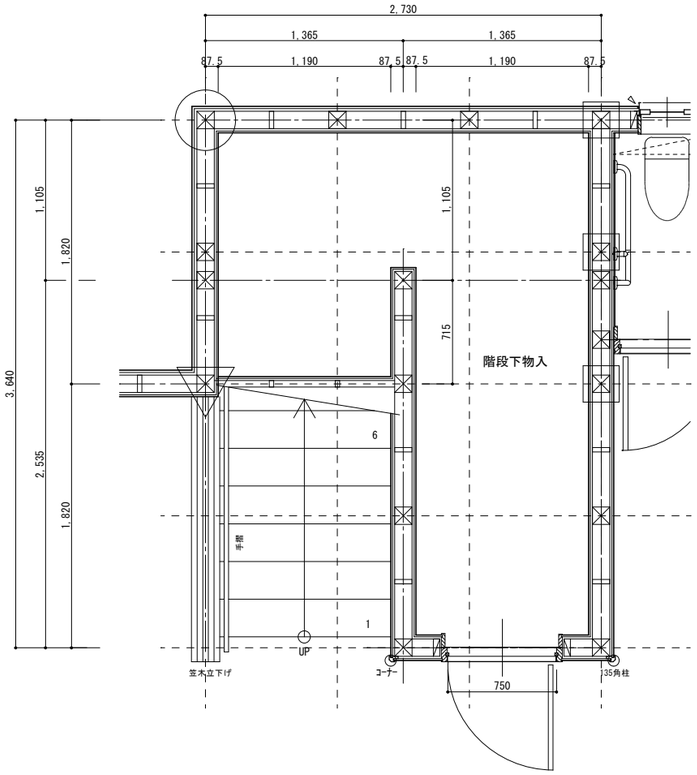
：令114条防火上主要な間仕切壁
野地板部迄立上げ施工

：ｱﾙﾐ天井点検口 450角
joto SPC-S4545BH2(高気密型天井点検口)　同等品)
※位置は現場調整とする。

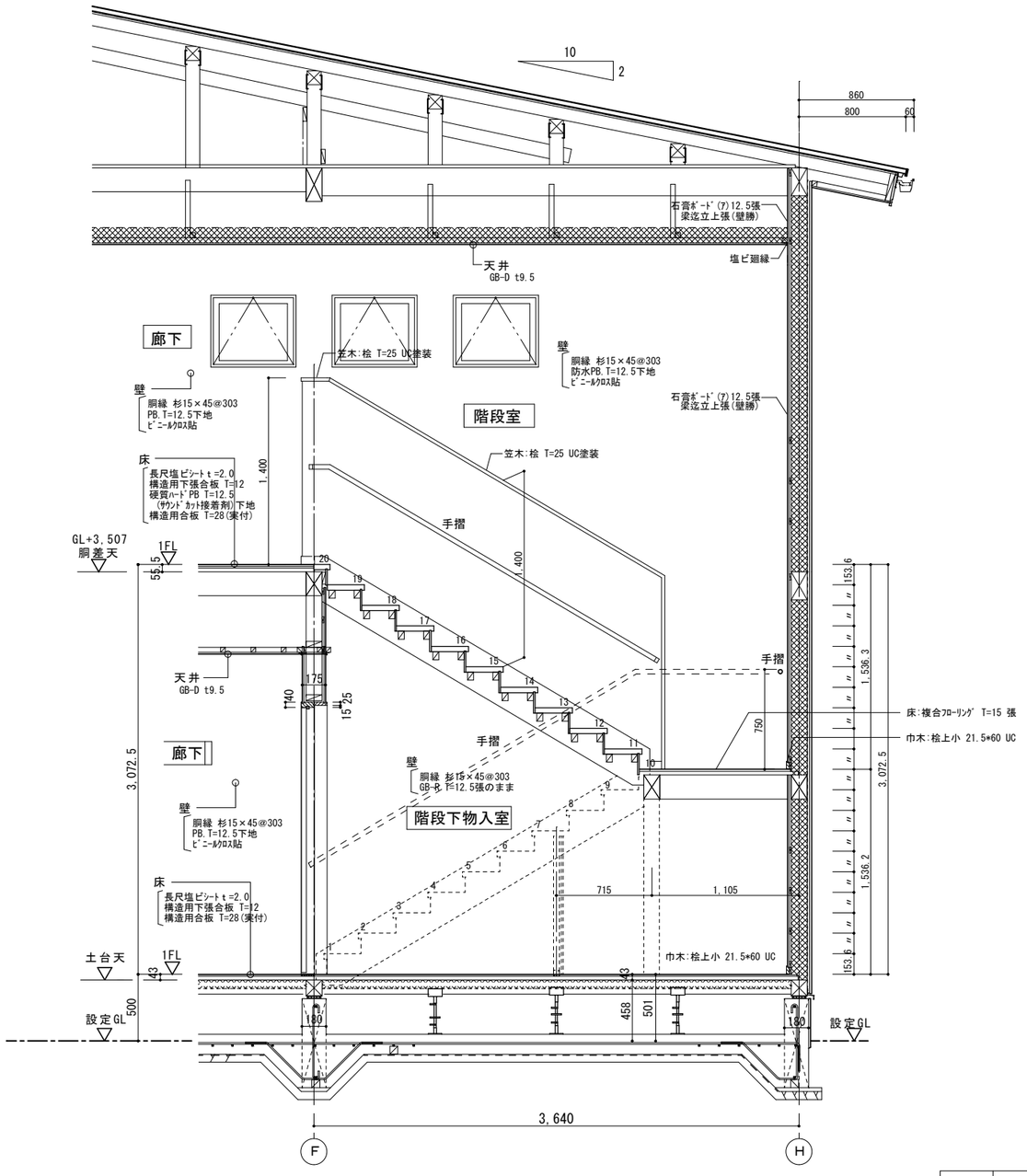
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	2階天井伏図	縮尺	S=1/60 (A3:71%)		A-29		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



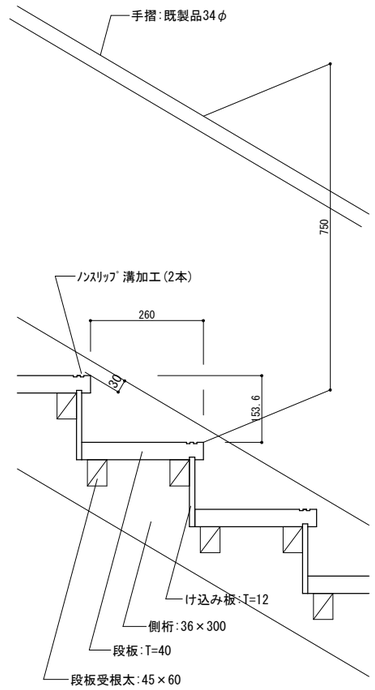
階段1階平面詳細図　S=1/30

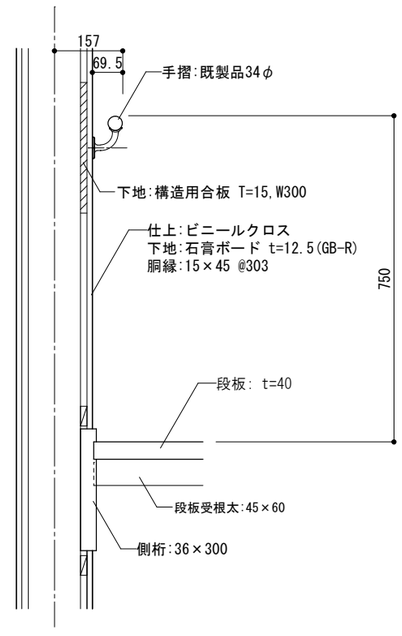


階段1階平面詳細図　S=1/30



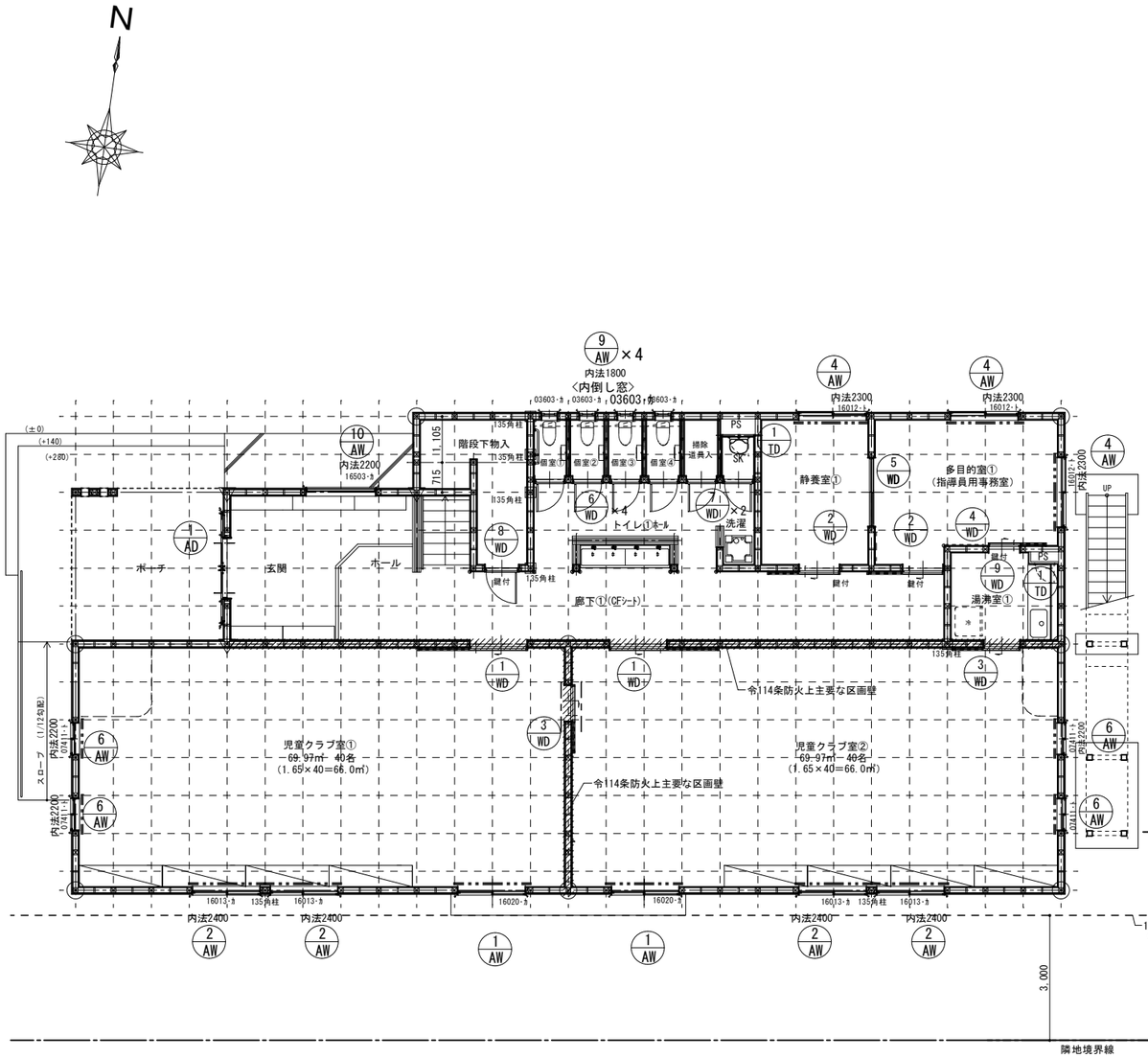
階段断面詳細図　S=1/30



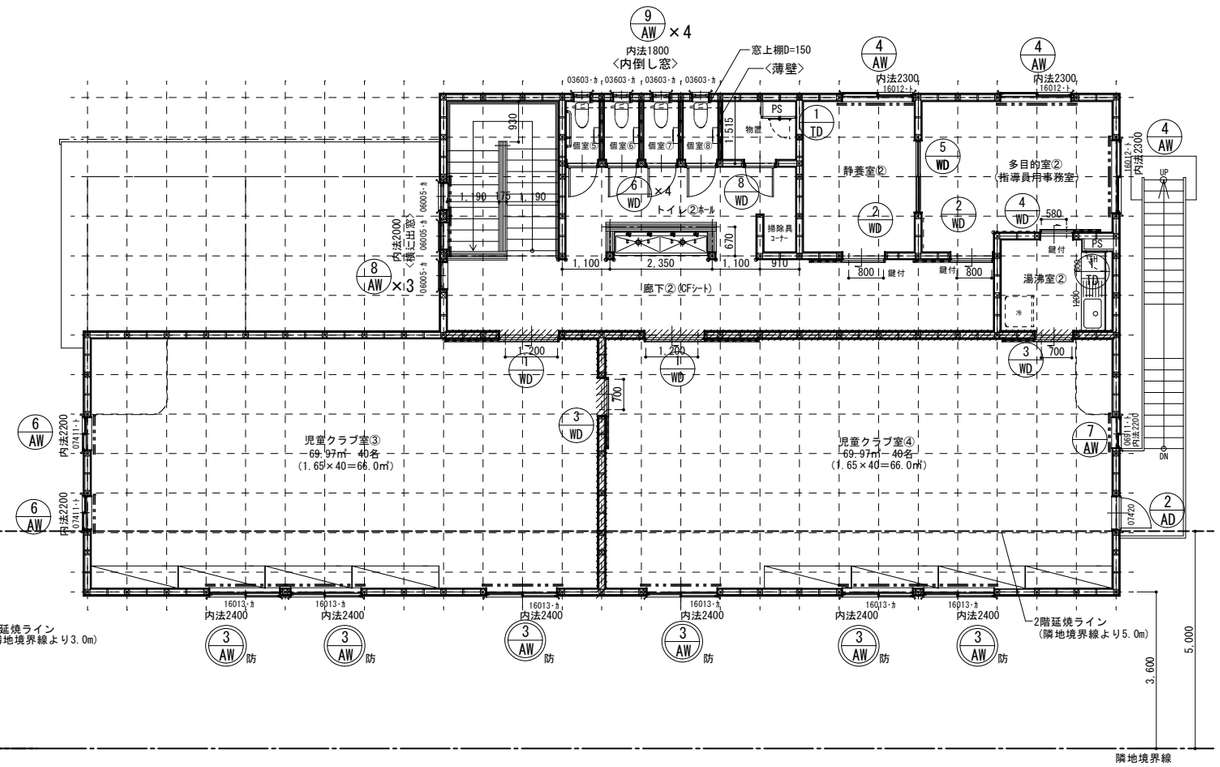


階段1階平面詳細図　S=1/30

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	階段詳細図		縮尺	S=1/30、1/10 (A3:71%)	A-30		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

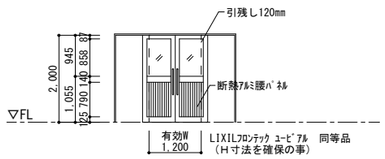
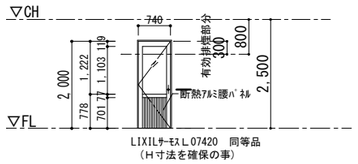
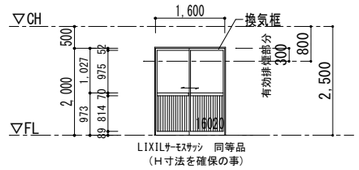
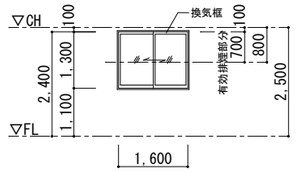
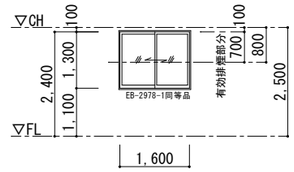


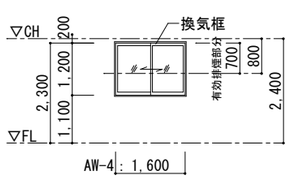
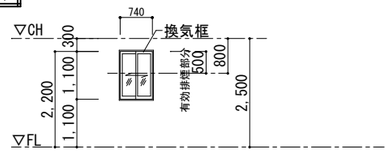
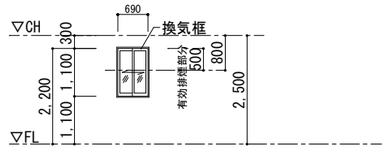
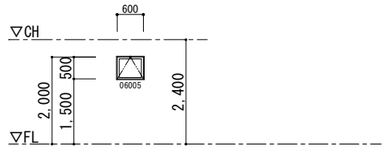
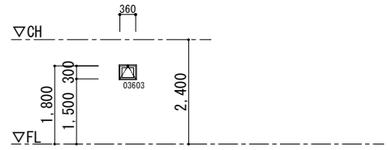
1階 建具位置図 S=1/100

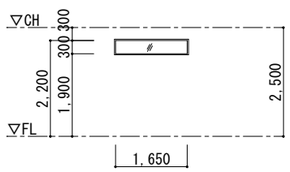


2階 建具位置図 S=1/100

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	建具位置図	縮尺	S=1/100 (A3:71%)		A-31	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

記号・数量	(1)(AD) 15020	数量：1	(2)(AD) 07420	数量：1	(1)(AW) 16020 消防・有窓窓	数量：2	(2)(AW) 16013	数量：4	(3)(AW) 防16013	数量：6
場　所	玄関		2階 ｸﾗﾌﾞ室②		1階 ｸﾗﾌﾞ室①、②		1階 ｸﾗﾌﾞ室①、②		2階 ｸﾗﾌﾞ室③、④	
姿　図	※消防・有窓窓 		※消防・有窓窓 		※消防・有窓窓 		※消防・有窓窓 		※消防・有窓窓 	
形式・種別・寸法	ｱｳﾄｾｯﾄ型中桟付引分戸腰ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	有効 W 1,200 × H 2,000	住宅用片開きｱﾙﾐ框扉・半外付	W 740 × H 2,000	住宅用引違いﾃﾗｽ戸(2枚建)・半外付	W 1,650 × H 2,000	引違い窓(2枚建)・半外付	W 1,600 × H 1,300	引違い窓(2枚建)・半外付	W 1,600 × H 1,300
材種・仕上	ｶﾗｰｱﾙﾐ ﾌﾛﾝﾄｻｯｼ		(ｶﾗｰ)ｱﾙﾐ＋樹脂 複合ｻｯｼ		(ｶﾗｰ)ｱﾙﾐ＋樹脂 複合ｻｯｼ		(ｶﾗｰ)ｱﾙﾐ＋樹脂 複合ｻｯｼ		(ｶﾗｰ)ｱﾙﾐ＋樹脂 複合ｻｯｼ	
見　込	70		86		86		86		86	
ガラス	複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+FL3)		上側：複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+F4) 下側：ｱﾙﾐ断熱ﾊﾟﾈﾙ		上側：複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+F4)下側：ｱﾙﾐ断熱ﾊﾟﾈﾙ		AW-2:複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+F4)		AW-3(防火):複層網入りｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A◎＋FW6.8)	
金　物	丸棒引手手摺 L=600、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(外部:SH、内部:ｻﾑﾀｰﾝ) SUSﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ(水抜きﾊﾟｲﾌﾟ付)、 内部ｶﾗｰｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ(3方)		ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙｻﾑﾀｰﾝ付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(SH/SM)、DC、SUS丁番、AP		AP、換気框、可動網戸(樹脂製)		AP、可動網戸(樹脂製)、換気框		AP、可動網戸(樹脂製)	
額　縁	桧(県産材) UC塗		桧(県産材) UC塗		桧(県産材) UC塗		桧(県産材) UC塗		桧(県産材) UC塗	
備　考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式　EB-2978-1同等品	

記号・数量	(4)(AW) 16012	数量：6	(6)(AW) 07411	数量：6	(7)(AW) 06911	数量：1	(8)(AW) 06005	数量：3	(9)(AW) 03603	数量：8
場　所	1、2階 多目的室、静養室		1・2階 ｸﾗﾌﾞ室①②③④		2階 ｸﾗﾌﾞ室④		2階 ﾎｰﾙ		1・2階 ﾄｲﾚ個室	
姿　図	※AW-5:欠番 									
形式・種別・寸法	引違い窓(2枚建)・半外付	AW-4: W 1,600 × H 1,200	引違い窓(2枚建)・半外付	W 740 × H 1,100	引違い窓(2枚建)・半外付	W 690 × H 1,100	横辷出し窓・半外付	W 600 × H 500	内倒し窓・半外付	W 360 × H 300
材種・仕上	ｶﾗｰｱﾙﾐ		(ｶﾗｰ)ｱﾙﾐ＋樹脂 複合ｻｯｼ		(ｶﾗｰ)ｱﾙﾐ＋樹脂 複合ｻｯｼ		ｶﾗｰｱﾙﾐ		ｶﾗｰｱﾙﾐ	
見　込	70		86		86		70		70	
ガラス	複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+FL3)		複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+FL3)		複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+FL3)		複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+F4)		複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+F4)	
金　物	AP、可動網戸(樹脂製)、換気框		AP、換気框、可動網戸(樹脂製)		AP、換気框、可動網戸(樹脂製)		AP、可動網戸(樹脂製)		AP、可動網戸(樹脂製)	
額　縁	桧(県産材) UC塗		桧(県産材) UC塗		桧(県産材) UC塗		桧(県産材) UC塗		桧(県産材) UC塗	
備　考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

記号・数量	(10)(AW) 16503	数量：1
場　所	1階 玄関	
姿　図		
形式・種別・寸法	Fix・半外付	AW-11: W 1,650 × H 300
材種・仕上	ｶﾗｰｱﾙﾐ	
見　込	70	
ガラス	複層ｶﾞﾗｽ(遮熱Low-E･FL3+A6+F4)	
金　物	AP	
額　縁	桧(県産材) UC塗	
備　考	付属金物一式	

鍵・金物の種類と符号			
HK	ﾓﾉﾛｯｸ錠	ST	SUS丁番 (3枚吊)
HM	本締り付ﾓﾉﾛｯｸ錠	FH	ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ
CR	ｹｰｽﾛｯｸ錠 (握玉)	DC	ﾄﾞｱﾁｪｯｸ
LA	ｹｰｽﾛｯｸ錠 (ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ)	DCN	ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ (ｽﾄｯﾌﾟ無)
SH	ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締り錠	TA	戸当り
RA	面付箱錠	FO	ﾌﾗﾝｽ落とし
SM	ｻﾑﾀｰﾝ錠		
OM	空錠		
HR	ﾎﾃﾙﾛｯｸ		
LD	棒鍵本締錠		
GT	防音用ｹﾞﾚﾓﾝ錠		
TR	強化ｶﾞﾗｽ用錠	KH	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ
BH	非常錠	PH	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ
SL	引戸錠	OPH	ｵｰﾄﾊﾟﾜｰﾋﾝｼﾞ
FF	引違戸錠	LH	ﾛﾝｸﾞ丁番
BJ	分電盤錠	AP	結露受型ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ

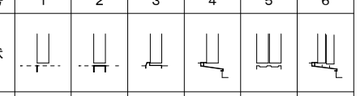
ガラスの種類と符号	
FL	フロート板ガラス
F	型板ガラス
D	複層ガラス
PW	網入り磨ガラス
FW	網入り型板ガラス
SW	線入り磨ガラス
HGBFL	熱線吸収フロートガラス
HF	熱線吸収型板ガラス
HPW	熱線吸収網入り磨ガラス
HFW	熱線吸収網入り型板ガラス
S	スリガラス
T	強化ガラス
TF	型板強化ガラス
HP	熱線反射ガラス
FT	結晶化ガラス
FGFL	フロストガラス

沓摺・床見切の材種と符号	
ST	スチール製
SUS	ステンレス製
B	黄銅製
SN	本石製
TB	テラゾーブロック製
T	テラゾー製
Z	人造石研出し製
W	木製
ZB	人研製

防火設備を示す

特定防火設備を示す

床見切り・沓摺の形状と番号：SUS304

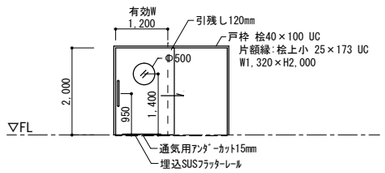
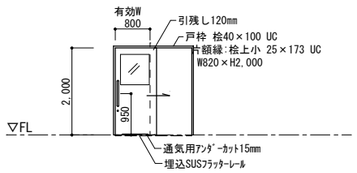
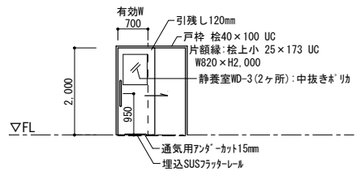
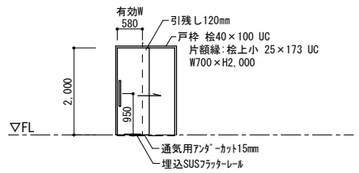
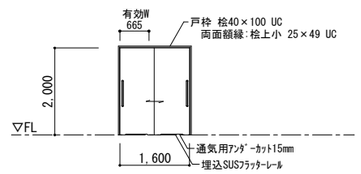
番号	1	2	3	4	5	6
形状						
厚み	FB-15×5	40×15×2	1.5	1.5	1.5	1.5

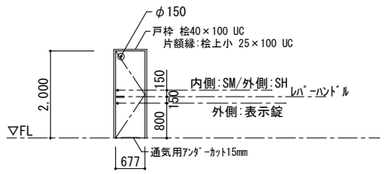
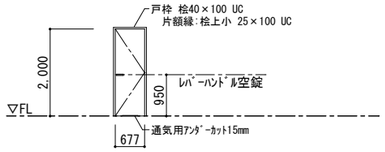
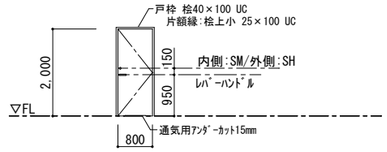
塗装の種類と符号	
SOP	合成樹脂調合ペイント塗
CL	クリヤラッカー塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
OS	油性ステイン塗
NP	浸透性自然塗料塗
DP	高耐久性塗料
EP	合成樹脂エマルションペイント塗
EP-G	ツヤ有合成樹脂エマルションペイント塗
EP-M	多彩模様塗料塗
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗
FE	フタル酸樹脂エナメル塗
AE	アクリル樹脂エナメル塗
2-UE	２液形ポリウレタンエナメル塗
2-FUE	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗

※特記事項
- 建具記入寸法は製作図を作成し納まりを検討の上、調整を行い係員の了承を得て製作のこと。
- 開口部ｻｯｼは、ｱﾙﾐｻｯｼ(断熱型)とする。(U値≦2)
- ｻｯｼ廻りのｼｰﾘﾝｸﾞは特記以外全て、変成ｼﾘｺﾝｼｰﾘﾝｸﾞ打ちとする。
- 網戸は樹脂ｻﾗﾝﾈｯﾄ張りとする(はずれ防止付)。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	ｱﾙﾐ製建具表	縮尺	S=1/100 (A3:71%)	A-32	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

記号	数量	1 WD	数量： 4	2 WD 鍵付	数量： 2	3 WD 中抜きｷﾞﾘｶ板 鍵付 2ヶ所 / 3' WD 4ヶ所	数量： 6	4 WD 鍵付	数量： 2	5 WD	数量： 2
場　所		1,2階 ｸﾗﾌﾞ室①②③④		１・２階 多目的室		１・２階 静養室(鍵付)：WD-3（2ヶ所） １・２階 ｸﾗﾌﾞ室～ｸﾗﾌﾞ室、湯沸室：WD-3'（4ヶ所）		1､2階 湯沸室		１・２階 多目的室～静養室	
姿　図											
形式・種別・寸法		ｱｳﾄｾｯﾄ片引ﾌﾗｯｼｭ戸	有効 W 1,200 × H 2,000	ｱｳﾄｾｯﾄ片引ﾌﾗｯｼｭ戸	有効 W 800 × H 2,000	ｱｳﾄｾｯﾄ片引ﾌﾗｯｼｭ戸	有効 W 700 × H 2,000	ｱｳﾄｾｯﾄ片引ﾌﾗｯｼｭ戸	有効 W 580 × H 2,000	引違間境いﾌﾗｯｼｭ戸	W 1,600 × H 2,000
材種・仕上		ﾅﾗ突板ﾌﾗｯｼｭ+ﾊﾆｶﾑｺｱ芯材(UC塗)　木口:ﾅﾗT=6 UC塗		ﾅﾗ突板ﾌﾗｯｼｭ+ﾊﾆｶﾑｺｱ芯材(UC塗)　木口:ﾅﾗT=6 UC塗		ﾅﾗ突板ﾌﾗｯｼｭ+ﾊﾆｶﾑｺｱ芯材(UC塗)　木口:ﾅﾗT=6 UC塗		ﾅﾗ突板ﾌﾗｯｼｭ+ﾊﾆｶﾑｺｱ芯材(UC塗)　木口:ﾅﾗT=6 UC塗		ﾅﾗ突板ﾌﾗｯｼｭ+ﾊﾆｶﾑｺｱ芯材(UC塗)　木口:ﾅﾗT=6 UC塗	
見　込		36　　枠見込：100		36　　枠見込：100		36　　枠見込：100		36　　枠見込：100		30　　枠見込：100	
ガラス		ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ板 t4		ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ板 t4		WD-3:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ板 t4					
金　物		丸棒引手取手 L=600(ﾕﾆｵﾝ G7911 同等品) 、埋込SUSﾌﾗｯﾀｰﾚｰﾙ ｿﾌﾄ仕様金物(ｽｶﾞﾂﾈ FD35EV ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ同等品) 、戸尻ｺﾞﾑ		丸棒引手取手 L=600(ﾕﾆｵﾝ G7911 同等品) 、埋込SUSﾌﾗｯﾀｰﾚｰﾙ ｿﾌﾄ仕様金物(ｽｶﾞﾂﾈ FD35EV ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ同等品) 、戸尻ｺﾞﾑ		丸棒引手取手 L=600(ﾕﾆｵﾝ G7911 同等品) 、埋込SUSﾌﾗｯﾀｰﾚｰﾙ ｿﾌﾄ仕様金物(ｽｶﾞﾂﾈ FD35EV ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ同等品) 、戸尻ｺﾞﾑ		丸棒引手取手 L=600(ﾕﾆｵﾝ G7911 同等品) 、埋込SUSﾌﾗｯﾀｰﾚｰﾙ ｿﾌﾄ仕様金物(ｽｶﾞﾂﾈ FD35EV ﾃﾞｭｱﾙｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ同等品) 、戸尻ｺﾞﾑ		ｻﾑﾀｰﾝ付 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(SH/SM) SUSﾌﾗｯﾀｰﾚｰﾙ　ﾅｲﾛﾝ戸車、掘込引手、	
額　縁		片額縁:桧上小(県産材) 25×173 UC		片額縁:桧上小(県産材) 25×173～160 UC　ｻﾑﾀｰﾝ付ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		片額縁:桧上小(県産材) 25×173～160 UC		片額縁:桧上小(県産材) 25×173～160 UC		両面 桧(県産材) CL塗	
備　考		付属金物一式		付属金物一式、鍵付		付属金物一式		付属金物一式、鍵付		付属金物一式	

	6 WD	数量： 8	7 WD	数量： 2	8 WD	数量： 2	1 TD 片開き点検口扉(市販品)	数量： 4	
場　所	１・２階 便所		1階掃除具入、SK、		１階 階段下物入、2階物入		１・2階ＳＫ･ＰＳ　１・2階湯沸室･ＰＳ		
姿　図									
形式・種別	片開きﾌﾗｯｼｭ扉	W 677 × H 2,000	片開きﾌﾗｯｼｭ扉	W 677 × H 2,000	片開きﾌﾗｯｼｭ扉	W 800 × H 2,000	片開き点検口扉(市販品)	W 450 × H 450	
材種・仕上	ﾅﾗ突板ﾌﾗｯｼｭ+ﾊﾆｶﾑｺｱ芯材(UC塗)　木口:ﾅﾗT=6 UC塗		ﾅﾗ突板ﾌﾗｯｼｭ+ﾊﾆｶﾑｺｱ芯材(UC塗)　木口:ﾅﾗT=6 UC塗		ﾅﾗ突板ﾌﾗｯｼｭ+ﾊﾆｶﾑｺｱ芯材(UC塗)　木口:ﾅﾗT=6 UC塗		目地タイプ		
見　込	36　　枠見込：100		36　　枠見込：100		36　　枠見込：100				
ガラス	ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ板 t4								
金　物	ｻﾑﾀｰﾝ付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ表示錠(SH/SM)､ST､TA		ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ 空錠(OM)､ST､TA		ｻﾑﾀｰﾝ付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(SH/SM)､DC､ST				
額　縁					桧(県産材) CL塗				
備　考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		

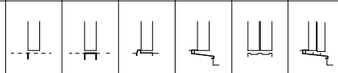
鍵・金物の種類と符号				ガラスの種類と符号	
HK	ﾓﾉﾛｯｸ錠	FH	ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ	FL	フロート板ガラス
HM	本締り付ﾓﾉﾛｯｸ錠	BJ	分電盤錠	F	型板ガラス
CR	ｹｰｽﾛｯｸ錠（握玉）	ST	SUS丁番（3枚吊）	PW	網入り磨ガラス
LA	ｹｰｽﾛｯｸ錠（ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ）	HR	ﾎﾃﾙﾛｯｸ	FW	網入り型板ガラス
SH	ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締り錠	DC	ﾄﾞｱﾁｪｯｸ	SW	線入り磨ガラス
RA	面付箱状	TA	戸当り	HGBFL	熱線吸収フロートガラス
SM	ｻﾑﾀｰﾝ錠	FO	ﾌﾗﾝｽ落とし	HF	熱線吸収型板ガラス
OM	空錠	OPH	ｵｰﾄﾊﾟﾜｰﾋﾝｼﾞ	HPW	熱線吸収網入り磨ガラス
LD	棒鍵本締錠	PH	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ	HFW	熱線吸収網入り型板ガラス
GT	防音用ｸﾞﾚﾓﾝ錠	KH	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ	D	複層ガラス
TR	強化ｶﾞﾗｽ用錠	LH	ﾛﾝｸﾞ丁番	S	スリガラス
BH	非常錠	AP	結露受型ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ	T	強化ガラス
SL	引戸錠			TF	型板強化ガラス
FF	引違戸錠			HP	熱線反射ガラス
DC	ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ			FT	結晶化ガラス
DCN	ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ（ｽﾄｯﾌﾟ無）			FGFL	フロストガラス

沓摺・床見切の材種と符号	
ST	スチール製
SUS	ステンレス製
B	黄銅製
SN	本石製
TB	テラゾーブロック製
T	テラゾー製
Z	人造石研出し製
W	木製
ZB	人研製

建具番号 / 建具記号　防火設備を示す

建具番号 / 建具記号 / 特　特定防火設備を示す

床見切り・沓摺の形状と番号：SUS304

番号	1	2	3	4	5	6
形状						
厚み	FB-15×5	40×15×2	1.5	1.5	1.5	1.5

塗装の種類と符号	
SOP	合成樹脂調合ペイント塗
CL	クリヤラッカー塗
FE	フタル酸樹脂エナメル塗
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗
AE	アクリル樹脂エナメル塗
2-UE	２液形ポリウレタンエナメル塗
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗
2-FUE	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗
EP-G	ツヤ有合成樹脂エマルションペイント塗
EP	合成樹脂エマルションペイント塗
EP-M	多彩模様塗料塗
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
OS	油性ステイン塗
NP	浸透性自然塗料塗

※特記事項
- 建具記入寸法は製作図を作成し納まりを検討の上、調整を行い係員の了承を得て製作のこと。
- 特記なき建具金物は全てｽﾃﾝﾚｽ製品(SUS304)とし見本品提出の上係員の承認を得ること。
- ﾄﾞｱ丁番は、SUS304　3枚吊　両欠きとする。
- 取手･ﾊﾝﾄﾞﾙの取り付け位置 H=950
- 木製建具のｶﾞﾗｽの取付は､ｼｰﾘﾝｸﾞ留めとする。
- 建具の取手等の高さはＦＬ+950を基準とし、監督員の承諾を得ること。
- 木製ﾌﾗｯｼｭ戸の上下かまち及び横骨には空気穴(8mm角程度)を設ける事。
- 開き戸には戸当り（煽り止め付）を設けること。

※鍵はﾏｽﾀｰｷｰ対応とする。(玄関引分戸部分は含まず)

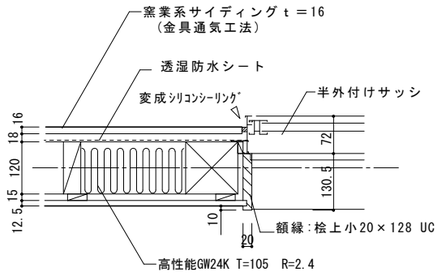
工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事		No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
図面名	木製建具表	縮尺 S=1/100 (A3:71%)	A-33	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課		令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

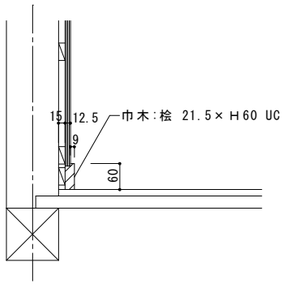
■部分詳細図

洋室等サッシ廻り詳細図　1/10

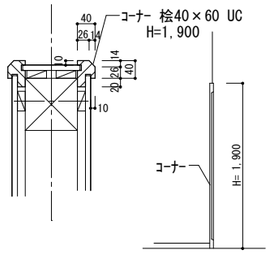
※額縁は、縦勝ちとする。



巾木詳細図　1/10

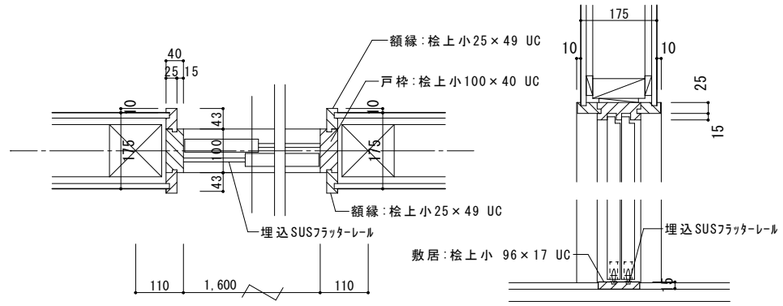


壁コーナー図　1/10、1/50



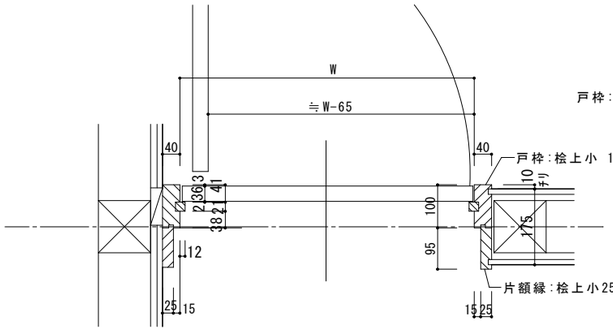
多目的室～静養室　戸枠詳細図（引違戸）　1/10

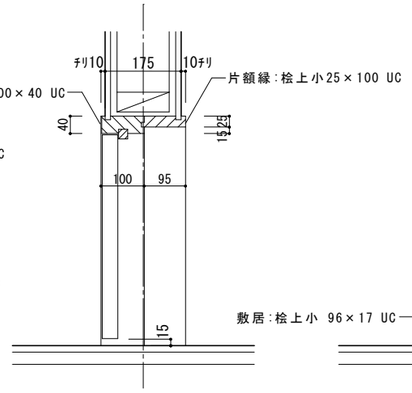
※建具枠は、縦勝ちとする。

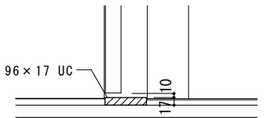


洋室等戸枠詳細図（開戸）　1/10

※建具枠は、縦勝ちとする。

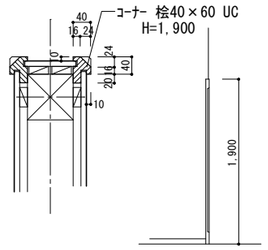






※敷居有りの場合
（床材の異なる場合）

壁コーナー図　1/10、1/50

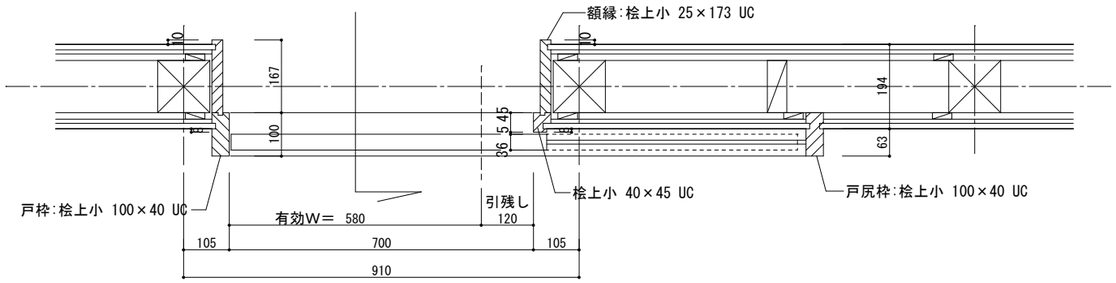


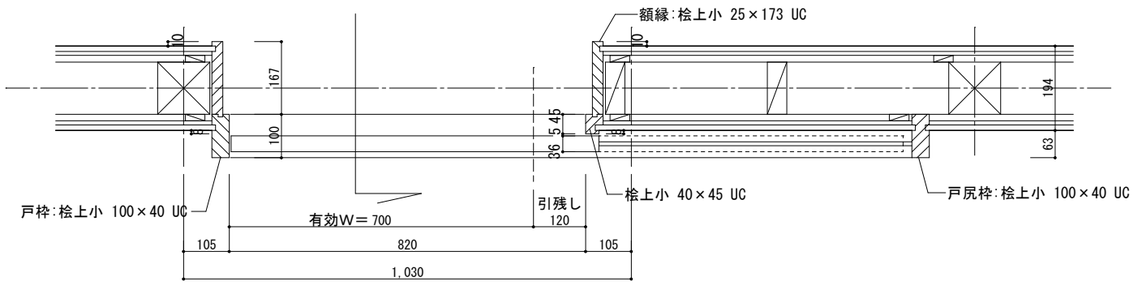
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	部分詳細図１（造作納り）		縮尺	S=1/10、1/50 (A3:71%)	A-34	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88495号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

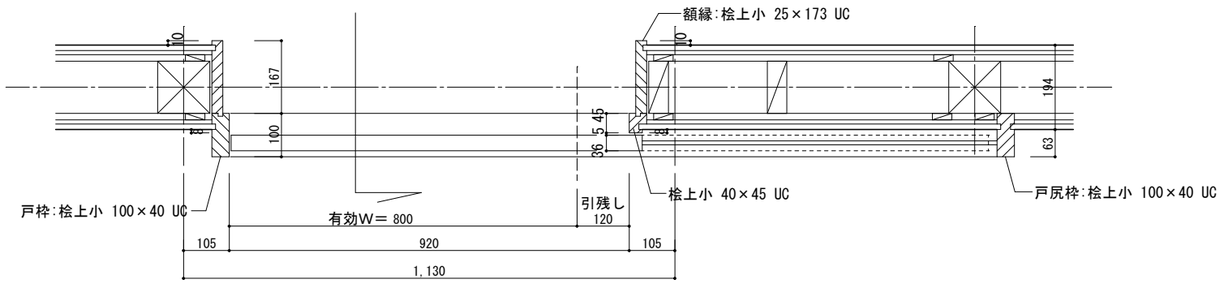
■部分詳細図

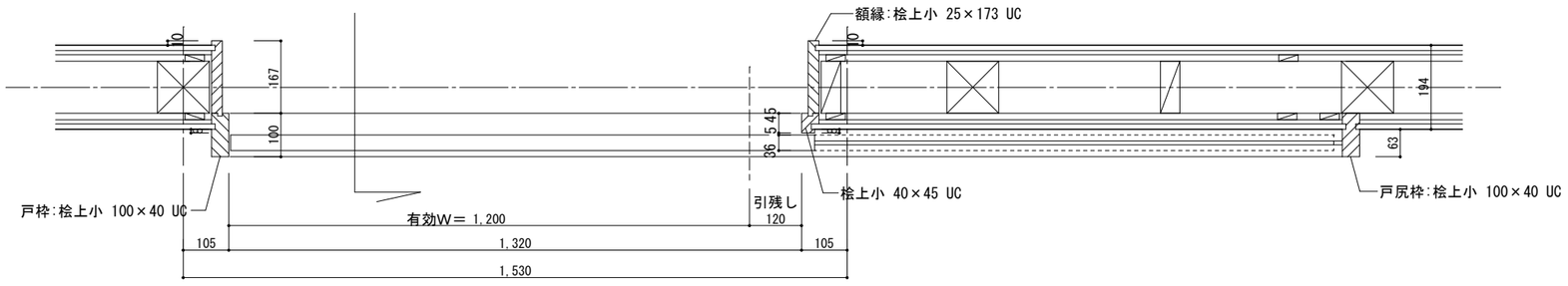
アウトセット型片引戸詳細図	1/10

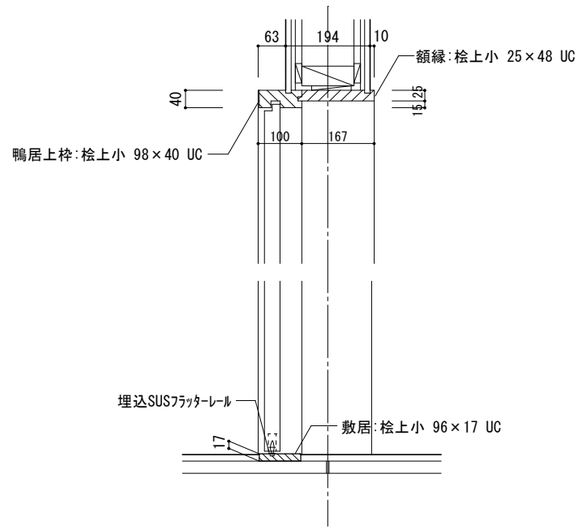
※建具枠は、縦勝ちとする。





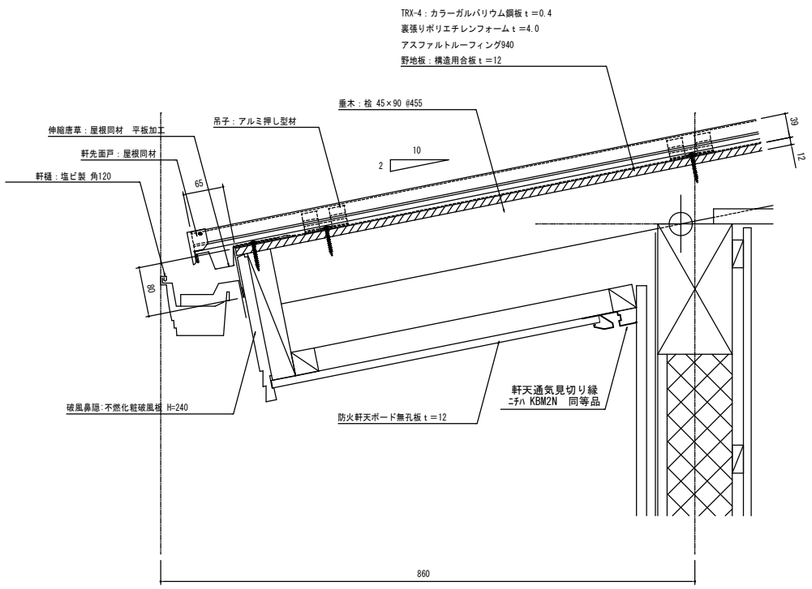




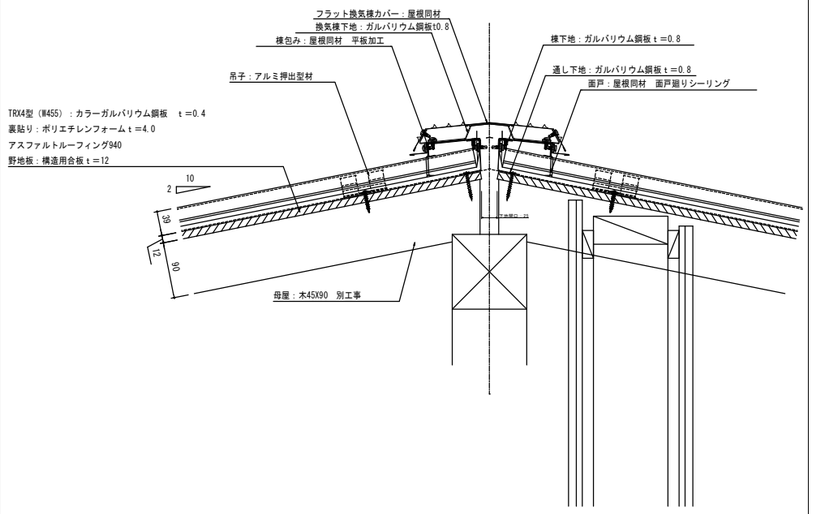


工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	部分詳細図２(ｱｳﾄｾｯﾄﾄﾞｱ)	縮尺	S=1/10 (A3:71%)		A-35	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第084498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

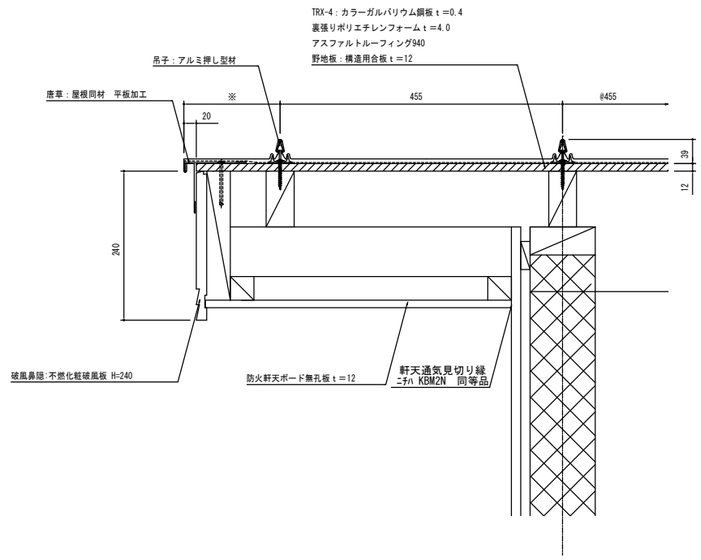
軒先



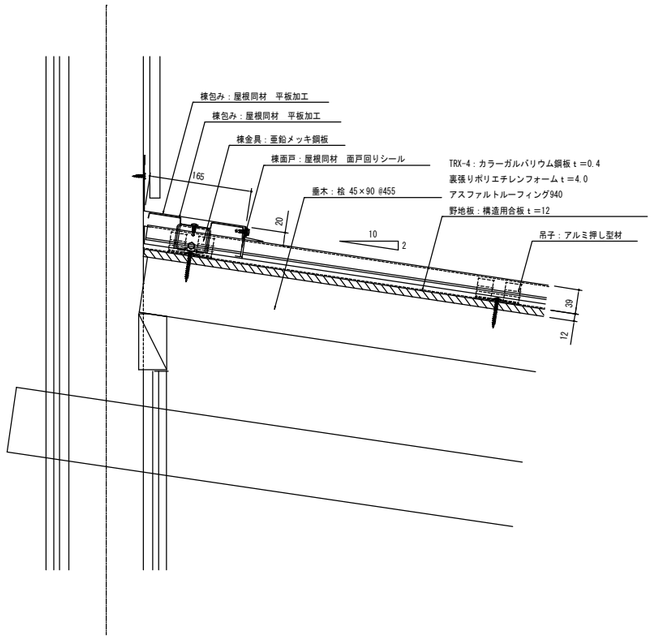
棟



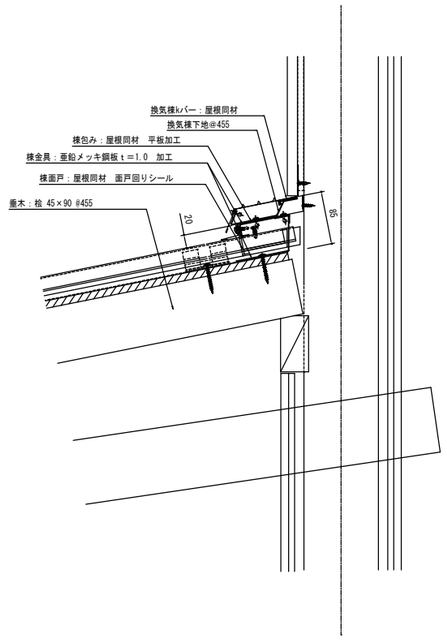
ケラバ



壁立ち上げ



換気棟参考

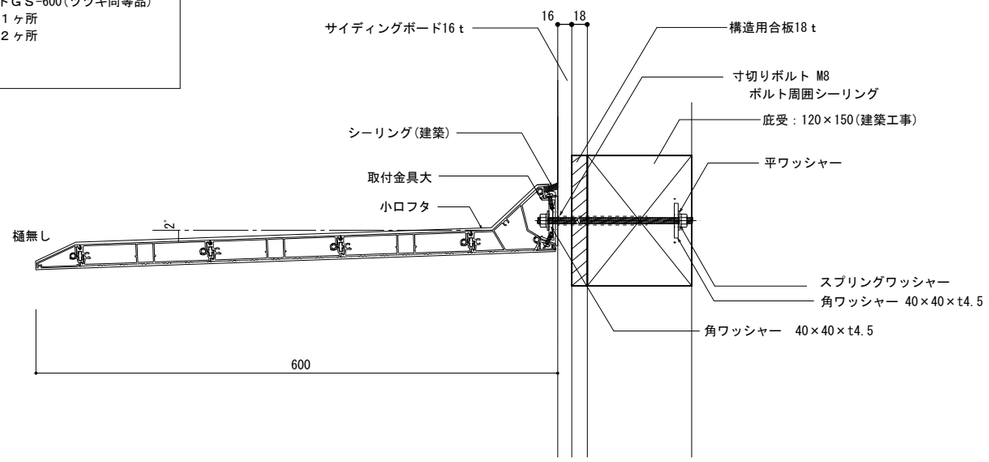


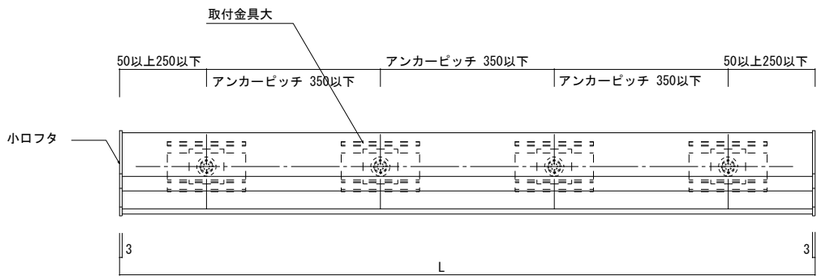
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	屋根部詳細図	縮尺	S=1/7 (A3:71%)		A-36	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

庇　アルミ既製品(出幅600)　詳細図　S=1/5

数量：３ヶ所

グロンダードＧＳ-600(ツヅキ同等品)
Ｌ1100×１ヶ所
Ｌ2000×２ヶ所

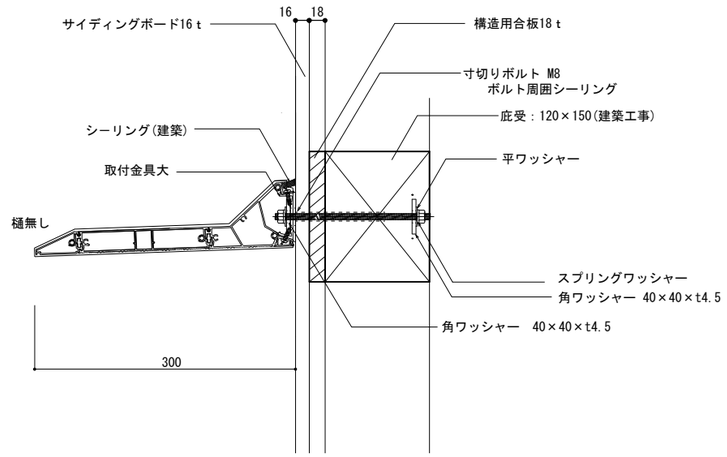


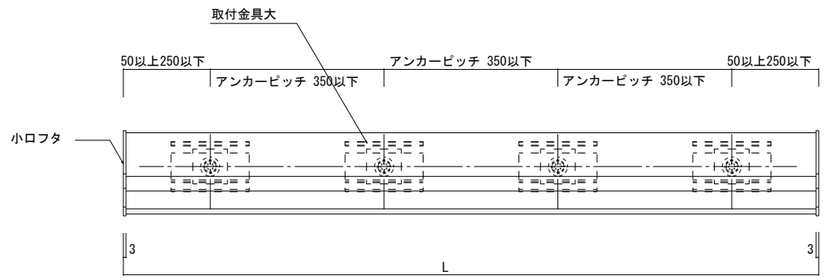


庇　アルミ既製品(出幅300)　詳細図　S=1/5

数量：１２ヶ所

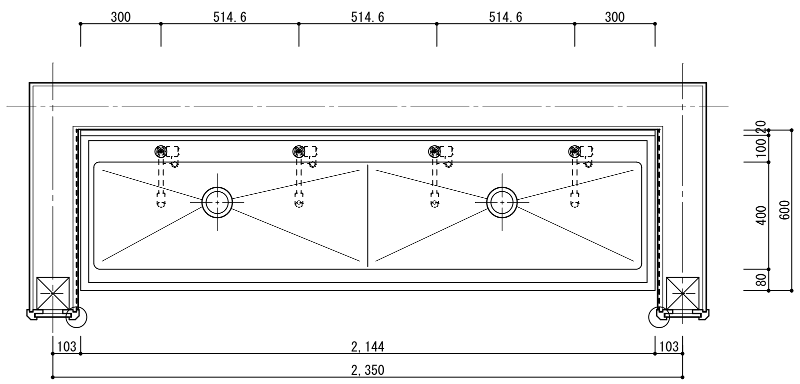
グロンダードＧＳ-300(ツヅキ同等品)
Ｌ3800×２ヶ所
Ｌ2800×１ヶ所
Ｌ2000×４ヶ所
Ｌ1100×５ヶ所





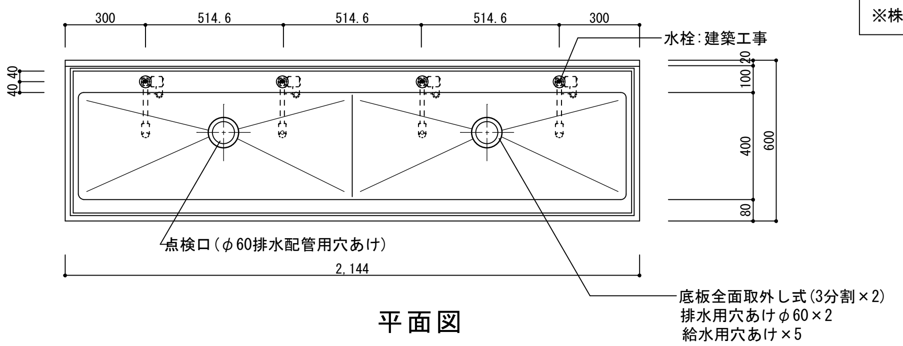
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	部分詳細図４(ｱﾙﾐ庇)		縮尺	S=1/5 (A3:71%)	A-37		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

手洗い詳細図　S=1/20　　数量：２ヶ所

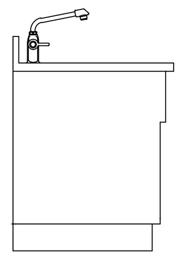


平面図

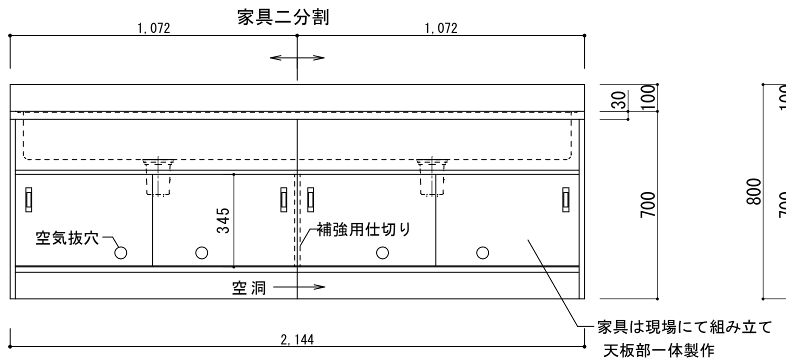
天板・槽/SUS304 t1.2 片面400
樹脂製排水トラップ/スギコ産業　TO-196LA
単水栓/NA-572DU(当工事に含む)
外部面材/アイカ　TYJ2057K オーク/柾目
内部面材/白ポリ
金物/SUSチリだし引手
V戸車/アルミVレール
プラスチック空気孔/スガツネAPM-4045
※株式会社福井厨房製同等品とする



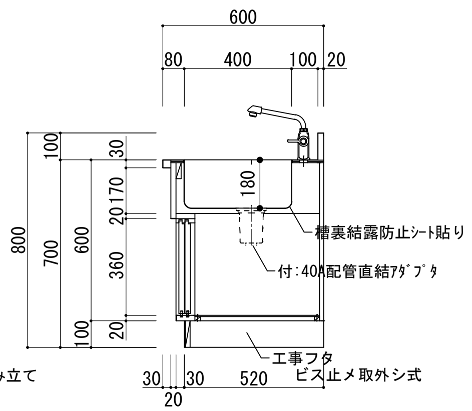
平面図



側面図



正面図



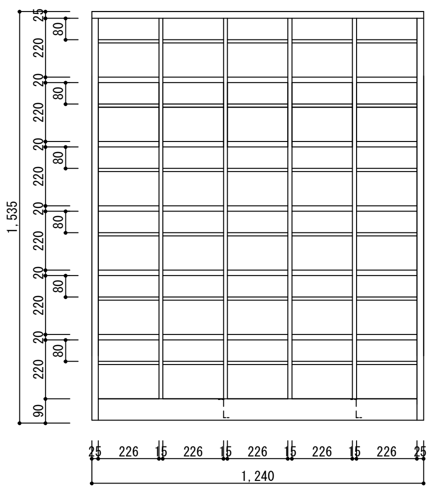
断面図

下足入 詳細図　S=1/20　　数量：3ヶ所＋2ヶ所＝計5ヶ所

仕様書

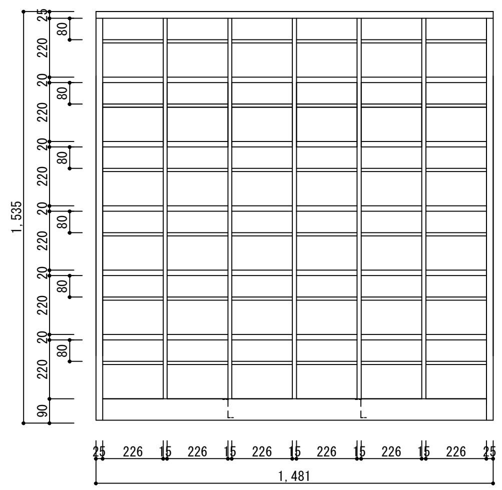
No.	部品名	数量	材質	備考
1	天板	1	SPCC 1.0t	
2	底板	1	SPCC 0.7t	補強入
3	側板	2	SPCC 0.7t	
4	裏板	1	SPCC 0.7t	
5	縦仕切板	5	SPCC 0.7t	
6	横仕切板	30	SPCC 0.7t	
7	棚板	36	SPCC 0.7t	
8	アジャスター	4	プラスチック	
9	連結用穴	8	ハーフパンチ穴加工 左右各4ヶ所	8φ

塗装：粉体塗装



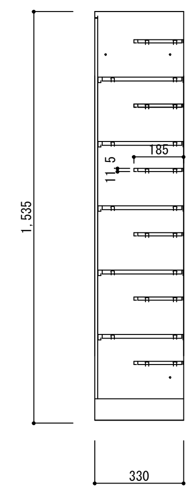
・30人用〔三島精機 BEST BS-30H5N 同等品〕

正面図(3ヶ所)



・36人用〔三島精機 BEST BS-36H65N 同等品〕

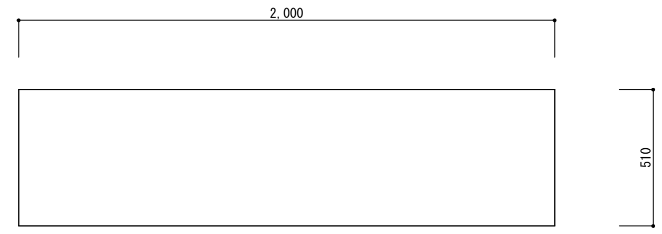
正面図(2ヶ所)



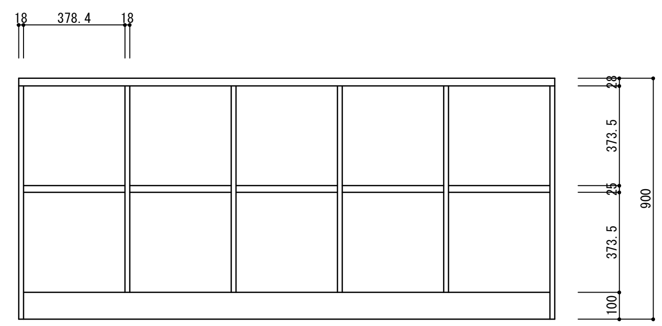
断面図

ロッカー(10人用)詳細図　S=1/20　　数量：16ヶ所

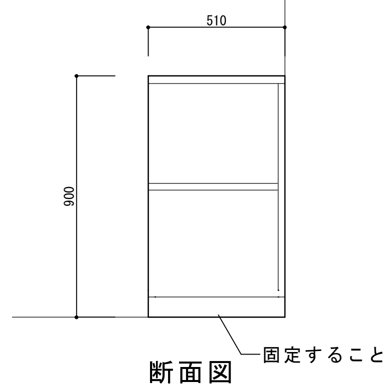
・10人用〔光葉ｽﾁｰﾙ FT5-2N 同等品〕



平面図



正面図



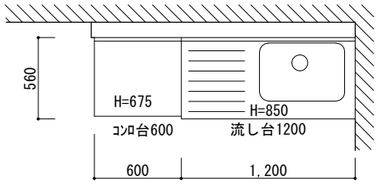
断面図

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事		No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	雑詳細図3(手洗台、下足入、ﾛｯｶｰ)	縮尺 S=1/20 (A3:71%)	A-38	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年2月		

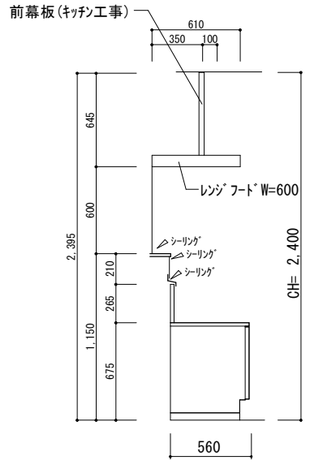
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

キッチン詳細図　S=1/30　　数量：2ヶ所

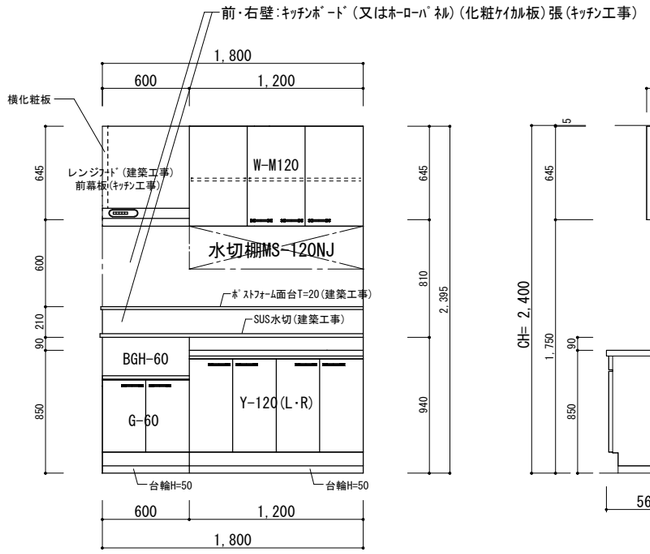
ホーローキッチンセット（ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄ･アーバス　同等品）
- 流し台:ﾀｶﾗ　K-120(L・R)　同等品
- ｺﾝﾛ台：ﾀｶﾗ　KG-60　同等品
- ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ：ﾀｶﾗ　BGH-60　同等品
- 吊戸棚(H645)：ﾀｶﾗ　W-M120　同等品
- 水切棚(L1200､1段)：ﾀｶﾗ　MS-120NJ　同等品
- ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞW=600：ﾀｶﾗ　VUS-605AD　同等品
- ｼﾛｯｺﾌｧﾝ排気金具:ﾏﾙﾀﾞｸﾄｶﾅｸﾞ(U)
- 外部フード:機械設備工事
- 前幕板：ﾀｶﾗ60SA295CV　同等品
- 横化粧板：ﾀｶﾗSA600　同等品
- 台輪：ﾀｶﾗ H=50(1200+600)　同等品
- 前･右壁:ﾎｰﾛｰｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ貼り(ｷｯﾁﾝ工事)



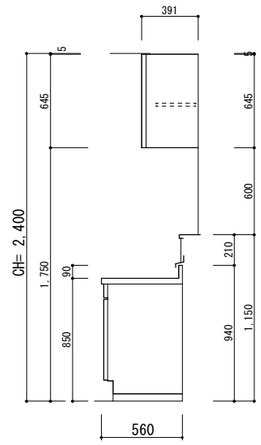
平面図



側面図

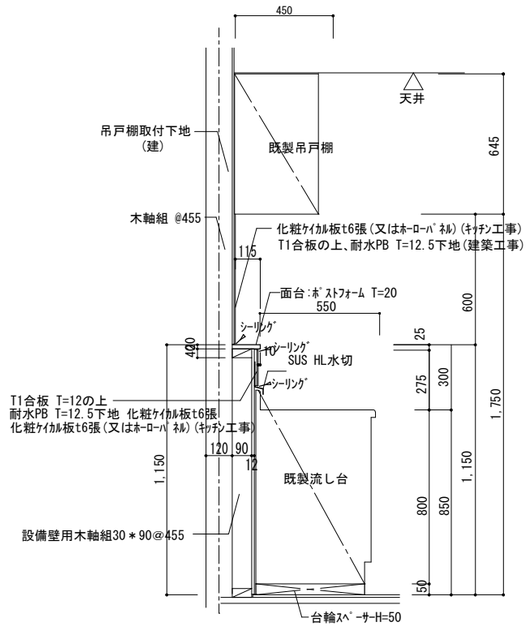


正面図

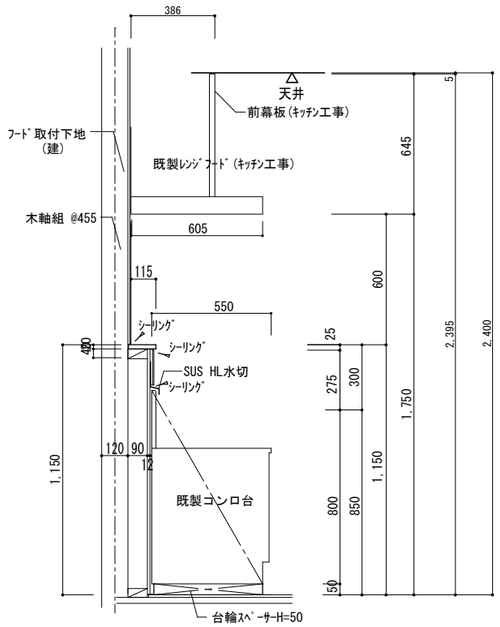


側面図

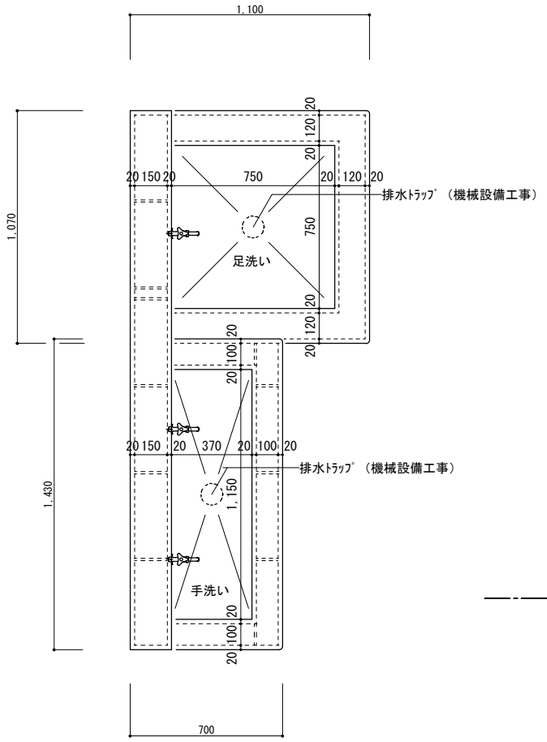
流し台前設備壁詳細図　S=1/20　　数量：2ヶ所



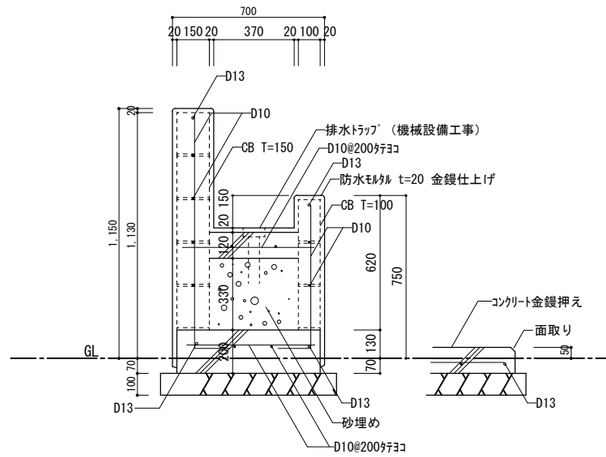
※ﾗｲﾆﾝｸﾞ腰壁(面台共)：建築工事



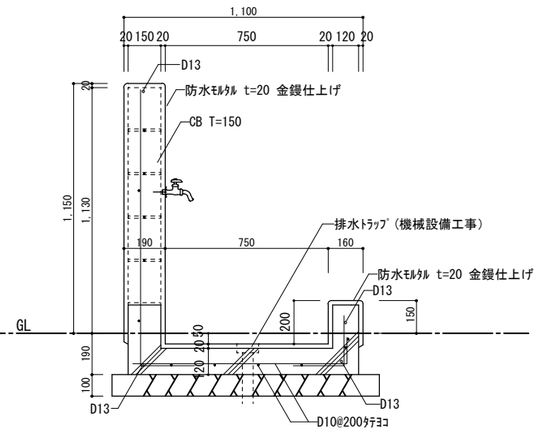
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	雑詳細図２(ｷｯﾁﾝ)	縮尺	S=1/30､1/20 (A3:71%)		A-39		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



平面図 1/20

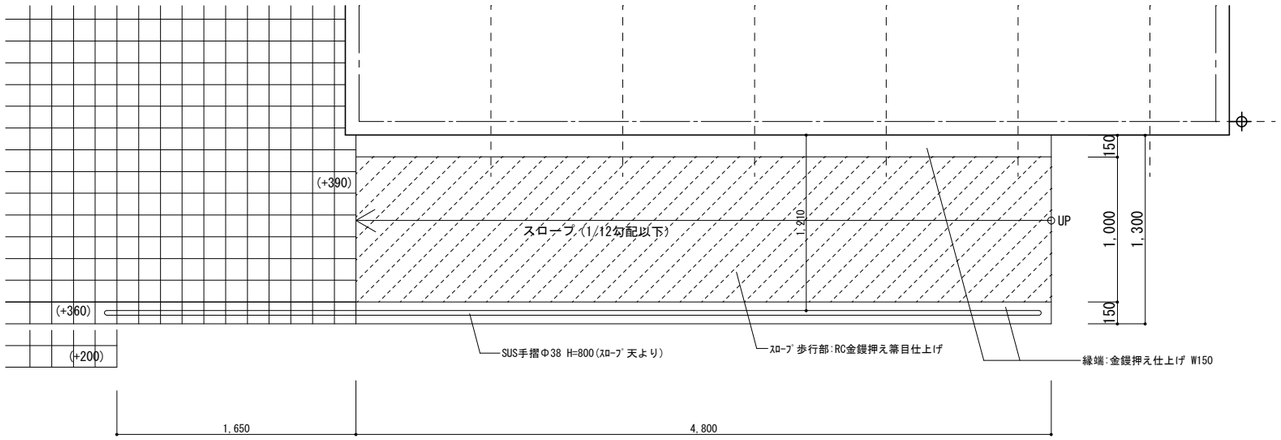


手洗い詳細図 1/20

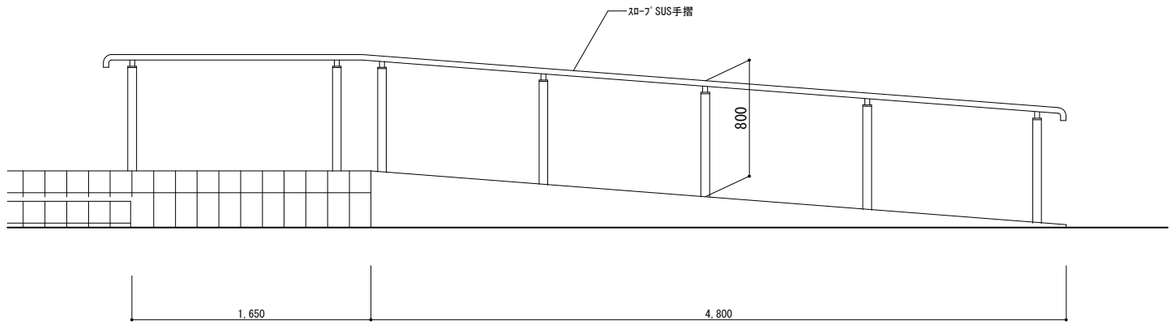


足洗い詳細図 1/20

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	雑詳細図3(足洗・手洗)		縮尺	S=1/20 (A3:71%)	A-40		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

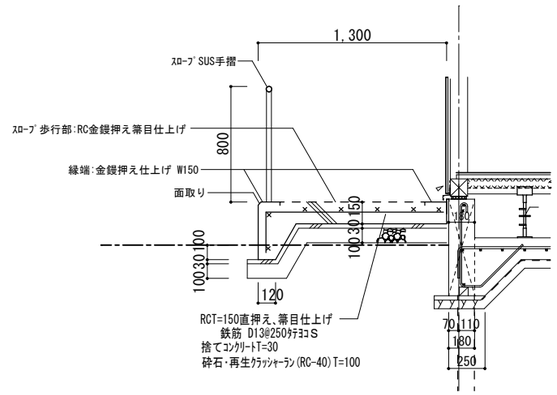


スロープ部塀面図　S=1/30



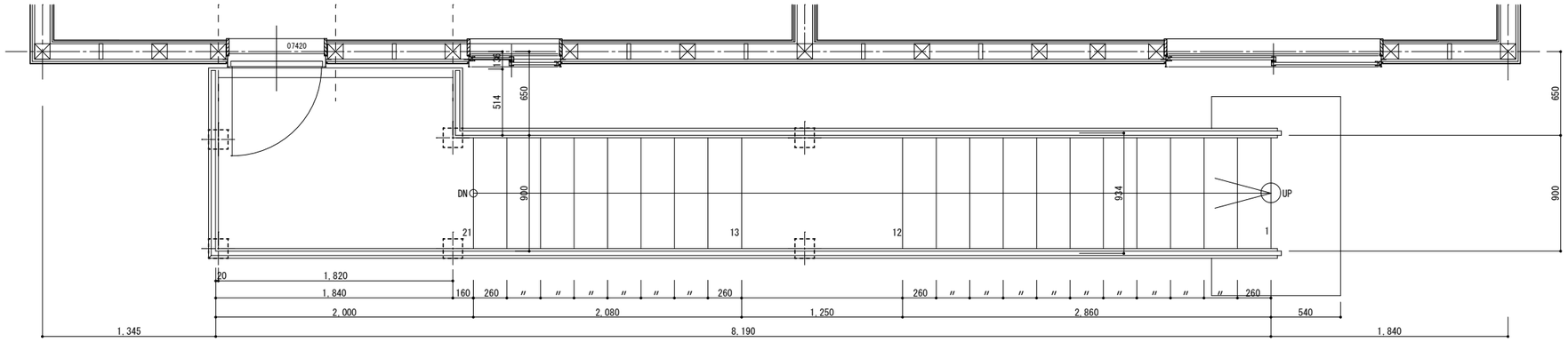
スロープ部立面図　S=1/30

※SUS手摺Φ38(四国化成 SB型　同等品)

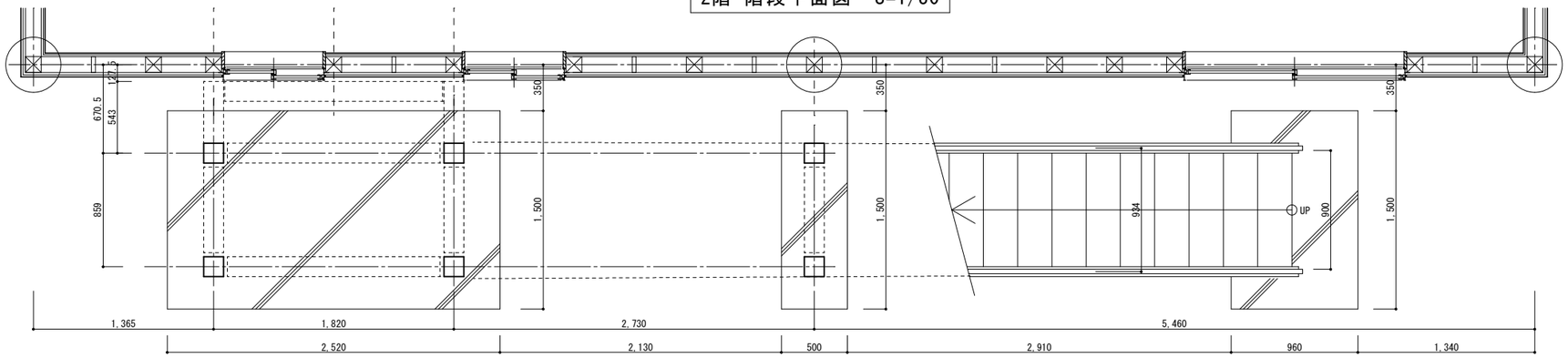


スロープ部横断面図　S=1/30

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	雑詳細図4(スロープ)			縮尺 S=1/30 (A3:71%)	A-41		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

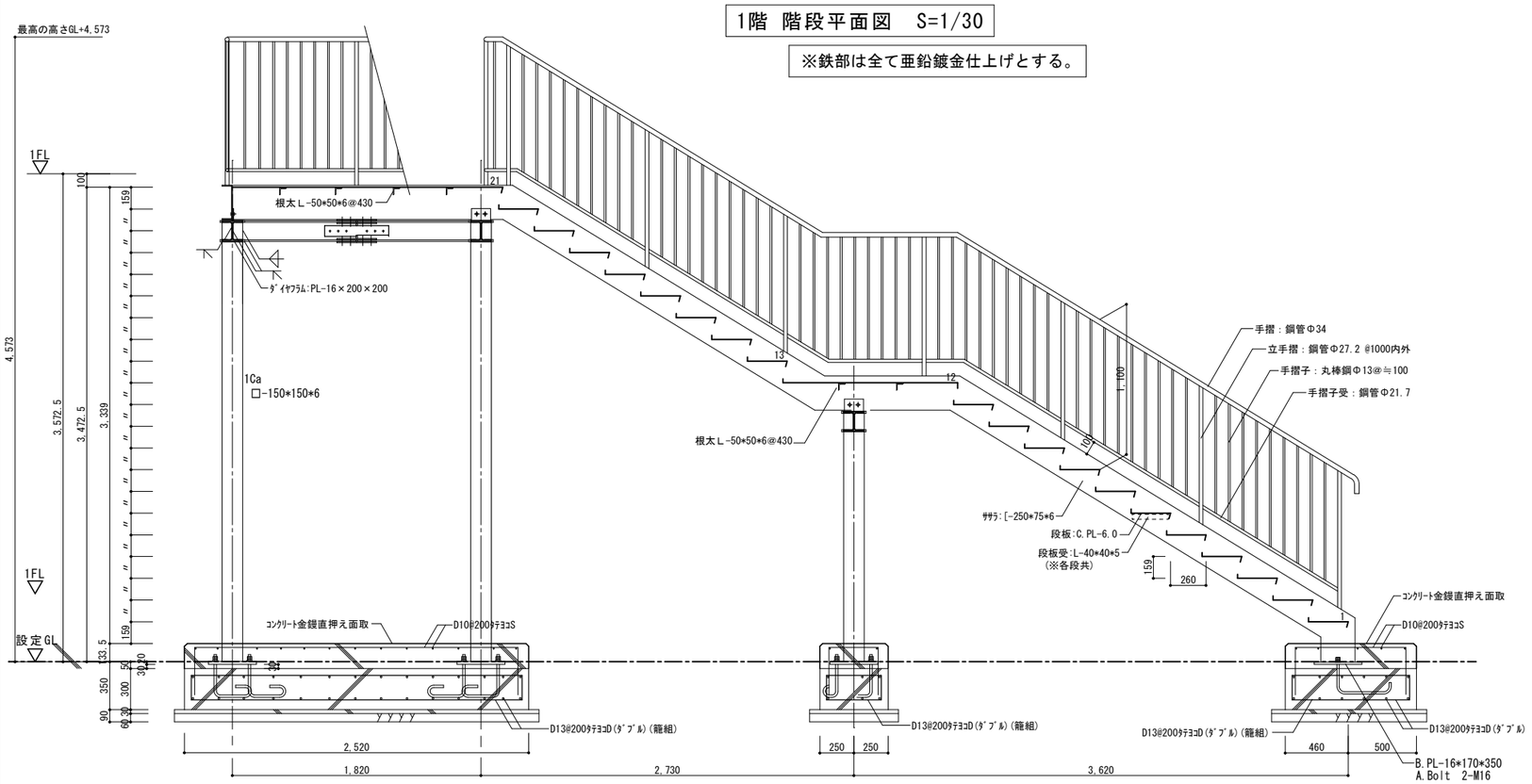


2階 階段平面図 S=1/30

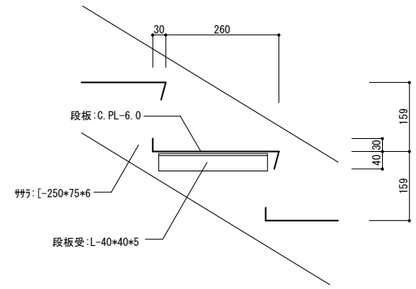


1階 階段平面図 S=1/30

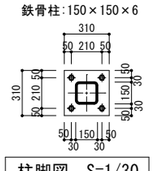
※鉄部は全て亜鉛鍍金仕上げとする。



縦断面図 S=1/30

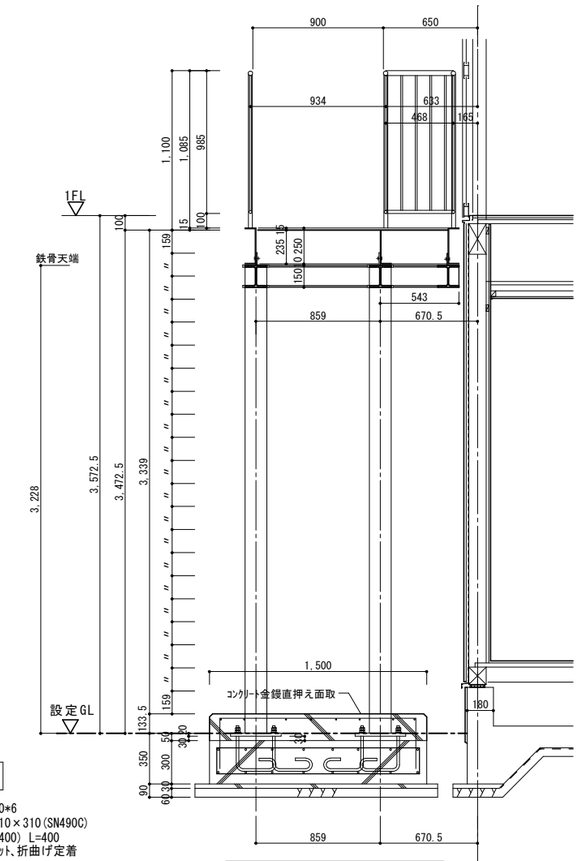


段板部詳細図=1/10



柱脚図 S=1/30

主材鉄骨柱 □-150*150*6
ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ BPL-20×310×310(SN490C)
A.Bolt 4-M16(ABR400) L=400
ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ、折曲げ定着

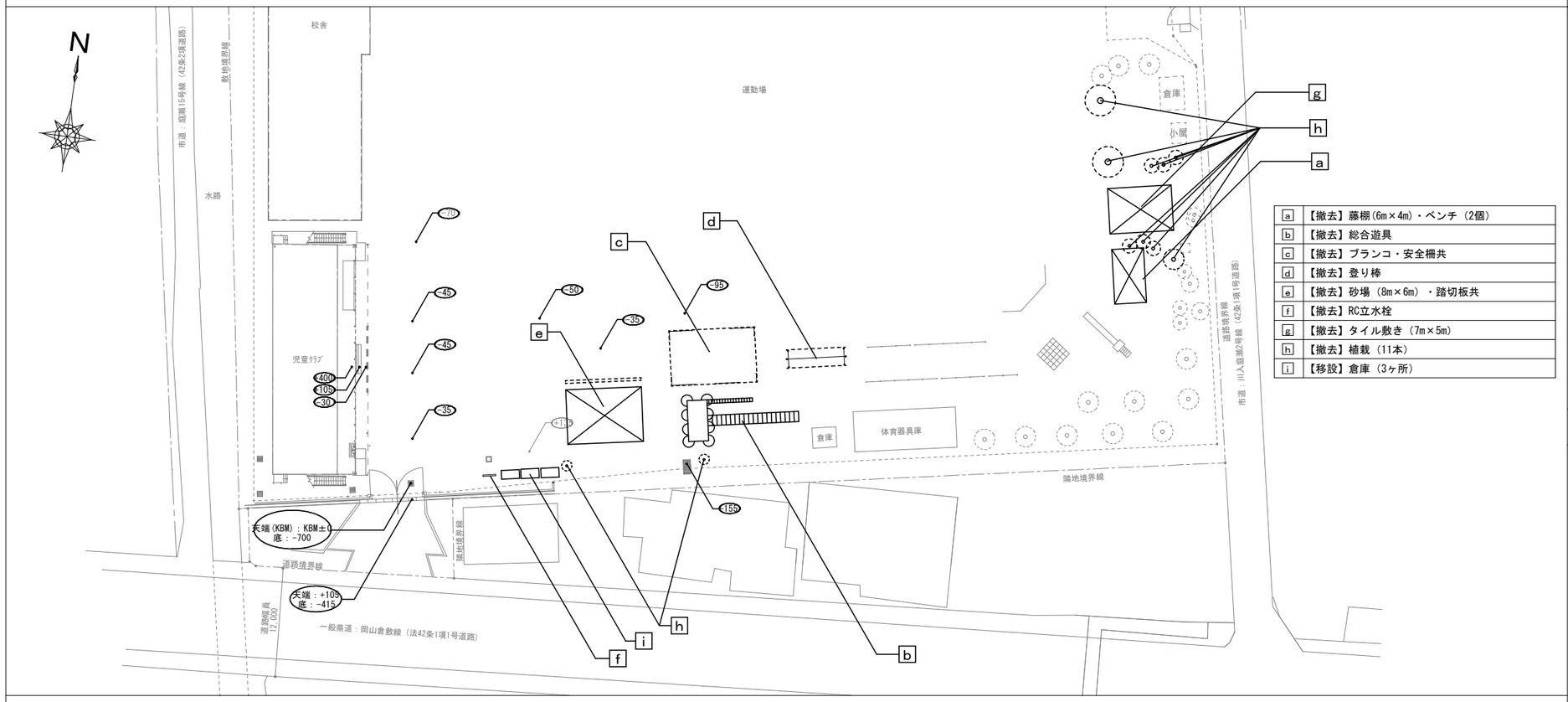


横断面図 S=1/30

A

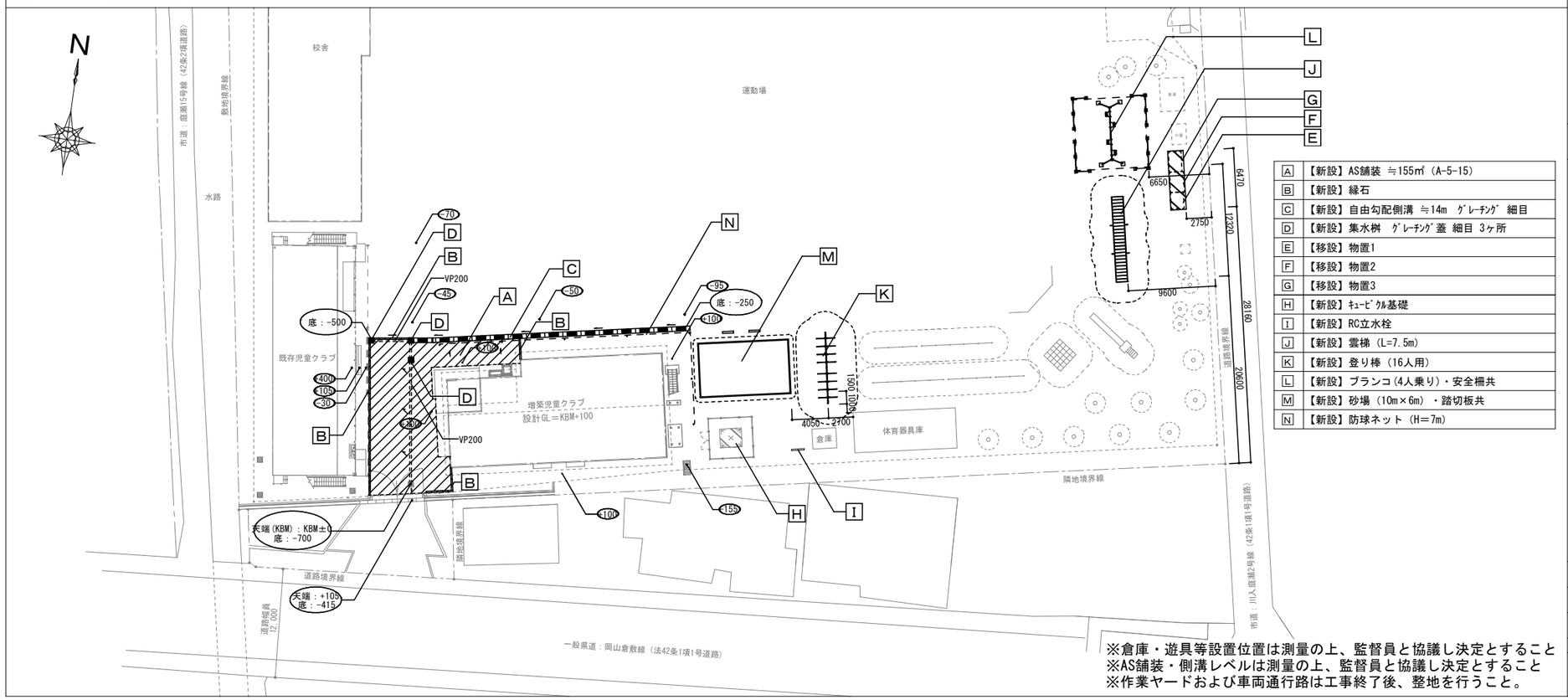
工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
図面名	屋外鉄骨階段詳細図		縮尺	S=1/30、1/10 (A3:71%)	A-42	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

現況外構図　S=1/400



a	【撤去】藤棚(6m×4m)・ベンチ（2個）
b	【撤去】総合遊具
c	【撤去】ブランコ・安全柵共
d	【撤去】登り棒
e	【撤去】砂場（8m×6m）・踏切板共
f	【撤去】RC立水栓
g	【撤去】タイル敷き（7m×5m）
h	【撤去】植栽（11本）
i	【移設】倉庫（3ヶ所）

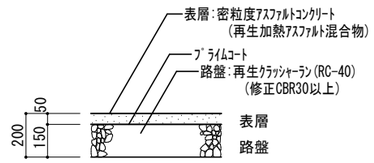
改修外構図　S=1/400



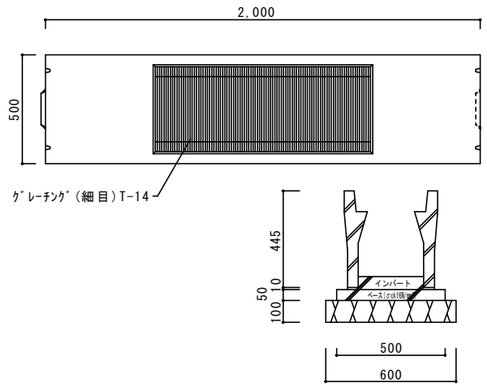
A	【新設】AS舗装 ≒155㎡（A-5-15）
B	【新設】縁石
C	【新設】自由勾配側溝 ≒14m　ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 細目
D	【新設】集水桝　ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目 3ヶ所
E	【移設】物置1
F	【移設】物置2
G	【移設】物置3
H	【新設】ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎
I	【新設】RC立水栓
J	【新設】雲梯（L=7.5m）
K	【新設】登り棒（16人用）
L	【新設】ブランコ(4人乗り)・安全柵共
M	【新設】砂場（10m×6m）・踏切板共
N	【新設】防球ネット（H＝7m）

※倉庫・遊具等設置位置は測量の上、監督員と協議し決定とすること
※AS舗装・側溝レベルは測量の上、監督員と協議し決定とすること
※作業ヤードおよび車両通行路は工事終了後、整地を行うこと。

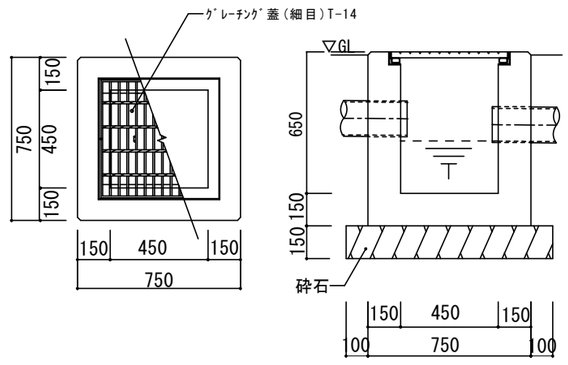
A　【新設】AS舗装(A-5-15)　S=1/20



A　【新設】自由勾配側溝　S=1/20



D　【新設】集水桝　S=1/20



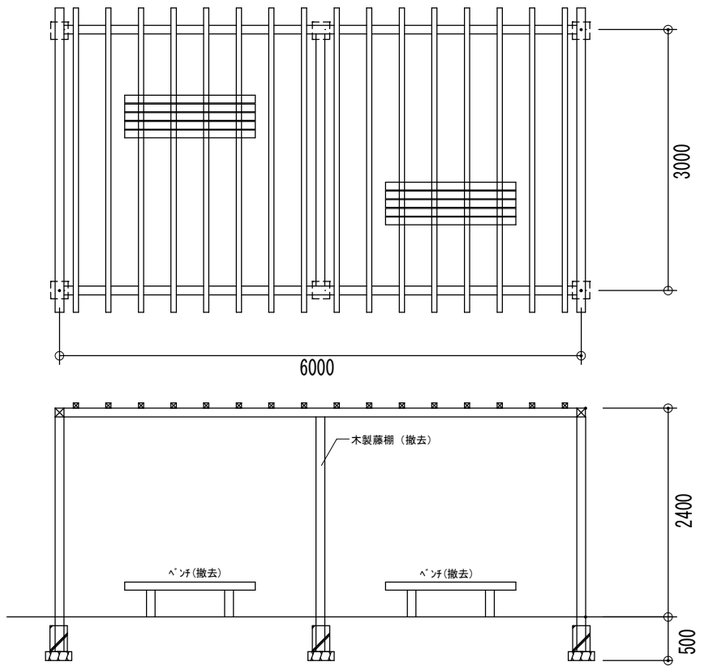
※流入・放流管レベルは測量の上、監督員と協議し決定とすること

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88495号 〒703-8246 米山 敏夫 印 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	外構配置図			縮尺	S=1/400、20 (A3:71%)	A-43	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

a 【撤去】藤棚　6.0m×3.0m　S=1/50

※基礎共撤去

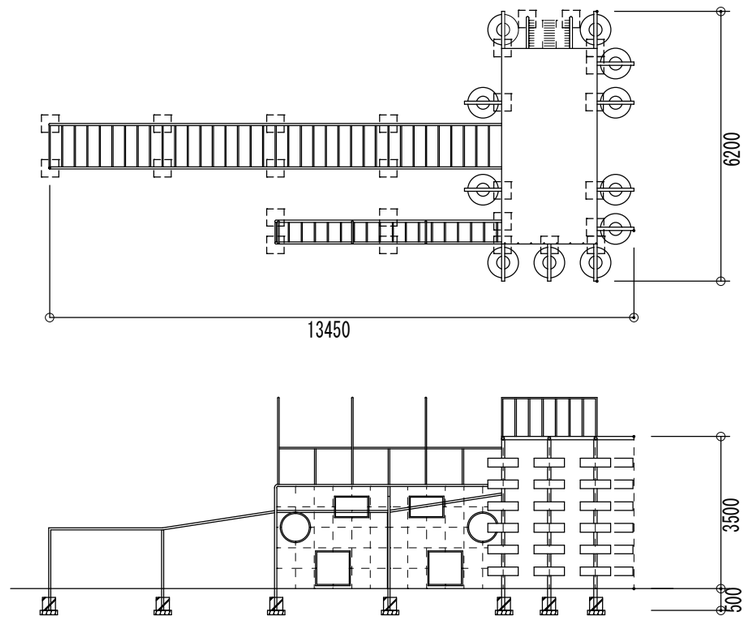
参考図



b 【撤去】既存総合遊具　S=1/100

※基礎共撤去

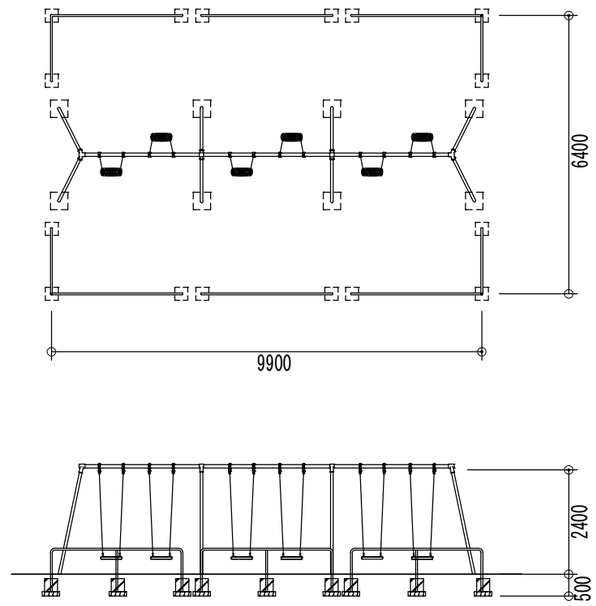
参考図



c 【撤去】既存ブランコ　S=1/100

※基礎共撤去

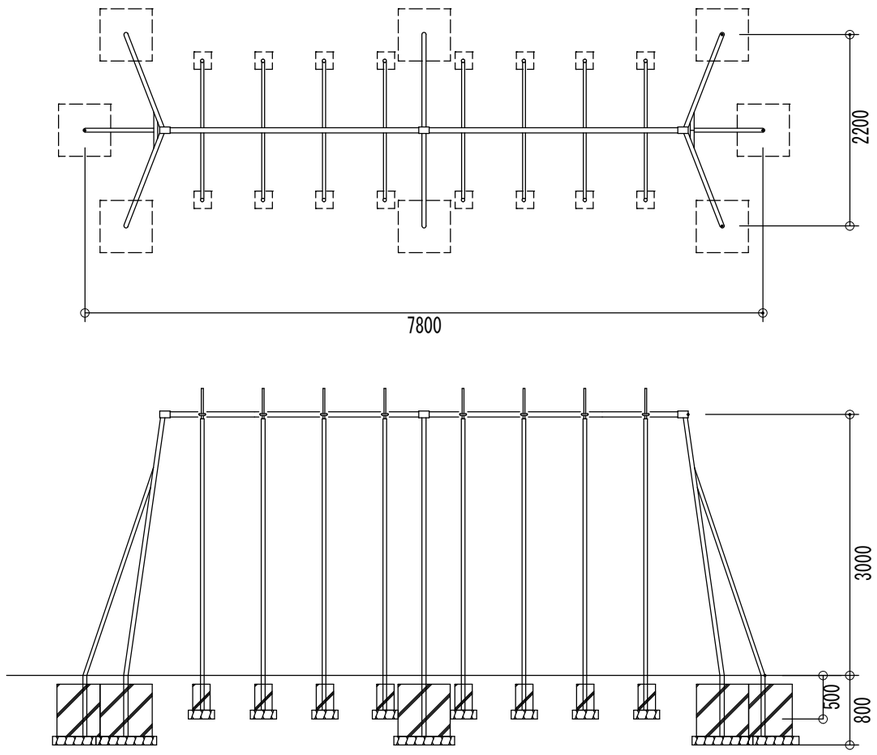
参考図



d 【撤去】既存登り棒　S=1/50

※基礎共撤去

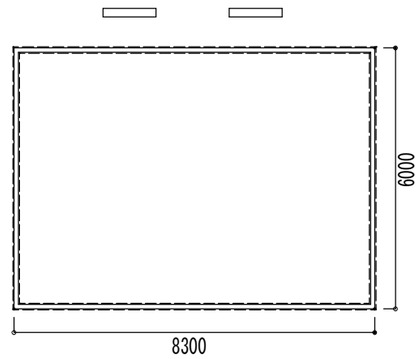
参考図

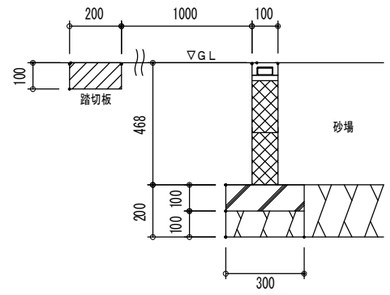


e 【撤去】既存砂場（8.3m×6.0m）　S=1/100、1/20

※基礎・踏切板共撤去

参考図



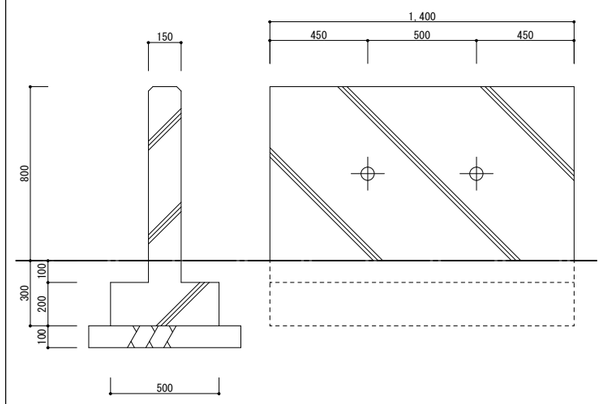


砂場断面詳細図　1/20

f 【撤去】立水栓　S=1/20

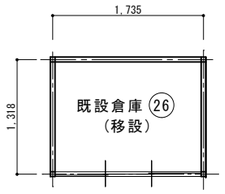
※基礎共撤去

参考図



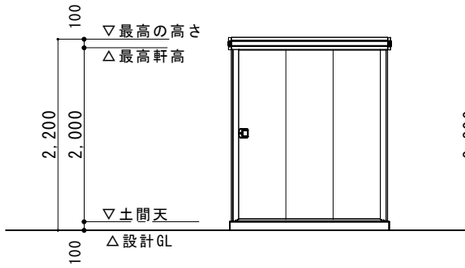
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	撤去図		縮尺	S=1/100・50・20 (A3:71%)	A-44		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

E 【移設】既設倉庫 26（上家：既設再利用・基礎：新設） S=1/50

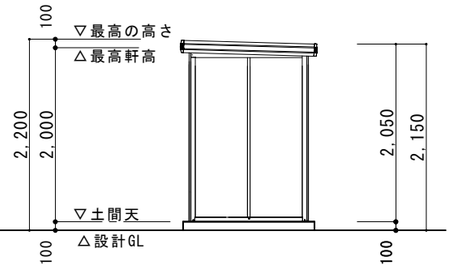


平面図 S=1/50

	計算式 m2
建築面積	1.735 × 1.318 ＝ 2.286
延床面積	1.735 × 1.318 ＝ 2.286

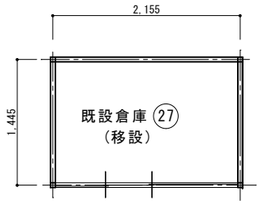


南立面図 S=1/50



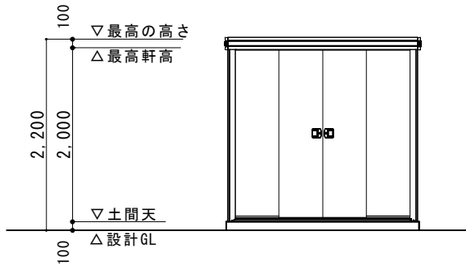
側立面図 S=1/50

F 【移設】既設倉庫 27（上家：既設再利用・基礎：新設） S=1/50

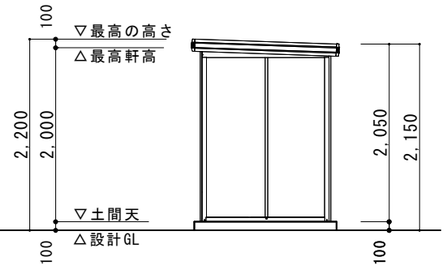


平面図 S=1/50

	計算式 m2
建築面積	2.155 × 1.445 ＝ 3.114
延床面積	2.155 × 1.445 ＝ 3.114

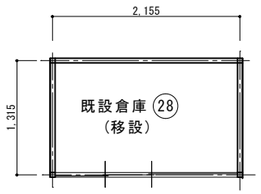


南立面図 S=1/50



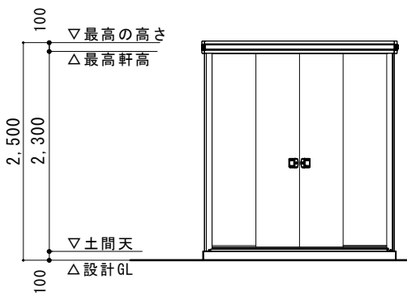
側立面図 S=1/50

G 【移設】既設倉庫 28 （上家：既設再利用・基礎：新設） S=1/50

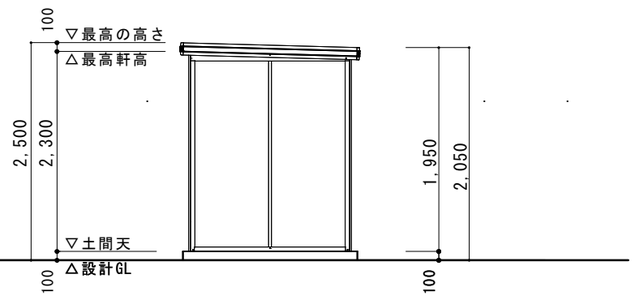


平面図 S=1/50

	計算式 m2
建築面積	2.155 × 1.315 ＝ 2.834
延床面積	2.155 × 1.315 ＝ 2.834

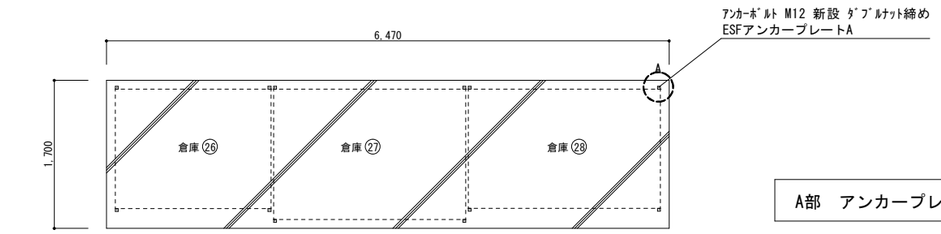


東立面図 S=1/50

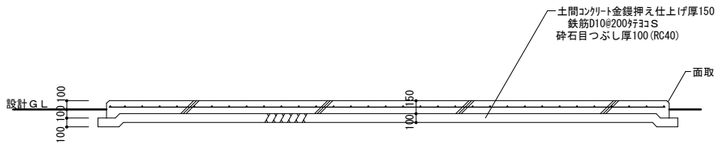


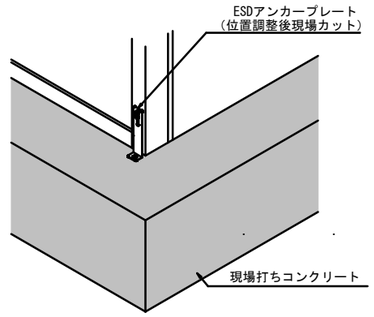
北立面図 S=1/50

【新設】倉庫基礎 S=1/50



A部 アンカープレート詳細図 S=free

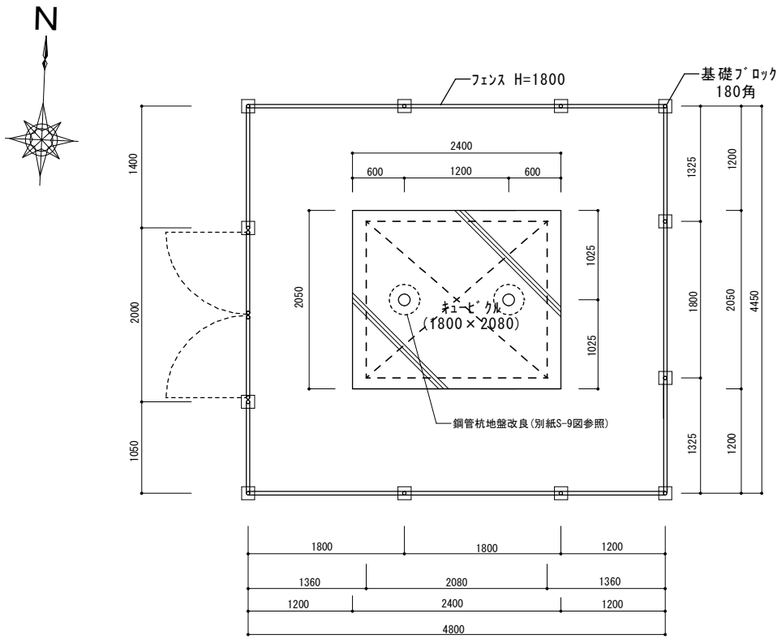




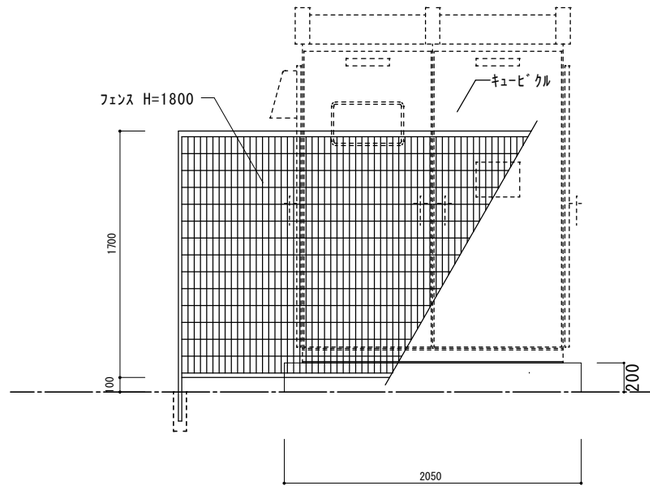
基 礎 仕 様	
基礎種類	ベタ土間ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎
鉄筋	D10@200 S（ﾀﾃ・ﾖｺ共）
材料強度	ｺﾝｸﾘｰﾄ設計強度 Fc=21N/mm2 (21-15-20)
	鉄筋 SD295A (D10～D16)
特記事項（構造体強度補正） JASS5-2015年版 発注用呼び強度(Fx)=Fc+S(S=3Nor6N) (調合管理強度Fm)=Fc+S(構造体強度補正値)N/mm2 ※S=3N(予想平均気温:8℃以上) (春・秋中間期) ※S=6N(0～8℃未満及び暑中期間) (夏・冬期)	

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	外構図1			縮尺 S=1/50 (A3:71%)	A-45		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

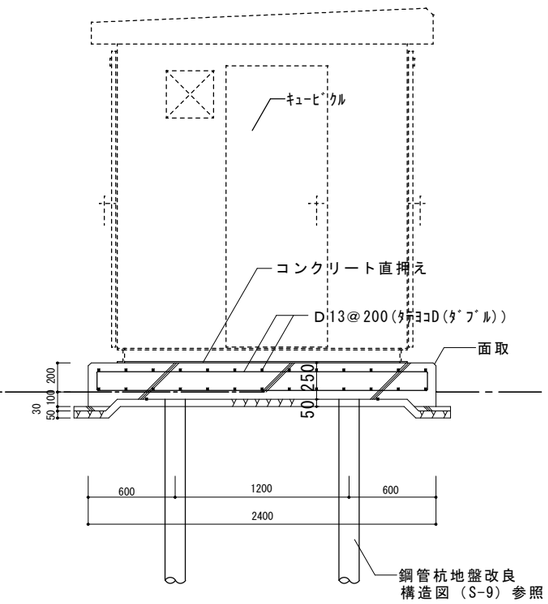
H 【新設】キュービクル図 S=1/50・1/30



平面図 S=1/50



正面図 S=1/30

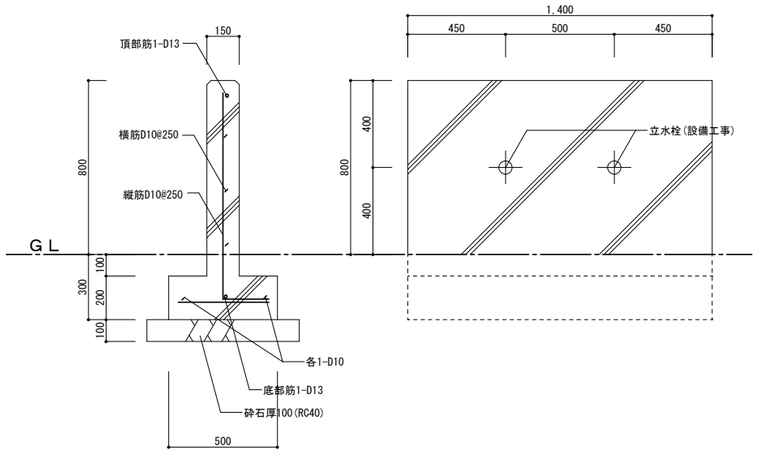


側面図 S=1/30

1 フェンスには「高圧危険」パネルを取付のこと
2 パネルの取付は、Uボルト (SUS304) 等で固定のこと
3 キュービクルとフェンスとの保有距離は下記のとおりとすること
　操作面：1.2m以上　　点検面：0.6m以上
4 フェンス扉の鍵は南京錠とする
5 フェンス仕様は下記のとおりとする
　アサヒUNフェンス　UN-A1800-40 相当品
　H=1800　UNフェンスA型
設計条件
設計荷重
基礎条件：長期許容地耐力98kN/㎡ (10t/㎡)
外装は金網類を除く他は、全て溶融亜鉛メッキとする
門扉は片側180° 開きとする

φ3.2×50mm、φ3.2×56mm
6 寸法は全て参考値とする（現地調査の上決定のこと）

I 【新設】立水コンクリート壁 S=1/20

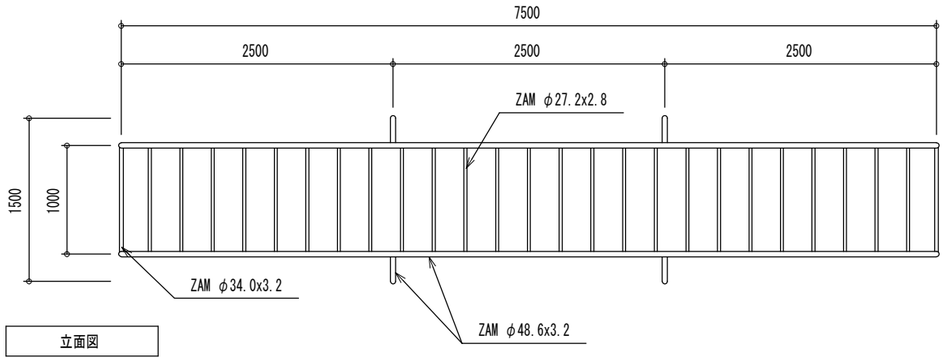


基礎仕様	
基礎種類	ベタ土間ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎
鉄筋	D10@200 S(ﾀﾃ･ﾖｺ共)
材料強度	ｺﾝｸﾘｰﾄ設計強度 Fc=21N/mm2 (21-15-20)
	鉄筋 SD295A (D10～D16)
特記事項(構造体強度補正) JASS5･2015年版 発注用呼び強度(Fx)=Fc+S(S=3Nor6N) (調合管理強度Frm)=Fc+S(構造体強度補正値)N/mm2 ※S=3N(予想平均気温:8℃以上) (春･秋中間期) ※S=6N(0～8℃未満及び暑中期間) (夏･冬期)	

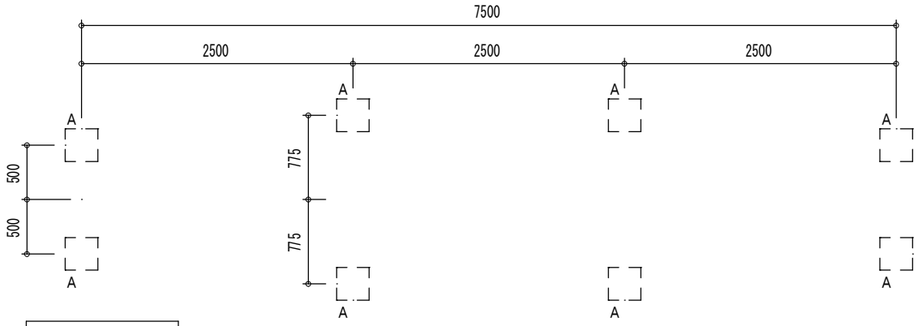
工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	外構図2		縮尺	S=1/50・30・20 (A3:71%)	A-46	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

J 【新設】雲梯 S=1/40、1/80

平面図

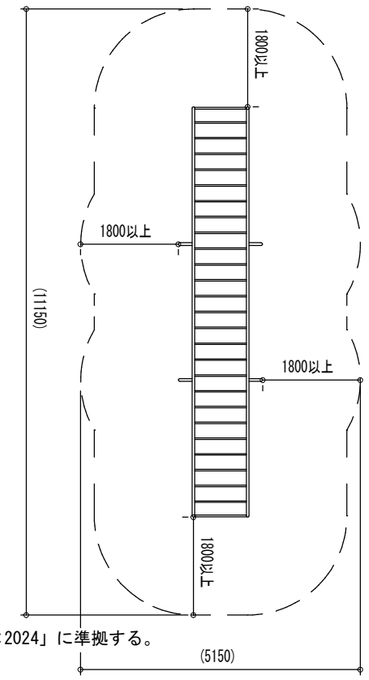


基礎図

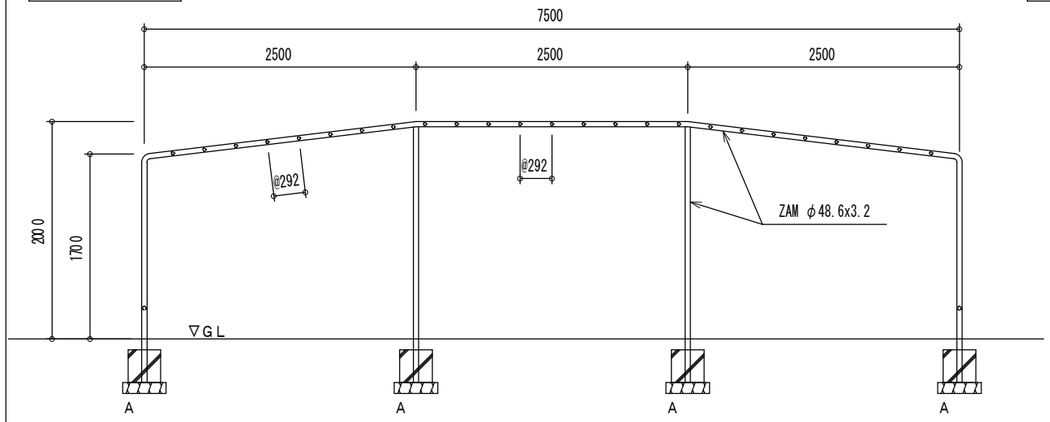


安全領域図

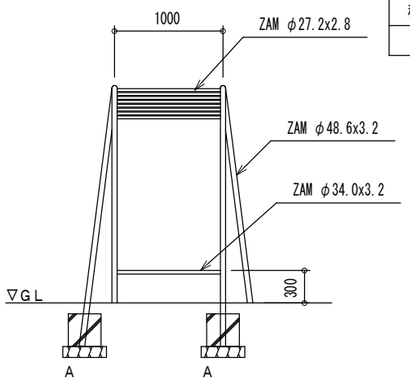
S=1/80



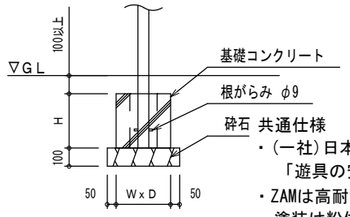
立面図



側面図



基礎一覧表			
種類	サイズ(WxDxH)	数量	ボイド径
A	300x300x300	8	φ150



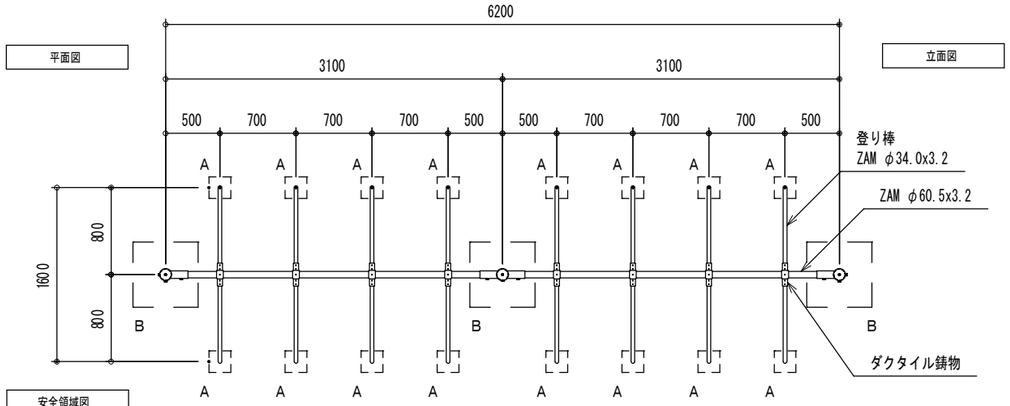
A詳細図

共通仕様
- (一社)日本公園施設業協会発行の
  「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2024」に準拠する。
- ZAMは高耐食溶融メッキ鋼材とする。
- 塗装は粉体樹脂焼付塗装同等とする。
- ISO9001認証取得工場の製品とする。
- (一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険付とする。
- 利用対象年齢は、6～12歳とする。

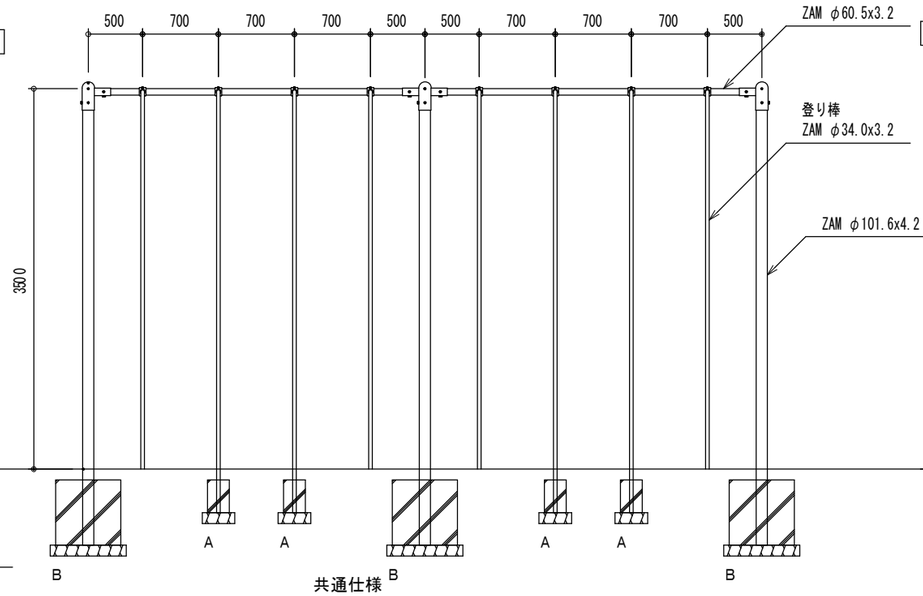
参考図

K 【新設】登り棒 S=1/100・1/40

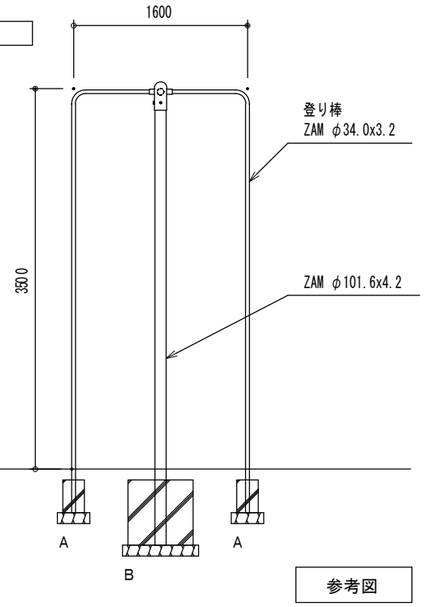
平面図



立面図

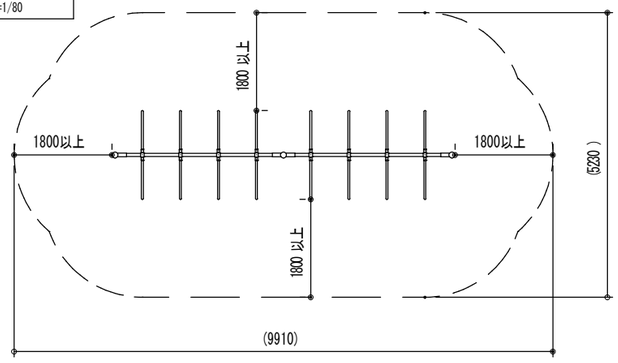


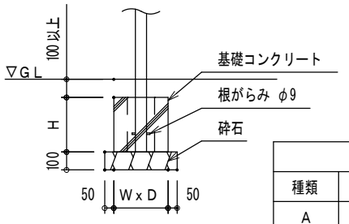
側面図



安全領域図

S=1/80





A、B詳細図

基礎一覧表			
種類	サイズ(WxDxH)	数量	ボイド径
A	200x200x300	16	φ100
B	600x600x600	3	φ200

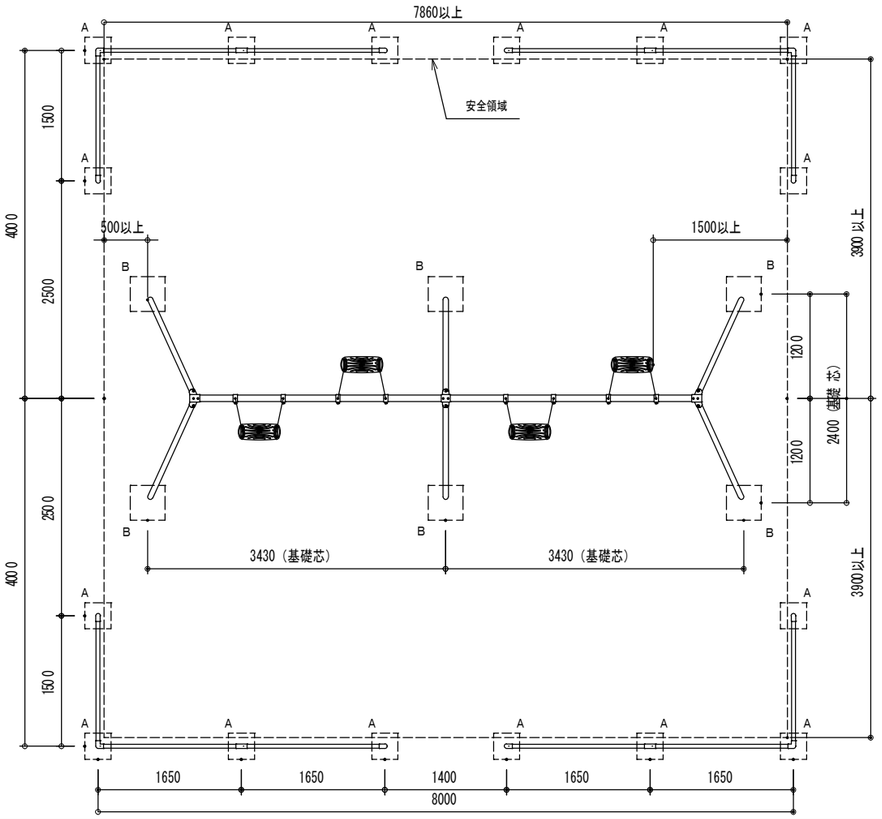
共通仕様
- (一社)日本公園施設業協会発行の
  「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2024」に準拠する。
- ZAMは高耐食溶融メッキ鋼材とする。
- ISO9001認証取得工場の製品とする。
- 塗装は粉体樹脂焼付塗装同等とする。
- (一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険付とする。
- 利用対象年齢は、6～12歳とする。

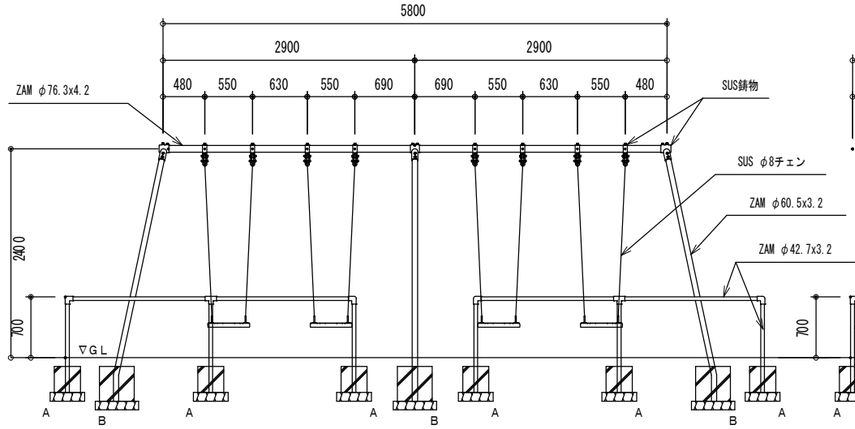
参考図

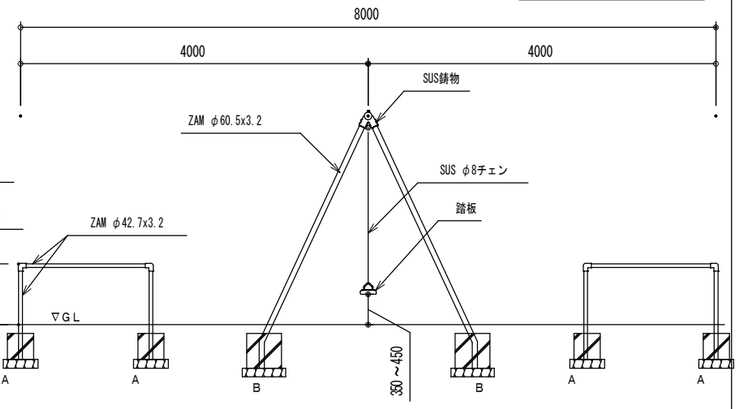
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	外構図3		縮尺	S=1/100, 1/40 (A3:71%)	A-47	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

L 【新設】4人用ブランコ・両側境界柵　S=1/50・1/20

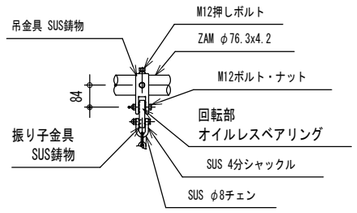
参考図



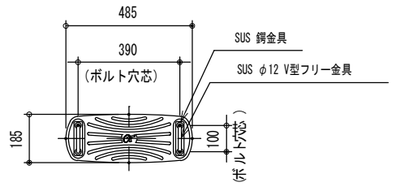




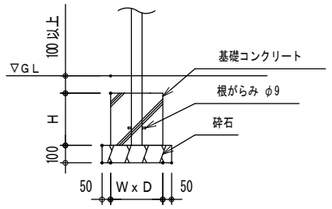
ブランコ回転部詳細図
1/20



ブランコ踏板詳細図
1/20



A、B詳細図

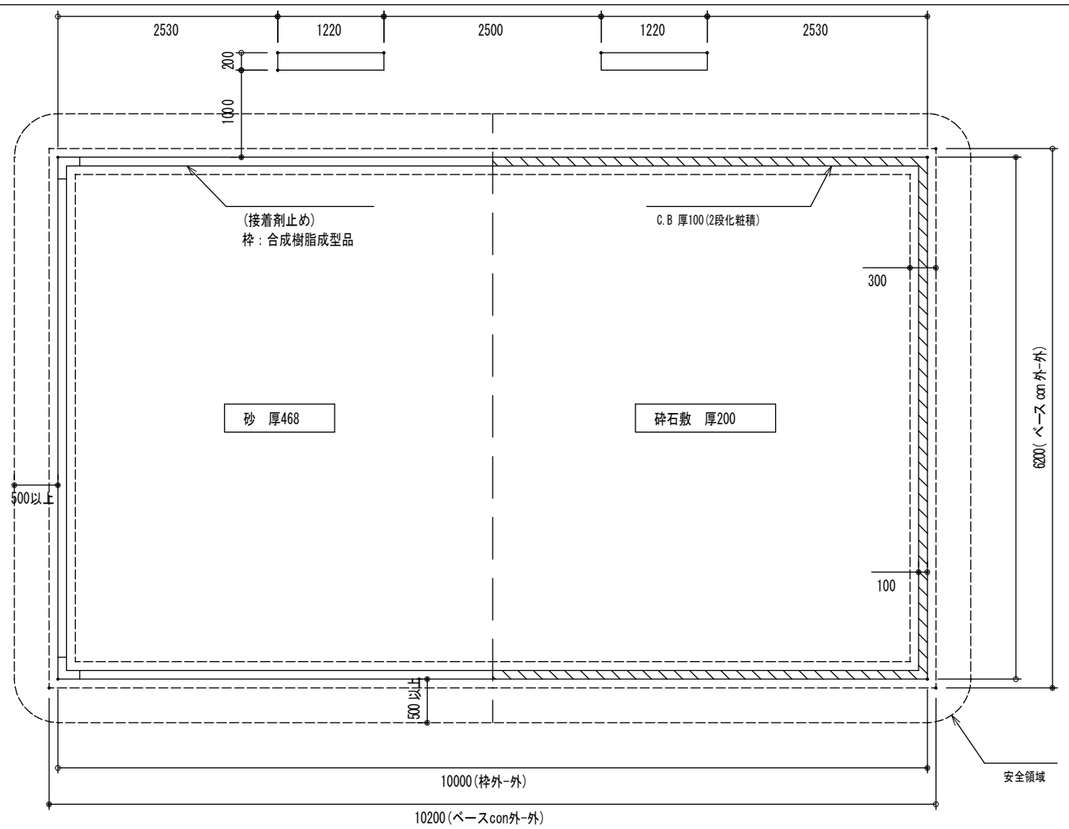


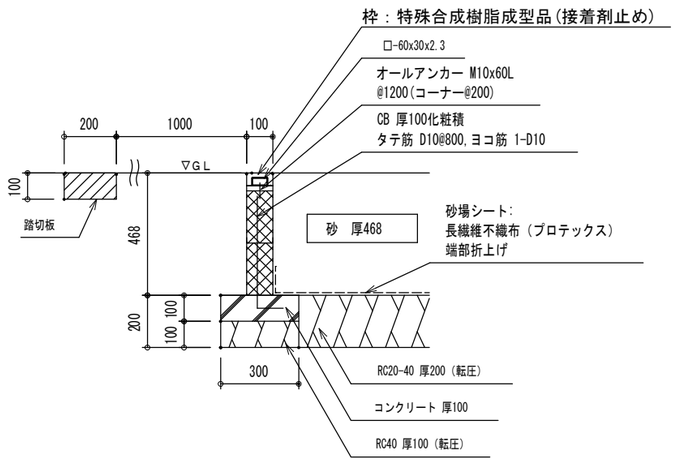
基礎一覧表			
種類	サイズ(WxDxH)	数量	ボイド径
A	300x300x300	16	φ150
B	400x400x400	6	φ200

共通仕様
・(一社)日本公園施設業協会発行の「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2024」に準拠する。
・ZAMは高耐食溶融メッキ鋼材とする。
・ISO9001認証取得工場の製品とする。
・(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険付とする。
・利用対象年齢は、6～12歳とする。
・塗装は粉体樹脂焼付塗装同等とする。

M 【新設】砂場 10m×6m　S=1/50・1/20

参考図





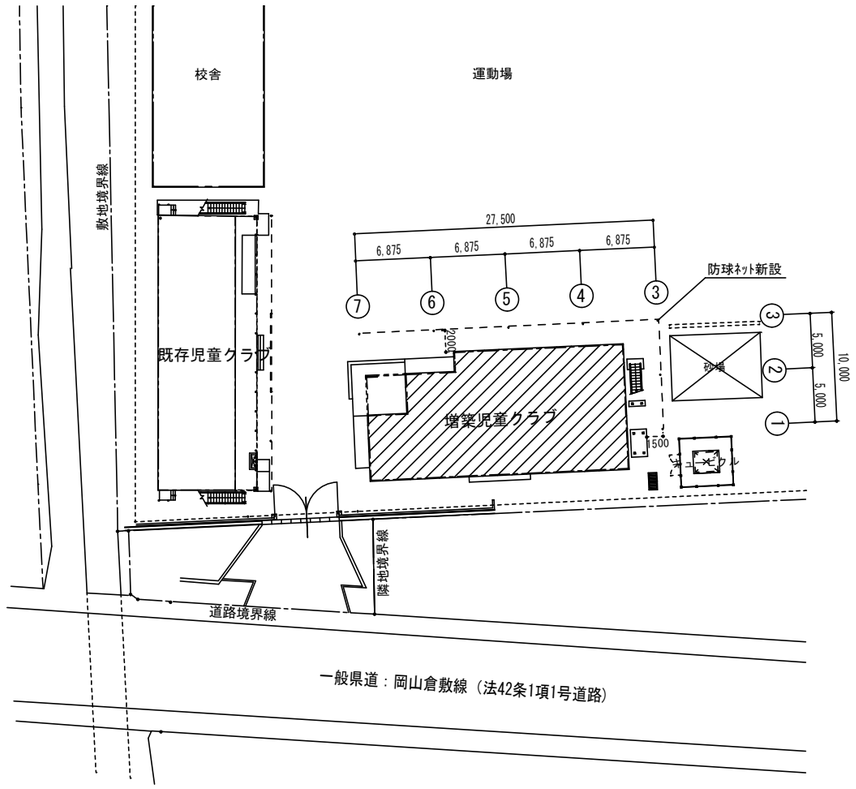
砂場断面詳細図　1/20

共通仕様
・(一社)日本公園施設業協会発行の「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2024」に準拠する。
・スチール部はブレメッキとする。
・使用する砂の種類については、監督員と協議の上決定する。
・ISO9001認証取得工場の製品とする。
・(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険付とする。
・利用対象年齢は、6～12歳とする。

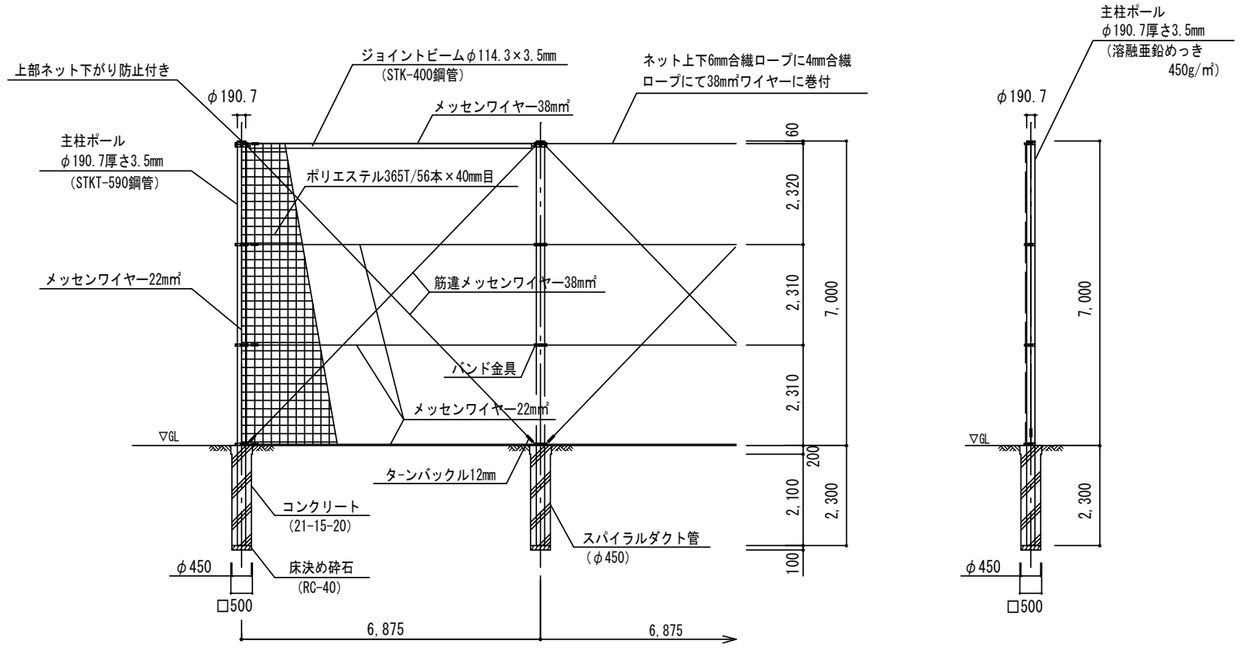
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	外構図4		縮尺	S=1/50・20 (A3:71%)	A-48		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

N 【新設】防球ネット H=7,000（KS-Ⅰ型　同等品）

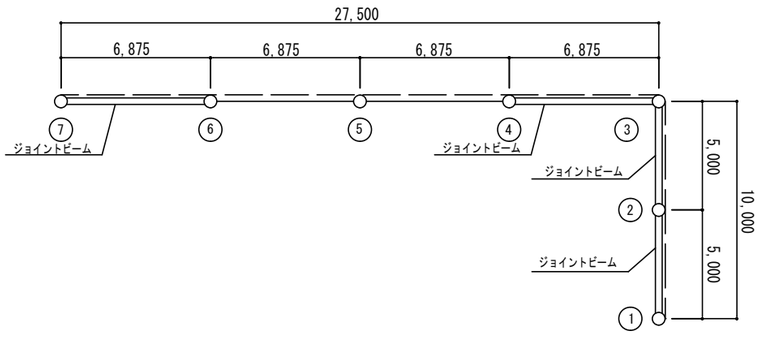
参考図



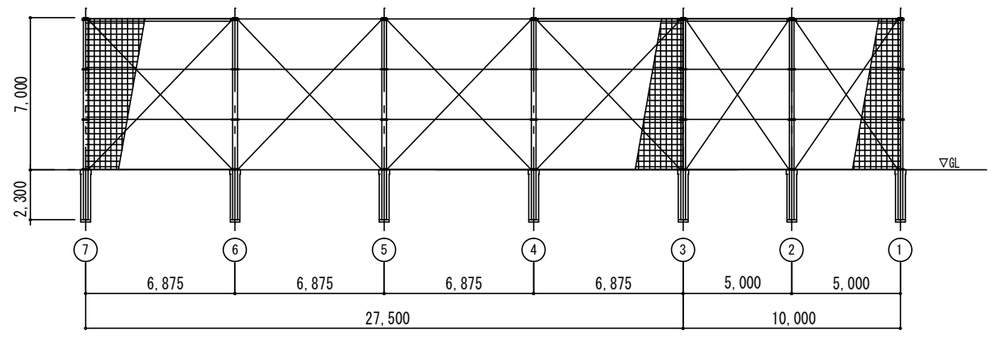
配置図　S=1/400



立面図　S=1/100



平面図　S=1/200



展開図　S=1/200

特記事項

- 主柱、ジョイントビーム、バンド金具、ボルトは溶融亜鉛めっき仕上げとする。
- 柱脚部防食処理は主柱設置後環境対応型水系クリヤー塗装とする。
- 上部（JB・ネット）下がり防止金具付きとする。
- ネット仕様は365T/56本×40mm目とする。
- 【施工前】構造計算書・材料承認願い・組立手順書を提出し承認後施工のこと。
- 【完成後】検査証明書を提出のこと。

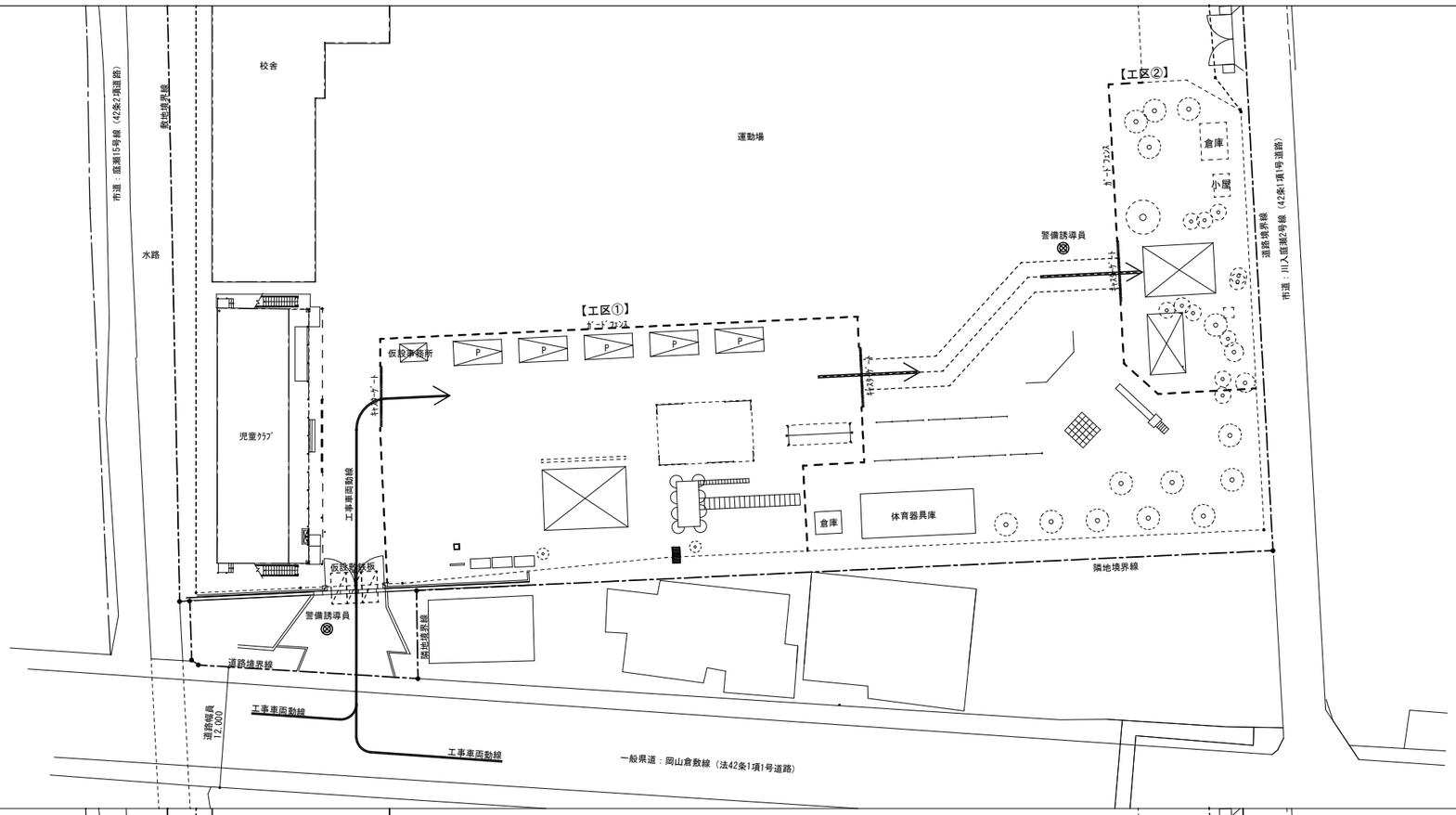
設計条件

- （一社）日本防球ネット施設業協会「令和5年度防球ネット計画指針」に準ずる製品とする。
- 設計荷重。建築基準法・同施工令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る、基準風速。
- 速度圧　q=0.6EVo（N/m²）　・地表面粗度区分　Ⅲ　・基礎　軟弱土質［D］を選定

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	外構図5	縮尺	S=1/100,200,400 (A3:71%)		A-49	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 印 岡山市中区原原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

仮設計画図(参考)　S=1/400

【着工】
↓
【遊具・藤棚・樹木撤去】
↓
【雲梯新設・ブランコ新設】

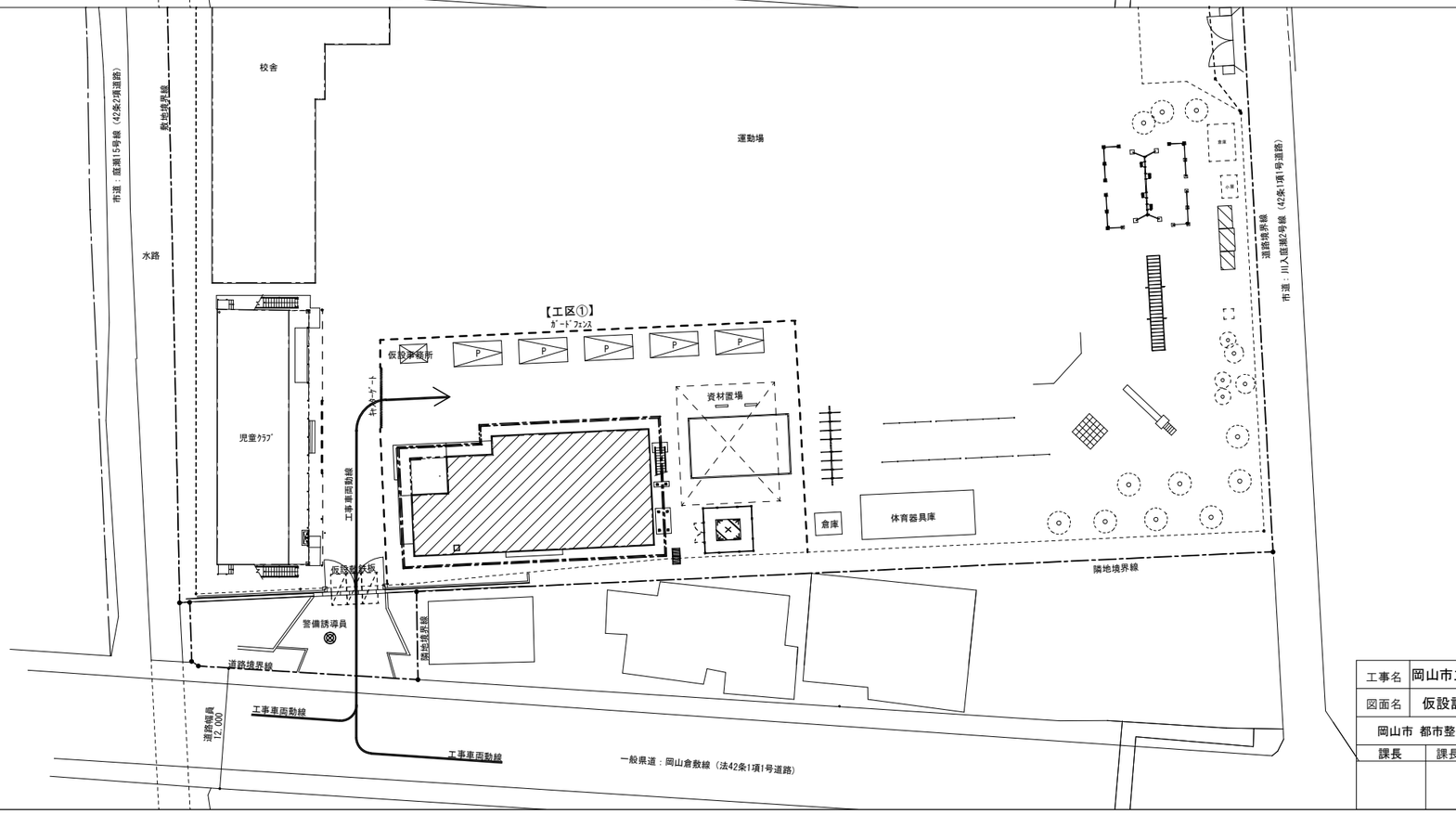


【凡例】
- ：外部足場(くさび緊結足場 手摺先行方式) 垂直養生ﾒｯｼｭｼｰﾄ張り
- ：仮囲い：ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1.8m
- ：ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ　W6000×H1800
- ：コーンバー
- ：仮設敷鉄板
- ：警備誘導員

特記事項
※仮設図は参考とし、仮設計画図を請負者にて作成提出し承認を得ること。
※その他安全確保に必要な対策は十分検討し責任をもって自主的に行うこと。
※作業ヤードおよび車両通行路は工事終了後、整地を行うこと。

仮設計画図(参考)　S=1/400

【本体工事】
↓
【砂場設置】
↓
【外構工事、砂場・雲梯新設】



【凡例】
- ：外部足場(くさび緊結足場 手摺先行方式) 垂直養生ﾒｯｼｭｼｰﾄ張り
- ：仮囲い：ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1.8m
- ：ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ　W6000×H1800
- ：コーンバー
- ：仮設敷鉄板
- ：警備誘導員

特記事項
※仮設図は参考とし、仮設計画図を請負者にて作成提出し承認を得ること。
※その他安全確保に必要な対策は十分検討し責任をもって自主的に行うこと。
※作業ヤードおよび車両通行路は工事終了後、整地を行うこと。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	仮設計画図(参考)		縮尺	S=1/400 (A3:71%)	A-50		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

構　造　特　記　仕　様　書

適用は ☑ 印を記入する
(1) 構造図面に記載された事項は、本標準仕様に優先して適用する。
(2) 同等以上の性能及び、品質を有することが確認された場合は監理者の承認を受けて他の仕様でも良い。
※ ✓無き項目は該当無しとする。

※図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されてある事項以外は
「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事共通仕様書」に準ずる。

1. 建築物の構造内容

(1) 主要用途　☐ 住宅　☐ 工場　☐ 事務所･庁舎　☐ 店舗　☑ その他(児童クラブ)
(2) 工事種別　☑ 新築　☐ 増築　☐ 増改築　☐ 改築
(3) 構造種別　☑ 木造(W)　☐ 鉄骨造(S)　☐ 補強コンクリートブロック造(CB)
☐ 鉄筋コンクリート造(RC)　☐ 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)　☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)
☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）
(4) 階　数　地上 2 階　地下 0 階　塔屋 0 階

(5) 屋上付属物　☐ 広告塔　☐ 高架水槽　ton　☐
☐ 煙　突　☐ キュービクル　ton　☐
(6) 増築計画　☐ 無　☐ 有 (　　)
(7) 付帯工事　☐ 門塀　☐ 擁壁
(8) 特別な荷重　☐ エレベーター　人乗（ロープ式　油圧式）　☐ 受水槽　ton
☐ 倉庫積載床用　kN/m^2
(9) 構造計算ﾙｰﾄ　X方向：ルート1-1　Y方向：ルート1-1

(10) 住宅性能表示　☑ 無　☐ 有
(11) 構造の安定に関すること　耐震等級（倒壊等防止）　☐ 1　☐ 2　☐ 3
耐震等級（損傷防止）　☐ 1　☐ 2　☐ 3
耐風等級（倒壊等防止及び損傷防止）　☐ 1　☐ 2

2. 使用構造材料

(1)コンクリート

適用箇所	設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランプ (cm)
捨コンクリート	18 以上	15
土間コンクリート	21 以上	15
基礎、基礎梁、土間ｽﾗﾌﾞ	21,㉔ 以上	15 又は 18
柱、梁、ｽﾗﾌﾞ、壁	21,㉔ 以上	18　ただし 調合管理強度が33N/mm2 以上の場合は 21以下とする。

☑ コンクリートの種類は普通コンクリートとする。
☑ 調合管理強度（Fm）は、JASS5-2009による。（Fm=Fc＋S）
☑ 杭の構造体強度補正値は3N/mm2とする。
☑ 呼び強度39は使用せず40とすること。
☑ コンクリート中の空気量は、計画調合において4.5%とする。(但し、大臣認定品は認定内容による。)
☑ コンクリートの単位水量は、185kg/m3以下とする。ただし、杭は200kg/m3以下とする。
☑ コンクリートの単位セメント量は、270kg/m3以上、高性能AE減水剤を使用した場合は290kg/m3以上とする。
ただし、杭は330kg/m3以上とする。
☑ 塩化物含有量は、原則として0.3kg/m3以下とする。
☑ 水セメント比　☑ 55%　☐ 50%

(2) 鉄　筋

	種　類	径	使用箇所	継手
異形鉄筋	☑ SD295A	D10～ D16		重ね継手
	☑ SD345	D19～ D25		ガス圧接継手又は機械式継手
	☐ SD390	D29～D35		ガス圧接継手又は機械式継手
	☐ SD490	D38		機械式継手
高強度せん断補強筋(大臣認定品とする)	☐ SHD685（MSRB-9004）同等品 ☐ KSS785（MSRB-9001）同等品			
溶接金網	☐ SR235			

☑ スラブ、壁、基礎に用いるD19～D25は重ね継手も可とする。
☐ SD490以上は機械式継手とすること。
☑ D25以上の径は機械式定着とすること。

(3) 鉄　骨

	種　類	使用箇所	現場溶接	備　考
鋼　材	☑ SS400　☐ SN400A　☐ SN400B	梁	☐ 有　☐ 無	
	☐ SM490A　☐ SN490B　☑ SN490C		☐ 有　☐ 無	
	☐ BCP235　☐ BCP325　☑ BCR295		☐ 有　☐ 無	
	☐ SSC400		☐ 有　☐ 無	
			☐ 有　☐ 無	

(4) ボルト
☑ 高力ボルト　☐ F10T　☑ S10T　☐ F8T　認定品（☐ M12 、☑ M16 、☑ M20 、☐ M22 ）
☐ 中ボルト　：　構造図による　高力ボルトすべり係数試験　☐ 要　☐ 否
☑ アンカーボルト：構造図による
☐ 頭付スタッド　使用箇所：構造図による

3. 地　盤

(1) 地盤調査資料
☑ 有（ ☑ 敷地内　☐ 近隣 ）
☐ ボーリング調査　☐ 標準貫入試験　☐ 水平地盤反力係数の測定　☐ 平板載荷試験
☐ 一軸圧縮試験　☐ 三軸圧縮試験　☐ 圧密試験　☐ 液状化の検討　☑ SW式試験
☐ 無（ 調査予定　☐ 有　☐ 無 ）

(2) 地盤調査計画
☐ ボーリング調査　☐ 標準貫入試験　☐ 水平地盤反力係数の測定　☐ 平板載荷試験
☐ 一軸圧縮試験　☐ 三軸圧縮試験　☐ 圧密試験　☐ 液状化の検討　☐ SW式試験

(3)地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。
(4)ボーリング標準貫入値・土質構成は別紙「柱状図」による。

4. 地業工事

(1) 直接基礎
☑ ベタ基礎　☐ 布基礎　☐ 独立基礎
深さGL－　m　支持層：　長期許容支持力度 25 kN/m2　試験堀：☐ 有　☑ 無
※杭状地盤補強　kN/m2

(2) 杭基礎　支持層： 砂礫層

杭　種	材　料	施　工　法	備　考
☐既製杭	☐ PHC杭 ☐ PRC杭 ☐ SC杭（ ☐SKK400　☐SKK490 ） ☐ 鋼管杭（ ☐STK400　） (※小口径鋼管杭は杭状地盤補強工法)	☐ 大臣認定工法 ☐ 建築技術性能証明 ☐ 埋込み(ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法) ☐ ﾌﾟﾚﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ根固め工法 ☐ ﾌﾟﾚﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固工法 ☐ 回転貫入工法(鋼管杭)	
☐場所打ちコンクリート杭	使用材料は2.（1）、2.（3）による	☐ ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ { ☐ 拡底杭 / ☐ 拡頭拡底杭 ☐ ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ ☐ BH ☐ 深礎 { ☐ 手堀 / ☐ 機械堀	拡底杭の工法は日本建築センター評定工法とする

杭仕様　☐ 施工計画書承認　☐ 杭施工結果報告書
試験杭　（ ☐有・ ☐ 無 ）　（ ☐ 打ち込み　☐ 載荷 ）
☐ 杭径・支持力・先端深さは「杭伏図」「杭リスト」による。

5. 山留め工事

☐ 工事はJASS3による。
☐ 基礎・基礎梁の外周部の鉄筋のかぶり確保は特に留意して施工すること。
☐ 山留め計画、施工がかぶり確保に大きくかかわるので気をつけて施工すること。

9. 設備関係

- 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/4以下とする。
- 施工令第129条の2の3［建築設備の構造強度］
- 建築設備に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
  ☑ 建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れが無いものとする事。
  ☐ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
  ☐ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造又は無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
  ☐ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
  ☑ 建築物における給水、排水その他の配管は、
  ☑ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障の無い構造とすること。
  ☑ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
  ☑ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
  ☑ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
  ☑ 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
  ☑ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

6. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート
- コンクリートはレディ-ミクストコンクリ-ト（JIS A 5308）とし､JIS表示認証工場の製品とし施工に関しては JASS5-2009による。
- 下記はFc36以下の普通コンクリートに適用し、Fc36を超える高強度コンクリートについてはJASS5-17節「高強度コンクリート」に定めるところを優先する。
- セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを 標準とする。
- 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体（JASS5T-603）は、強度管理材齢が、28日以内のものは標準養生、または現場水中養生、28日を越えるものは、現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打込み量が150m3をこえる場合は150m3ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送施工技能士または同等以上の技能を有する者が従事すること。練混ぜから打込み終了までの時間の限度は、外気温が25℃未満で120分、25℃以上で90分とする。
- また、打込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
- コンクリートを密実に充填するための打ち込み及び締め固めの方法はJASS5-2009による。
- コンクリートの打ち継ぎ部の処理方法はJASS5-2009による。
- コンクリートの養生方法はJASS5-2009による。
- 片持ちスラブ・外壁には、ひび割れ対策として誘発目地を3mピッチでいれること。

(2)鉄　筋
- 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工はJASS5-2009による。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは各「配筋標準図」による。
- 継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ガス圧接部の外視検査（目視及びスケールによる測定）は全数検査とする。
- ガス圧接部の抜き取り検査は引張試験とし、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を越えるときは、200箇所ごと）に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
- 柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、　☑ H型（タガ型）　☐ W型（溶接型）　☐ S型（スパイラル型）とする。
- 主筋径D25以上を使用するときの大梁端部定着工法は機械式鉄筋定着工法（定着板工法）とする。
- 工法は（財）日本建築センターの技術評価または（財）日本建築総合試験所の性能証明を取得した工法とする。各工法の適用範囲は「機械式鉄筋定着工法・設計指針（2010年改定）-(財)日本建築総合試験所」に準拠したものとする。折り曲げ定着工法とする場合は、納まりを検討の上設計者の承認を得ること。
  (推奨工法：（株）アイコー　「ヘッド鉄筋工法 - GBRC性能証明第01-11号)
- 機械式継手でグラウト注入式を使用する場合は無機グラウトタイプとする。
- コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第４条の試験機関で行うこと。
  試験機関名　未定　　代行業者名
  代行業者名とは、試験、検査に伴なう業務を代行する者をいう。

(3)型　枠
材料　合板厚　12m/m　を標準とする。　- 施工はJASS5-2009による。
型枠存置期間 下表のコンクリートの材令またはコンクリートの圧縮強度のどちらかによる。

種類			せき板		支　柱		
部位			基礎、はり側、柱、壁		スラブ下		はり下・片持スラブ下
セメントの種類			普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種	普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種	普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種
コンクリートの材令による場合（日）	存置期間の平均気温	20℃以上	4	5	17	28	28
		10℃～20℃	6	8	25	28	28
		10℃未満	強度試験による		28	28	28
コンクリートの圧縮強度による場合（高強度コンクリート）			5N/mm2 (10N/mm2)		設計基準強度の100%かつ、施工中の荷重に対して構造計算により安全であることが確認できるまで		設計基準強度の100%かつ、施工中の荷重に対して構造計算により安全であることが確認できるまで

注）1　コンクリートの強度管理材令が28日より長いコンクリートは、上表の「コンクリートの圧縮強度による場合」による。
注）2　上表の「コンクリートの圧縮強度による場合」の構造計算結果は監理者の承認を得ること。
注）3　スラブ下、梁下のせき板を支柱の盛りかえをせずに早期に取り外す計画を立てる場合は、設計基準強度の50%の強度を確認、かつ構造計算により安全であることが確認できる計画とし、監理者の承認を得ること。
注）4　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

- 外廊下・バルコニー等の片持スラブ及び耐震壁下のピロティ部梁は３層受けを原則とする。
- スラブ下、梁下のせき板は原則として支柱を取り外した後に取り外す。
- 支柱の盛りかえは行わない。
  柱の型枠にはゴミ等を取り除けるように掃除口を設けておくこと。

7. 木工事

※建築基準法第37条(建築材料の品質)に適合するものとすること。
・木材の品質は、節､腐食､等の耐力上支障無いものとすること。(令41条)
・指定建築材料は、JIS/JAS適合品又は大臣認定品又は同等品とし、
又、安全上･防火上･衛生上 法に適合するものであること。

木材リスト

部材名称	樹種	等級	部材分類	寸法

※別紙木材ﾘｽﾄに拠る。

8. その他

- 本標準仕様，標準図，及び構造図に記載されていない事項は、日本建築学会発行の各工事標準仕様書及び施工指針によるものとする。
- 本標準仕様，標準図，及び構造図に用いられる監理者とは、工事監理者またはその代理人もしくはそれらが委任する者をいう。
- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
- 施工方法（配筋等）が数種類ある場合は、施工前に工事監理者の承認を得ること。
- 基礎梁立ち上がり部と1階スラブ・小梁は原則として同時打設とすること。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
図面名	木構造特記仕様書	縮尺	S=1/NS (A3:100%)	S-01	
	岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課		令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

木造用鉄筋コンクリート構造配筋標準図

JASS5-2009版
RC構造計算規準 2010版

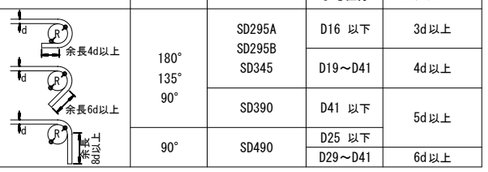
1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は本標準図に優先して適用する。
(2) 記号
d ･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　D ･･･部材のせい　R ･･･直径
@ ･･･間隔　r ･･･半径　℄ ･･･中心線　Lo ･･･部材間の内法距離 ho ･･･部材間の内法高さ
ST ･･･あばら筋（スターラップ）HOOP ･･･帯筋（フープ）　S.HOOP ･･･補強帯筋
φ ･･･直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり厚さ

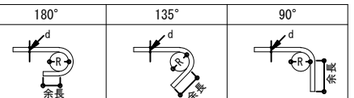
(1) 鉄筋の折曲げ形状・寸法 （高強度せん断補強筋以外）

図	折曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径（R）
180° 135° 90°	180° 135° 90°	SD295A SD295B SD345	D16 以下	3d以上
			D19～D41	4d以上
		SD390	D41 以下	5d以上
	90°	SD490	D25 以下	
			D29～D41	6d以上



[注] ① スパイラル筋の重ね継手部に90° フックを用いる場合、余長は12 d 以上とする。
② 片持スラブの先端、壁筋の自由端側の先端で90° フックまたは180° フックを用いる場合は余長は4d以上とする。
③ 折曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得ること。
④ SD490の鉄筋を90° を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得ること。

(2) 高強度せん断補強筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度		180°	135°	90°
図				
鉄筋の余長	685N/mm²級	6d 以上	8d 以上	10d 以上
	785N/mm²級	6d 以上	8d 以上	12d 以上
	1275N/mm²級	8d 以上	8d 以上	12d 以上
鉄筋の折曲げ内法直径（R）	685N/mm²級	4d 以上		
	785N/mm²級			
	1275N/mm²級	5d 以上		

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

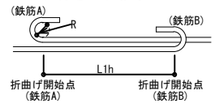
		コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	記号	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
重ね継手及び特別な定着長さ		18	L1（直線）	45d	50d	---	---
			L1h（フック付き）	35d	35d	---	---
		21	L1（直線）	40d	45d	50d	---
			L1h（フック付き）	30d	30d	35d	---
		24～27	L1（直線）	35d	40d	45d	55d
			L1h（フック付き）	25d	30d	35d	40d
		30～36	L1（直線）	35d	35d	40d	50d
			L1h（フック付き）	25d	25d	30d	35d
		39～45	L1（直線）	30d	35d	40d	45d
			L1h（フック付き）	20d	25d	30d	35d
		48～60	L1（直線）	30d	30d	35d	40d
			L1h（フック付き）	20d	20d	25d	30d
定着長さ	一般	18	L2（直線）	40d	40d	---	---
			L2h（フック付き）	30d	30d	---	---
		21	L2（直線）	35d	35d	40d	---
			L2h（フック付き）	25d	25d	30d	---
		24～27	L2（直線）	30d	35d	40d	45d
			L2h（フック付き）	20d	25d	30d	35d
		30～36	L2（直線）	30d	30d	35d	40d
			L2h（フック付き）	20d	20d	25d	30d
		39～45	L2（直線）	25d	30d	35d	40d
			L2h（フック付き）	15d	20d	25d	30d
		48～60	L2（直線）	25d	25d	30d	35d
			L2h（フック付き）	15d	15d	20d	25d
	小梁下端筋	18～60	L3（直線）	20d			—
			L3h（フック付き）	10d			—
	スラブ下端筋	18～60	L3（直線）	10d かつ150mm 以上			—

[注] ① フック付きとは、2. (1) 及び(2)に示す折曲げ角度90° 、135° 、180° フックをいう。
② フック付き重ね継手 L1h は、鉄筋の折曲げ開始点間の距離とし、折曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。（次図参照）
③ フック付き鉄筋の定着長さL2h・L3hは、定着起点から鉄筋の折曲げ開始点までの距離とし、折曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。（次図参照）
④ 軽量コンクリートを使用する場合の重ね継手及び定着長さは、Fc≦36N/mm2でSD490以外の異形鉄筋の場合は、上表の数値に5d以上加算した長さとする。

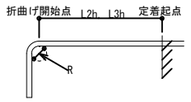
※図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されてある事項以外は
「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事共通仕様書」に準ずる。
※当図は、標準図であり、該当する項目・箇所に該当する場合は当標準図を採用する。

フック付き長さの取り方例

フック付き重ね継手



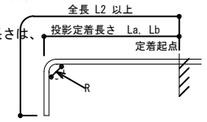
フック付き定着



(4) 鉄筋の投影定着長さ（L2hを満足しない場合）
(a) 仕口内に90° 折曲げ定着をする場合の投影定着長さは下表以上とする。
その他の規定については、各部材ごとの項目の記載による。

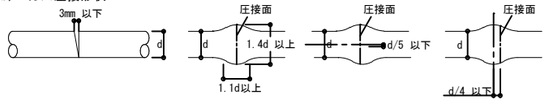
コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	大梁 （基礎梁、片持ち梁含む）主筋の柱内折り曲げ定着の投影定着長さ 片持ち小梁や片持ちスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ La				小梁やスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ Lb			
	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
18	20d	20d	---	---	15d	20d	---	---
21	15d	20d	20d	---	15d	20d	20d	---
24～27	15d	20d	20d	25d	15d	15d	20d	---
30～36	15d	15d	20d	25d	15d	15d	15d	---
39～60	15d	15d	15d	20d	15d	15d	15d	---

[注] ① 投影定着長さとは、定着起点（仕口面）から折曲げ部先端（鉄筋外面）までの距離をいう。
② 軽量コンクリートを使用する場合の鉄筋の投影定着長さは、Fc≦36N/mm2でSD490以外の異形鉄筋の場合は上表の数値に5d以上加算した長さとする。



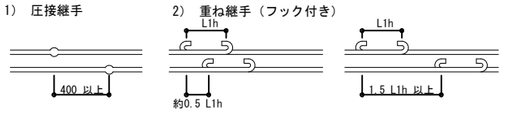
(5) 継　手
(a) 共通事項
① 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
② 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
③ D35以上の異形鉄筋は、原則として重ね継手としてはならない。（但し、杭筋は除く）
④ 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、ガス圧接としてはならない。

(b) ガス圧接形状

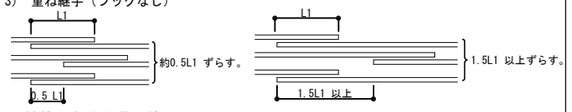


(c) 継手相互のずらし方
（スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋は、ずらさずに継手を設けることも可とする）

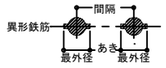
1) 圧接継手　2) 重ね継手（フック付き）



3) 重ね継手（フックなし）



(6) 鉄筋のあきの最小値
(a) 下記①～③のうちもっとも大きい数値を最小値とする。
① 呼び名の数値の1.5倍
② 粗骨材最大寸法の1.25倍
③ 25mm

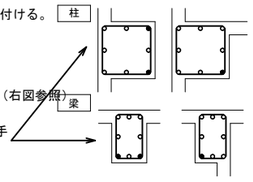


(mm)

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46
あ き	25	25	25	29	33	38	44	48	53	57	62
間 隔	36	39	43	50	58	66	77	84	93	100	108

（粗骨材最大寸法20mmの場合）

(7) 鉄筋のフック
(a) 下記①～⑤に示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。
① 丸鋼
② あばら筋、帯筋
③ 煙突の鉄筋
④ 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
⑤ その他、本配筋標準に記載する箇所
図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



(8) かぶり厚さ （単位：mm）

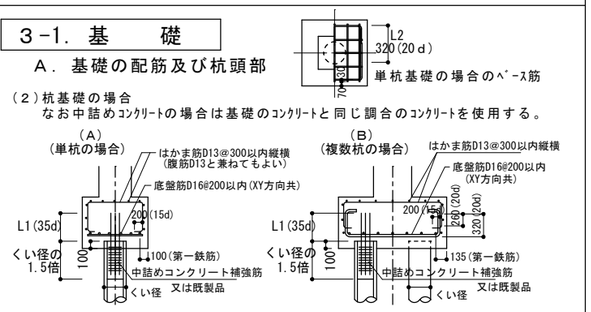
部位			設計かぶり厚さ（mm） 有効な仕上げ有	設計かぶり厚さ（mm） 有効な仕上げ無	最小かぶり厚さ（mm） 有効な仕上げ有	最小かぶり厚さ（mm） 有効な仕上げ無
土に接しない部分 土に接しない部分	スラブ	屋内	—	30	—	20
	非耐力壁	屋外	30	40	20	30
	柱 梁 耐力壁	屋内	—	40	—	30
		屋外	40	50	30	40
	基礎ﾌｰﾁﾝｸﾞ部・擁壁・耐圧スラブ		—	50	—	40
土に接する部分	柱・梁・スラブ・壁・布基礎立上り部		—	※ 50	—	※ 40
	基礎ﾌｰﾁﾝｸﾞ部・擁壁・耐圧スラブ		—	※ 70	—	※ 60

[注] ①※印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合10mm増しとする。
②有効な仕上げとは、外壁でタイル貼り、モルタル塗り、外断熱工法による仕上げその他これらと同等以上の性能を有する処理が施されている場合をいう。
③スラブ、梁、基礎、擁壁、耐圧スラブで直接土に接する部分のかぶり厚さには捨コンクリートの厚さを含まない。
④柱、梁のかぶり厚さは、主筋をかこむフープ、スターラップの外側から確保する。
⑤杭基礎の場合の基礎フーチングベース筋のかぶり厚さは杭天端から確保する。
⑥目地部分におけるかぶり厚さは、目地底から確保する。
その場合、有効な仕上げが有る場合は上表による「有効な仕上げ有」のかぶり厚さとする。
⑦耐力壁とは、耐震壁及び構造壁等、耐力上重要な壁を示す。
⑧柱・梁の主筋において、D29以上を使用する場合、主筋の最小かぶり厚さは主筋径の1. 5倍以上とする。
⑨柱のフープ、大梁のスターラップの加工は、かぶり厚さ50mmで行うこと。
⑩同一部材であっても、部分的にかぶり厚さが異なる場合があるので施工図等にて十分検討のこと。なお、かぶり厚さの調整のために鉄筋を折り曲げてはならない。

3-1. 基　礎

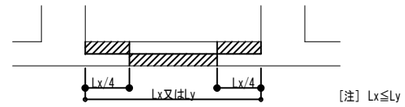
A. 基礎の配筋及び杭頭部

(2) 杭基礎の場合
なお中詰めｺﾝｸﾘｰﾄの場合は基礎のｺﾝｸﾘｰﾄと同じ調合のｺﾝｸﾘｰﾄを使用する。

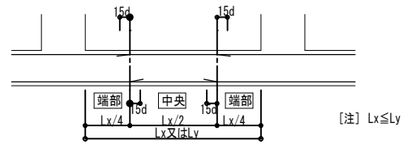


3. 基礎スラブ（FS符号）

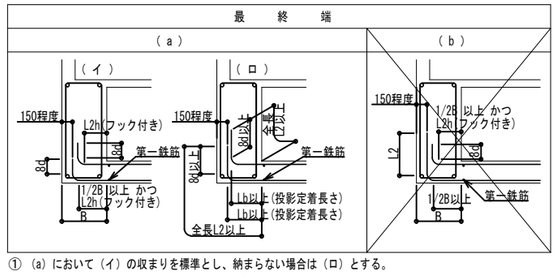
(1) 耐圧スラブ筋の継手位置　▨は継手の好ましい位置



(2) 耐圧スラブ筋端部，中央の範囲



(3) 耐圧スラブ筋の定着

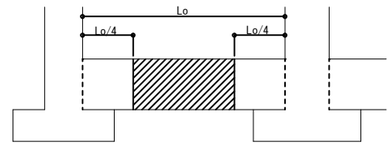


[注] ① (a) において（イ）の収まりを標準とし、納まらない場合は（ロ）とする。
② 第一鉄筋は基礎梁面から50mm程度の位置とする。
③ 連続端においては通し筋を原則とし､定着する場合は直線定着(L2)または上図(a)でも良い。

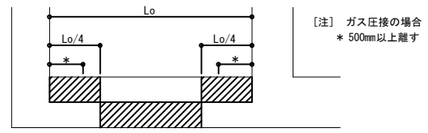
4. 基礎梁（FG符号）FB符号は小梁に倣う

(1) 基礎梁筋の継手位置　▨は継手の好ましい位置

(a) 独立基礎、杭基礎の場合

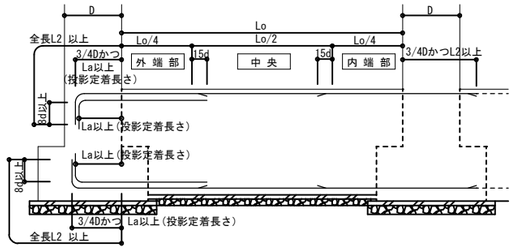


(b) 布基礎、べた基礎の場合



(2) 基礎梁筋の定着及び端部・中央の範囲
(a) 共通事項
① 外端部において直線定着（L2）は可能であっても原則として行わない。
② 柱内定着において、柱せいの3/4倍以上飲み込ませても、L2h（フック付き）の定着長さを確保できない場合は、下記（b）～（d）による。
③ 内端部においては通し筋を原則とし、やむを得ず定着する場合は直線定着（L2）でもよい。段差等がある場合は6．(3)大梁の定着　3）,4）に倣う。
④ 端部筋のカットオフ長さは Lo/4+15d と、リスト内 Lc の長いほうとする。

(b) 独立基礎、杭基礎の場合



5. 型　枠

材料　合板厚　12m/m　を標準とする。　▪ 施工はJASS5-2009による。
型枠存置期間 下表のコンクリートの材令またはコンクリートの圧縮強度のどちらかによる。

種類			せき板		支　柱		
部位			基礎、はり側、柱、壁		スラブ下		はり下・片持スラブ下
セメントの種類			普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種	普通ポルトランドセメント	高炉セメントB種	普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種
コンクリートの材令による場合（日）	存置期間の平均気温	20℃以上	4	5	17	28	28
		10℃～20℃	6	8	25	28	28
		10℃未満	強度試験による		28	28	28
コンクリートの圧縮強度による場合（高強度コンクリート）			5N/mm2 (10N/mm2)		設計基準強度の100%かつ、施工中の荷重に対して構造計算により安全であることが確認できるまで		設計基準強度の100%かつ、施工中の荷重に対して構造計算により安全であることが確認できるまで

注）1 コンクリートの強度管理材令が28日より長いコンクリートは、上表の「コンクリートの圧縮強度による場合」による。
注）2 上表の「コンクリートの圧縮強度による場合」の構造計算結果は監理者の承認を得ること。
注）3 スラブ下、梁下のせき板を支柱の盛りかえをせずに早期に取り外す計画を立てる場合は、設計基準強度の50%の強度を確認、かつ構造計算により安全であることが確認できる計画とし、監理者の承認を得ること。
注）4 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

▪ 外廊下・バルコニー等の片持スラブ及び耐震壁下のピロティ部梁は３層受けを原則とする。
▪ スラブ下、梁下のせき板は原則として支柱を取り外した後に取り外す。
▪ 支柱の盛りかえは行わない。
柱の型枠にはゴミ等を取り除けるように掃除口を設けておくこと。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
図面名	木造用鉄筋コンクリート構造配筋標準図	縮尺	S=1/NS (A3:100%)	S-02	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」

令47条第1項規定に基き、木造の継手及び仕口の構造方法を次のように定める。

令47条に規定する木造の継手及び仕口の構造方法は、次に定めるところによらなければならない。
ただし、令第82条第1号から第3号までに定める構造計算によって構造耐力上安全であることが確かめられた場合においては、この限りではない。

(1) 筋かいの端部における仕口にあっては、次に掲げる筋かいの種類に応じ、
それぞれイから ホまでに定める接合方法又はこれらと同等以上の引張耐力を有する
接合方法によらなければならない。

	筋かいの種類	筋かい端部の接合部の仕様
（イ）	鉄筋（φ9）	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、 鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にＣＮ90×8打付け
（ロ）	筋かい（15×90）	柱・横架材を欠き込み、柱・横架双方に対してＮ65×5平打ち
（ハ）	筋かい（30×90）	鋼板添え板Ｔ＝1.6を筋かいに対してボルト12φ及び釘×3平打ち、 柱に対して釘×3平打ち、横架材に対して釘×4平打ち
		筋かいプレートＢＰ同等品
（ニ）	筋かい（45×90）	鋼板添え板Ｔ＝2.3を筋かいに対してボルト12φ及びスクリュー釘Ｌ50×7平打ち、 柱及び横架材に対してスクリュー釘Ｌ50×5平打ち
		筋かいプレートＢＰ-2同等品
（ホ）	筋かい（90×90）	柱又は横架材にボルト12φ（強度区分4.6）を用いて一面せん断接合

(2) 壁を設け又は筋かいを入れた軸組みの柱の柱脚及び柱頭の仕口にあっては、軸組みの種類と柱の配置に応じて、
平屋部分又は最上階の柱にあっては次の表1に掲げる表2（い）から（ぬ）までに定めるところによらなければならない。
ただし、当該仕口の周囲の軸組みの種類及び配置を考慮して、柱頭又は柱脚に必要とされる引張力が、
当該部分の引張耐力を超えないことが確かめられた場合においては、この限りではない。

表1

軸組みの種類		平屋の柱、2階建ての2階の柱、 2階建ての1階の下屋部分の柱	
		出隅の柱	その他の柱
木摺りその他これに類するものを柱及び間柱の 片面又は両面に打付けた壁を設けた軸組み		（い）	（い）
厚さ1.5ｃｍ幅9ｃｍ以上の木材の筋かい又は 径9mm以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組み		（ろ）	（い）
厚さ3ｃｍ幅9ｃｍ以上の木材の 筋かいを入れた軸組み	筋かいの下部が取り付く柱	（ろ）	（い）
	それ以外の柱	（に）	（ろ）
厚さ1.5ｃｍ幅9ｃｍ以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組み 又は9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組み		（に）	（ろ）
厚さ4.5ｃｍ幅9ｃｍ以上の木材の 筋かいを入れた軸組み	筋かいの下部が取り付く柱	（は）	（ろ）
	それ以外の柱	（ほ）	（ろ）
構造用合板等を昭和56年建設省告示第1100号に定める方法で 打付けた壁を設けた軸組み		（ほ）	（ろ）
厚さ3ｃｍ幅9ｃｍ以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組み		（と）	（は）
厚さ4.5ｃｍ幅9ｃｍ以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組み		（と）	（に）

(3) 前2号に掲げるものの他、その他の構造耐力上主要な部分の継手又は仕口にあっては、
ボルト締、かすがい打ち、込み栓打ちその他の構造方法によりその部分の存在応力を
伝えるように緊結したものでなくてはならない。

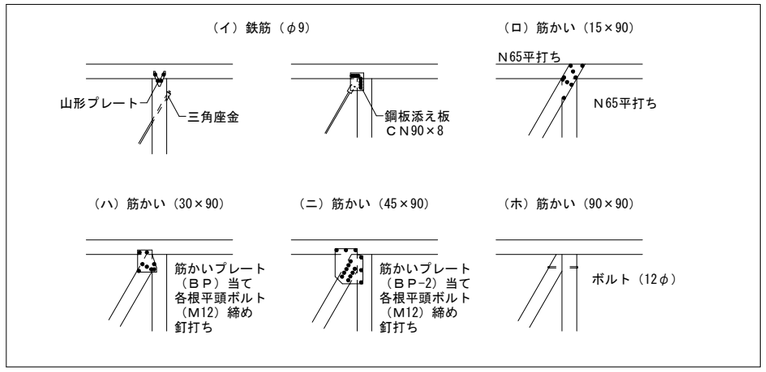
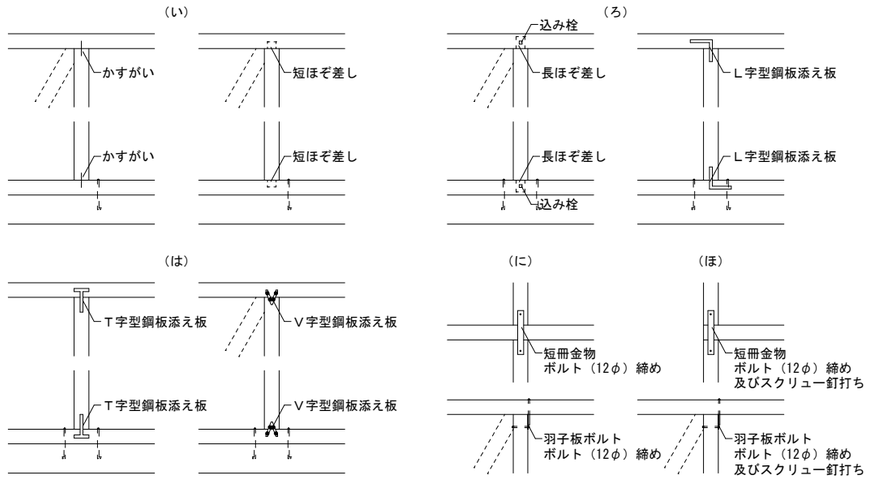
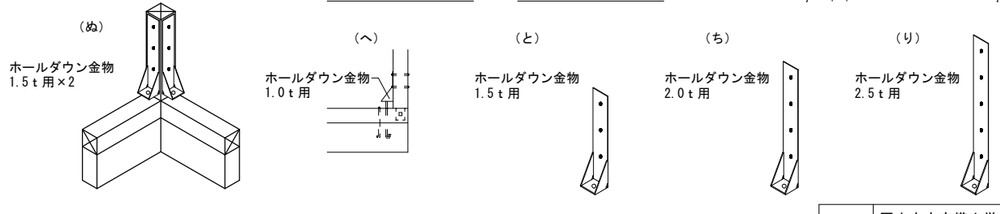


表2

接合記号	接合部の仕様	
（い）	短ほぞ差し	短ほぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（ろ）	長ほぞ差し込み栓	長ほぞ差し打ち込み栓若しくは厚さ2.3mmのＬ字型の鋼板添え板柱 及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5ｃｍの太め鉄丸釘を5本平打ちとしたもの 又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（は）	山形プレート	厚さ2.3mmのＴ字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ 6.5ｃｍの太め鉄丸釘を5本平打ちとしたもの、若しくは長さ9ｃｍの太め鉄丸釘を 4本平打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
	Ｔ字型かど金物	
（に）	羽子板ボルト	厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5mm、 40mmの魚座金を介してナット締めをしたもの、若しくは厚さ3.2mmの 鋼板添え板を用い上下階の連結する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締めと したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
	短冊金物	
（ほ）	スクリュー釘50 ＋羽子板ボルト	厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルト締め、及び長さ50mm、 径4.5mmのスクリュー釘打ち、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の 魚座金を介してナット締めをしたもの、若しくは厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、 上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締め及び長さ50mm、 径4.5mmのスクリュー打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
	スクリュー釘50 ＋短冊金物	
（へ）	10ｋＮ用引き寄せ金物	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、 布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた 径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（と）	15ｋＮ用引き寄せ金物	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材（土台を除く）、 布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた 径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（ち）	20ｋＮ用引き寄せ金物	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、横架材（土台を除く）、 布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた 径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（り）	25ｋＮ用引き寄せ金物	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト5本、横架材（土台を除く）、 布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた 径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
（ぬ）	15ｋＮ用引き寄せ金物×2	（と）に掲げる仕口を2組用いたもの
（る）	腰掛蟻若しくは大入れ蟻掛け ＋羽子板ボルト、短冊金物	
（を）	腰掛蟻若しくは大入れ蟻掛け ＋羽子板ボルト、短冊金物×2	



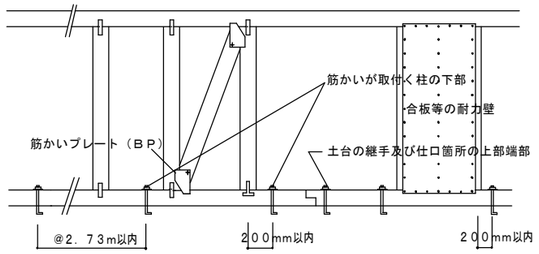


工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事		No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	木造の継手及び仕口の構造方法-1	縮尺 S=1/NS (A3:100%)	S-03	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

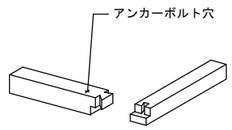
土　台

アンカーボルトの埋込位置



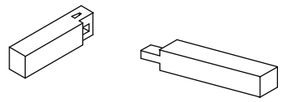
継　手

腰掛けあり継ぎ

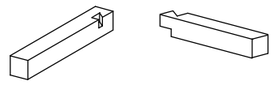


隅　仕　口

大入れこねほぞ差しくさび締め

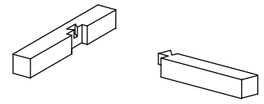


片あり掛け



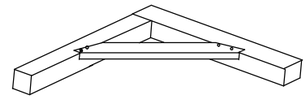
Ｔ字及び十字取合い仕口

大入れあり掛け



火打ち土台仕口

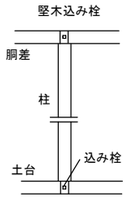
かたぎ入れＮ９０釘２本打ち



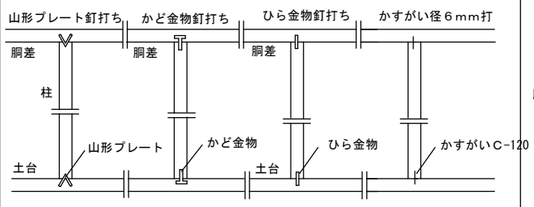
柱

柱の端部と横架材との仕口

長ほぞのとき

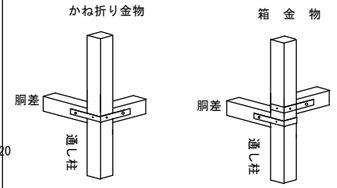


短ほぞのとき



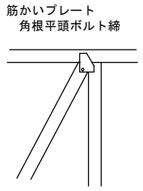
通し柱と胴差

隅柱のとき

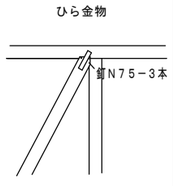


筋かい上下端の仕口

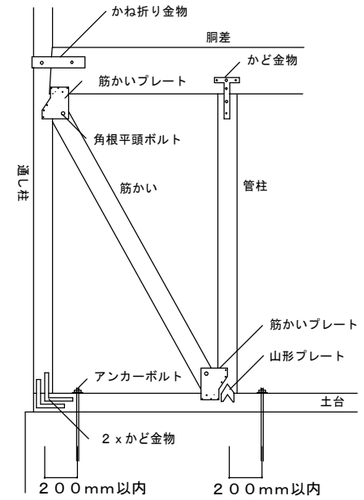
突付け



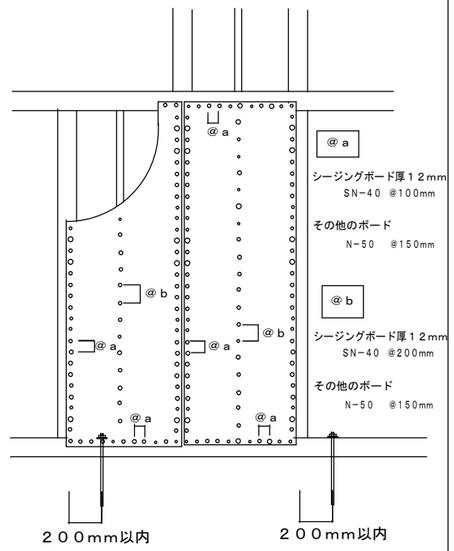
大入れ



筋かい耐力壁の例

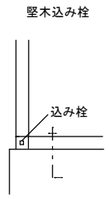


構造用面材の張り方の例

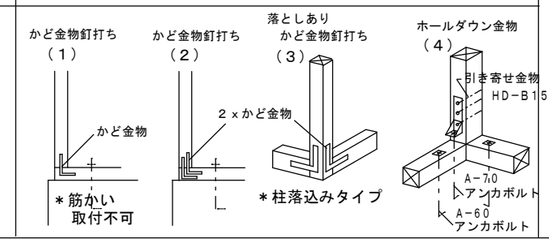


隅柱と土台との仕口

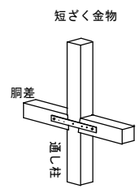
長ほぞのとき



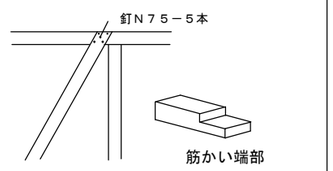
短ほぞのとき



隅柱以外

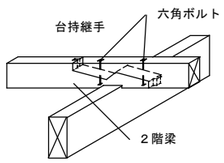


大入れ一部びんた延ばし

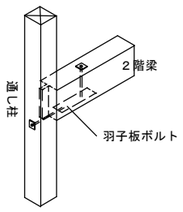


梁・胴差

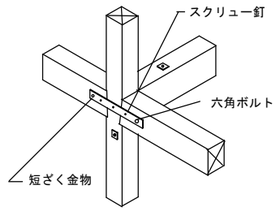
２階梁継手



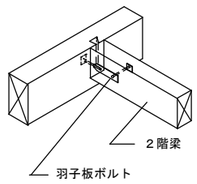
通し柱と２階梁



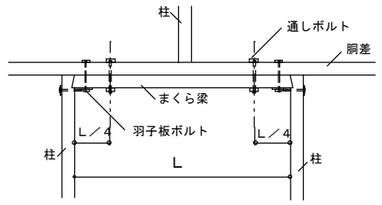
通し柱と２階梁



Ｔ字仕口

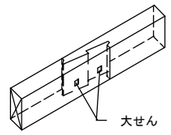


重　ね　梁

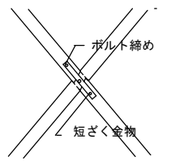


胴差の継手

追掛大せん継ぎ

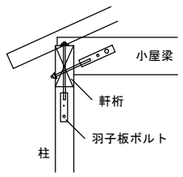


たすき掛け筋かい

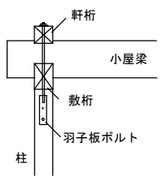


その他

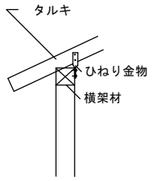
小屋梁と軒桁



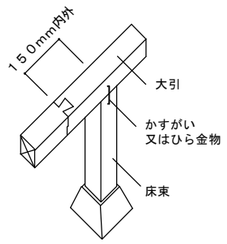
小屋梁と軒桁．敷桁



タルキ

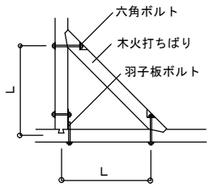


大引の継手・金物



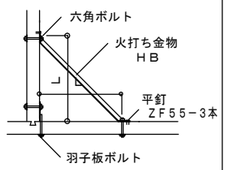
火打ばり

木火打ばり



＊　Ｌ＝７５０mm前後

鋼製火打ばり



＊　Ｌ＝７００mm

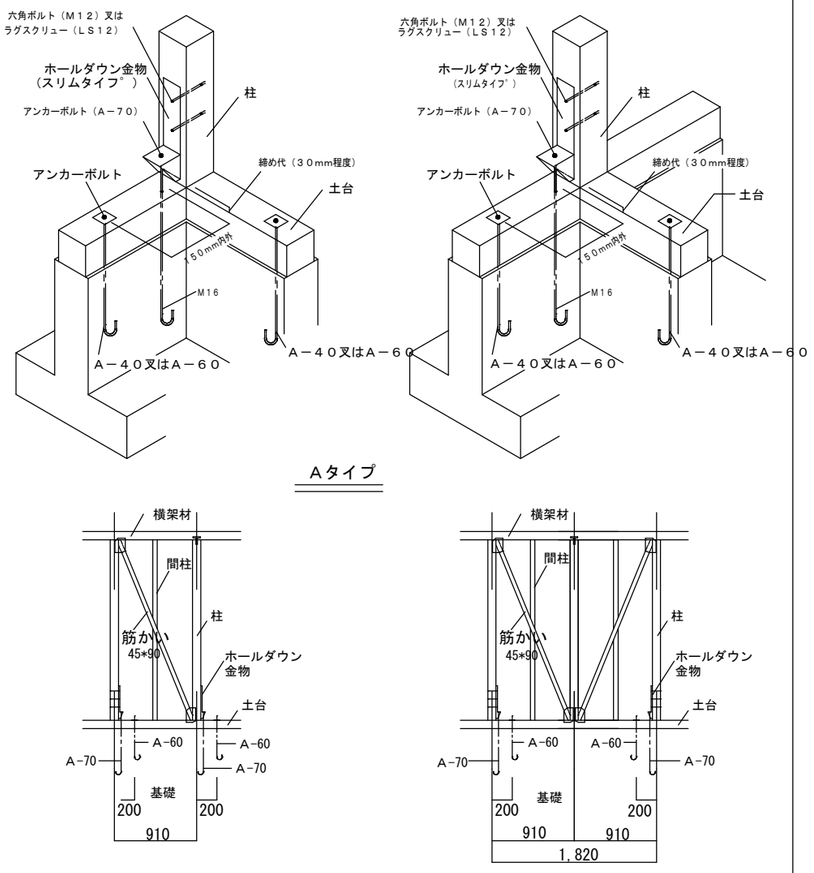
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	木造の継手及び仕口の構造方法-2	縮尺	S=1/NS (A3:100%)		S-04	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

木構造　接合部標準詳細図（１）

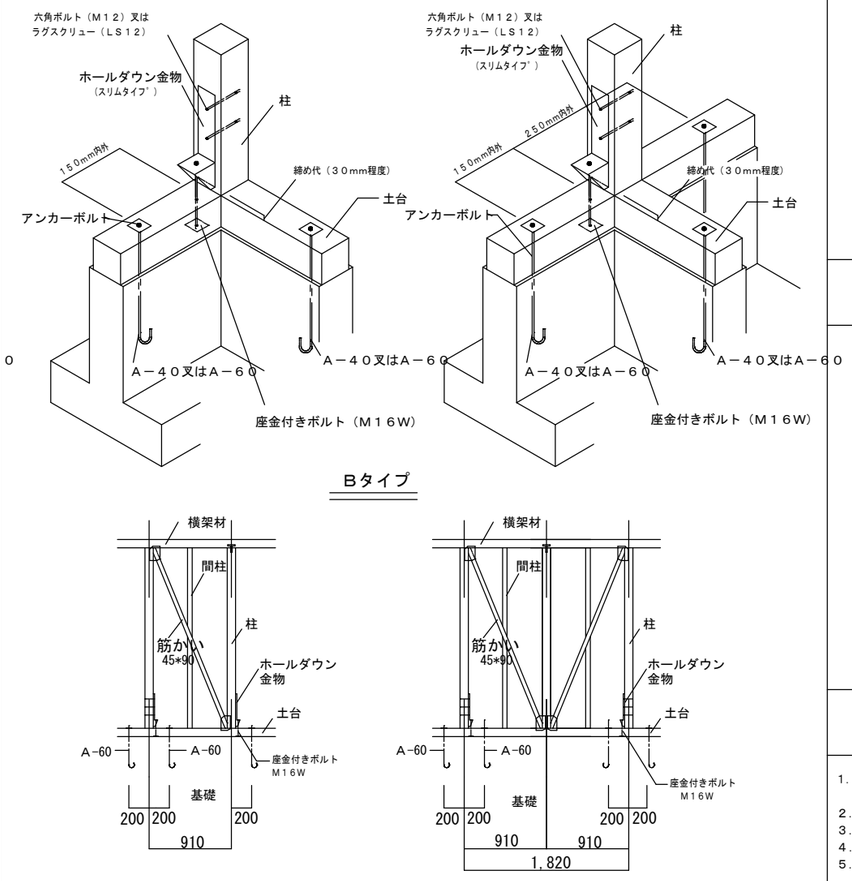
※　混構造の場合、アンカーボルト等の納まりを参考にする事

ホールダウン金物による柱と基礎（土台）との緊結

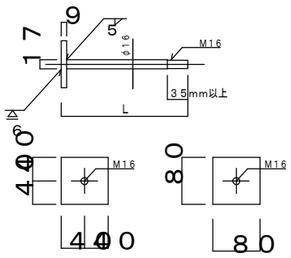
Ａ．ホールダウン用アンカーボルトを用いて直接、基礎に緊結する場合



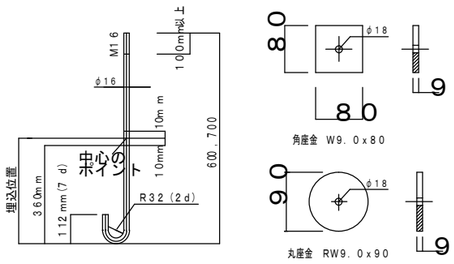
Ｂ．座金付きボルト（Ｍ１６Ｗ）を用いて土台と柱を緊結する場合



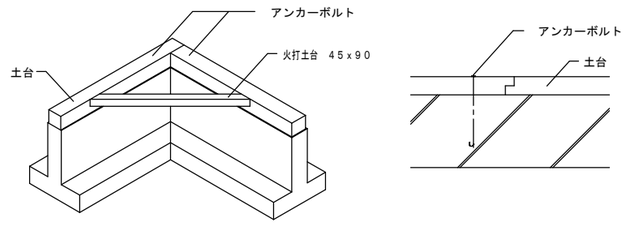
Ｃ．座金付きボルト（Ｍ１６Ｗ）　詳細図



Ｄ．アンカーボルト（Ａ６０，Ａ７０）詳細図

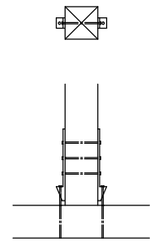


Ｅ．アンカーボルトの配置



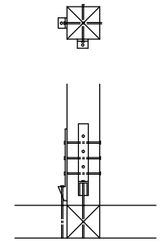
ホールダウン金物を柱に２ヶ所、設置する場合の施工令

向かい合わせの納め方



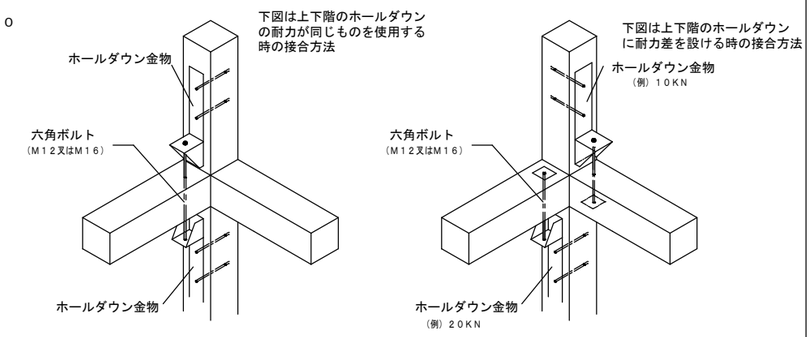
六角ボルトを共有し、正対させる

直交する場合の納め方



金物を上下方向に４５mmずらす

ホールダウン金物による柱相互の接合



アンカーボルトの施工要領

1．アンカーボルトのコンクリート基礎への埋込長さはＡ－６０，Ａ－７０は３６０mm以上，Ａ－４０は２５０mm以上とし、
　埋込位置のマーク（埋込マークの中心のポイント）により確認する。
2．アンカーボルトの先端は土台の上端よりナットの外にねじが３山以上出るように固定する。
3．アンカーボルトの芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合わせ、適切な機器などで正確の行う。
4．アンカーボルトの保持は、型板を用いる等して正確に行い、移動、下部の振れ等のない様に充分固定する。
5．アンカーボルトは衝撃等による有害な曲がりが生じない様取り扱い
　ねじ部の損傷、さびの発生、汚損を防止する為に布、ビニールテープ等を巻いて養生を行う。
6．ホールダウン金物（ＨＤＢ又はＨＤＮ）を専用アンカーボルトで直接緊結する場合は、取り付く柱面より
　４０mm（±５mm）の位置に専用アンカーボルトを正確に埋め込む。
　スリムタイプ゛のホールダウン金物（ＳＨＤ）を用いる場合は、柱面より３１mm（±１mm）の位置に埋め込む。
7．ホールダウン金物を座金付きボルト（Ｍ１６Ｗ）で緊結する場合は、土台材に亀裂が生じないように、
　座金付きボルトの芯より１５０mm内外の距離をとってアンカーボルトを埋め込む。
8．アンカーボルトの保持および埋込みは鉄筋などを用いて組立て、適切な補強材で型枠、鉄筋等に
　固定してコンクリートの打ち込みを行う。

ホールダウン金物の施工要領

1．ホールダウン金物は柱の下部に、原則として締め代を３０mm程度とり、六角ボルト（Ｍ１２）、
　ラグスクリュー（ＬＳ１２）で柱に固定する。（ＨＤＮの場合は太めくぎ・ＺＮ９０）
2．ラグスクリューを用いる場合は位置を正確に決めた後、ねじ部の先穴（ねじ径の６０～７０%）を
　ラグスクリュー長さだけ正確にドリルで開け、次に胴部の先穴（胴部と同径）を胴部の長さだけドリル
　で開ける。ラグスクリューの挿入はレンチ等で回しながら行い、ハンマー等で打ち込んではならない。
　挿入を容易にするためにねけん、又はシリコン等の潤滑剤を用いてもよい。
3．座金付きボルト（Ｍ１６Ｗ）を用いて土台を介して緊結する場合は、あらかじめホールダウン金物の
　取り付く柱の土台下部に座堀り行い、座金付きボルトを挿入した後、土台をアンカーボルトにより
　基礎に緊結するとともに、ホールダウン金物の下部にナットで緊結する。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	接合部標準詳細図（１）	縮尺	S=1/NS (A3:100%)	S-05	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246　米山　敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月		

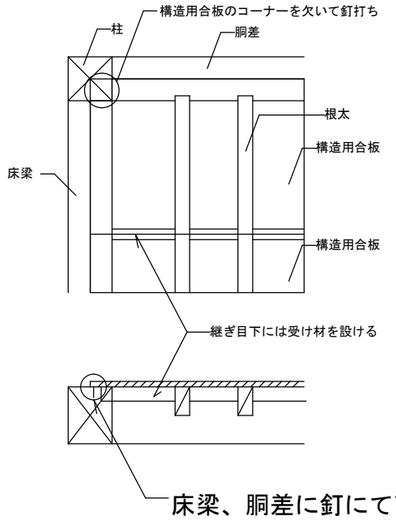
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

木構造　接合部標準詳細図２　　床組、筋違の仕口

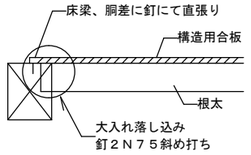
床組（剛な床組）

床下地板は構造用合板１２mm以上を使用し、合板の四周辺は床梁、胴差または受け材等に固定する。断面寸法１０５mm x １０５mm以上の床梁を１，８２０mm内外の間隔に梁間方向または桁方向に配置する。

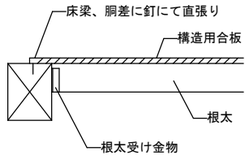
根太と床梁、胴差の上端高さが同じ場合



根太仕口の施工方法は下記（イ）、（ロ）のいずれかによる。



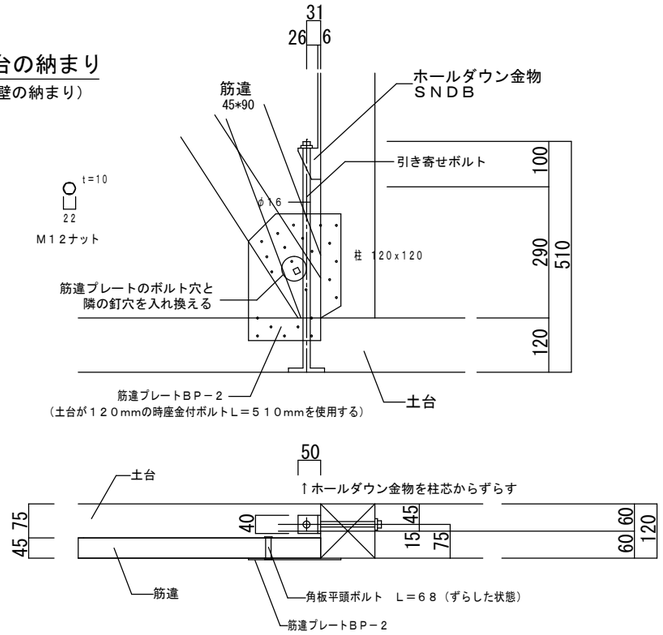
根太仕口の施工方法（イ）



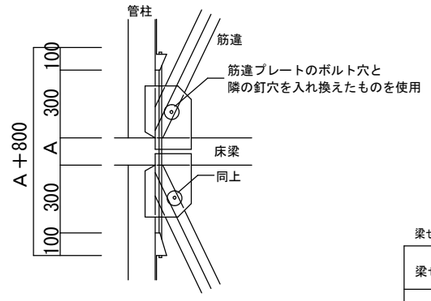
根太仕口の施工方法（ロ）

筋違プレートとホールダウン金物を同じ側に取り付ける場合の納まり

土台の納まり
（大壁の納まり）



床梁との納まり

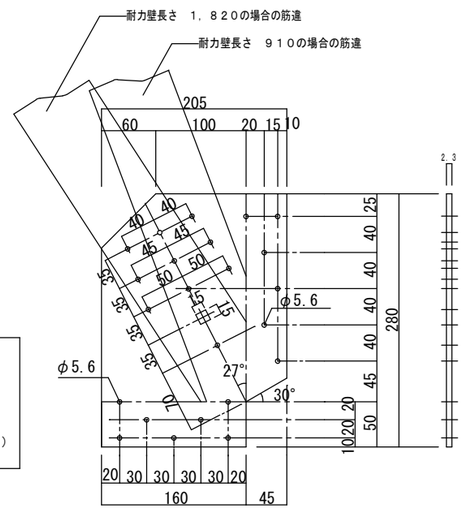


床梁（梁せいがＡの時、ボルト長さ
Ｌ＝Ａ＋８００を使用する）

梁せいによるボルト長さ　（mm）

梁せい	筋違が上下の一方にある時	筋違が上下にある時
Ａ	Ａ＋４００	Ａ＋８００
１２０	５２０	９２０
１５０	５５０	９５０
１９０	５８０	９８０
２１０	６１０	１０１０

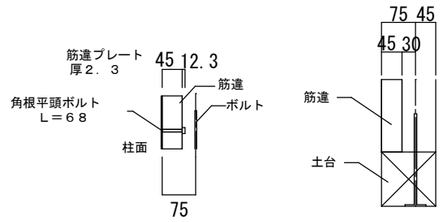
筋違プレート（ＢＰ－２）詳細図



筋違プレートＢＰ－１２
柱へ　　５－ＺＳ５０　５０
土台、桁へ　　５－ＺＳ　５０
筋違へ　　５－ＺＳ　５０
（４５ｘ９０）　　１－Ｍ１２（角根平頭ボルト）

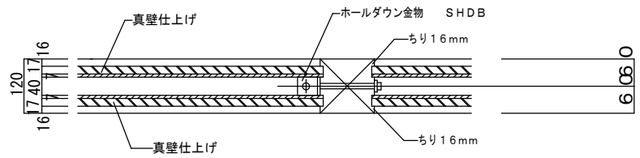
筋違とホールダウン金物の納まり

大壁の場合



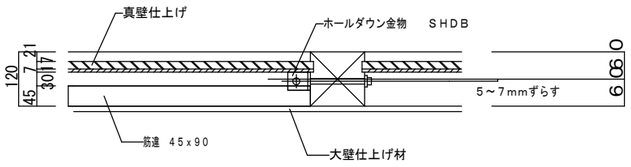
ホールダウン金物を柱芯より１５mmずらす

両側　真壁（塗り壁）



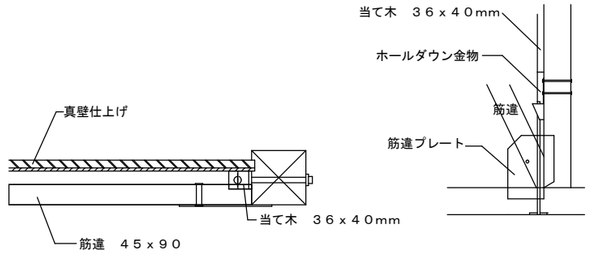
（両壁　真壁の場合、筋違は設けない）

片側　真壁



真壁における当て木の納まり

防火用当て木）



ホールダウン金物とボルトが当たる場合は現場合わせで納める

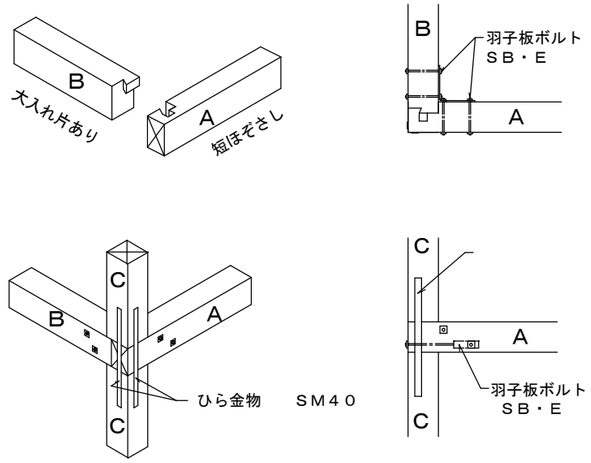
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	接合部標準詳細図（２）	縮尺	S=1/NS (A3:100%)		S-06	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図 / 製図
					米山	米山 / 米山

木構造　接合部標準詳細図（３）　横架材の納まり

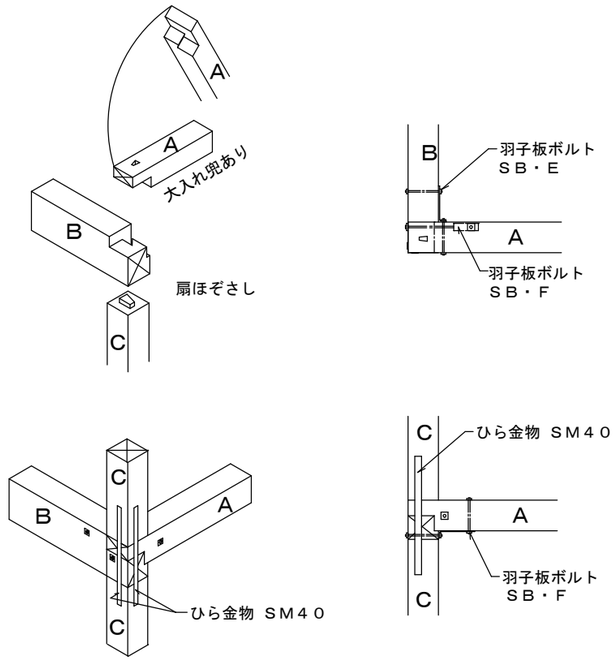
注記:入隅部分については、出隅の場合に準ずる。但し準ずることが困難な場合は、通し柱とする。

出隅、隅柱

A．直交する胴差がほぼ同寸で、かつ同一高さで取合う場合

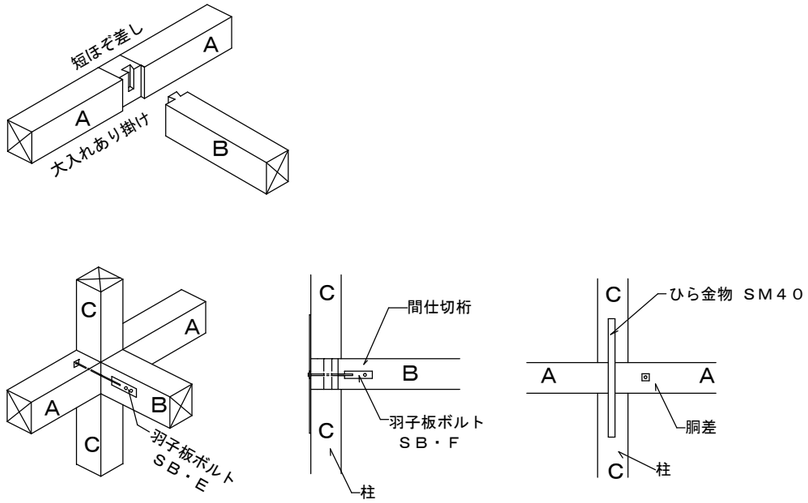


B．直交する胴差のせいが異なり段違いで取合う場合

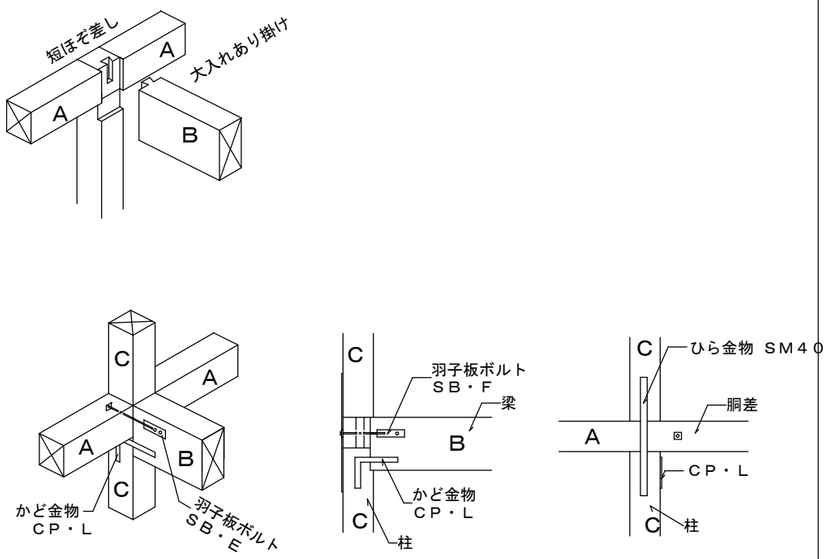


側柱（隅柱に準ずる柱）

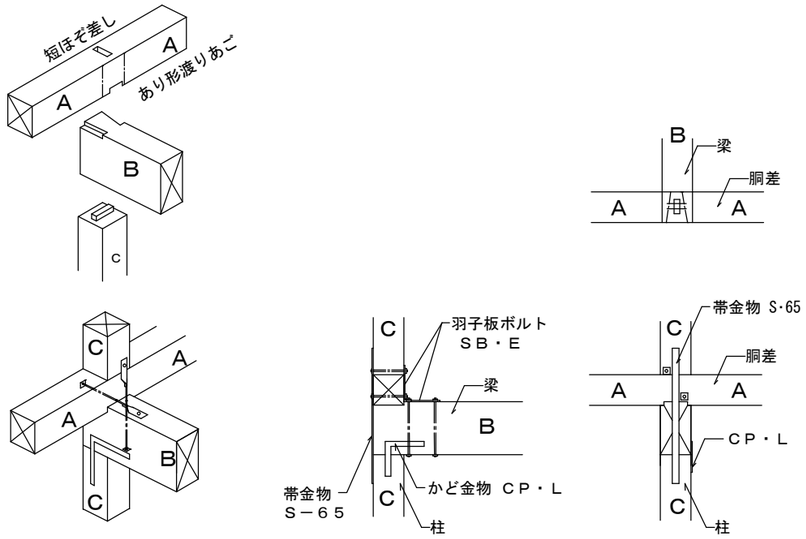
A．胴差と直交する間仕切桁が胴差と同寸程度で取合う場合



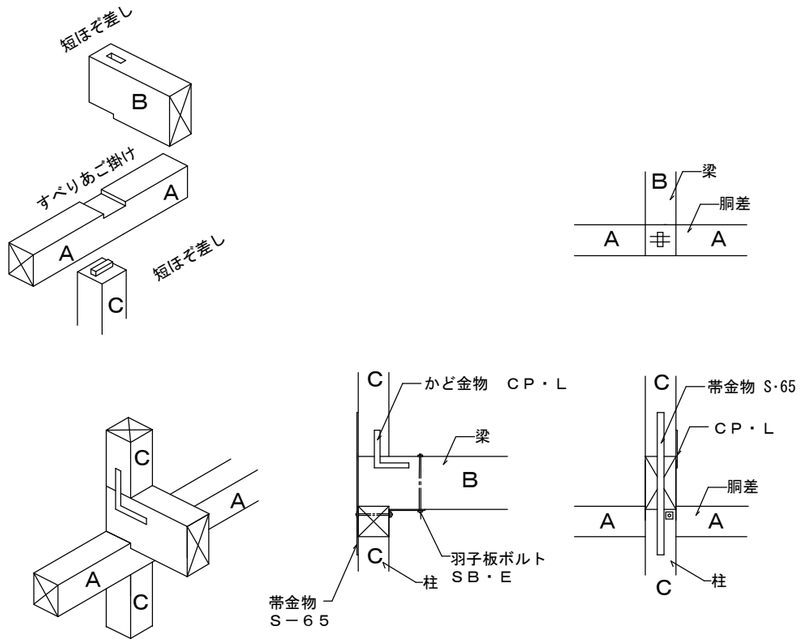
B．胴差と直交する梁が上端でそろう場合



C．胴差と直交する梁が胴差の下側にある場合



D．胴差と直交する梁が胴差の上側にある場合



工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	接合部標準詳細図（３）	縮尺	S=1/NS (A3:100%)		S-07	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

0280774-000000

Geological Survey

□スクリューウェイト貫入試験結果

調査件名	岡山市立吉備小学校内児童クラブ室 増築工事		
調査場所	岡山県岡山市北区庭瀬256番地		
調査日	2024年10月18日	天候	晴れ
調査機械	全自動型	試験者	久冨 修一

測点	No 1	標高	KBM -0 14 m	調査深度	9 64 m	地下水位	GL-0 70 m

貫入深さ D (m)	荷重 Wsw (kN)	半回転数 Na	1m当り半回転数 Nsw	記事 音と感触	記事 貫入状況	推定土質 柱状図	荷重 Wsw N 250 500 750	貫入長1m当り半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値	長期許容支持力 qa (kN/m²)
0 25	1 00	67	268						12以上	126以上
0 50	1 00	59	236						12以上	126以上
0 75	1 00	9	36		目沈含む			▽GL-0 70	4 4	53 04
1.00	1 00	0	0						2 0	30.00
1 25	1 00	0	0		ハヤイ				2 0	30 00
1 50	0 50	0	0		オソイ				1 0	15 00
1 75	0 50	0	0						1 0	15 00
2 00	0 75	0	0						1 5	22 50
2 25	0 75	0	0						1 5	22 50
2 50	1 00	2	8		目沈含む				2 5	35 12
2 75	1.00	10	40		目沈含む				4 7	55 60
3 00	1 00	24	96						8 4	91 44
3 25	1 00	21	84						7 6	83.76
3 50	1 00	22	88						7 9	86 32
3 75	1 00	42	168						12以上	126以上
4 00	1 00	36	144						11 6	122 16
4 25	1 00	40	160						12以上	126以上
4 50	1 00	45	180						12以上	126以上
4 75	1 00	39	156						12以上	126以上
5 00	1 00	37	148						11 9	124 72
5 25	1 00	30	120						10 0	106 80
5 50	1 00	33	132						10.8	114 48
5 75	1 00	34	136						11 1	117 04
6 00	1.00	21	84						7 6	83 76
6 25	0 50	0	0						1 5	15 00
6 50	0 50	0	0						1.5	15 00
6 75	0 50	0	0						1 5	15 00
7 00	0 75	0	0						2 3	22 50
7 25	0 75	0	0						2 3	22 50
7.50	0 75	0	0						2 3	22 50
7 75	0 50	0	0						1 5	15 00
8 00	0 50	0	0						1 5	15 00
8 25	0 75	0	0						2 3	22 50
8 50	1 00	0	0						3 0	30.00
8 75	1 00	0	0						3 0	30 00
9 00	1 00	4	16						3 8	40 24
9 25	1.00	5	20						4 0	42 80
9 50	1 00	89	356	ガリガリ	打撃貫入				12以上	126以上
9 64	1 00	116	829	ガリガリ	打撃 空転				12以上	126以上

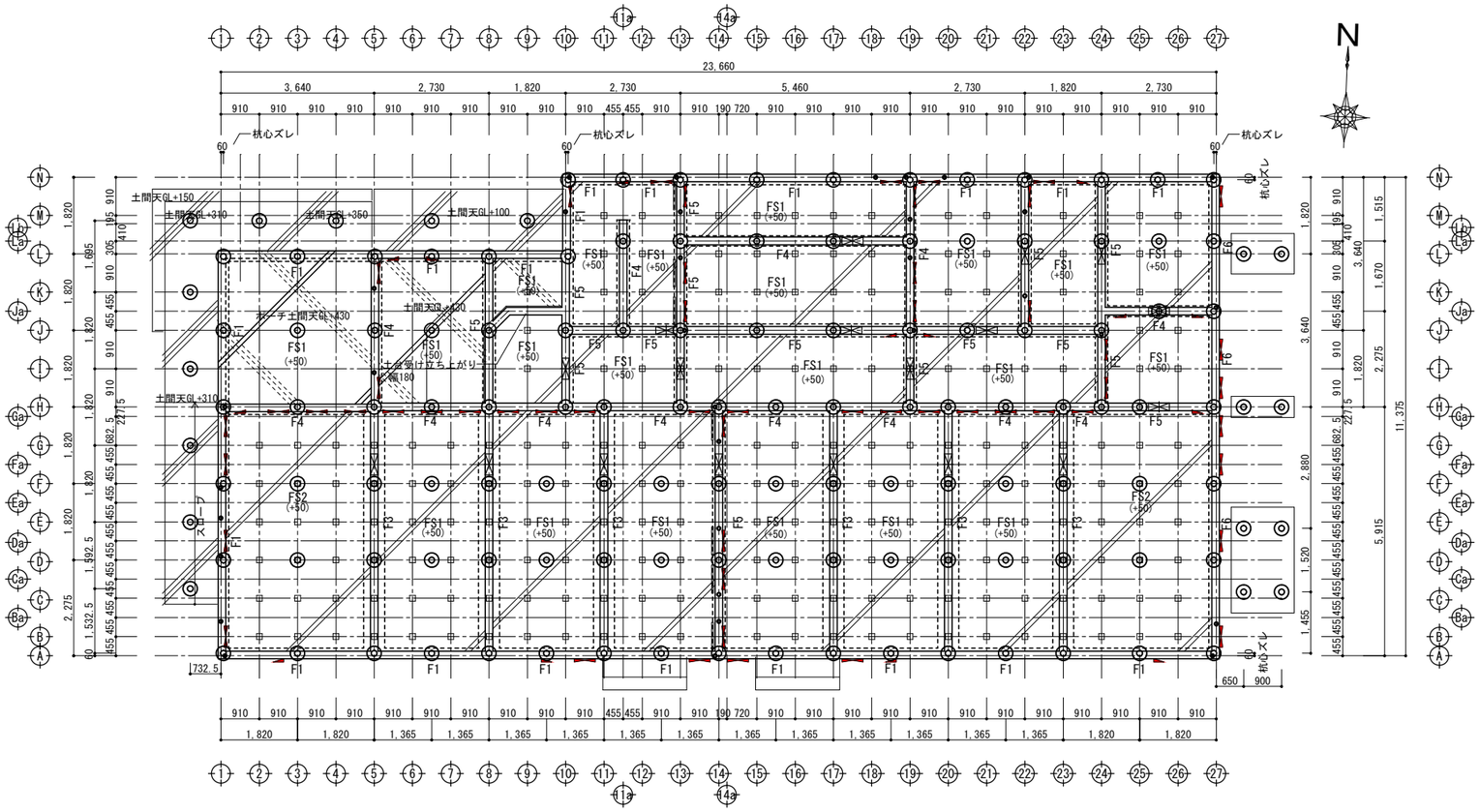
設計GL ▽

(考察)

凡例土質　砂質土　粘性土　粘土質砂

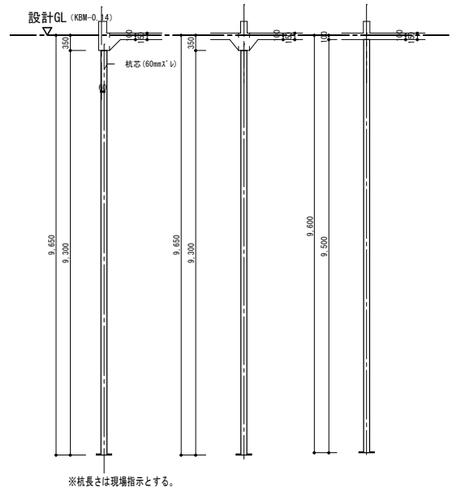
柱状図

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事					No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	柱状図			縮尺	S=1/NS (A3:71%)	S-08	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88495号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年2月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

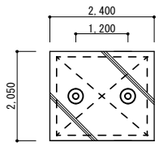


杭状地盤補強図　S=1/100

※・特記外のベタ基礎耐圧版天端は GL+50 とする。



杭断面図　S=1/100



ｷｭｰﾋﾞｸﾙ
(1800×2080)

杭状地盤補強

工法:アルファフォースパイル工法(GBRC性能証明 第06-01号)
杭径：Φ139.8mm
先端羽径：Φ350mm
管材：STK400, 管材厚：4.5mm　羽根材：SS400, 羽根厚：12.0mm

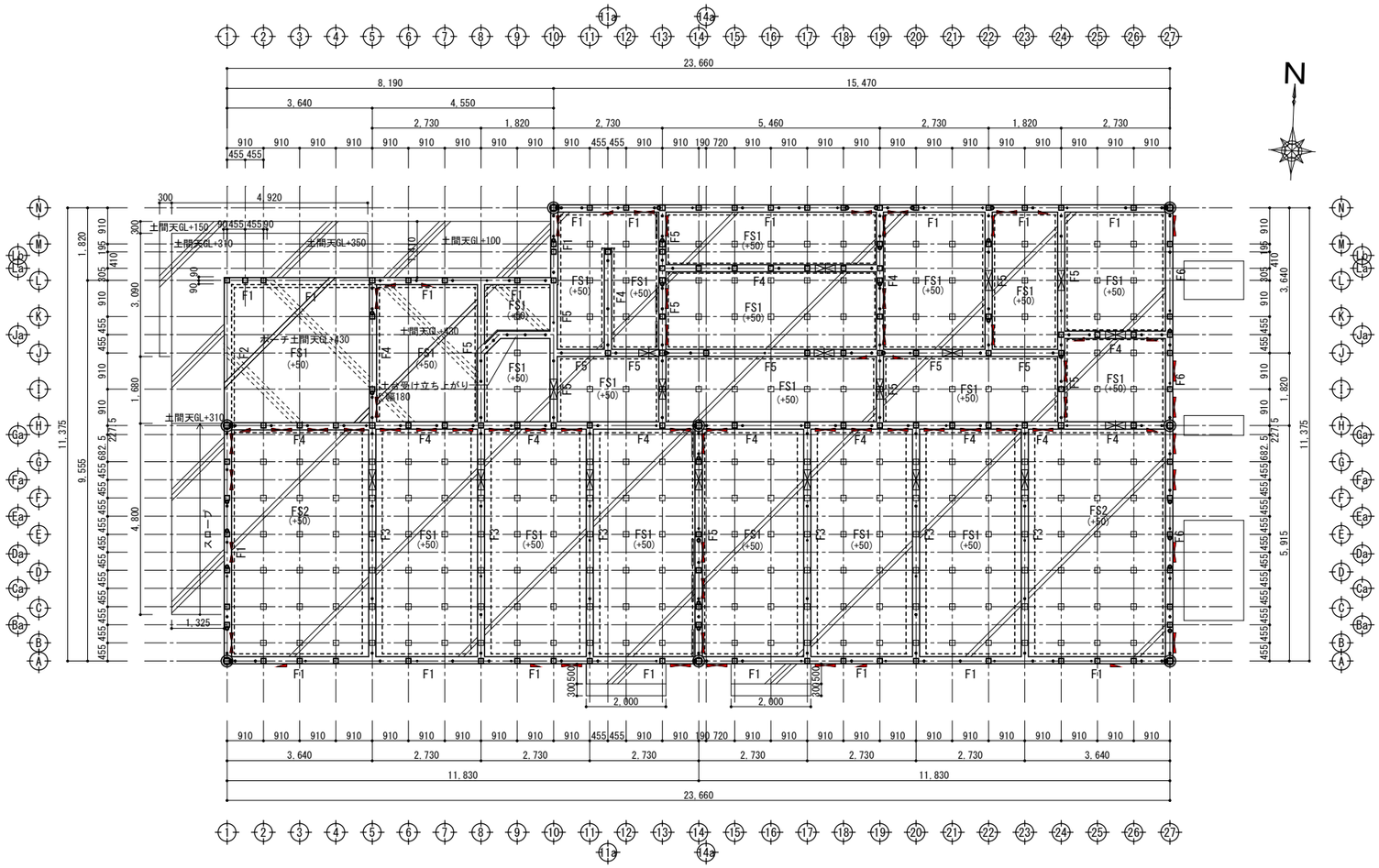
設計地盤耐力　25kN/m2　とする。※岡山市公共建築課指示
杭1本あたりの支持力:90.00kN/本

支持地盤　GL-9.60m(現場指示)
本数　112本（建物本体）＋18本（ﾎﾟｰﾁ・外階段）＋ 2本（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ）
(試験杭1ヶ所共)

凡例

◎ ：ｱﾙﾌｧﾌｫｰｽﾊﾟｲﾙ工法 杭径Φ139.8mm,羽径Φ350mm
杭長さは現場指示とする。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No. S-09	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	杭状地盤補強図			縮尺 S=1/100 (A3:71%)			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



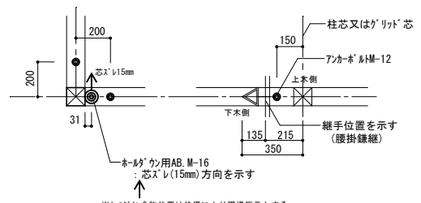
基礎伏図　S=1/100

※・特記外のベタ基礎耐圧版天端は GL+50 とする。

凡例

- 通し柱　135×135
- 1階管柱　120×120（特記外の管柱）
- 特類構造用合板T=9(釘N,CN50大壁仕様､@150､壁倍率2.5)
- 筋　違　45×90(耐力壁位置を示す(壁倍率2.0))
- 筋違(ﾀｽｷ)45×90(壁倍率4.0)
- ベタ基礎耐圧版(有筋)　T=150
- 土間コン　T=150　鉄筋D13@250ﾀﾃﾖｺS　砕石T=100
- かさ上げ土間コン　T=120　(ﾜｲﾔﾒｯｼｭφ6x150x150)
- (　)内数字：GLよりのｺﾝｸﾘｰﾄ天端高さを示す。
- 鋼製束
- 人通口　W500
- ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄM-12,L＝400(埋込長さ250以上)@2,700以内 ※特記外は柱芯から200,首出は基礎天＋135ﾄｽﾙ
- ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄM-16,埋込L=360(orﾒｰｶｰ仕様) 但し､25.0～35.5kN用HDA.BoltはM-16,埋込L=510 orﾒｰｶｰ仕様とする。

※ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ金物位置は柱芯により現場指示とする



※ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ金物位置は柱芯により現場指示とする

※ベタ基礎仕様

※地耐力：25KN/m2以上

基　礎　仕　様		
基礎種類	ベタ基礎	
耐圧版	FS1:T=150 D13@150 S(ﾀﾃ･ﾖｺ共)	
材料強度	ｺﾝｸﾘｰﾄ設計強度　Fc=24N/mm2 (24-15-20)	
	鉄筋　SD295A (D10～D16)	

特記事項(構造体強度補正) JASS5･2009年版
発注用呼び強度(Fx)=Fc+S(S=3NorGN)
(調合管理強度Fx)=24+S(構造体強度補正値)N/mm2
※S=3N(2/25～6/30､及び9/13～11/26)
(春･秋中間期)　(8℃～以上)
※S=6N(7/1～9/12､及び11/27～2/24)
(夏･冬期)　(0～8℃未満及び暑中期間)

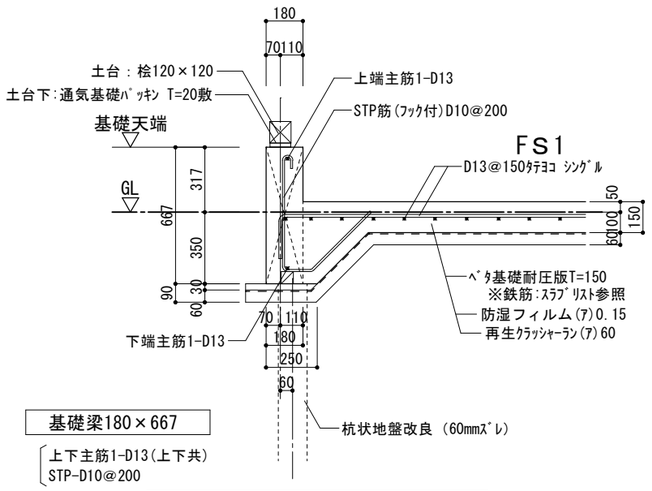
＊ 捨ｺﾝ・土間無筋ｺﾝ　Fc=18N/mm2
※強度補正ナシ
(※有筋土間ｺﾝｸﾘｰﾄは強度補正有り)

※基礎振分は内部は中心より90､90mm振分とする（外周部70､110mm）。
※金物はｽﾀｰﾌ表示金物又は､同等品とする。
※特記外のｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄはｸﾞﾘｯﾄﾞ芯より200の位置とする。
※特記外のHD用ABは芯より8～21ｽﾞﾚとする。
(基礎鉄筋に当る為)
※25KN用ABの埋込長さはﾒｰｶｰ仕様による。
※30KN用ABは埋込長さ524mm以上(又はﾒｰｶｰ仕様による)
※HD金物は全てAB直結とする。
※床下換気はキソパッキン工法に依る。
(101cm2/m､H=2cm)

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
図面名	基礎伏図	縮尺	S=1/100 (A3:71%)		S-10	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月			

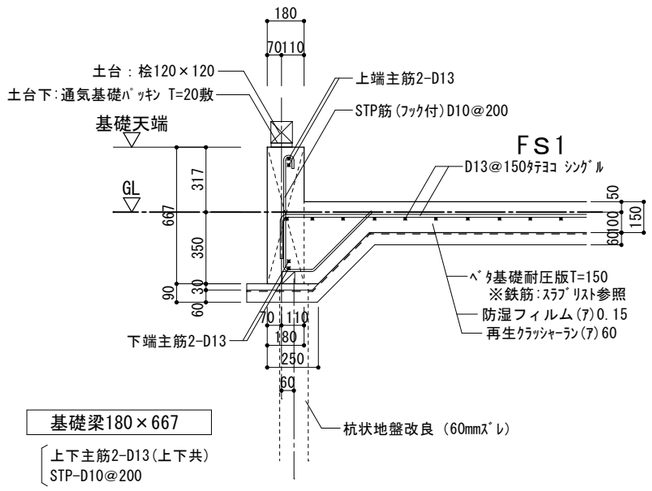
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

F1



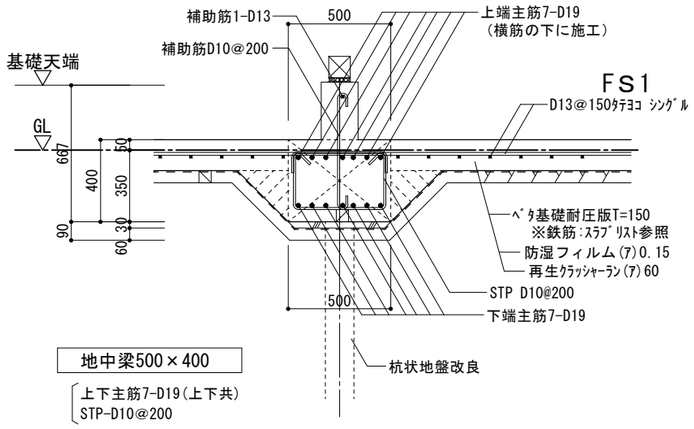
外周部基礎図(F1) S=1/30

F2



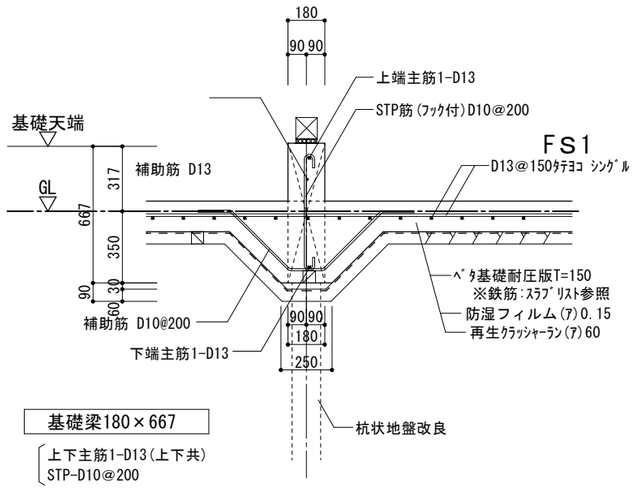
ポーチ部基礎図(F2) S=1/30

F3



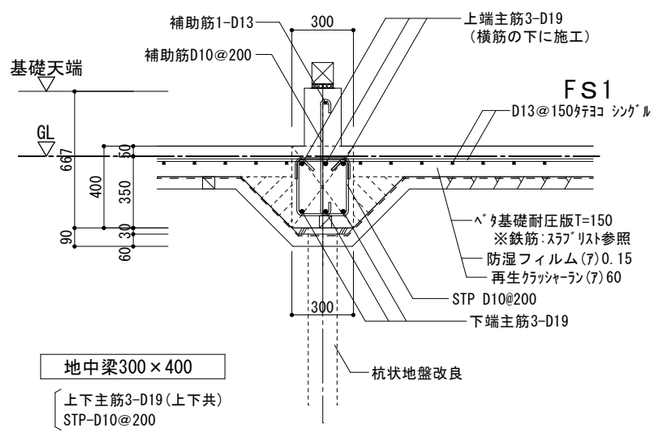
内部基礎図(F3) S=1/30

F4



内部基礎図(F4) S=1/30

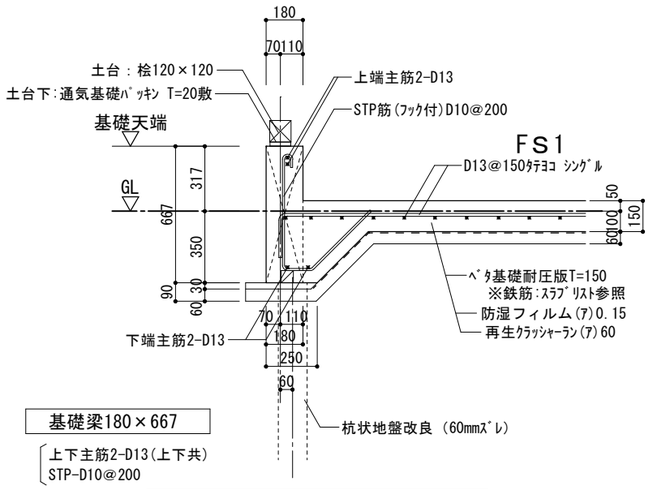
F5



内部基礎図(F5) S=1/30

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事					No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	基礎断面詳細図-1			縮尺	S=1/30 (A3:100%)	S-11	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図
						米山	米山	米山

F6

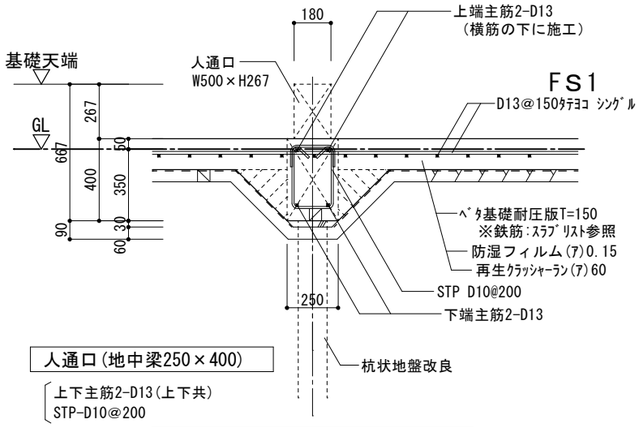


基礎梁180×667

上下主筋2-D13(上下共)
STP-D10@200

外周部基礎図(F6) S=1/30

人通口

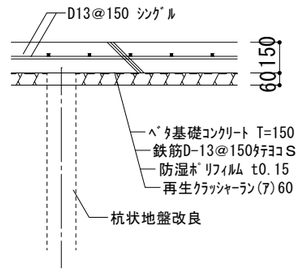


人通口(地中梁250×400)

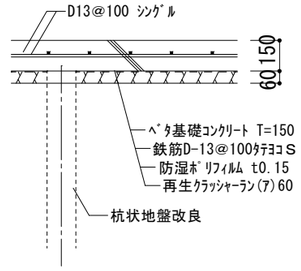
上下主筋2-D13(上下共)
STP-D10@200

人通口 S=1/30

Fs1



Fs2



土間コンクリート

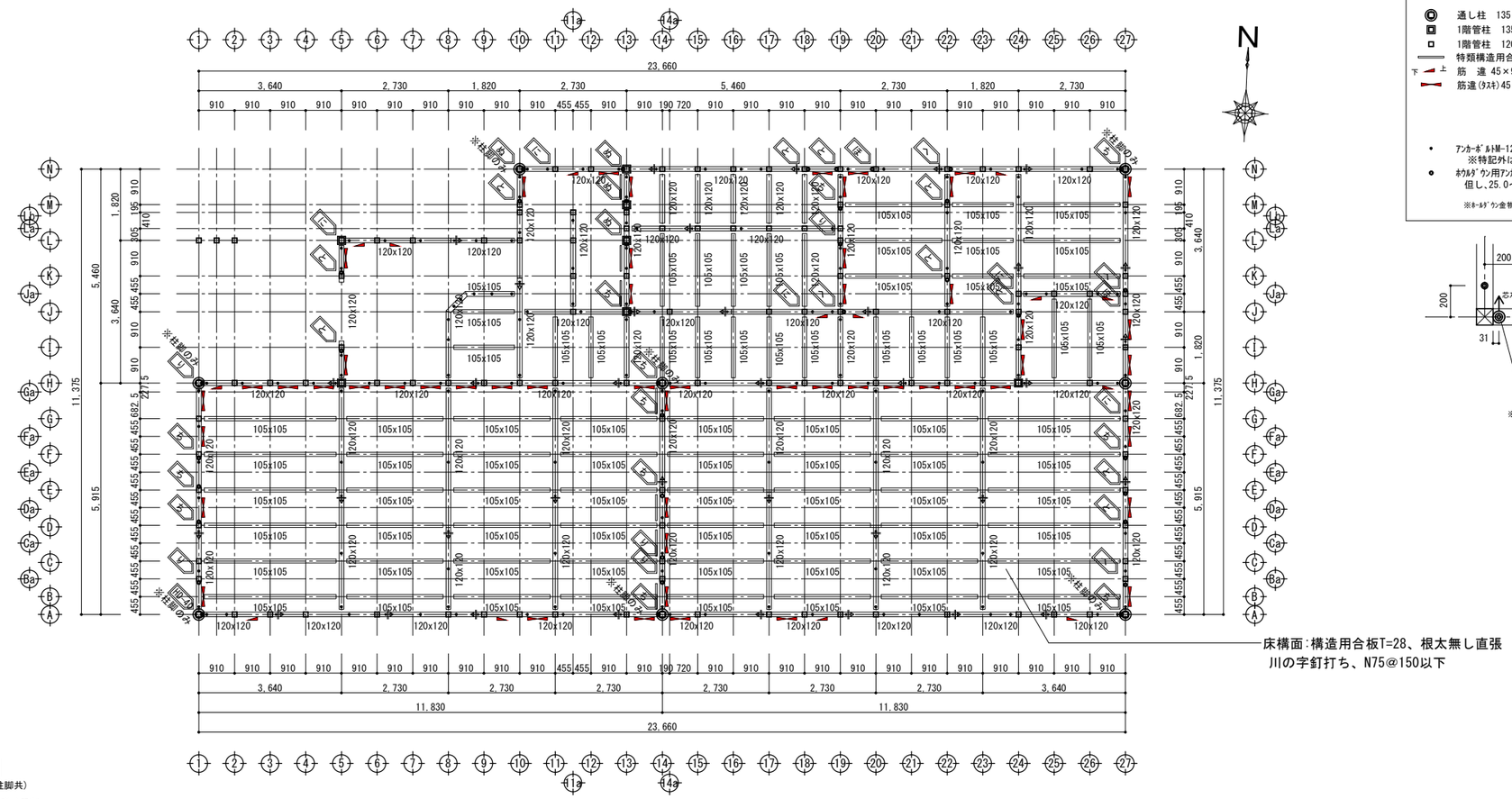
・土間コンクリート T=150
鉄筋 D13@250
差筋 D13@250
※建物内は後打かさ上げコンクリート
ワイヤーメッシュ Φ6x150x150

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所		
図面名	基礎断面詳細図-2	縮尺	S=1/30 (A3:100%)		S-12	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	
					米山	米山	米山	

木材リスト

部材名称	樹種	等級	部材分類	寸法
(構造材・下地材)				
土台	ヒノキ 防腐処理材 K3相当	無等級	正角	120×120
大引	杉	無等級	正角	105×105
火打土台	※剛床工法の為、無し			
床束	鋼製束			
柱	ヒノキ	無等級	正角	120×120 135×135
半柱	杉or集成	1 等	平割・正割	45×120
間柱	杉or集成	1 等	平割・正割	30×120
筋違		無等級	平割	45×90
梁、桁	米松KD	無等級	平角	材せい
	構造用集成 杉＋米松 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾋﾞｰﾑ	E120-F330	平角	2階床梁 120×390
母屋・棟木	米松KD	無等級	正角・平角	105×105～
小屋束	米松KD	無等級	正角	105×105
垂木	ヒノキ	無等級	平割	45×90 @455
鋼製火打梁	㈱タナカ	ﾋﾞｽ止ﾀﾅｶﾞ火打600		同等品
剛床合板(1階・2階) 構造用合板				T=28 実付
剛床合板(小屋面) 構造用合板				T=24 実付
剛床合板(小屋野地) 特類構造用合板				T=12
耐力壁合板(1階) 構造用合板				T=9

※剛床構造用合板(1階)については実付とする。
但し、甲乙小根太を施工する場合は、実無し合板可とする

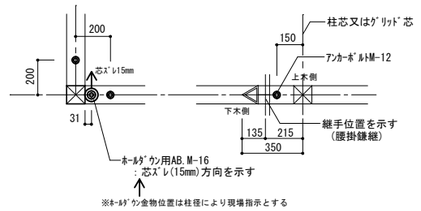


1階床伏図 S=1/100

凡例

- 通し柱 135×135
- 1階管柱 135×135 (特記外の管柱)
- 1階管柱 120×120 (特記外の管柱)
- 特類構造用合板T=9(釘TN,CN50大壁仕様、@150、壁倍率2.5)
- 筋 違 45×90(耐力壁位置を示す(壁倍率2.0))
- 筋違(ﾀｽｷ)45×90(壁倍率4.0)
- ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄM-12,L＝400(埋込長さ250以上)@2,700以内
  ※特記外は柱芯から200,首出は基礎天＋135ﾄﾚﾙ
- ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄM-16,埋込L=360(orﾒｰｶｰ仕様)
  但し、25.0～35.5kN用HDA,BoltはM-16,埋込L=510
  orﾒｰｶｰ仕様とする。

※ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ金物位置は柱径により現場指示とする



※ﾎｰﾙﾀﾞｳﾝ金物位置は柱径により現場指示とする

柱頭柱脚接合補強金物

※凡例: ほ (柱頭柱脚共)

※告示第1460号による柱頭柱脚接合補強

ろ	長ほぞ差し 又は L字金物
は	T字金物 又は V字金物
に	羽子板ﾎﾞﾙﾄ 又は 短冊金物
ほ	羽子板ﾎﾞﾙﾄ(ｽｸﾘｭｳ釘併用) 又は 短冊金物
へ	10KN用 HD金物 (座金付ﾎﾞﾙﾄ又は同等金物可)
と	15KN用 HD金物 (M16-AB.)
ち	20KN用 HD金物 (M16-AB.)
り	25KN用 HD金物 (M16-AB.)
ぬ	30KN用 HD金物 (M16-AB.) 又は15KN用 HD金物×2組
HD-40	ｸﾘﾎｰﾙﾀﾞｳﾝKHD-40 同等以上

特 記

- 木造の継手及び仕口の構造方法は、告示第1460号による。
- (特記なき限り)外周部の柱の上下は(は)金物以上とする。
- (特記なき限り)筋交の取付く内外の
- 金物はZﾏｰｸ表示金物又は、同等品とし、表示以上ﾗﾝｸ金物の使用可とする。

特 記

- 木造の継手及び仕口の構造方法は、告示第1460号による。
- 特記なき筋交の取り付く柱の金物は、全て山形プレート (は) 以上とする。
- 金物については、耐力上同等品に替えることについては支障がない。
- 特記なき土台は120×120とする。特記なき柱は120×120とする。
- HD金物は全てアンカーボルト直結とする。
- 金物は柱頭柱脚に共に設置する

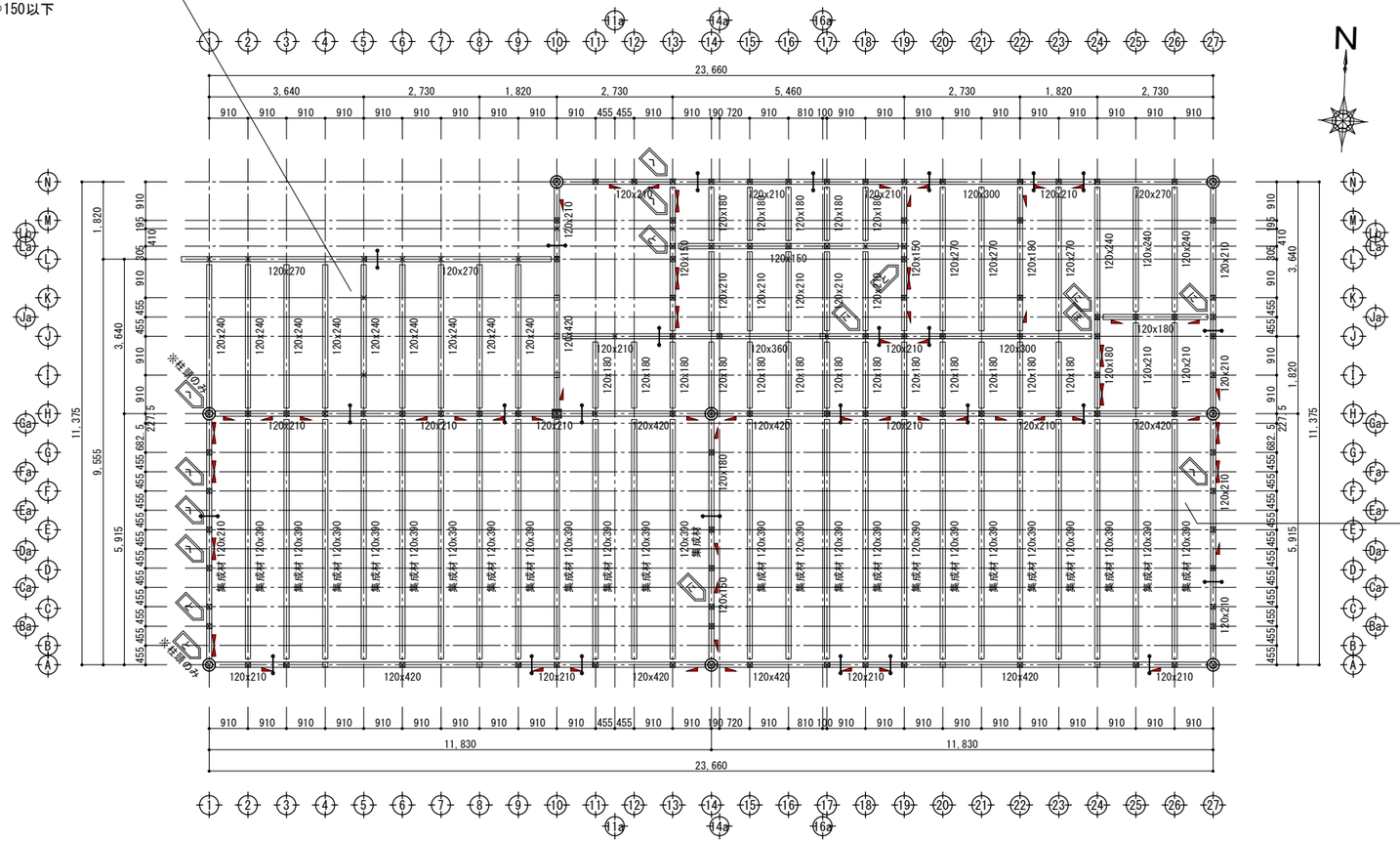
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	1階床伏図	縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-13		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

下屋天井構面:構造用合板T=28、根太無し直張
川の字釘打ち、N75@150以下

木材リスト

部材名称	樹種	等級	部材分類	寸法
(構造材・下地材)				
土台	ヒノキ 防腐処理材 K3相当	無等級	正角	120×120
大引	杉	無等級	正角	90×90
火打土台	※剛床工法の為、無し			
床束	鋼製束			
柱	ヒノキ	無等級	正角	120×120 135×135
半柱	杉or集成	1 等	平割・正割	45×120
間柱	杉or集成	1 等	平割・正割	30×120
筋違		無等級	平割	45×90
梁、桁	米松KD	無等級	平角	材せい
	構造用集成 杉＋米松 ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞﾋﾞｰﾑ	E120-F330	平角	2階床梁 120×390
母屋・棟木	米松KD	無等級	正角・平角	105×105～
小屋束	米松KD	無等級	正角	105×105
垂木	ヒノキ	無等級	平割	45×90 @455
鋼製火打梁	南タテカ	ﾋﾞﾈ止ﾎｽﾀﾞ火打600		同等品
剛床合板(1階・2階) 構造用合板				T=28 実付
剛床合板(小屋面) 構造用合板				T=24 実付
剛床合板(小屋野地) 特類構造用合板				T=12
耐力壁合板(1階) 構造用合板				T=9

※剛床構造用合板(1階)については実付とする。
但し、甲乙小根太を施工する場合は、実無し合板可とする



2階床伏図 S=1/100

凡例

- 通し柱 135×135
- 2階管柱 135×135 (特記外の管柱)
- 2階管柱 120×120 (特記外の管柱)
- 1階管柱 (特記外の管柱)
- 特類構造用合板T=9(釘N, CN50大壁仕様、@150、壁倍率2.5)
- 筋 違 45×90(耐力壁位置を示す(壁倍率2.0))
- 筋違(ﾀｽｷ)45×90(壁倍率4.0)
- 継手位置を示す

※特記なき継ぎ手の補強金物は、山形プレート以上とする。

横架材継ぎ手補強金物

山形プレート以上とする。

※特記なき継ぎ手の補強金物は、山形プレート以上とする。
※表示ランク以上金物の使用可とする。

柱頭柱脚接合補強金物

※凡例: ほ (柱頭柱脚共)

※告示第1460号による柱頭柱脚接合補強

ろ	長ほぞ差し 又は L字金物
は	T字金物 又は V字金物
に	羽子板ﾎﾞﾙﾄ 又は 短冊金物
ほ	羽子板ﾎﾞﾙﾄ(ｽｸﾘｭｳ釘併用) 又は 短冊金物
へ	10KN用 HD金物 (座金付ﾎﾞﾙﾄ又は同等金物可)
と	15KN用 HD金物 (M16-AB.)
ち	20KN用 HD金物 (M16-AB.)
り	25KN用 HD金物 (M16-AB.)
ぬ	30KN用 HD金物 (M16-AB.) 又は15KN用 HD金物×2組
HD-40kN	ｸﾘﾎｰﾙﾀﾞｳﾝKHD-40 同等以上

特 記

- 木造の継手及び仕口の構造方法は、告示第1460号による。
- (特記なき限り)外周部の柱の上下は(は)金物以上とする。
- (特記なき限り)筋交の取付く内外の
- 金物はZﾏｰｸ表示金物又は、同等品とし、表示以上ﾗﾝｸ金物の使用可とする。

特 記

- 木造の継手及び仕口の構造方法は、告示第1460号による。
- 特記なき筋交の取り付く柱の金物は、全て山形プレート (は) 以上とする。
- 金物については、耐力上同等品に替えることについては支障がない。
- 特記なき土台は120×120とする。特記なき柱は120×120とする。
- HD金物は全てアンカーボルト直結とする。
- 金物は柱頭柱脚に共に設置する

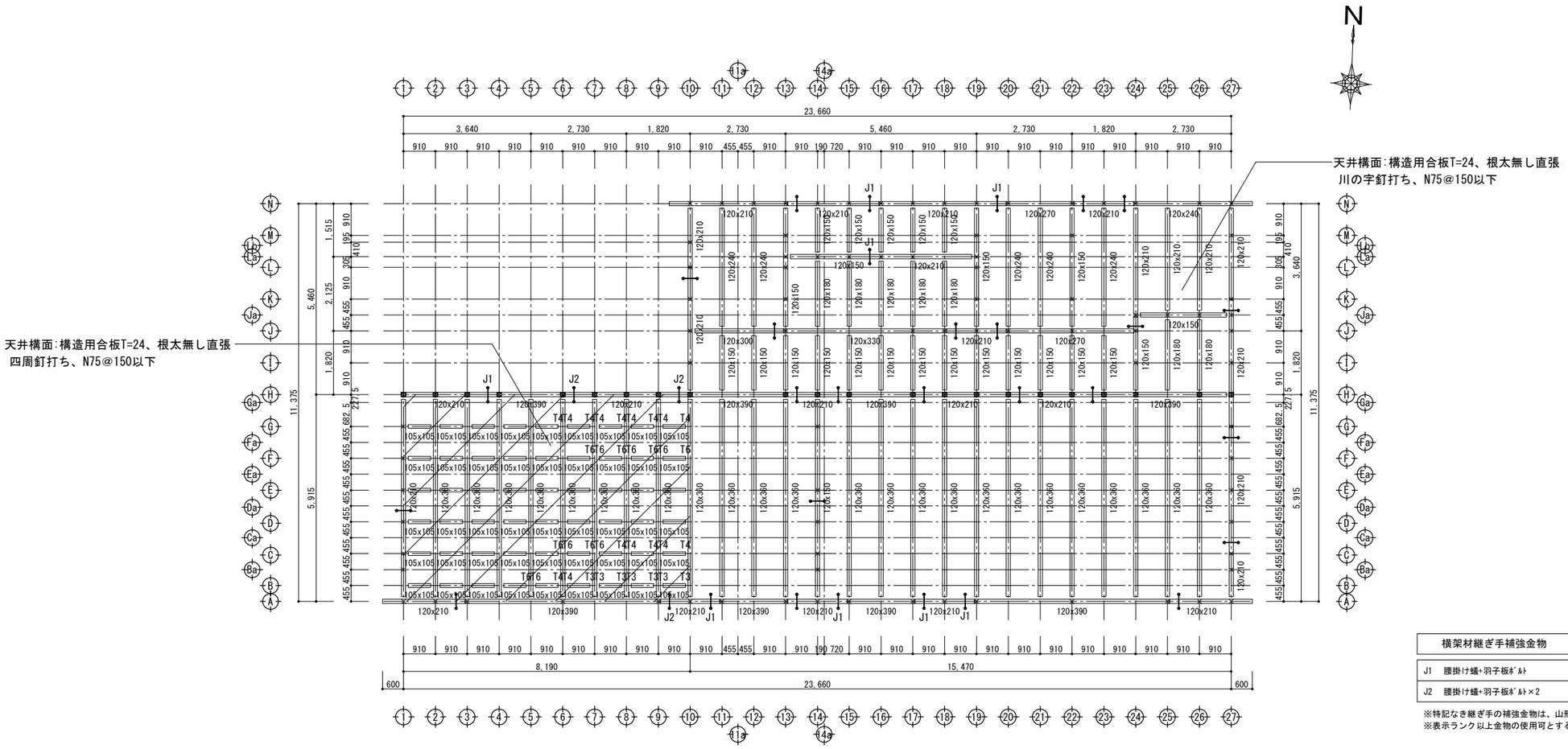
横架材仕口補強金物

かたぎ大入れ短ほぞ差し、かね折り金物 SAまたは羽子板ボルト (許容耐力7.5kN) 以上とする。

※特記なき仕口は、かたぎ大入れ短ほぞ差し、かね折り金物 SAまたは羽子板ボルト (許容耐力7.5kN) 以上とする。
※表示ランク以上金物の使用可とする。
※テックワン梁受金物、表示ランク以上金物の使用可とする。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
図面名	2階床伏図	縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-14	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



横架材継ぎ手補強金物

J1	腰掛け蟻+羽子板ﾎﾞﾙﾄ
J2	腰掛け蟻+羽子板ﾎﾞﾙﾄ×2

※特記なき継ぎ手の補強金物は、山形プレート以上とする。
※表示ランク以上金物の使用可とする。

＜凡　例＞

- □ 小屋・界壁管柱　120×120（特記外の管柱）
- × 2階管柱　120×120（特記外の管柱）
- 母屋　105×105
- 母屋（棟木）　120×120
- ○ 小屋束　105×105
- 継手位置を示す

2階小屋伏図　S=1/100

特　記

・木造の継手及び仕口の構造方法は、告示第1460号による。
・特記なき筋交の取り付く柱の金物は、全て山形プレート（は）以上とする。
・金物については、耐力上同等品に替えることについては支障がない。
・特記なきの梁巾は120とする。特記なきの甲乙梁は60×45以上とする。
・特記なき仕口は、かたぎ大入れ短ほぞ差し、かね折り金物　SAまたは羽子板ボルト（許容耐力7.5kN）以上とする。
・特記なき継ぎ手の補強金物は、山形プレート以上とする。
・金物は柱頭柱脚に共に設置する。
　※柱頭金物は下階柱頭柱脚金物指示による。

横架材仕口補強金物

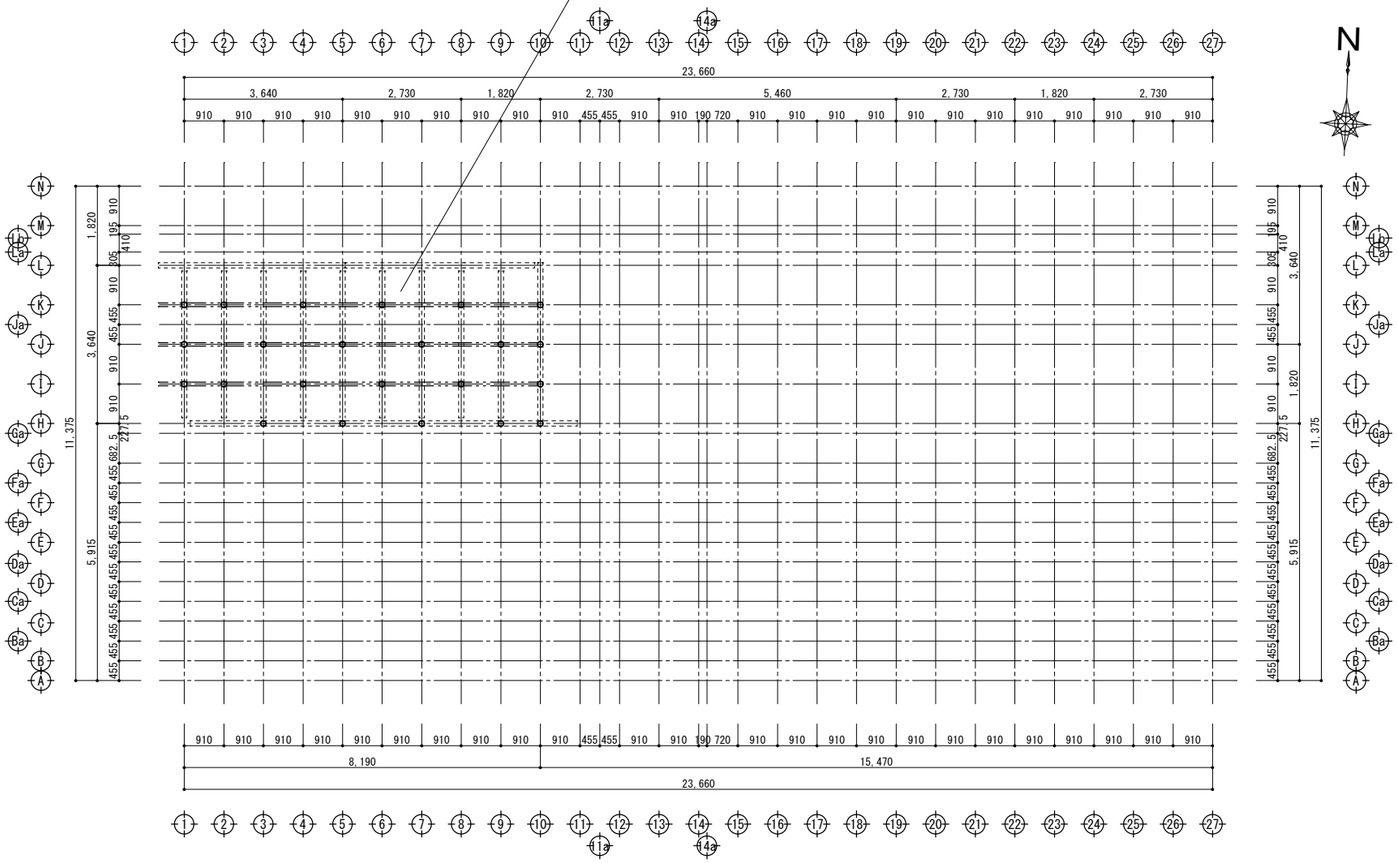
T3	かたぎ大入れ短ほぞ差し、15kN引き寄せ金物HD-B15
T4	大入り蟻掛け、羽子板ボルト（許容耐力10.1kN）
T6	かたぎ大入れ短ほぞ差し、短冊金物S、スクリュー釘（許容耐力8.5kN）

※特記なき仕口は、かたぎ大入れ短ほぞ差し、かね折り金物　SAまたは羽子板ボルト（許容耐力7.5kN）以上とする。
※表示ランク以上金物の使用可とする。
※テックワン梁受金物、表示ランク以上金物の使用可とする。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	2階小屋伏図	縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-15	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年2月		

課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山

屋根構面:勾配(2寸勾配)30度以下、構造用合板T=12、転び止無し 釘N50@150以下
※垂木:45×90@455



1階屋根伏図 S=1/100

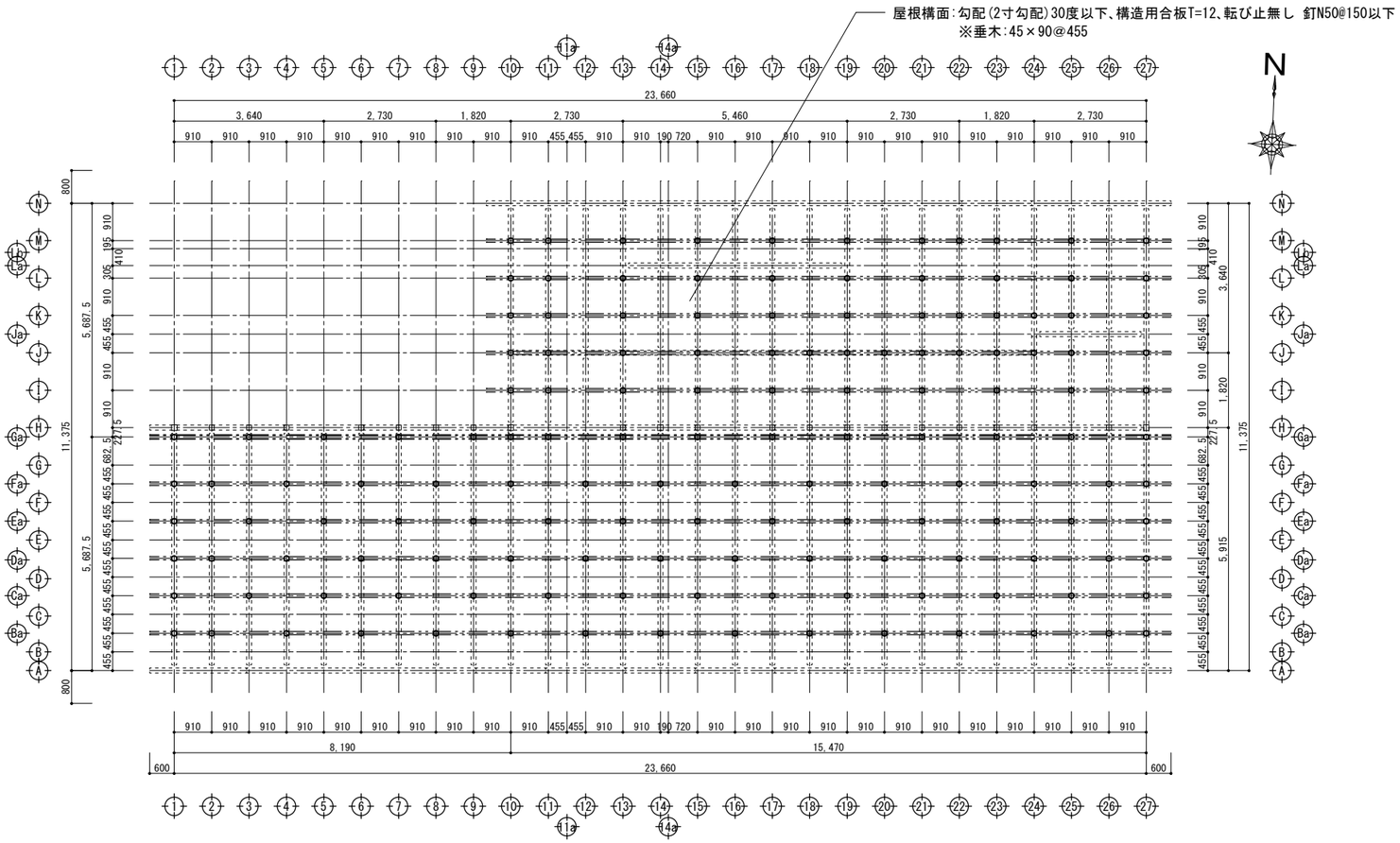
＜凡　例＞

═ : : ═	母屋　105×105
═ : : ═	母屋（棟木）　120×120
o	小屋束　105×105
::::::::	小屋梁

特　記

・木造の継手及び仕口の構造方法は、告示第1460号による。
・特記なき筋交の取り付く柱の金物は、全て山形プレート（は）以上とする。
・金物については、耐力上同等品に替えることについては支障がない。
・特記なきの梁巾は120とする。特記なきの甲乙梁は60×45以上とする。
・特記なき仕口は、かたぎ大入れ短ほぞ差し、かね折り金物　SAまたは羽子板ボルト（許容耐力7.5kN）以上とする。
・特記なき継ぎ手の補強金物は、山形プレート以上とする。
・金物は柱頭柱脚に共に設置する。
　※柱頭金物は下階柱頭柱脚金物指示による。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所 岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
図面名	1階屋根伏図		縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-16		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



屋根伏図　S=1/100

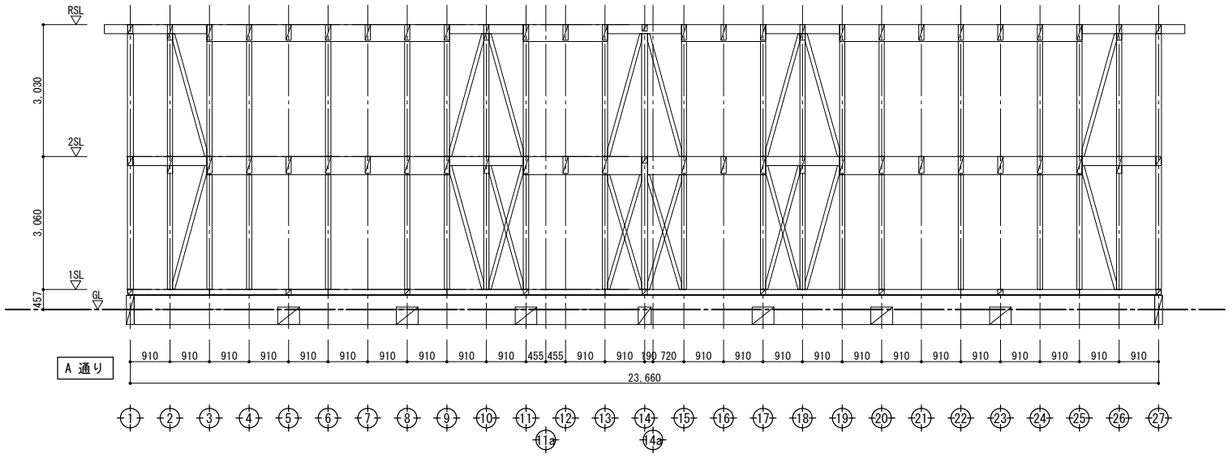
＜凡　例＞

═ : : ═	母屋　105×105
═ : : ═	母屋（棟木）　120×120
o	小屋束　105×105
: : : : : : : :	小屋梁
□	小屋束（界壁）　120×120

特　記

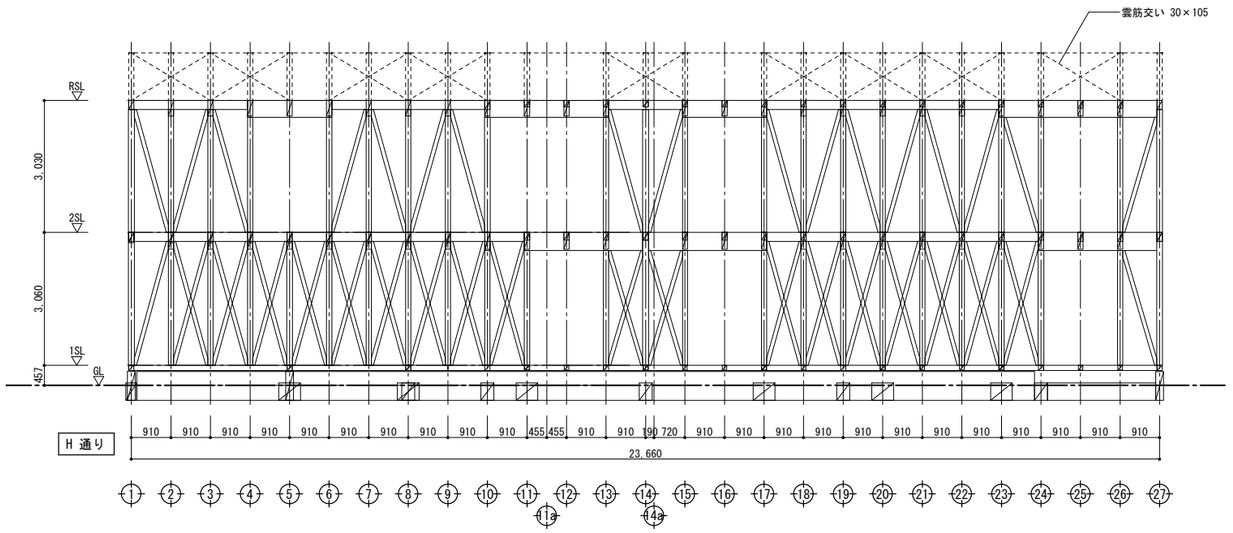
・木造の継手及び仕口の構造方法は、告示第1460号による。
・特記なき筋交の取り付く柱の金物は、全て山形プレート（は）以上とする。
・金物については、耐力上同等品に替えることについては支障がない。
・特記なきの梁巾は120とする。特記なきの甲乙梁は60×45以上とする。
・特記なき仕口は、かたぎ大入れ短ほぞ差し、かね折り金物　SAまたは羽子板ボルト（許容耐力7.5kN）以上とする。
・特記なき継ぎ手の補強金物は、山形プレート以上とする。
・金物は柱頭柱脚に共に設置する。
　※柱頭金物は下階柱頭柱脚金物指示による。

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	2階屋根伏図		縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-17	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

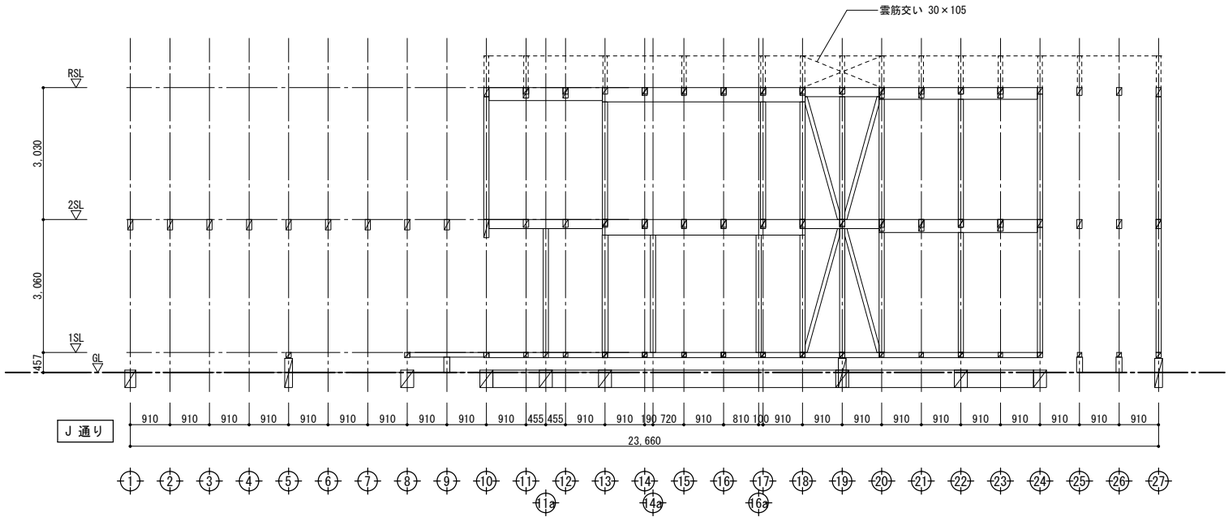
印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)



・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

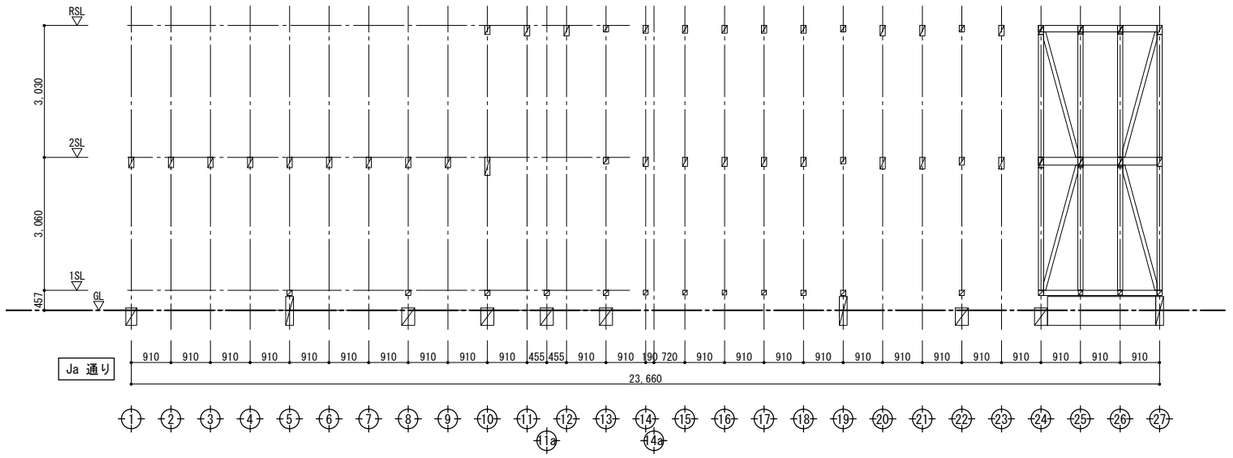
印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	軸組図-1		縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-18	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

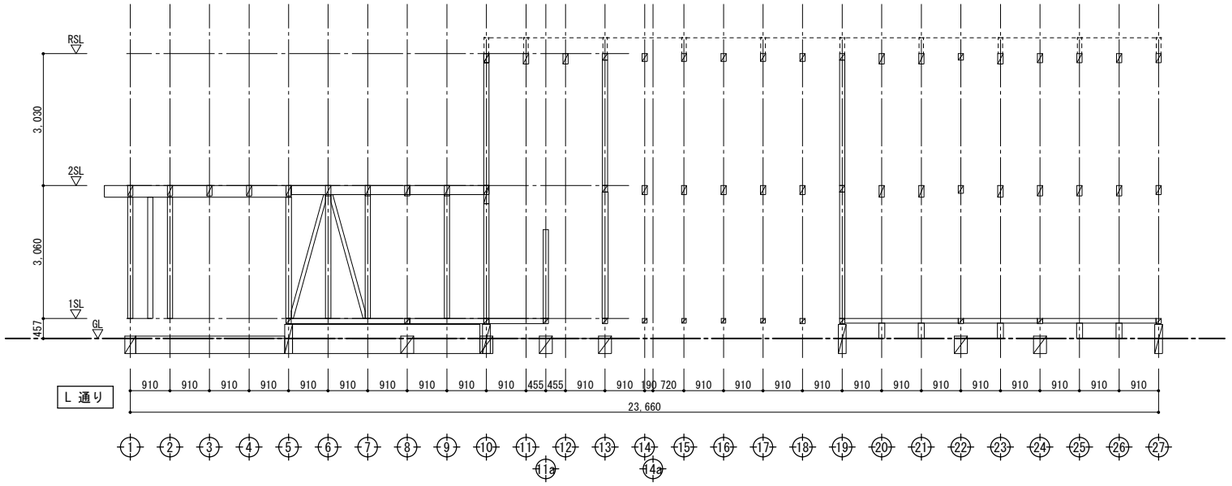
印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)



・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)

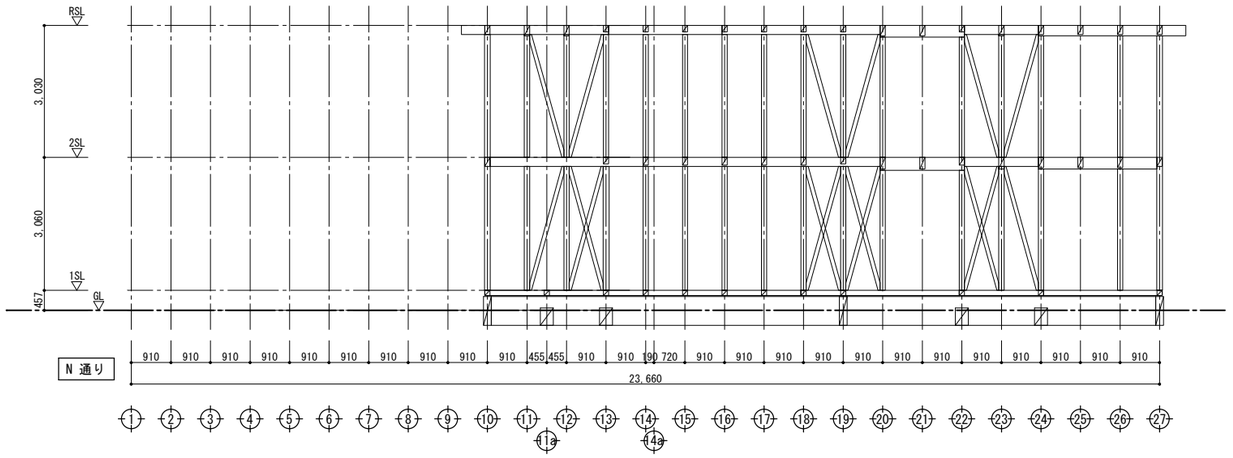
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	軸組図-2		縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-19	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



L 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)

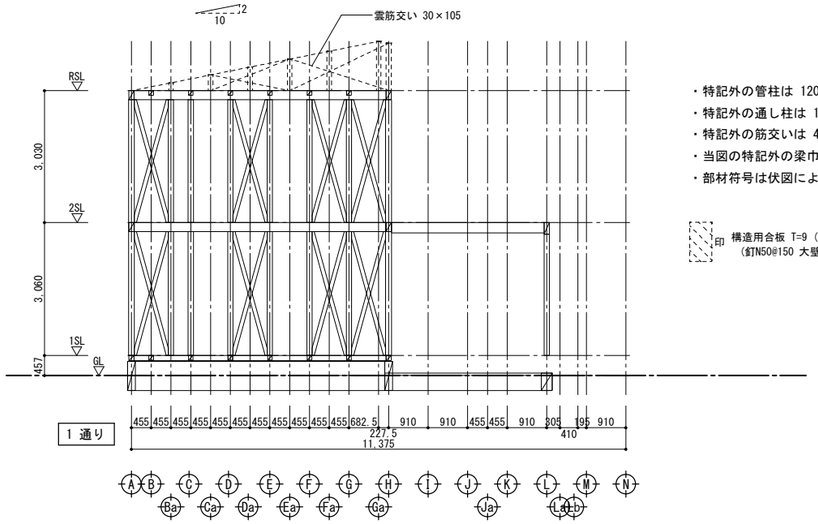


N 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)

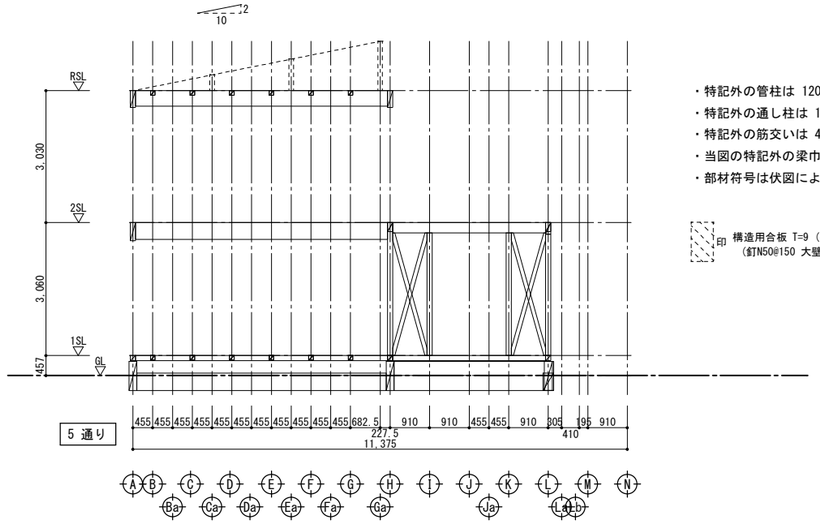
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	軸組図-3		縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-20	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



1 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

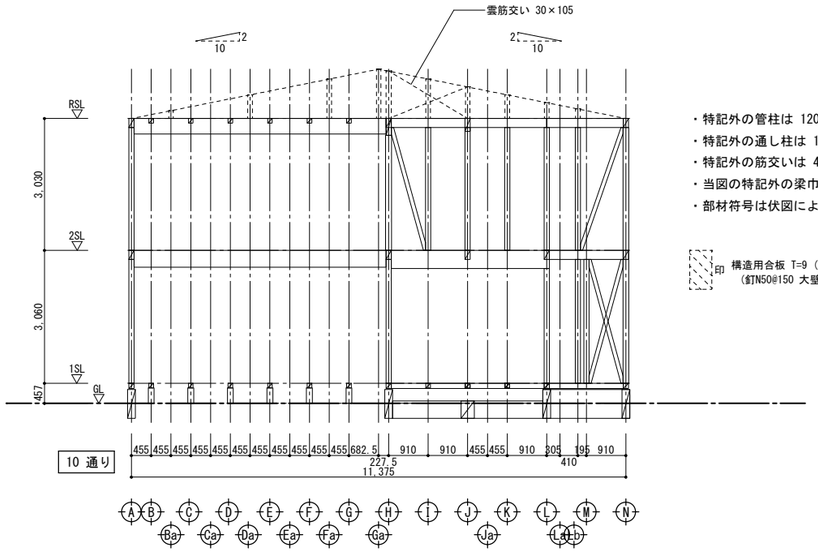
印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)



5 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

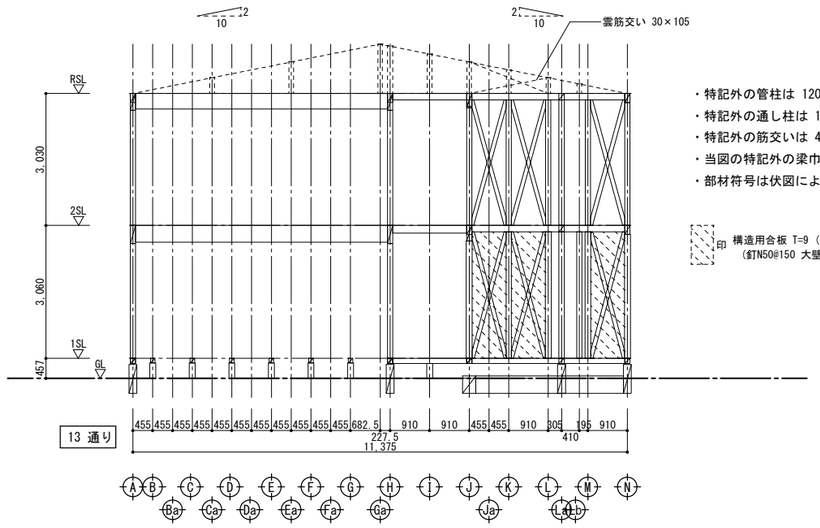
印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)



10 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)

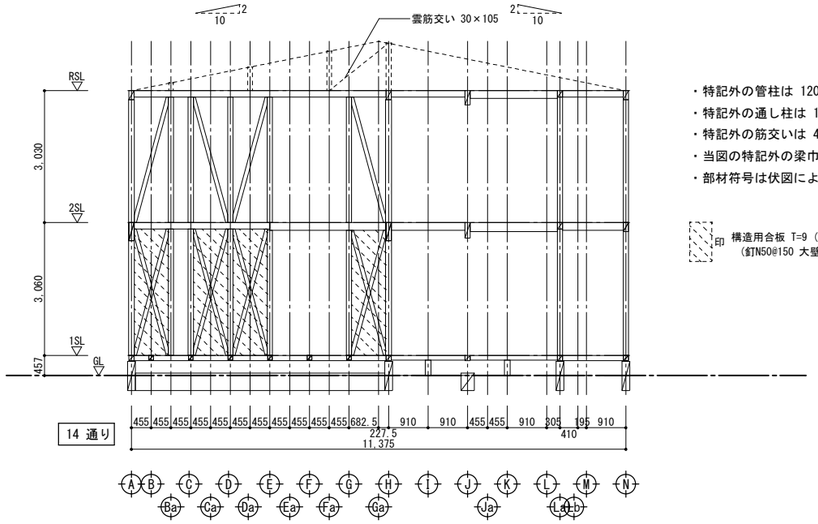


13 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)

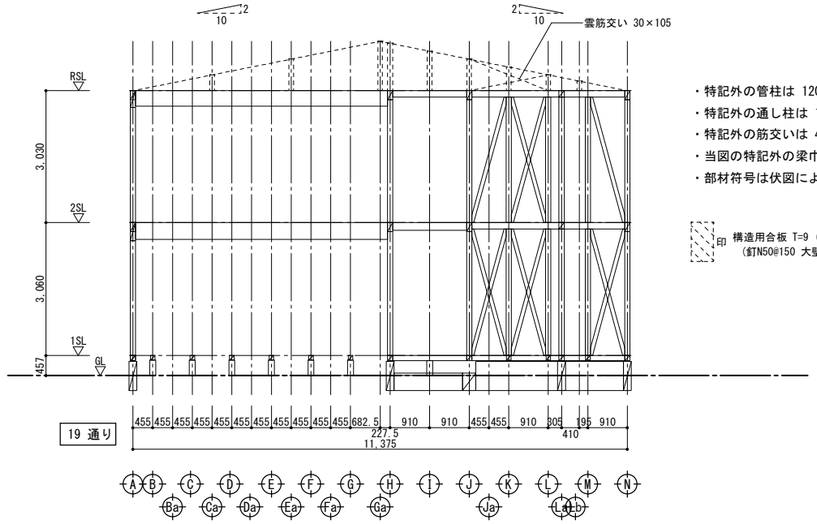
工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所		
図面名	軸組図-4	縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-21	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969		
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



14 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

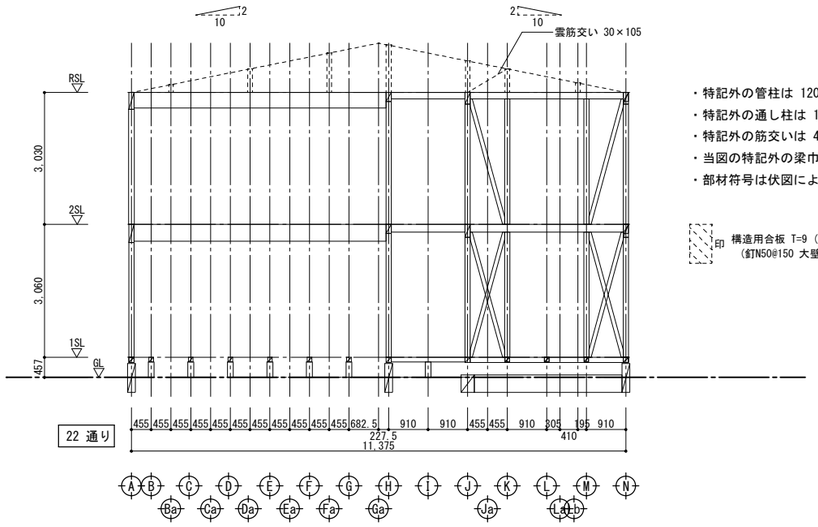
印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)



19 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

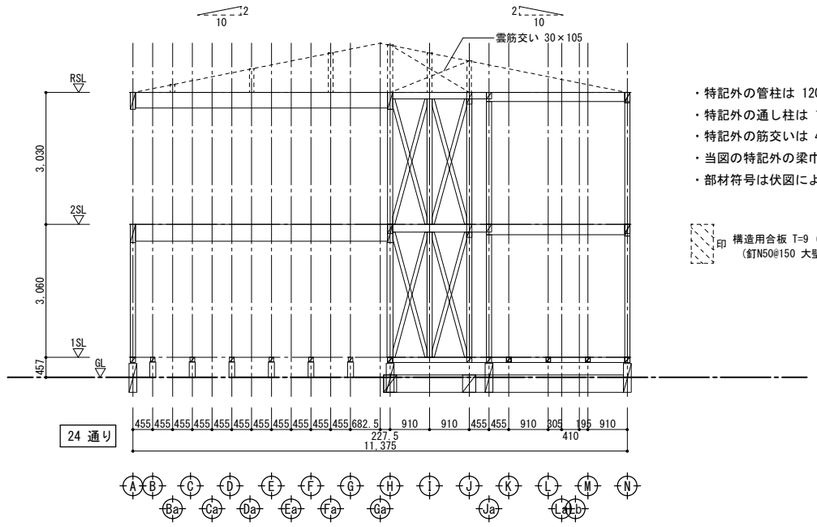
印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)



22 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)



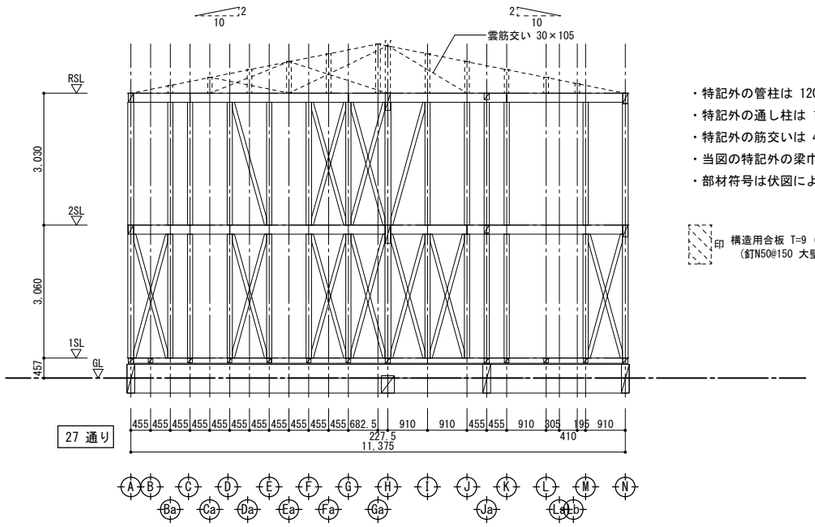
24 通り

・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事			No.	YONEYAMA1級建築士事務所
図面名	軸組図-5	縮尺	S=1/100 (A3:71%)	S-22	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課			令和7年2月		

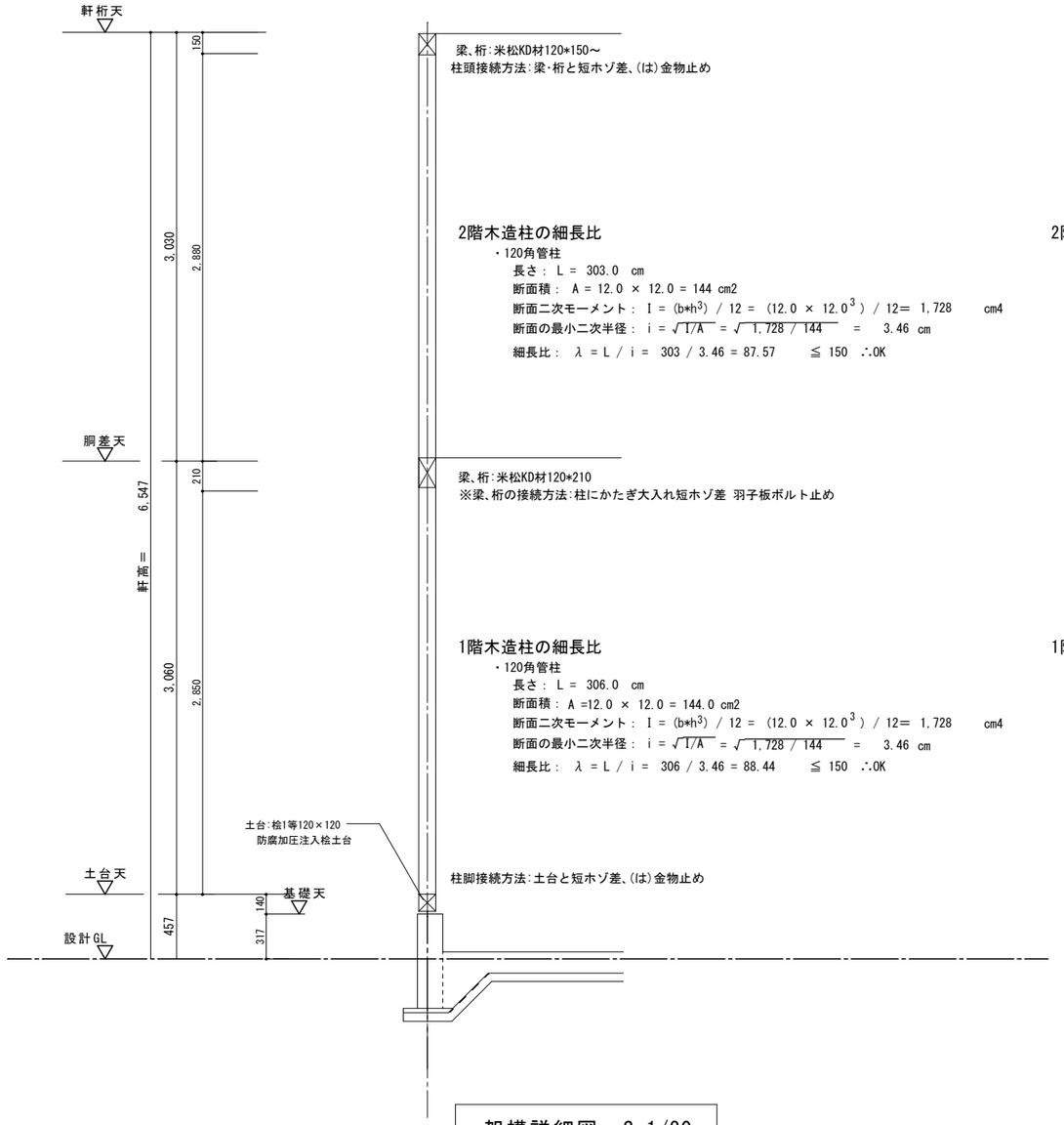
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



・特記外の管柱は 120×120とする。
・特記外の通し柱は 135×135とする。
・特記外の筋交いは 45×90とする。(ｼﾝｸﾞﾙ、ﾀｽｷ掛共)
・当図の特記外の梁巾は 120とする。
・部材符号は伏図による。

印 構造用合板 T=9 (壁倍率2.5)<片面>
(釘N50@150 大壁仕様)

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	軸組図-6	縮尺	S=1/100 (A3:71%)		S-23	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山



梁、桁:米松KD材120*150～
柱頭接続方法:梁･桁と短ホゾ差、(は)金物止め

2階木造柱の細長比

・120角管柱

長さ： L = 303.0 cm

断面積： A = 12.0 × 12.0 = 144 cm2

断面二次モーメント： I = (b*h^3) / 12 = (12.0 × 12.0^3) / 12= 1,728 cm4

断面の最小二次半径： i = $\sqrt{I/A}$ = $\sqrt{1,728 / 144}$ = 3.46 cm

細長比： λ = L / i = 303 / 3.46 = 87.57 ≦ 150 ∴OK

2階木造柱の細長比

・120角管柱

長さ： L = 303.0 cm

断面積： A = 13.5 × 13.5 = 182.25 cm2

断面二次モーメント： I = (b*h^3) / 12 = (13.5 × 13.5^3) / 12= 2,767.92 cm4

断面の最小二次半径： i = $\sqrt{I/A}$ = $\sqrt{2,767.92 / 182.25}$ = 3.9 cm

細長比： λ = L / i = 303 / 3.9 = 77.69 ≦ 150 ∴OK

梁、桁:米松KD材120*210
※梁、桁の接続方法:柱にかたぎ大入れ短ホゾ差 羽子板ボルト止め

1階木造柱の細長比

・120角管柱

長さ： L = 306.0 cm

断面積： A =12.0 × 12.0 = 144.0 cm2

断面二次モーメント： I = (b*h^3) / 12 = (12.0 × 12.0^3) / 12= 1,728 cm4

断面の最小二次半径： i = $\sqrt{I/A}$ = $\sqrt{1,728 / 144}$ = 3.46 cm

細長比： λ = L / i = 306 / 3.46 = 88.44 ≦ 150 ∴OK

1階木造柱の細長比

・135角管柱

長さ： L = 306.0 cm

断面積： A =13.5 × 13.5 = 182.25 cm2

断面二次モーメント： I = (b*h^3) / 12 = (13.5 × 13.5^3) / 12= 2,767.92 cm4

断面の最小二次半径： i = $\sqrt{I/A}$ = $\sqrt{2767.92 / 182.25}$ = 3.9 cm

細長比： λ = L / i = 306 / 3.9 = 78.46 ≦ 150 ∴OK

柱脚接続方法:土台と短ホゾ差、(は)金物止め

架構詳細図 S=1/30

工事名	岡山市立吉備小学校内児童ｸﾗﾌﾞ室増築工事				No.	YONEYAMA1級建築士事務所	
図面名	架構詳細図		縮尺	S=1/30 (A3:71%)	S-24	岡山県知事登録第12645号 一級建築士登録 第88498号 〒703-8246 米山 敏夫 岡山市中区藤原光町1-10-1 TEL (086)273-6969	
岡山市 都市整備局 住宅･建築部 公共建築課				令和7年2月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図
					米山	米山	米山